

ヲ得ス食ヲ乞フテフ滯辭ヲ設ケ其放浪的生活ヲ經續スルノ惡習ヲ妨止センカ爲ナリ
 今日獨乙國ニアリテハ此勞働者殖民地ト方法ヲ同フシ、且ツ其目的ヲ一ニセル二十四個ノ殖民地設立セラ
 レ殆ト二千八百人ヲ收容スルニ足ル設備アルニ至レリ、此等ノ殖民地ヲ支フルニ足ル經費ハ概テ個人ノ臨
 時寄附ヨリ成レトモ政府ノ補助モ亦決シテ尠シトセス、但シ政府ノ補助ハ多ク無利息貸與ノ方法ヲ取レリ
 基督教々會モ亦殖民地ノ資本金ヲ募集シ、其内部ヲ整理スルノ點ニ於テハ頗ル努力セリ、然レトモ表面上
 此等ノ殖民地ハ廣ク江湖ノ同情ニヨリテ成立シ、國家又ハ教會ト相關係スルコトナシ、又勞働者ヲ收容ス
 ルニ當リテハ其道德的狀態及其過去ニ於ケル失行ノ如何ヲ問フコトナク、何人ト雖快ク且ツ自由ニ入場セ
 シムル也

該殖民地ハ職業ヲ失ヘトモ勞働ニ堪ヘ且ツ敢テ勞苦ヲ厭ハサル勞働者ヲシテ、暫時其糊口ノ途ヲ與ヘ、且
 ツ他日正業ヲ取ルニ當リテ必要ナル衣服ヲモ作り置クノ餘裕ヲ得セシムル方法ニシテ、從テ之ニ出入スル
 ハ各々人々ノ便宜ニ任セ敢テ深ク干渉セス、但シ此出入自在ナル組織ハ却テ惡結果ヲ來タシ、折角ノ自由
 制度モ再三歸リ來リテ此殖民地ニ投スル習慣的浮浪徒ノ爲ニイタク汚名ヲ蒙ムルニ至リタリ、斯ル事實ハ
 殖民地ノ在場者ニ關スル研究ヲ一層精細ニ行ハ、自ラ明白タルニ至ルヘシ
 ベルトフォールトノ統計表ハ一千八百八十九年三月三十一日ヲ以テ終レル二年間ノ計算ナリ此二年間ニ於
 テ二十個ノ殖民地ハ浮浪徒ノ救濟ニ從ヒ、總計一萬三千五百七十五人ヲ收容セリ、但シ此中ヨリ再入場者
 ヲ除去スレハ被救助者總數僅ニ一萬四百三人ニ過キス、之等ノ請願者ハ概テ職業ニ就キ得ルノ能力ヲ缺キ

其四分ノ三ハ曾テ禁獄セラレタルコトモアルモノ也、而シテ年々來場者ノ總數ハ次第ニ増加スレトモ、一
 人トシテ何等見習ヒ得タルノ職業ヲ有スルモノナク、且ツ其多數ハ一定ノ時間敢テ勞役ニ就クヲ否マサレ
 トモ、遂ニ彼等ハ社會ノ生活ニ誘惑セラレテ長ク此殖民地ニ留ルヲ欲セス、此二年間ニ收容セラレタル浮
 浪徒一萬四百三人ノ中一萬三十七人ニツキテ調査セル統計ハ左ノ如シ

入場者ノ回数	曾テ一度モ監獄ニ入ラザリ (百分比例)	一回以上監獄ニ入リシ者 (百分比例)	人 數
一	二七、二	七二、八	六千十三人
二	一七、七	八二、三	二千四百十二人
三	一七、二	八二、八	九百八十五人
四	一四、七	八五、三	四百六十二人
五	一六、四	八三、六	二百三十一人
六	一五、三	八四、七	百十八人
七	八、九	九一、一	五十六人
八	二五、〇	七五、〇	十二人
九	二五、〇	七五、〇	九人
十	一	〇〇、〇	四人
十一	一	〇〇、〇	四人
十二	一	〇〇、〇	一人
總計	二三、一	七六、九	一萬三十七人

一度ヒ此殖民地ヲ去リテ數ケ年間社會ニ出テタル者ニツキ、彼等カ此殖民地ヲ出場セシ理由ヲ調査スルニ誠ニ面白カラサル傾向ヲ示セリ、之ヲ表ニシテ示セハ左ノ如シ、(但シ此表ハ一切ノ殖民地ヲ總括シテ平均セシモノ也)

時 日	相當ノ職業ヲ求メ而シテ殖民地ヲ去リシモノ (百分比例)	我輩ニヨリ殖民地ヲ去リシ者 (此等ハ概ネ再ヒ浮浪徒トナレリ)
自一千八百八十五年	二七、四	五四、一
至一千八百八十六年		
自一千八百八十六年	二四、七	五七、八
至一千八百八十七年		
自一千八百八十七年	二〇、八	六〇、四
至一千八百八十九年		

殖民者ニシテ酒狂怠惰又ハ失行ノ爲メ其殖民地ヲ去ラサルヲ得サルニ至リシ者ハ上表中ノ三期間殆ト増減ナシ

殖民地ヨリ出テ行キシ者一萬一千八百四十九人ノ内、七日以内ニ相當ノ地位ヲ得タリシ者九百十三人アリ之ヲ百分比例ニスレハ總體ノ七分六厘也

猶事ノ實際ヲ研究スルニ殖民地ニ入ラント欲スル者ハ之ニ對スル設備ヨリモ速ニ増加スルヲ知ラン、左ニ掲ケタル表ヲ見ルヘシ

時 日	殖民地ノ數	在任ヲ許可セラレタル請願者ノ數	在任ノ許可ヲ得サリシ請願者ノ數	室ノナキ爲止ムサ得ル拒絶セラレタリシ請願者ノ數	定 員
一千八百八十八年	二十個	五千八百二人	一千六百九十二人	—	二千三百三十二人
一千八百八十九年	廿一個	六千五百九十四人	二千三百五十三人	一千五十四人	二千四百七十七人
一千八百九十八年	廿一個	六千九百六十二人	四千六百九十人	三千五百五十八人	二千六百二人

如斯ク浮浪徒ニ對スル設備ヨリモ請願者ノ數ノ超過スルコト、再來者ノ多數ナルコト、及ヒ在住者ノ殖民地ヨリ分離スル理由ノ面白カラサルコトノ三ヲ總合シテ勘フルニ此殖民地ハ專ラ浮浪徒ヲシテ殖民地生活ニ慣熟セシメ永久此ニ居スルノ考ニテ生活セシメントシツ、アルカ如シ

彼等ニ課スルニ唯労働ニ堪フルヤ否ヤノ試験ヲ施ス而已ニテハ未タ以テ充分彼等ヲ威嚇スルニ足ラス、彼レ遊惰ナル浮浪徒ト雖、漂泊ノ自由ヲ樂シミ醜惡ノ行爲ヲ事トスル暇ニハ却テ各所ノ殖民地ニ赴キテ生活スルヲ欲スルモノ也

和蘭ノ浮浪徒殖民地ハ一千八百十八年ノ創立ナリ

ゼネラル、ファン、デン、ボッシハジャバニ於ケル支那殖民地ヲ見深ク感スル處アリ、貧窮労働者ヲ荒蕪ノ地ニ於テ労働セシメ由テ以テ其貧困ヲ救ヒ、且ツ身心共ニ健全ナル失業者ヲシテ自立セシムルニ足ルヘキコトヲ確信シ、而シテ氏ハ其財産ヲ投シテ荒蕪地ヲ購入シ且ツ殖民者ノ生産的仕事ヲ爲シ得ル迄彼等ヲ補助スルニ充分ナルコトヲ知り、初メテ浮浪徒殖民地ノ運動ニ着手スルニ至リタリ、此ノ運動ハ大ニ世ノ耳目ヲ聳動シ金品ヲ投シテ事業ヲ助クル者亦尠カラス、依テ數個ノ殖民地ヲ計畫シタリシカ、就中最大ニシ

テ且ツ最初ニ成立セシ殖民地ハフレデリックスキールドニアルモノ是ナリ、此地ハドレンテ、フリーストラ
ンド、及ヒラーベルイスセルナル三村ノ間ニ位セル野地ナリ

乞食殖民地ハ半ハ行刑的ノ意味ヲ有シ、一千八百二十年ノ創立ニカ、リヲメルジャンス及ヒフエーンフィジ
ンニアルモノヲ以テ其最大ナルモノトナス

是等乞食殖民地及ヒ失業者殖民地ノ歴史ハ甚タ興味アルモノナレトモ、茲ニ細説スルノ余白ナシ、此二殖
民地ハ一千八百五十九年ニ至ル迄漸々借財ヲ重ネ、殆ト如何トモナシ能ハザルノ状態ニ陥リシカハ同年互
ニ相分離シテ各國獨立ノ經濟ヲ立テ、政府モ亦此慈善協會ノ爲ニ金錢上ノ補助ヲ與エタリシカ

其總額五百五十三萬五千「ギルダ」(「ギルダ」ハ凡ソ我カ八十一錢ニ相當スルヲ以テ之ヲ我貨幣ニ換
算セハ四百四十八萬三千三百五十圓)ニ達セリ

元來殖民地ノ制度ハ家族組織ナラサルヲ得サルカ故ニ一時ニ夥多ノ人員ヲ收容スルコト能ハス、實際ニ於
テモ一年間ニ僅々六人ヲ收容シ得ル而已ナレハ在住者ノ數年々減少シ一千八百七十三年ニ二千七人ナリシ
モノ次第ニ減シテ一千八百八十六年ノ終リニハ一千七百八十九人ニ至レリ、夫ノ強壯ナル窮民ハ殖民地ニ
赴クヲ否ミ賤劣ナル乞食ハ入場スルコトヲ許サレサルカ故ニ適當ナル被救助者ノ範圍ハ暫時ニ狭マリ、殖
民地ニ來ル者ノ次第ニ減少スルハ當然ノ結果ト謂フ可シ

乞食殖民地ハ半ハ行刑的組織ナルカ故ニ、一千八百五十九年以來ハ政府之ヲ直轄ノ許ニ維持セリ、而シテ
窮民中食ヲ乞フ者アラハ之ヲ短期間ノ禁獄ニ處シ、附加刑トシテ 三年間殖民地ニ在住スヘキコトヲ以テ

ス、中ニハ亦彼等ヨリ請願シテ入場ヲ許可セラル、モノアリ

或ハ時ニハ習慣的の酒狂者ヲモ收容スルコトアリ、現今乞食殖民地ノ在住者ハ殆ト三千人ニシテ、多クハ勞
働ニ堪ヘ得サル老人、若クハ虛弱疾病ニ苦シメル者等ナリ、而シテ一年間ノ經費ハ三十五萬「ギルダ」

(我カ二十八萬二千五百圓)ニシテ、此等ノ費目ハ職員戒護官等ノ給料ヲ支拂ヒ、病院ヲ支持シ自由圖書館
ノ書籍ヲ購入シ、新舊兩教ノ牧師及ヒ教會ヲ維持ス、他ニ農產物賣捌所ノ開始セラル、アレトモ正業者ト
競争スルノ恐レアルカ爲ニ免角ニ制肘セラレテ賣レ行キ拂ラス、且ツ凡テノ殖民者ヲシテ悉ク常ニ勤勉ナ
ラシムルニ充分ナル恰好ノ職業ヲ發見スルハ頗ル難事業ナルカ故ニ、中ニハ甚タ不適當ナル職業アリ、從
テ粗品亂造ノ弊ハ免カル可ラサル也、勞働者ノ家計ヲ維持スルノ外、其能力ノ優劣ニ從テ若干ノ賃銀ヲ給
與セラル、此賃銀ノ三分ノ一ハ彼等カ殖民地ヲ退場スル時ノ準備トシテ保管シ、其餘ハ任意ニ使用セシム
以上述ヘタルカ如ク、此殖民地ノ在住者ハ定期刑ノ宣告ヲ受ケタルモノナルカ故ニ、殖民地内ニアリテノ
生活ハ専ラ自由ヲ欲シ、且ツ實際ニ於テハ單ニ衣食ノ爲メニ入場シタルカ如キ觀アリ、此等殖民地ノ事情
ニ通曉セル人士ハ如此殖民地ヲ以テ自營獨立ニ經營セラル、モノニ非ストナセリ、但シ此殖民地ヲ偏愛ス
ハ者ハ動モスレハ言ヲ爲シテ曰ク「若シ一事業ニシテ特別ノ過失ナクハ、其事業ハ財政上及ヒ其他ノ點ニ於
テ成功セルモノト謂ハサル可ラス、且ツ凡テ實業的企業ニ於テノ失敗ハ殆ト數ノ免カレ得サルモノナレハ
其失敗ヲ論評スルニ當リ、之ヲ宥恕スルコソ却テ至當ナレ」ト

獨乙ニ於テモ、或ハ和蘭ニ於テモ浮浪徒殖民事業ノ威嚇的勢力ハ侮ル可ラサルモノニテ、實際經濟上ノ効

果ヨリモ多シト云ヘリ、蓋シ不完全ナル勞働者ヲ使役シテ荒蕪地ヲ開墾スルハ頗ル難事業ニシテ、直接ノ利益ナキハ當然ノ事ナリ

○具羅斯哈市史

歷史的序論

試ミニ今日具羅斯哈市ノ有様如何ヲ見ヨ、世界大市府中ノ一タリ、又タ世界中商工業ノ最モ盛大ナル箇所ノ一タルハ疑ヲ容ルヘカラサル事實ナリ、然レトモ偶然今日ノ盛大ヲ來シタルモノニアラス、必ラスヤ其然ラシメタル原因ナクンハアルヘカラス、今マーノ市府トシテ具羅斯哈ノ事ヲ叙述スルニ際シテ、簡短ニ其序論ヲ掲ケ來ラント欲セハ其盛大ヲ來セル原因及當時ノ有様ヲ述ヘサルヘカラス、今日世ノ耳目ヲ驚カスヘキ具羅斯哈モ元是レ僧侶ノ支配ヲ受ケタル一小村落ニ過キサリシナリ、斯クトハ殆ント世人ノ想像以外ナルヘシ

今マ具羅斯哈ノ市街中最モ雜踏セル箇所ハ其昔果シテ如何ナル有様ナリシカ、其箇所ノ大半ハ往古羅馬人ノ占領シ居タリシ頃ハ、クリート河口ノ水ノ茫洋トシテ流レ居タリシ所ナリ、蓋シ此事ハ今日ノ地勢上ヨリ推考スルモ又タ其他ノ事實ニ徴スルモ決シテ疑フヘカラサル所ナリ、所謂ル其事實トハ他ニアラス、具羅斯哈市各所ニテ地中ヨリ掘リ出サレタル丸木舟、(是レハ大木ノ幹ヲ穿チ窪メテ無造作ニ造リタル舟ヲ云フ) 其他ノ古物等是レナリ

然レトモ本來具羅斯哈ト稱ヘラレタル箇所ハ今日具羅斯哈拜堂ノ敷地トナリ居レル高地ノ邊ヲ包容シタリシモノト云ハサルヘカラス、而シテ此高地ヨリ廣大ナルアントイン城壁ヲ瞰下シ得ヘキナリ、而シテ此アントイン城壁ナルモノハ其昔羅馬人カ國界線トシテ築造シタルモノ是レナリ、羅馬人カ此城壁内ニ籠居セシ

後幾時ナラスシテ、具羅斯哈カ始メテ往古ノ霧中ヨリ僅カニ其芽ヲ萌シ出シタリ、斯クテ僧侶ノ手ニ成レル小説及物語杯ニ據リテ推考スルニ第六世紀ノ半ハ頃布教ノ使徒某ナルモノアリテ、具羅斯哈ヲ中心點トシテ傳道說教ヲ爲シタルハ亦タ疑フヘカラサル事實ナリ、蓋シ此布教ノ使徒ト云ヘルハ聖、ケンチゼアント云ヘル僧侶是レナリ、彼レ果シテ大牧師ノ資格アリヤナシヤハ判然セスト雖モ兎ニ角加登律幾寺院ニ於テハ大ニ尊敬ヲ受ケ且僧侶ノ年代記中ニ其姓名及事業等記載シアルヲ見レハ、其姓名事業ノ著シキコトヲ推知スルニ足ルヘキナリ

既ニシテ具羅斯哈カ歴史上一ニ異彩ヲ放チ蘇格蘭史中始メテ著明ナル部分ヲ占ムルニ至リシハ聖、ケンチゼアンノ當時ヨリ五世紀ヲ經過シタル後ナリシナリ、而シテ具羅斯哈ノ名カ世ニ表ハレシハ矢張り往古ノ如ク再ヒ僧侶ノ支配ニ歸シタル時ナリシ、後幾時モナク即チ一千百十六年ニ至リテ具羅斯哈ノ名カ一層廣ク世間ニ知ラレタリ、即チ『カムブリア公ダビテノ探窮』ト云ヘル一書ノ世ニ出テタルコト是レナリ、但シ此事ハカムブリア公ノ兄君アレキサング一世ノ在世中ニ係レリ、此ニ於テ具羅斯哈ニ始メテ基督教會堂ノ基礎建設セラレ、聖、ケンチゼアンヲ教正ニ任シ、而シテ後漸次ニ此教正ノ後繼者トナリシモノ少ナカラザリシナリ、然レトモ後國內ニ革命變亂興リテ教會堂ヲ破壊シ基督教殆ト其跡ヲ絶ツニ至レリ、然レトモ其後再ヒ教正ノ職ヲ置クコト、ナリ、太子ノ師傅タルジョン、アカユウス氏カ其教正ニ任セラレタリ、氏ハ則チ具羅斯哈ノ正教ノ初代鼻祖タリシナリ、蓋シ此等ノ事實ハ如モ確實ナル書類ノ證明スル所ニシテ亦タ疑フヘカラサルナリ、但シ此日具羅斯哈ノ教正ト云ヘルハ當時其土地ヲ支配統御スルノ權能ヲ有スルモノト

知ルヘシ、斯クノ如クシテ具羅斯哈ノ基礎ハ傳道布教上ノ企圖計畫ニ基キテ確立セラレタルモノナリ、乃チ具羅斯哈ヲ中心點トシテ其周邊ノ廣大ナル土地ハ總テ宗教主義ニ基キテ其安寧ヲ維持スルコト、ナレリ、其後具羅斯哈ヲ統治支配スルノ要語トシテ左ノ數語ヲ選擇セラレタリ『神ヨ、汝ノ道ヲ宣布傳播シテ以テ具羅斯哈ヲ繁盛ナラシメ玉ヘ』是レ信スルニ足ルヘキ事實ナリ

教正ノ管轄地ナル具羅斯哈ハ天然ノ富源極メテ豊饒ナルカ故ニ其周邊ニ人口ノ増殖スルコト甚ハタ速カナリシナリ、是レハ僧侶ノ其居ヲ占ムルモノ多キト今マハ教會堂ノ庇護ノ下ニ來ラハ生命財產一層安全ナルヨリ各所ヨリ來リ住スルモノ多キニ因ラスンハアラス、具羅斯哈カ宗教ノ支配地トナリテヨリ後五十年頃ニ當リテ有力ナル一僧侶アリ、教正ノ職ニアリテ其名ヲジ、セリント云ヘリ、ジ、セリンハ一千百七十六年ニ於テ當時ノ國王ニシテ獅子王ノ綽名ヲ取リタルウ、キリアム陛下ヨリ一週間ノ定期市ヲ開設スヘキ權能ヲ授與セラレタリ、但シ此權能ハジ、セリン其身一代ノミナラス、幾代ニテモ其後繼者ニ永續スルモノナリ、尙ホ其後一千百九十年ニ於テ再ヒジ、セリン及其後代々ノ後繼者ニ一ノ權能ヲ附與セラレタリ、其權能トハ他ニアラス、毎年八滿日間ツ、具羅斯哈ニ於テ定期市ヲ開設シ得ヘキ權能是レナリ、且ツ此權能ハ王國中他ノ箇所ニ於テ開設セラルヘキ定期市ト均シキ自由ト條件トヲ得ヘキモノナリ、斯クテ具羅斯哈ノ此定期市ハ爾來七百年間以上毎年々引キ續キテ開設セラレタリ、然レトモ其定期市ノ模様有様等ハ此國ノ社會上及經濟上ノ情態變化スルニ從ツテ、大ニ變化シタルモノト知ルヘキナリ

教正アカユウスノ建設シタル一ノ禮拜堂アリ、其所在地ハ今日具羅斯哈ノ禮拜堂ノ建設地ノ東部ニ當リシ

ナリ、而シテ此神聖ナル建物ハ當時ノ蘇格蘭王ダヒデ一世カ親臨マシクテ之カ落成式ヲ舉ケサセラレタリ、案スルニ此禮拜堂ハ餘リニ壯觀ナラサリシモノナラン、然ルニ四十年ノ後不幸ニモ火災ニ罹リテ烏有ニ歸シ、今ハ其當時ヲ想像シ得ヘキ一片ノ遺物タニ見ルコト能ハサルナリ、而シテ具羅斷哈ノ禮拜堂ヲ再建スルノ重任ハ教正ジョセリンノ頭上ニ落ち來リシナリ、ジョセリンハ熱心銳意以テ其再建ノ事ニ身ヲ委ネタルヨリ、速カニ其好結果ヲ見ルニ至リシナリ、即チ一千九百九十七年ニ於テ壯嚴雄偉ナル禮拜堂ノ落成式ヲ見ルコトヲ得タリ、加之具羅斯哈カーノ市府ヲ組織シ定期市ヲ開設スル等ノ事業皆ナレジョセリンノ手腕ニ依ラスンハアラス、斯クテ彼ノ大變亂ノ曙光僅カニ發セントスル時マデハ此禮拜堂漸次其盛大ヲ加ヘ來リシナリ、彼ノ大變亂ニ際シ最モ活潑ナル改革家ノ一人ヲロバート、ブレカールダート云フ、ロバートハ初代ノ大教正ニシテ其統治權ヲ有スルコト、一千四百八十四年ヨリ一千五百八十年ニ至ルマテ二十四年間ニ亘リシナリ、既ニシテ彼ノ大變亂後ハ此禮拜堂、市會ノ所轄ニ歸シ、具羅斯哈ノ新教々區ノ教會堂トシテ使用セラル、コト、ナレリ、後此禮拜堂ニ就テノ變遷ハ屢々ニシテ一々枚舉スルニ遑アラス

既ニ寺院アリ又タ定期市ノ開設セラル、具羅斯哈市ハ第十五世紀ノ前半マテ左マテ著明ナル事變ナク尋常ノ步調ヲ以テ進ミ來リシナリ、然ルニ此第十五世紀ノ前半ニ次テ更ニ新紀元ヲ啓クヘキ事實出現シ來レルナリ、大學ノ創設セラレタルコト是レナリ、即チ一千百十年ニ於テ聖、アンドリウ氏ハ時ノ法王ヨリ東部具羅斯哈ニ一ノ大學ヲ創設スヘキ命令ヲ受ケタリ、然ルニ具羅斯哈一般ノ希望スル所ハ西部具羅斯ニ之ヲ設立セント欲スルニアリ斯クテ當時ノ教正ウヰリアム、タアンポール氏カ此事ニ關シ法王ニコラス五世ヘ

請願シタル結果トシテ、一千四百五十年ニ至リテ西部具羅斯哈ヘ大學設置ノ許可ヲ得タリシナリ、抑モ此大學設置ノケ所ト云ヘルハ最モ適當ノ好位置ナリシナリ、他ナシ氣候好クシテ人ノ健康ニ適シ食料豐饒ニ其他人ノ需要スヘキモノ一トシテ備ハラサルナケレハナリ、而シテ此新設大學ノ管理ハ總テ教正ノ手ニ屬スルモノトス、然レトモ其創設ノ當時ニ在リテハ彼ノ具羅斯哈禮拜堂ノ一部分ニ於テ教授ヲ爲スニ過キサリシカ、漸次盛況ヲ來シテ此禮拜堂ヲ離レテ更ニ校舍ヲ建設スルコト、ナレリ、乃チ一時ハロツテンロウニ於ル從來ノオールド學校ヲ利用セシカ、後數年ナラスシテハイ、ストリートノ東側ニ移轉シ茲ニ校舍ヲ新築セシカ、以來數多ノ増築アリテ今日ニ至ルマテ存續シ居レリ、而シテ彼ノ大變亂ニ際シテ斯ル大學モ一時ハ廢墟ノ姿ナリシカ、一千五百七十年即チゼームス六世ノ尙ホ幼稚ノ時代ニ當リテ再興シタリ、但シ此時ハ基督新教ニ基キテ設立セラレタルモノト知ルベシ、而シテハイ、ストリートニ於テ建設セラレタル此大學ハ、一千六百三十年頃ヨリ一千六百四十年ニ至ルノ間募集サレタル寄附金ヲ以テ建築サレタルモノニシテ、一千八百七十年ニ至ルマテハ、尙依然トシテ同所ニ存立シ居タリシナリ、而シテ一千八百七十年ヨリ一千八百七十一年ニ跨カレル冬季ノ國會開設期ニ於テ此大學ノ事業ヲギルモンソーヒルニ移スコトニ議決セリ、同所ハ高尚ニシテ且ツ廣大ナル所ナルニモ拘ラス、學術講習、理化ノ試験及病院事業ヲ實行スルニ尙ホ且ツ狹隘ヲ感スルヨリ、漸次増築シテ近世ノ教育事業ノ必要ニ應スルコト、ナレリ

具羅斯哈ノ進運趨勢ニ影響ヲ及ホスヘキ外界ノ刺撃一ニシテ足ラスト雖モ中ニ就テ亞米利加ノ發見程甚タシキモノハ未ダ曾テアラサルナリ、具羅斯哈ハ從來世界ノ西端ニ於テ自カラ文明ノ中心トシテ大ニ誇リ居

タリシナリ然ニコロンブスノ一行カ亞米利加ヲ發見セシヨリ頓ニ其有様ヲ一變セシメタリ、從來ハ人ノ注意觀察スル所ノ區域甚タ狹隘ナリシモ亞米利加發見以來眼界ノ達スル所一層廣大トナレリ、即チ狹隘ナル内地ニ跼踏タランヨリ寧ロ廣漠タル新發見地ニ移住セント欲スル念慮ヲ起サシムルニ至レリ、亞米利加發見ノ當時ハ具羅斯哈ノ人民何等ノ感シヲ起サ、リシカ、幾千モナク其真相ヲ知ルニ及ンテ太平洋ヲ横キリテ新大陸ヘ移住セント欲スルモノ甚タ多クシテ其狀恰モ潮流ノ推シ移ルニ異ナラサリシナリ、故ニ具羅斯哈ノ人民ハ一方ニ於テ文明ノ中心タル位置ヲ失ヒシト雖モ他方ニ於テ大ニ得ル所アリト謂フヘキナリ、具羅斯哈市ハ一千六百九十年ニ至ルマテ僧侶ノ支配ヲ受ケ居タル痕跡アルヲ免カレサリシナリ、即チ同年ニ至リテ全ク其痕跡ヲ絶ツコトヲ得タリ、而シテ其茲ニ至リシ所以如何ト云フニ國王ウヰヰリアム及女王マリーノ名ヲ以テ具羅斯哈市會ニ一種ノ權能ヲ授與セラレタルコト是レナリ、一種ノ權能トハ他ニアラス市會自カラ地方官市吏員及警官等ヲ選舉シ得ヘキ權能ヲ有スルコト是レナリ、而シテ此等ノ權能ハ他ノ市府カ有スル權能ト毫モ異ル所ナキナリ具羅斯哈市會ニ斯ル權能ヲ與フルコトハ國會モ亦協贊ヲ與ヘタルナリ、具羅斯哈ノ良民カ斯ル權能ヲ得ント欲シテ百五十年間苦心慘憺ノ結果茲ニ初メテ獲得シタルナリ、是レ忠實熱心以テ基督新教ヲ幫助シテ之ヲ成功セシメタル報酬ト謂フヘキモノナリ、曾テ羅馬加登律幾教ノ全盛時代ニハ僧侶ノ權力極メテ熾ンナリシカ故ニ市會ノ權力萎靡トシテ振ハス、常ニ僧權ニ壓セラレタリシナリ、而シテ彼ノ基督新教勃興ノ大變亂ニ次テ社會ノ秩序大ニ混亂シテ殆ト收拾スヘカラサル有様トナレリ、斯ル大混亂ニ際シテ市ノ役員等ハ他ノ羈絆ヲ脱シテ全ク獨立センコトヲ企テタリ、然レトモ斯ル

計畫ハ容易ニ其功ヲ奏スヘキモノニアラス、是レ他ナシ具羅斯哈市ヲ支配スルノ權能久シク僧侶ノ手ニ委ネラレテ、容易ニ之ヲ他ニ移スコト能ハス、彼ノ市吏員ヲ任命シ市ノ裁判權ヲ有スルカ如キハ僧侶世襲的トナリ居タレハナリ、而シテ市吏員等ヲ選舉スルノ權能カ漸次市會ノ方ヘ移リ來リシモウヰリアム王及マリーノ女王ノ御裁可ヲ經ルマテ他ノ市府ト均シク完全ナル權能ヲ得タルモノト云フヲ得サリシナリ、茲ニ人アリ第十六世紀及第十七世紀ニ於ル具羅斯哈ノ有様如何ヲ知ラント欲セハ、今日ノセント、アンドリウスニ髣髴タルモノト想像セヨ左スレハ大過ナカルヘシ、十七世紀ノ半ハ頃ニ具羅斯哈ノ人口若干アリシヤト云フニ、殆ト一萬五千人ハカリナリシカ、當時南部地方ヨリ旅客漫遊家カ多ク集ヒ來リテ稱讚セシ所ナリキ、曾テタツカート云ヘル人アリ、彼レハ蘇格蘭ノ國稅及海關稅取調委員トシテ具羅斯哈ニ來リシコトアリ、一千六百五十六年ニ係ル彼レノ報告書中ニ左ノ如キ記事アリ、曰ク「具羅斯哈市ハ地味豊饒ニシテ人ヲ喜ハシムルニ足ルヘク、全市ハ四街ヨリ成レルモノニシテ正十字形ヲ成シ其家屋ノ建築ノ模様ト云ヒ、商業ノ有様ト云ヒ、蘇格蘭國中最モ著明ナル市府中ノ一タリト、又タフランクスト云ヘル人ノ筆ニ成レル『北部紀行』ト題スル一書アリ、其書中ニ具羅斯哈ノ事ヲ記載シ居レリ、此書ハ一千六百五十八年ノ發兌ニ係ルモノニシテ、殊ニフランクスト氏ハ當時美文家ノ聞ヘ高キ人ナルカ、今マ具羅斯哈ノ事ニ係ル一部分ヲ摘記スレハ左ノ如シ、曰ク「具羅斯哈市ハ壯麗開活ナル所ナリ、好シ其全部カ然ラストスルモ兎ニ角諸會社ノ建物ハ然カ云ハサルヲ得ス、廣大ニシテ美麗ナル市街ヲ成セルモノ四箇所アリテ共ニ相聯ナリ居レリ、而シテ其中央部ノ市街ニ段富ナル市場アリ、之ニ隣接シタル市街ニ國ノ政廳アリ、其構造ノ壯

大雄偉ニシテ且秀麗道美ナル殆ト間然スル所ナク、其上層ヨリ下底ニ至ルマテ巧妙絶美ナル彫刻物ノ粲然タルモノアリ、羈客旅人ヲシテ讚嘆措ク能ハサラシム、市役所ノ如キ美ハ美ナリト雖モ之ニ比スレハ尋常普通ノ建物タルニ過キス、之ヲ概言スレハ美ニシテ間然スル所ナキハ其西部ニ在リテ、北部ノ企テ及ハサル所ナリト

斯クテ具羅斯哈ハ徐々トシテ進歩シ來リ第十七世紀ノ末ツ頃ニ至リテハ商業上最モ重要ナル一市府トナリ且ツ蘇格蘭中何事ニ限ラス自カラ先導者ノ位置ニ立チテ行動スルノ有様トナレリ乃チ商業家ハ富ノ増殖スルニ從ツテ事業ヲ計畫スルノ氣象益々熾シナルニ至レリ具羅斯哈ノ進運スルノ如クナルニ加ヘテ一千七百七年ニ於テ英國ト合併シテ合衆王國ノ一部トナレリ、而シテ此合併ノ結果トシテ具羅斯哈ノ商業ハ益々發展シテ其勢力ヲ加ヘ來レリ此合併ニ依リテ具羅斯哈程大利益ヲ占メタルモノハ、大英國中決シテ其他ニアラサルナリ然ルニ此合併ノ議ノ起リシ當初ハ具羅斯哈ノ輿論トシテ此合併ヲ喜ハス、其喜ハサル主意ニ曰ク「抑モ此合併トハ何ソヤ、我國ノ獨立ヲ失フニ過キササルナリ、即チ我カ純清ナル古國カ舊來ノ敵ノ足下ニ屈服スルモノニ外ナラサルナリ、且ツ富者及勢力家ハ皆ナ倫敦ニ移住シテ我國ヲ貧弱ナラシムルニ過キササルナリ合併ハ斯ル損害アリテ毫セ益スルモノニアラサルナリ、輿論既ニ斯クノ如クニシテ忽チ暴民起リ具羅斯哈ノ十字街頭ニ於テ、彼ノ合併ノ條約書ヲ燒キ盡シテ萬歳ヲ唱ヘ政廳ヲ破壞シ其他アラユル暴動ヲ逞フシ具羅斯哈市ハ數週間暴民ノ手ニ歸シタリ然レトモ、畢竟スルニ是レ無智ノ暴民ノ所爲ニ過キス決シテ永續スヘキモノニアラス又々齒牙ニ掛クヘキモノニアラス其後僅カニ數年ヲ經スシテダン、エル、デ、ホ、ウ、氏

カ具羅斯哈ノ事ニ就テ左ノ如ク記述セリ、曰ク彼ノ蘇格蘭カ英國ニ合併セシハ、大ニ具羅斯哈ノ利益トナレリト言ハサルヘカラス、蓋シ此合併ノ爲メニ具羅斯哈程利益ヲ得タルハ、合衆王國中曾テ其比ヲ見サル所ナリ、尙ホ之ヲ細言センニ具羅斯哈ハ此合併ノ爲メニ商業ノ一新路ヲ啓キ來リシナリ、蘇格蘭ノ英國ニ合併シタルハ蘇格蘭人ヲシテ亞米利加ノ植民地ニ入ラシムヘキ門戸ヲ開キタルニ異ナラス、具羅斯哈商人ノ商業上ノ銳敏ナル決シテ斯ル好機會ヲ空シク逸セシムヘキモノニアラス、縱令ヘ最初ノ程ハ愚民ノ妨碍アリシト雖モ此等ノ商人ハ事物ノ真相ヲ見定ムルノ鑑識アルカ故ニ、亞米利加ト通商貿易スルコトノ利益アルコトヲ知ルニ至レリ、而シテ今日ニ至リテハ此等ノ商人カ、亞米利加ノヅハ、ニア、ニウ、イン、グ、ランド及其他英國ノ殖民所ヘ向ケテ、年々商船殆ト五十艘ヲ出帆セシムルニ至レリ、蘇格蘭ノ英國ヘ合併スルノ利害得失如何ハ斯クノ如ク其レ明ラカナルニアラスヤ
蘇格蘭ノ英國ヘ合併シタル時期ハ、取リモ直サ具羅斯哈ヲシテ二様ノ現象ヲ生セシメタルモノト云ツヘキナリ、其一ニ曰ク從來具羅斯哈ノ歴史ハ國民全般ニ關スルト云ハンヨリ、寧ロ一地方ニ關スルモノニシテ其重モノハ靜寧ナル禮拜堂ト、教育ニ關スル大學トニ過キサリシナリ、然ルニ此合併ヨリ斯ル歴史ハ其終ヲ告ケサルヲ得ス他ノ一ニ曰ク此合併ノ爲メニ具羅斯哈カ世界ノ商工業ノ中心點ノ一トナルヘキ進路ニ向ヒシコト是レナリ、試ミニ此合併當時ニ於ル具羅斯哈ノ有様如何ヲ見ヨ、其人口ハ僅カニ一萬三千人ニ過キサリシナリ、殊ニ第十七世紀ノ後半ニ際シテ宗教上及政事上ノ騷擾アリ之カ爲メニ管タニ其進路ヲ沮碍セラレタルノミナラス、人口ヲ減少セシメタルコトモ亦甚ハシカリシナリ、然レトモ彼レノ合併以

後ハ全ク之レト反對ノ現象ヲ呈セリ、即チ其ノ人口ハ漸次増加シ來レリ而シテ其ノ人口増加ノ速度如何ト云フニ、最初ノ程ハ徐々トシテ拂々シカラサリシモ、年月ヲ經ルニ從ツテ其速度一年益々加ハリ來リ、第十九世紀ノ前半ニ至リテハ其増加ノ速度ノ甚ハタシキコト、一足飛トモ疾走トモ殆ト形容スルニ物ナキマテニ至レリ、視ヨ其人口一千七百四十年ニ於テハ僅カニ一萬七千人ナリシモ、其レヨリ四十年後ニ至リテ増加シテ四萬三千人トナレリ、尙ホ其後一千八百一年ニ於テ合衆王國ノ官報ニ掲載サレタル人口表ニ據レハ、具羅斯哈ノ人口大ニ増加シテ八萬三千七百六十九人ニ達シ居タリ、而シテ尙ホ一百年ヲ經過シタル時即チ一千九百一年ニ於テハ具羅斯哈市ト云ヘル區域内ノミノ人口ニテモ、尙ホ且ツ七十六萬四百二十三人ノ多キニ及ヘリ之ニゴーズハン、パーチック及キンニング、パークノ人口ヲ加ヘナハ、合計九十萬四千九百四十八人トナレリ、但シ此等ノ箇所ハ特別ノ市政ノ下ニアリト雖モ、具羅斯哈市中ニ屬スルモノトシテ實ニ妨ケナカルヘシ、又々一千九百一年以後具羅斯哈市カ若干ノ發達アリシモノト見做シ、之ニ加フルニ市役所ノ管轄ニ屬セサル市外ノ人口ヲモ以テセン乎、今日ニ於テ具羅斯哈ノ人口一千萬人以上ナルハ亦タ疑フヘキニアラサルナリ

右ニ述ヘタルカ如ク具羅斯哈ノ人口二世紀ノ間ニ於テ一千萬ノ多キニ達シタルハ、元ヨリ其原因ナクンハアルヘカラス、而シテ其原因彼ノ合併後ニ至ルマテハ尙未タ充分ノ活動ヲ爲スコト能ハサリシナリ、試ミニ彼ノ合併以前ニ於ル蘇格蘭ノ有様如何ヲ見ヨ、蘇格蘭ハ獨立王國タルノ故ヲ以テ英國ノ植民地及附屬地若シクハ其他外國ト通商貿易ヲ爲スコト能ハサリシナリ、然ルニ英國ト合併セシ以來其有様全ク一變セリ即チ英國内ニ於ル他ノ市府ト均シク何レノ方面ニ向ツテモ自由ニ通商貿易ヲ爲シ得ルノ途啓ケ來レリ、而シテ今マ具羅斯哈ヲシテ商業上ノ一大進歩ヲ爲サシメント欲セハ、必ラスヤ之ヲシテ海港貿易場タラシメス、ハアルヘカラス、既ニ第十七世紀ニ於テ此方面ニ向ツテ何等カノ計畫アリタリシナリ、而シテ此具羅斯哈市ト海洋ヲ航スヘキ船舶ノ通行スヘキ水利ノアル所トノ距離ハ殆ト十五哩アリ、但此十五哩ノ間ト雖モ全ク水利ノ便ナキニアラスサレトモ、其水利小流ニシテ僅カニ數噸積ノ小舟ノ通行シ得ルニ過キサリナリ、第十六世紀中此小流ヲシテ一層深カラシメンカ爲メニ浚渫工事ヲ起シタリシモ其ノ結果ノ見ルヘキモノナカリシナリ、而シテ一千六百六十八年ニ至リテチャーレス二世ノ裁可ヲ得テ目今ノポルトクラスゴーニ於テ具羅斯哈ノ爲メニ築港工事ヲ起スコト、ナレリ然レトモ此工事ノ結果失敗失望ニ歸シテポルト、グラスゴウ(具羅斯哈港ノ義)ハ空シク名ノミトナレリ、而シテ一千六百八十八年ニ於テブルミールロウニ小規模ノ埠頭ヲ築キタリシモ、一千七百五十九年ニ至ルマテハ、此河ヲ浚渫シテ水底ヲ深カラシムル事ニ就テハ左マテ重キヲ置カサリシナリ、然ルニ一千七百五十九年ニ至リテ國會ニ於テ左ノ如キ事ヲ議決シタリ曰ク「ブルウミール河ノ流域中ダム、バック、フェルドヨリグラスゴー橋ニ至ルマテノ河床ヲ清潔ニシ餘リニ彎曲セル部分ヲ直線ニシ河幅ヲ廣クシ以テ充分ニ改良ヲ加フヘキ事」ヲ議決シタリ、爾來水底ヲ深クシ河流ヲ改良スル事業ハ繼續セラレ、海港ノ規模モ亦タ是レ絶ヘス擴張策ヲ取リ居タリシナリ、而シテ此等ノ事業ハ皆ナ是レ「クワード、ナビケーシン、トラスチー」會社ノ受ケ負ヘルモノニシテ、同會社ノ資本金總額ハ目今殆ント八百萬封度ニ達セリ、而シテ此河ノ流域ヲ通シテ減水ノ際航行シ得ヘキ最底度ノ深サハ二十

二、呎六吋ナルカ、増水ノ場合ニ於テハ此深サニ加フルコト十一呎ニ及ヘリ、又タ此會社ノ年々ノ歲入如何ト云フニ一千八百八十年ニ於テハ三千三百封度ナリシカ、一千九百年ニ至リテハ四十四萬一千封度ニ達シタリ而シテ目今ハ尙ホ増加シテ五百萬封度以上トナレリ

抑モクリード河ヲ浚渫シ其水底ヲ深クシ以テ船舶ノ航行スルニ不便ナカラシメン乎、是畢竟スルニ具羅斯哈ノ商工業ヲ發達セシムル門戸ヲ開クヘキ鍵ニ外ナラサルナリ、之ヲ細言スレハ此河ノ淺深ハ商工業ノ盛衰ニ大關係ヲ有スルモノナリ、此河深クシテ舟楫ノ便良カラシム乎、商工業ノ發達進歩期シテ待ツヘキナリ之ニ反シテ水淺クシテ舟ヲ行ルニ不便ナラン乎、其商工業決シテ振興スヘキモノニアラサルナリ、而シテ此クリード河ニ始メテ歐羅巴ノ小汽船ノ進水式ヲ試ミシハ實ニ一千八百八十二年ナリシ、此小汽船ハ「コメット」ト命名シタルモノニシテ茲ニ記憶ニ價スヘキ新紀元ヲ開キタルモノト謂ツヘキナリ、後チ幾時ナラスシテ數多ノ小汽船續々此ノ河ニ浮ヒ來レリ、而シテ此ノクリード河上ニ基礎ヲ定メタル工業ハ爾來會テ衰體ヲ現ハシタルコトアラサリシナリ即チ彼ノ造船業是レナリ抑モ此造船業タルヤ當ニ具羅斯哈及クリード河畔ノ最重要ナル工業タルノミナラス、世界中最も大ナル造船業タラスンハアラス、競争者甚ハタ多カリシニモ拘ラス、世界中最大ノ造船業タルハ亦タ疑フヘキニアラサルナリ、一千九百二年ニ於テクリード造船業ノ報告書ナルモノ世ニ出テタリ今マ此報告書ノ記事中ニ左ノ如キ事實アリ、曰ク「今日マテ造案シタル船舶ハ三百七十二隻ニシテ、此總噸數五十一萬六千九百七十七噸ナリシナリ、而シテ此等ノ船舶ノ馬力ハ總計四十五萬八千八百七十馬力ナリシナリ」其盛大ナルコト想像スヘキノミ

造船業ニ次テ第二ニ重要ナル工業ハ具羅斯哈ニ於ル蒸氣器械製造業是レナリ、北英蒸氣器械製造會社ハ哈界ニ於ル同業會社中ノ最大ナルモノト謂ツヘキナリ、此會社ハ一千九百三年ニ於テ同種類ノ三大會社合併シテ組織セラレタルモノナリ而シテ此大會社ノ外ニモ亦タ廣大ナル建築及修繕事業ヲ營ナメルモノアリ、「カレドニアン」及「北英鐵道會社」是レナリ、此外器械製造業ヲ營メルモノ少ナカラス、中ニ就テ最も高ク一頭地ヲ拔キタルハ紡績器械製造業(シンカー會社)ノミニテモ七千人ノ職工ヲ使用セリ(管類製造業及橋梁建築業等是レナリ)具羅斯哈ニ於ル器械製造業并ニ造船業カ共ニ善ク發達成功セシハ全ク其原因ナクンハアルヘカラスラナークシイアーニ於ル石炭坑ト鐵山トニ歸セスンハアラス、而シテ此等ノ礦脈ハ具羅斯哈市街ノ下層ニ瀰蔓シ居レリ、ラナークシイアーノ石炭坑及鐵山ハ蘇格蘭國中最モ豊富ニシテ、且ツ其區域甚ハタ廣大ナリシナリ、具羅斯哈ノ周邊ニ於テ石炭發掘ヲ爲セルコト三百年以上ニ及ヘリ、而シテ此王國中他ノ部分ニ於ケル炭坑ヨリ之ヲ發掘スルノ量甚ハタ多キカ故ニ、之ヲ掘リ盡スモノトスレハ、他ノ部分ヨリ一層速カニ掘リ盡サルヘキモノナリ、目今ラナークシイアーヨリ年々發掘スル石炭ノ量ハ一千七百萬噸以上ニ達セリ、輓近ノ計算ニ據レハ既ニ採掘セラレタル炭量八億四千一百萬噸ノ高ニ上レリ、而シテ尙ホ將來駝カニ採掘セラルヘキ見据ノ付キタル炭量十億噸アリ、之ニ加フルニ炭層薄クシテ稍ヤ不駝ナルモノ八億八千五百噸アルヘシト云フ斯クテ具羅斯哈ハ半世紀間世界中製鐵事業ノ重モナル中心點トナリ居タリ然ルニ當今ニ至リテ此地方ノ鐵礦ヲ採掘シ盡シ、且鐵及鋼鐵ノ製造法一變シタルヨリ、茲ニ止ヲ得ス西班牙等ヨリ鐵ノ生礦ヲ夥シク輸入スルコト、ナレリ而シテ具羅斯哈ハ世界中製鐵事業ノ中心點タル地位ヲ失フタリ

河水ノ便、石炭及鐵礦ノ富源等是レ皆ナ具羅斯哈ヲ膨脹隆盛ナラシメタル重モナル動力ニ相違ナカルヘシ然レトモ之ヲシテ膨脹隆盛ナラシメタルモノ管ニ此等ノ動力ノミニ止マラス、尙ホ其他ニ動力ナカルヘカラス請フ是レヨリ水利石炭等以外ノ動力ノ事ニ就テ聊カ論述スル所アラントス、曰ク具羅斯哈地方ノ降雨最モ甚タシキコトハ、既ニ世人ノ善ク知ル所ニシテ今更ニ贅スルヲ要セス、既ニ降雨夥シキカ故ニ水流甚ハタ多ク、水ノ供給極メテ潤澤ニシテ且ツ古代ニアリテハ其水純潔ナリシナリ、之カ爲メニ晒白事業ヲ營ムニ付テハ利便甚ハタ少ナカラス、既ニ晒白事業起レハ之ニ伴フテ更紗ノ形付業生シ、又タ土耳其紅色ノ染物業モ起リ、之ニ關聯シテ數多ノ化學的製造業モ自カラ勃興シ來レリ、尙ホ此等ノ事業ト關係聯絡シテ「アルカリ」製造紡績機業等アリ、此内紡績事業等ハ往時此地方人民ノ重モナル職業ナリシト知ルヘシ又此外ニ大ナル水力利用ノ事業アリ、空シク看過スヘキモノニアラス、恰カモ前世紀ノ半頃彼ノカトリン湖及其他バースシャイアー湖ヨリ莫大ナル水量ヲ導キ來リテ數多ノ化學的工業ニ利用シタルコト是レナリ、而シテ此等ノ水ノ純清ナルコト恰カモ蒸溜水ニ異ナラス斯ル良質ノ水ニシテ其源流ハ無盡藏ナリ、數多ノ工業上ニ與フルノ利益果シテ如何ソヤ、得テ想像スヘキノミ以上掲ケ來レルモノハ皆ナ是レ具羅斯哈ヲシテ膨脹隆盛ナラシメタル動力ニアラスヤ

而シテ最後ニ臨ンテ默止スヘカラサルコトアリ、他ニアラス、具羅斯哈ヲシテ富有繁榮ナラシムルニ與カリ力アルモノヲ述ヘント欲スルコト是レナリ、之レヲ概言スレハ具羅斯哈人民ノ勤勉忍耐ノ氣象ニ富ミ沈毅慎重ノ態度ヲ有スルニ歸セスンハアラス、具羅斯哈何物ソ世界果シテ何物ソゼーム、スワット、ジョセ

フブラク、老德ケルグ井ン等ノ工風發明アリテ成リ立テルモノニアラスヤ、此等ノ人ノ功德ノ大ナルコト得テ價スヘカラサルナリ、此等ノ大偉人ニ繼テ起レル人ニシテ其功德ノ及フ範圍稍ヤ狭小ナルモ、亦タ是レ具羅斯哈及人類ヲ段富繁盛ナラシムルニ就テ與カリ力アルモノ甚タ少ナカラサルナリ、中ニ就テ最モ英邁卓越セル人ヲ掲ケ來ランカダビデ、デールハ行商製造家、土耳其紅色ノ染物師銀行家及傳道師(ローバローウエン)ノ繼父ニ當ル)タリ、化學的工業界ニテハチャールス、イントス、チャールス、テンナント及ウオルター、クリウムアリ、製鐵工業界ニテハミウセツト、ピウモン、ネールソン、ジョンウルソン及ペールド一族アリ、造船工業界ニテハロバート、ネービアー、ジョンエルダー及ゼームス、レードアリ航海業ニ於テハヘンリー、ベル、ダビデ、ネービアー及セローデ、バーンスアリ、皆ナ是レ具羅斯哈及世ニ福利ヲ與ヘタルモノナリ、斯ル功德アル人ノ子孫永ク我人民ノ中ニ住シ、具羅斯哈ノ商工業ノ繁盛ナル昔語ヲ無窮ニ維持スルノミナラス、益々其進歩發達ヲ見セシメンコトヲ願ハシケレ

美術展覽所及博物館

抑モ美術カ具羅斯哈市ト云ヘル公共團體ノ保護ヲ受ルコト、ナリシハ十七世紀ノ往時ニ係レリ故ニ今マ美術展覽所ノ事ヲ記述セント欲セハ、勢ヒ十七世紀ノ往時ニ溯ラサルヲ得ス、請フ是レヨリ斯ル往時ニ溯リテ美術展覽所ノ由リテ來ル所ヲ述ヘント欲ス一千六百七十年ニ於テ具羅斯哈市會ハ左ノ事柄ヲ議決シタリ曰ク「市ノ所用ニ供センカ爲メ倫敦ヨリ國王チャールス第一世及チャールス第二世ノ御肖像ヲ取り寄スヘキ事」ト而シテ後幾時ナラスシテチャールス第二世ノ御肖像ハ到着シタルモ其父君ナルチャールス第一世

ノ御肖像ハ一千六百七十七年マテハ送附セラレサリシナリ、即チ同年ニ右御肖像到着シタルヲ以テ市會議事堂内ニ懸ケラレタリ、此議事堂壁間ノ粧飾物トナレル肖像ノ内ニゼームス第一世及同六世ノ肖像モ見受ケラル、ニ至レリ、而シテ其後代々ノ國王ノ肖像モ列ネル、ニ至レリ、但シ代々ノ御肖像必ラスシモ其御在世中ニ得ラレタルモノニアラサルナリ、斯クノ如クシテ國王御代々ノ御肖像カ市會議事堂ニ掲ケラレテ惟一ノ粧飾トハナレリ、即チ其御肖像ハゼームス第六世ヨリゼローデ第三世ニ及ヘルナリ内セヨーデ第三世ノ御肖像ハ一千七百六十四年ニ得ラレタルモノナリ、此等ノ國王ノ御肖像以外ハ只タ僅カニ一ノ肖像カ掲ケラレタルニ過キササルナリ是レハアーデル公爵ノ肖像以外ニハ只タ僅カニ一ノ肖像カ掲ケラレタルニ過キササルナリ是レハアーデル公爵ノ肖像ナリ公爵ハ具羅斯哈市ニ對シテ功勞少ナカラサリシ人ナリ、斯クテゼローデ第三世ノ長キ御在世カ其終ヲ告ケタル時、市會ノ舊議事堂ハ取り拂ハレ新議事堂カ設ケラレタリ、然ルニ此新議事堂ニハ國王ノ御肖像カ其粧飾トシテ掲ケラレサリシナリ

爾來一世紀ヲ經過シテ後市會議事堂カ美術保護ノ事ニ就テ再ヒ活動スルコト、ナレリ一千八百五十五年即チ彼ノ世ニ有名ナルクリミアノ戰爭方ニ其終ヲ告ケナントスル時具羅斯哈市會カ美術保護ノ事ニ關シテ大ニ力ヲ盡スコト、ナレリ即チバイリー、アーチバルト氏カ數多ノ繪畫ヲ蒐集シテ既ニ之ヲ陳列スヘキ室ヲモ建設シタルニ會シ市界ハ大ニ此舉ヲ保護獎勵スルノ方針ヲ取り、遂ニ一千八百五十六年五月十五日廣ク繪畫ヲ集メテ其展覽所ヲ設立スヘキ事ヲ議決シタリ、且ツ是等ノ場所ト相關聯シテ廣大ナル建物ヲ起スコト、セリ而シテ此等ノ事業ニ要スル總費額ハ四萬四千五百封度ナリ、内建築費用二萬九千五百封度、美術

品買入費壹萬五千封度ナリ、而シテ其ノ美術品中神品尤物少ナカラス、今日之レヲ評價スレバ僅カニ其ノ一品ニテモ、當年蒐集ノ美術品全般ノ總價格ニ相當スヘキナリ、其ノ美術品ノ巧妙ナル得テ想像スヘキノ

ミ

右ハ具羅斯哈市ノ美術展覽所及博物館設置ノ創始ト謂フヘキモノナリ、右ニモ述ヘタル如クアーチバルト氏ハ既ニ自己ノ力ヲ以テ數多ノ繪畫ヲ蒐集シ且ツ之カ陳列所トシテ三棟ノ回廊ヲモ特ニ建設シタリ、而シテ氏ハ元來公其心ニ富メル人ニシテ、其美術品及建物ヲモ併セテ具羅斯哈市ニ獻納スルコト、セリ、其方法ハ死後遺物トシテ獻納スルノ主意ニシテ、然カスヘキ遺言書ヲ生前ニ作リテ夫々手續ヲ了シタルハ一千八百五十三年ナリシナリ、然ルニ氏ハ其翌年即チ一千八百五十四年ニ於テ頓死シ、且ツ其家計上其ノ遺言書ノ如ク實行スルコト能ハサル事情アルヲ如何セン此ニ於テ乎市ハ右蒐集サレタル美術品等ヲ買ヒ取ルコト、セリ、然レトモ其ノ代價ノ極メテ低廉ナルコト、買ヒ取ルト云ヘルハホンノ名ノミナリ、既ニ斯ル有様ナレハ其美術展覽所管理等ノ行キ届カサリシハ言ヲ要セサルナリ、『而シテ最初ハアーチバルト美術展覽所』ト云ヒ而モ今ハ改メテ『市立美術展覽所』トナレリ、後殆シト半世紀間ハ此名目ノ下ニ在リテ依然元ノ所ニ繼續シ居タリ

此美術展覽所カ市ニ買ヒ取ラレシヨリ十一ヶ年ヲ經過セシ頃、個人トシテ展覽所ノ一部分ニ住居シタル某カ立退ヲ命セラレタリ、但シ下層ニ居レル店商人ノ如キハ此限ニアラス、而シテ其ノ上層ノ方ニ至リテハ公衆ノ展覽ヲ便ナラシメンカ爲メニ、適當ニ改築シタリシナリ時又タ各種ノ教育上及理科學的協會ヘ貸與

スルコト、セリ、中ニ就テアーチバルド氏ノ蒐集ニ係ル繪畫ノ掲ケアル回廊ハ公共的筵會集會、慈善的物
品販賣所及社會的事業ノ爲メニ貸與セラル、コト少ナカラス

彼ノアーチバルド氏ノ蒐集サレタル繪畫等カ具羅斯哈市會ノ所有ニ歸セシ後久シキ間、市會ハ此等ノ美術
品ノ事ニ關シテ極メテ冷淡無頓着ナリシナリ、然ルニ市會カ斯克冷淡無頓着ナルニモ拘ラス公共心ニ富メ
ル良民カ或ハ遺言ニ依リ極メテ貴重ナル美術品ヲ遺物トシ寄附シ、或ハ普通ノ寄贈トシテ繪畫ヲ寄贈シ來
ルモノ少ナカラサルナリ、蓋シ此等ノ良民ハ其ノ心中ニ左ノ如キ觀念ヲ抱キ居タレハナリ、曰ク具羅斯哈
市ニ斯ル美術展覽所アルハ、一ハ他ノ者ヲシテ具羅斯哈ヲ信セシムルニ足ルヘク、一ハ具羅斯哈ノ人民ノ
心志ヲ愉快ナラシメ且ツ教訓ノ一助トモナルヘキモノナリ、故ニ吾人ハ出來得ヘキ丈ケ之レヲ保護シ之カ
擴張策ヲ講セサルヘカラス、而シテ斯ル篤志家中ニユウイング氏トグラハム、ギルベルト嬢アリ共ニ是レ
遺言ニ依リテ繪畫ヲ遺物トシテ美術展覽所ニ寄附セシモノナルカ、中ニ就テグラハム、ギルベルト嬢ハ其
夫ジョン、グラハム、ギルベルト氏カ畫工タリシノ故ヲ以テ、當ニ其手ニ成リシ繪畫數多アリシノミナラス
古名家ノ名作ヲモ蒐集シタルヲ併セテ寄贈シタリシナリ

具羅斯哈市カ彼ノグラハム、ギルベルト嬢ヨリ遺物トシテ數多ノ繪畫ノ寄附ヲ受ケシ後、幾時ナラスシテ
自カラ大ニ反省スル所アリタリ、即チ左ノ如キ觀念ヲ惹キ起シ來レリ、曰ク今マ市ノ所有トナリ居レル繪
畫ハ甚ハタ貴重ナルモノナリ、而シテ自分達ハ公衆ヨリ依托ヲ受ケテ以テ之ヲ管理シ居ルモノナリ、故ニ
充分ニ之ヲ保護シ之カ發展ヲ計ルハ吾人ノ責務ナリト云ハサルヘカラス、此ニ於テカ市會自カラ決議ヲ爲
シテ曰ク、既ニ蒐集サレタル繪畫ヲ適當ニ利用スルノ方法如何ニ就テ外部ノ適當ナル有力家ノ意見如何ヲ
聞知センコト是レナリ而シテ此決議ニ基キテ先ツ取リ敢ヘス國立蘇格蘭大學校々長ダニエル、マクネーウ
イリアム、フニツ、ドーグラス、ロバート、クリンレンス、三氏ニ依囑シテ美術展覽所ノ繪畫ヲ審査シ、

眞ニ美術的價值アルモノ果シテ幾許アルヤヲ報告セシムルコト、セリ、斯クテ此等ノ審査委員ハ其調査
ノ結果ヲ報告シテ曰ク、調査ノ結果トシテ陳列品ノ多數カ美術的價值ヲ有スルコトヲ見出セルハ吾人カ大
ニ満足スル所ナリ、但シ其内ノ若干品ハ左マテ價值ナキモノナレハ從來備付ノ目錄ヨリ抜キ取ランコトヲ
要スト、而シテ更ニ陳列品ノ索引簿ヲ調製シテ右委員ノ閱覽ニ供セシニ何レモ異議ナク承認シタリ、斯ク
テ此索引簿完成ヲ告ケタル時、繪畫鑑定家トシテ世評高キコペンソン氏ニ依囑シテ細査セシメシカ、同氏
ノ意見ニテハ先キノ審査委員カ價值ナシトテ排除シタル分モ尙ホ是レ貴重スヘキモノナレハ依然トシテ舊
ノ如ク目錄中ニ存シ置キテ然ルヘシト云フ

而シ爾來具羅斯哈市ハ美術展覽所及其内容ニ就テ舊ニ倍シタル注意ヲ拂フコト、ナレリ
從來ハ各種ノ公共團體カ此美術展覽所ニ於テ集會ヲ催フシ居タリシカ、以來ハ全ク之ヲ拒絕スルコト、セ
リ而シテ具羅斯哈市カ此美術展覽所ニ就テ一層緻密ナル注意ヲ加ヘテ之ヲ管理シ、且ツ市内ニ於テ美術ヲ
獎勵發達セシムヘキ方針ヲ取ルコト、セリ斯クテ愈ヨ此方針ヲ實行センカ爲メニ市内ニ於テ數多ノ美術展
覽會ヲ開設スルコト、セシハ、何レモ皆ナ公衆ノ歡迎ヲ得サルハナシ、即チ斯ク美術展覽會ヲ開設スルニ
就テハ、市民中ヨリ貴重ナル繪畫及其他ノ美術品ヲ一時借り受ケテ陳列スルコト少ナカラサルナリ、然ル

ニ此等ノ展覽會場ニ充テタル家屋ハ火災ニ罹ルノ危險少ナカラス、實際スル展覽會開設中之ニ接近セル商店ヨリ失火シタルコト僅カ一回ニ止マラサリシナリ、斯クノ如ク市民中ヨリ貴重ナル美術品ヲ借り受ケテ展覽會ヲ開設セル最中火災起リテハ、實ニ由々敷一大事ナリトテ、終ニ斯ル展覽會ヲ中止スルコト決シタリ、此ニ於テ乎特ニ専用スヘキ美術展覽所及博物館ヲ新築セントスルノ希望起レリ、而シテ其結果如何ハ更ニ叙述スル所アルヘシ

具羅斯哈市ニ於ル美術展覽所ノ沿革史ハ概テ右ニ述ヘタルモノ、如シ、請フ是ヨリ一轉シテ他ノ方面ニ説キ及ホサント欲ス、即チ具羅斯哈市ノ博物館ハ如何ニシテ創設セラレシカヲ叙述セント欲スルコト是レナリ、ケルヴ^{ケルヴ}シグ^{シグ}ロー^{ロー}ツ^ツノ或ル舊家屋ニ於テ小數ノ物品ノ蒐集サレタルモノヲ陳列シ、以テ具羅斯哈市工業博物館ト命名シタリ、實ニ一千八百七十年ノ事ニ係レリ、是レ具羅斯哈市博物館ノ濫觴ナリ然レトモ其家屋甚ハ狹小ナルカ故ニ博物館トシテ不適當ナルコトハ當初ヨリ最トモ明カナル事實ナリ、或ル限ラレタル區域内ニ千種萬類限リナキ物品ヲ陳列セント欲ス、其狹隘ヲ感スルハ勿論其所ナリト云ハサルヘカラス、元來其名工業博物館ナルカ故ニ最初ハ主トシテ工業品ヲ蒐集シテ陳列スル目的ナリシカ、幾干ナラスシテ其目的通りニ進行スルコト能ハサル有様トナレリ、即チ博物、工藝、古物類ニ關スル物品ハ勿論其他千種萬類ノ物品ヲ蒐集陳列スルニ至レルカ故ニ其狹隘ヲ感スルハ亦タ怪シムニ足ラサルナリ、右ノ如ク狹小ナルコト亦タ疑フヘカラサル事實ナルカ故ニ一千八百七十四年ニ於テ擴張ノ事議決セラレタリ、即チ市會ノ決議ニ依リ博物館新築費ヲ廣ク公衆一般ヨリ募集スルコト、ナシ夫々手續ニ及ヒタルカ、

此募集ニ應ジタル寄附金ノ總額七千五百封度ノ高ニ上レリ、而シテ之ニ市ヨリ支出シタル五百封度ヲ加ヘテ新築工事ニ取リ掛リタリ、斯クテ一千八百七十六年ニ至リテ新築工事全ク落成シタルニ依リ開館シタリ、但シ此開館ト同時ニ地方工藝品ノ展覽會ヲモ開設シタリ且ツ此博物館ハ教育及理科學以上ノ利益ヲ與フルモノト謂ツヘキナリ

一千八百八十三年以來、博物館及美術展覽所委員會ノ發起盡力ニ依リテ折々地方展覽會ナルモノ開設セラレタリ、其會場ハ毎ニ博物館内ニシテ且之ト聯絡シテ市立ノ浴場及洗濯場モ之アリシナリ、而シテ一千八百九十一年ニ至リテブリッ^{ブリッ}ト^トン^ン地方ニ於テ右ト同一ナル展覽會ヲ開設セントスル計畫アリ、然レトモ此會場ニ充ツヘキ適當ノ箇所ヲ見出スコト能ハス此ニ於テカ種々調査シ考慮シタル末博物館支部及冬季遊園ヲ建設スルコト、ナレリ乃チ其建設地ハ「人民ノ宮殿」トテ世人ノ善ク知レル所ノ具羅斯哈綠野ニシテ其建設費ハ總計三萬封度ノ豫定ナリシナリ、而シテ後新築落成シタルヲ以テ一千八百九十八年一月廿二日ロゾベ^{ゾベ}リ^リ男爵親臨ノ上開館式舉行セラレタリ、抑モ此博物館支部ニハ管ニ繪畫、美術工藝品、博物學ニ關スル標本等多ク蒐集セラレタルノミナラス、其他一時借り入レタル各種ノ貴重ナル物品モ亦タ少ナカラサルナリ、但シ一時其借り入レタル物品ト云ヘルハ、折々臨時展覽會開設ニ際シテ借り入レタルモノト知ルヘシ、而シテ此博物館ノ特質ト云ヘルハ左記ノ如キ事實是レナリ、曰ク此博物館ニ於テ或ル種類ノ美術品工藝品ノ展覽會ヲ開設シ其出品中優等ノモノニ對シテハ賞品若シクハ賞牌ヲ授與スルコト、セルヨリ、出品者互ニ競争シテ意匠ヲ凝シ精巧ヲ極メサルハナシ、既ニ此種ノ展覽會ヲ開キ其道ノ人ヲシテ競争心ヲ起

サシメタルコト六回ニ及ヒシカ、何レモ皆ナ好結果ヲ奏セサルハナシ、即チ年一年出品者競争者ノ數ヲ増加シ來リ、從ツテ精巧ノ物品益々多キヲ加フルニ至レリ、此博物館開設ノ初年ニ於テハ、閱覽者ノ總人員七十七萬八百七人アリ、之ニ次ケル二年間ニハ、平均年ニ五十萬人ノ閱覽者アリタリ、以テ此開設カ其地方ノ人氣ニ非常ニ善ク投シタルヲ證スルニ足ルヘシ、試ミニ見ヨ、從來此地方ニ於ル勞働者ノ有様如何ナリシカヲ見ヨ、日々衣食ニ齟齬タルノ外更ニ何コトノヲモ見聞スルコト能ハサリシニアラスヤ、然ルニ此博物館開設サレシヨリ其目ヲ喜ハシメ心ヲ慰マシムルモノ果シテ如何ンヤ、其陳列サレタル秀麗妙美ノ神品ヲ見ル瞬間ノ娛樂ハ果シテ如何ンヤ實ニ人民娛樂ノ別天地ト謂ツヘキナリ

一千八百九十四年ニ於テ具羅斯哈市ハクインズ、パーク(公園ノ名)擴張用トシテカムプヒルノ若干地ヲ其所有ト爲シ、且ツ其地ニ附屬セル立派ナル家屋ヲモ併セ得タリシナリ、蓋シ此地所ト云ヘルハ既ニ其以前ヨリ『博物館及美術展術所委員會』カ、小規模ノ地方博物館建設地トシテ最モ適當ナル好位置ナリトテ注目シ居タリシ所ナリシ、而シテ今回幸ニ市ノ所有ニ歸シタルヨリ、種々修繕模様替等ヲ爲シテ以テ、博物館タラシムルニ適セシメ、而シテ終ニカムプヒル博物館ノ名ヲ以テ開館スルニ至レリ、即チ其開館ト同時ニ寫眞展覽會ヲ開設セシニ極メテ好結果ヲ得タリシナリ、而シテ當時此博物館ニハ他ノ博物館ヨリ借リ入レタルモノ、近代ノ繪畫及殊ニ小學校初級生ノ爲メニ製造サレタル博物學ニ關スル標本類、其他各種ノ美術品カ蒐集セラレタルナリ

次ニ揭ケント欲スル事柄ハ市立美術展覽所及博物館ノ進歩發達上、其計畫ノ最モ重要ナル其規模ノ最モ雄

大ナル、殆ント未曾有ナルモノ是レナリ、請フ徐ロニ叙述スル所アラントス、彼ノ市ノ美術展覽所ハ甚ハタ不完全ニシテ其蒐集サレタル陳列品動モスレハ火災ニ罹リテ烏有ニ歸セントスルノ危險ノアルアリ、此事ハ前段ニ於テモ聊カ論述シタル所ナルカ、事實既ニ斯クノ如クンハ何トカ工風ヲ回ラシテ之レニ應スルノ策ナカルヘカラス、斯クテ一千八百八十六年ニ至リテ一ノ説ヲ起スモノアリ、曰クケルヴ井ングローヴ公園ニ於テ臨時ニ一大展覽會ヲ開設スヘシ、左スレハ餘程ノ利益アルニ相違ナカルヘシ、少ナクモ此ノ益金ヲ以テ新築費ノ基金土臺ヲ作り得ヘキナリ、其新築費トハ他ニアラス、具羅斯哈市ニ於テ完全ナル美術展覽所及博物館ヲ建設スルノ費用是ナリト、既ニシテ一千八百八十八年ノ夏季ニ際シテ萬國博覽會ヲ開設シタリシニ頗フル好結果ヲ奏シ閉場ノ際計算セシニ益金ノ總額四萬六千封度アリシナリ、然ルニ此博覽會ヲ開設シタル協會ハ此好結果ヲ以テ尙ホ未タ足レリトセス、若シ具羅斯哈市ニシテケルヴ井ングローヴ公園内ニ於テ或ル地所ヲ與ヘテ美術展覽所及博物館ヲ新築スルコトヲ許可シ、且ツ新築費募集ノ事ヲモ許容シタランニハ廣ク公衆ニ訴ヘテ寄附金ヲ募集シ、以テ右ノ資金ヲ倍シテ新築費ニ充ルコトヲ得ヘシ、トノ意見ヲ抱ケリ、斯クテ具羅斯哈市ニ於テ此等ノ意見ヲ容レテ之カ實行委員ヲ選定スルコト、ナレリ、乃チ若干名ノ實行委員ヲ選定スルノ割合ハ市ノ方ヨリ其三分ノ二ヲ選出シ、彼ノ博覽會協會ノ方ヨリ其三分ノ一ヲ選出スルコト、セリ、而シテ此等ノ實行委員ノ團體ヲ名ケテ『具羅斯哈市ノ美術及音樂獎勵協會』ト云フ、此協會員ノ周旋盡力至ラサルナク、其寄附金募集期限ヲ十二箇月間ト豫定シテ取り掛リシニ尙ホ其豫定期限内ニ於テ早既ニ四萬六千封度以上ヲ募集シタリ

斯クテ其新築スヘキ敷地ハ既ニ豫定サレタルカ如クケルヴキングローヴ公園内ニシテ、先ツ新築工事ノ第一著手ヲ試ミタルニ至レリ、但シ此新築工事ノ受負ハ公然タル競争入札ニ附シタルノ結果倫敦ノ「シムプソン、アーレン」商會ノ受ケ合フ所トナレリ、而シテ愈ヨ其新築工事ニ取リ掛リシハアルフレッド氏ノ助言ニ從ツテ一千八百九十二年一月ナリシナリ、此等ノ建築師ノ爲シタル此新築工事ノ總豫算額ハ十五萬四千三百九十八封度ナリ、或ハ其建物ノ中央部ヲ方形ノ空地ト爲シタランニハ其總豫算額十一萬九千七百七十五封度ナリト云ヘリ、又タ地方ノ建築技師ノ豫定スル所ニ據レハ甲ヲ十七萬三百二十封度トシ、乙ヲ十三萬四百五十封度トセリ、而シテ此總豫算額ノ二者ノ内一層多額ナル方ニテモ、實際契約ヲ取リ結ヒタル受負者ノ總豫算額ニ比スレハ尙ホ且ツ少額ナリト云ハサルヘカラス、然ルニ此協會ハ實際其手元ニ所有スル現金ハ十一萬三千封度ニ過キササルニモ拘ハラズ、其新築工事ニ取リ掛ラシメタリ、蓋シ其總費額十二萬封度ヨリ多ク超ヘサルヘシト自信スル、所アリタレハナリ然ルニ新築工事ノ發端手始トシテ地均シ地固メヲ爲セシニ、實ニ一驚ヲ吃スヘキ事實コソ現ハレタレ、开ハ他ニアラス、此ノ地固メ費用ノミニ二萬二千二百二十五封度ヲ要シタリ、實ニ是レ豫算ヨリ多キコト二萬封度ナリシナリ、一驚ヲ吃セサラント欲スルモ得ヘカラス、斯クテ協會員等ハ是レヨリ屋舎ノ建築費トシテハ、十五萬四千封度ヲ限リ其レヨリ以上聊カニテモ上スコト能ハサルコトヲ見出セリ、此金額ニテモ尙ホ且ツ自カラ最初募集シタルモノヨリ一層多額ナルモノナリ、斯ク多額ノ出費ヲ要スルモ皆ナ是レ止ヲ得サルニ出ルモノニシテ決シテ浪費セラル、ニアラサルナリ

然レトモ兎ニ角莫大ノ費用ヲ要スルコトナレハ、協會自カラ稍ヤ困難ノ地位ニ立タサルヲ得ス、今マ協會カ此困難ヲ切リ抜ケンニハ僅カニ一法アルノミ、即チ市ニ依頼スルノ外他ニ方法手段アラサルナリ、尙ホ之ヲ詳言スレハ市ヲシテ此新築工事ヲ完成セシムルニ足ルヘキ資金ニ對シテ充分ナル擔保ヲ爲サシムルカ或ハ之ヲ市ノ事業ニ移シテ市ヲシテ全ク負擔セシムルカ必ラス二者其一ニ居ラサルヘカラス、而シテ其後者タル全部市ノ負擔スルコト、ナレリ、此ニ於テカ「博物館及美術展覽所委員會」ノ監督ノ下ニ置カレ、且故「具羅斯哈市美術及音樂獎勵協會」ヨリ選出セラレタル評議員等ノ幫助ヲ得テ、最モ時様ニ適シタル構造ヲ以テ新築工事全ク落成ヲ告グルコトヲ得タリ

斯ク新築落成シタル建物ハ管ニ外部ノ壯大雄偉ナルノミナラス、其内部ノ粧飾ニ至リテモ亦タ是レ善ヲ盡シ美ヲ盡サ、ルハナシ、而シテ此建築構造ハ其心髓ヲ佛蘭西美術館ニ取リタルモノニシテ、他ハ皆ナ元作創制ニ係レルモノト知ルヘシ抑モ、此建物ノ全長ハ四百四十八呎ニシテ其幅ハ二百五十六呎アリシナリ、而シテ建物ノ北面及南面ハ共ニ是レ正門ヲ爲シ、又回廊アリテ内部ノ交通自在ナリ、此建物ノ周圍線ハ種々ノ曲線ヲ爲シ、其角々ニハ圓形ノ塔狀ヲ成セル建物アリ、其高サ各々一百四呎ニ達セリ、而シテ此建物中最モ高キ部分ハ中央部ノ屋根根是レナリ、即チ諸ロノ建物ノ高サノ平準面ヨリ尙ホ一層高キモノナリ、又タ北部ノ正門ノ兩側ニ數基ノ高塔巍峨トシテ聳ヘ立テリ、内最高ナルモノハ百七十二呎ニ及ヘリ、又タ北部正門ノ高塔ノ頂上ニ一ノ像ヲ安置セリ、此像ハ青銅製ニシテ勝利ヲ司トル軍神ノ像是レナリ、而シテ其側ニ立テル數個ノ塔上ニハ「無窮」、「榮譽」ニ因ミアル像ヲ安置セリ、又タ雄大ニシテ最モ貴重ナル彫刻物

ノ一集團アリ、是レハ彫刻家中名工ノ聞ヘ高キセヲ一チ、フラムプトン氏ノ作ニシテ、北部正門ノ中央部ノ上邊弓形ヲ爲セル所ニ掲ケアリテ人々ノ仰キ視ル所ナリ、尙ホ之ヲ詳言センニ此彫刻物ノ中心點トナルモノハ聖、マンゴノ肖像是レナリ、蓋シ此人ハ中古ノ僧侶ニシテ美術及音樂ノ保護神ト謂ツヘキ人ニシテ其羅斯哈市ノ大恩人ナリ、而シテ此聖像ノ左右ニ數多ノ女神ノ像安置セラレタルナリ

秀麗妙美ナル彫刻物ハ實ニ此建物ノ内外ヲ粧飾スル特有物ト謂ツヘキナリ、又タ窓ト窓トノ中間ニシテ壁ニナヘルキ部分ハ、花飾セル籐板ヲ以テシ其板ノ面ニハ古往今來最モ有名ナル技術家即チ畫工、彫刻家及建築家等ノ姓名ヲ掲ケアリシナリ、此外此建物ノ内部ニ於テ種々ノ籐板アリテ其板ノ面ニハ具羅斯哈市中各種ノ組合商業ノ名ヲ記載スルアリ、或ハ世界萬國中音樂、史學、理科學及工學ニ就テ最モ卓拔俊秀ナル人ノ姓名ヲ記載スルアリ、皆ナ此レ人目ヲ惹クニ足ラサルモノナシ

斯クテ此建物ノ内部ハ極メテ單純無造作ノ結構ナリ、即チ内部到ル所皆ナ是レ左右ノ構造全ク同一ナラサルナキコト是レナリ、此建物中最モ大ナル室ハ中央部ニアリ、而シテ其玄關入口ハ北部ト南部トノ二箇所ニアリテ共ニ廣大ナルモノナリ、且ツ此室ハ其長サ百二十五呎、幅五十六呎ニシテ高サ八十呎ニ達セリ、又タ此室内ニ用ヒラレタル石材ハ「クリーム」色ノ砂石ニシテ其面ニ數多ノ彫刻ヲ爲シ、數多ノ圓柱ノ立テル廊下アリ、秀麗ナル露臺アリ、其ノ座床ハ白、黒、黃等ノ大理石ノ切籐細工ヨリ成レリ、人此室内ニ入り來ルト均シク忽チ此ノ美觀ニ打タレテ心志恍惚亦タ爲ス所ヲ知ラサルニ至ラン、而シテ此室ノ北側ナル樓上ニ大ナル樂器ノ備ヘ付ケアリ、此樂器ニシテ一タヒ弄ハレナハ啞喉トシテ人耳ヲ怡ハシムヘキ聲、管

ニ其室内ニ居ル人ノミナラス、此博覽會場全般ヲ通シテ聞カレ得ヘキナリ

中心ナル此巨室ノ左右トニ各々手廣キ中庭アリ、何レノ中庭ニモ此室ヨリ廊下傳ヘニテ行キ得ヘキナリ而シテ此等ノ中庭ハ左右共ニ其長サ百二呎、幅六十呎アリ、其建設材料トシテ砂石ヲ用ヒ、其座床ハ右ノ巨室ト均シク大理石ノ切籐細工ナリシ、又タ此等ノ中庭ノ周邊三方ニ回廊アリ、其長サ百二呎幅二十八呎アリ、而シテ此回廊ノ角々ニハ方四十呎ノ高キ建物設ケラレタリ

斯クテ此等ノ回廊ノ下底ハ種々ノ物品ヲ藏メ置クヘキ倉庫ノ類、工作場及事務所等ノ設ケアル所ナリ、其他熱氣及風ヲ生セシムヘキ裝置アリ或ハ電氣力應用ノ昇降器アリテ地上ト上層ノ回廊トノ聯絡ヲ保テリ、又タ昇降器ニテハ到底間ニ合ハサル程ノ重量ノモノヲ上層ヘ引キ上ケントスル場合ニハ其他ノ器械力ニ依賴スルコト、セリ

此美術展覽所ニ於テ熱氣及風ヲ生セシムヘキ仕組ハ、空所充填法ト云ヘル方法ニ基ケルモノ是レナリ、而シテ其器械ハスタートウハント器械製造所ノ製作ニ係ルモノナリ、先ツ風ヲ生スル仕組ニ就テ之ヲ云ハシニ電氣作用ヲ以テ團扇様ノ器械ヲ運轉セシメ、内部ノ風穴ヨリ寒冷ナル空氣ヲ送り込マセルモノ是レナリ又タ一旦腐敗シタル空氣ヲ洗濯シテ再ヒ清潔ナラシムル方法アリ、是レハ其空氣ヲシテ水濾器械ノ中ヲ經過セシムル仕掛ニテ、其空氣ノ經過スル時ハ水毎ニ噴騰飛揚シ居レリ、又タ熱氣ヲ生スル方法如何ト云フニ先ツ普通ノ方法ニ從ツテ蒸氣ヲ造リテ之ヲ本管ニ送り、而シテ此本管ヨリ各支管ニ送達ス、此ノ支管ハ場内何レノ箇所ニテモ其必要ニ應シ引カレ居レリ、但シ蒸氣機關ノ事、蒸氣ヲ徒費セサル仕組ノ事、電氣

動力ノ事、熱氣及風ヲ生スル方法、空氣ヲ清潔ナラシムル仕掛等ノ事ハ今茲ニ詳述スルノ必要ナカルヘシ
 只タ左ノ一事ヲ記述スレハ足ランノミ、曰ク彼ノ熱氣ヲ生シ空氣ヲ流通セシムヘキ仕掛ハ二箇所ニ在リ、
 其一ハ場ノ東部ニ据ヘ付ケラレ、他ノ一ハ同シク西部ニ据付ケラレ居レリ、中ニ就テ空氣ヲ流通セシムヘ
 キ團扇器械ハ二箇所共ニ三十馬力ノ動力ニシテ一分間毎ニ六百七十回ノ回轉ヲ爲セリ、此團扇器械カスル
 動力ニテ每一分間ニ百二十回ノ回轉ヲ爲ストシテ每一時間ニ洗濯シテ再ヒ清潔ナラシメタル空氣ノ量如何
 ト云フニ、實ニ五百萬立方呎以上ニ達セリ、以テ其仕掛ノ大ナルコト得テ想像スヘキノミ、團扇器械ハ尙
 ホ此外ニ冬季严寒ノ時ニ際シテ人身ニ佳ナル一定ノ溫度ヲ保タシメ、又夏季炎熱ノ時ニ當リテ人ヲ怡マシ
 ムヘキ涼氣ヲ生セシム、之ヲ場外ノ溫度ニ比較スレハ少ナクモ四度位ハ低クカルヘシ、此器械仕掛ニテ斯
 ル事ノ出來得ルハ決シテ困難事ニハアラサルナリ

右美術展覽所新築工事ノ落成期モ方ニ近ツカントスルニ際シテ、彼ノ『博物館及美術展覽所委員會』ヨリ
 左ノ如キ意見ヲ提出シタリ、曰ク今回ノ新築落成ヲ好機會トシテ萬國大博覽會ヲ開設スヘシ、蓋シ其開設
 ハ二様ノ意義ヲ有スルモノナリ、其第一ハ新築ノ美術展覽所及博物館ノ全部ヲ萬國大博覽會場ニ充テ以テ
 新築落成式ヲ壯ニスヘク、其第二ハ此萬國大博覽會ヨリ上リタル益金ヲ、一千八百八十八年開設ノ博覽
 會ト均シク、具羅斯哈市ノ美術及學術ニ關スル物品蒐集ノ資金ニ充テシコト是レナリ、斯クテ此萬國大博
 覽會ヲ一千九百一年ニ於テ開設スルコトニ議決セリ、此博覽會開設ノ事ニ對シテハ具羅斯哈市民銳意熱心
 以テ賛同ノ意ヲ表シ、從ツテ開會準備ノ手續等ハ最モ速カニシテ最モ善ク整頓シタリ、而シテ此開會計畫

中一時假設ニアラスシテ永久の屋舎カ英國及外國ノ借入美術品蒐集所ニ充テラレ、其他蘇格蘭ノ古物學及
 歴史ヲ輝カスニ足ルヘキ物品ノ陳列所トナレリ

右ノ如クシテ夫々準備モ全ク整ヒタレハ茲ニ一千九百一年五月二日ヲ以テ具羅斯哈萬國大博覽會ハ開設セ
 ラレタリ、此日開會式舉行ノ主人公ハ皇族ヲハキフ公爵御夫妻ニテアリシ

右博覽會ノ中心ト爲サンカ爲メニケルヴキンググローヴ、ハウス(一ノ博物館ノ名)カ取り毀タレタリ、抑モ
 此博物館ト云ヘルハ其建築構造等小説的及詩的趣味ニ乏シカラス、且ツ『アダム』式建築法ニシテ第十八世
 紀建築法ノ名殘ト見ラルヘキモノニシテ、其道麗妙美ナル一見人ヲシテ恍惚爲ス所ヲ知ラサシムル程ナ
 リシカ、一千九百年末ニ取毀タレテ博覽會創立事務所ノ手ニ渡サレタリ、是レ止ヲ得サルニ出テタル事ナ
 レトモ聊カ遺憾ナキ能ハス

羅斯哈市ノ所轄ニ屬シタリ、右借入物品返付方ノ全ク落著セシハ實際一千九百二年ノ初メツ頃ナリシ、而
 シテ後面チニ右建物ノ全部カ永久の美術展覽所及博物館トシテ正面認許セラル、ノ手續ヲ爲セリ斯クテ事
 務取扱上ノ必要上ヨリ美術展覽所ノ性質上ヨリ既ニ蒐集サレタル物品ヲ夫々分類シテ適當ノ置場所ヘ陳列
 スルコト、ナレリ、即チ展覽所委員會小會ニ於テ熟慮ノ上左ノ大綱目ニ從ツテ分類スルコト、定メタリ

第一、美術品

第二、工藝品

第三、博物學ニ關スル物品

汎ク公衆ノ觀覽ニ供スル爲メ博物館ニ蒐集サレタル數多ノ物品ハ概ネ右三綱中ニ包括セラレテ此館ノ基礎トナレルモノナリ

此美術展覽所及博物館ノ設計構造ハ元是レ右ノ三大綱目ニ從ツテ、夫々物品ヲ陳列セシムヘキ仕組ナレハ實際之ヲ陳列スルニ當リテ更ニ困難ヲ感セサリシナリ

而シテ樓上ノ方ハ美術品陳列所トシテ占有セラル、但シ中央ノ一大室ハ彫刻物陳列所ニ充テラレタレハ此限ニアラス、又タ下層ノ東翼ノ方ハ博物學ニ關スル物品ノ陳列所トナリ、之ニ對抗セル西翼ノ方ハ工藝品及古器物陳列所トナレリ、右ノ如ク夫々分類シテ陳列シタルニ兎ニ角無數ノ物品蒐集サレタルコト、テ、サシモニ廣キ場内モ尙ホ且ツ非常ニ狹隘ヲ感スル程ナリシ、此ニ於テ乎陳列スヘキ物品ハ極メテ嚴重ニ鑑査スルノ必要起レリ、即チ美術品ナランニハ果シテ參考品トスヘキ價值アルヤ、否ナ博物館ニ關スル物品ナランニハ果シテ教育上ニ裨補スヘキ價值アルヤ否ナヲ嚴密ニ査定スルノ必要起レリ、然ラサレハ徒ラニ場所塞ケトナレル物品多キヲ加フルノ恐アレハナリ、斯クテ此展覽所ノ整理萬端非常ニ善ク抄取り、一千九百二年ノ秋季ニ於テハ早既ニ公衆ノ觀覽ヲ許スコト、ナリ、此年十月二十五日老德、プロゾオスト氏ノ名ヲ以テ正式ニ公然「具羅斯哈美術展覽所及博物館」開館ノ事ヲ布告セラレタリ

近キ數年間ニ於テ此展覽所ノ物品大ニ増加シタリ、是レ多クモ篤志家ノ寄附若シクハ遺物トシテ寄贈セラ

レタルモノナリ、今マ其内ノ重モノヲ左ニ掲ケン、曰ク近コロ死去サレタルハイトパーク蒸氣機關製造所ノ持主ゼームス、レード氏ハ最高價ナル繪畫ヲ數多蒐集サレタル人ナリシカ、其死後數人ノ遺子等ヨリ其亡父ノ紀念物ナリトテ、其高價ナル繪畫ノ中ヨリ十枚ヲ寄贈セラレタリ、蓋シレード氏カ其ノ生前此等ノ繪畫買入費トシテ支拂フタル金額ハ二萬二千七百二十三封度ナリシナリ、以テ皆ナ是レ非常ノ名畫タルヲ證スルニ足ルヘシ、又タ一千八百九十八年ニ於テ故アダム、チーチャー氏ノ遺言ナリトテ其遺族ヨリ其蒐集ニ係ル數多ノ繪畫全部ヲ寄贈シ來レリ、蓋シ皆ナ是レ近代ノ作ニシテ其總數一百十七個ナリシ但シ其他ノ美術品ヲモ併セテ寄贈サレタリ、其後一千九百年ニ於テトウマス、グラハム、ヤンク氏ヨリ繪畫十七個、彫刻品七個、伊太利產大理石ノ半身像一個、其他數多ノ貴重ナル美術品及博物館參考品トナルヘキモノヲ寄贈セラレタリ、グラハム、ヤンク氏カ斯ク寄贈サレタルハ其亡父ゼームス、ヤンク氏ノ紀念ノ爲メニセラレタルモノナリ、尙ホ其後グラハム、ヤンク氏ノ妹ナルウオルカー嬢ヨリモ亦タ美術品若干ノ寄贈アリ、前後二者ヲ併セ得テ今日美術展覽所ノ一光彩ヲ放ツモノトナレリ、又タ其後故トウマス、スミリー氏ノ遺言ナリトテ其遺族ヨリ油繪二十一個及當世ノ水彩畫三十二個ヲ寄贈セラレタリ、又タジャネツト、ロツガー氏ノ遺言ニ依リテ七個ノ名畫ヲ寄贈セラレタリ、此外個人々々トシテ寄贈セラレタル繪畫ハ殆ト數フルニ遑マアラサルナリ右ノ如キ有様ニテ三十年間ニ蒐集サレタル無數ノ美術品ハ概テ皆篤志家ノ寄贈ニ係レルモノナリ、斯クテ茲ニ工藝學、人種學、考百學及博物學等ニ關スル偉大ナル博物館ハ建設セラレタリ

「具羅斯哈美術展覽所及博物館」ノ人氣ヲ得タルコトハ左ノ事實ヲ以テト知スルニ足ルヘキナリ、曰ク開館初年(一千九百三年)ノ滿一箇年間ニ來觀者ノ數百一十一萬三千六百八十八人ヲ下ラサリシ、而シテ同年間ハグリイン支部(所謂ル人民ノ宮殿ナルモノ)ヘノ來觀者三十八萬四千二百二十五人、同シクカムプヒル支部ヘノ來觀者七萬一千五百二人ナリシ、此本部支部ノ合計人員百五十六萬九千三百十五人ノ多キニ達セリ、凡ソ世界ノ博物館ニシテ僅カ一箇年間ニ斯ル大多數ノ來觀者アルモノアルヤ否ナ確カニ之レナカルヘキナリ

公園

第十九世紀ノ後半期間ニ於テ具羅斯哈市ハ實ニ長足ノ進歩發達ヲ爲シ、從ツテ市ノ行政事務モ善ク整頓シ來レリ、此趨勢ヲ以テ進ミ行カハ今ヨリ一世紀後、永久的公園地ノ區域整然タルヲ見ルハ甚ハタ容易ナルヘシ、苟クモ當市ノ沿革ニ注意シタランモノハ必ラス然カアラント想像スルナラン

試ミニ今ヨリ五十年前ニ溯リテ見ヨ、公園ナルモノ僅カニ一箇所ニ過キサリシナリ、彼ノグリイン公園是レナリ、而シテ此公園地ト雖モ當初二百年間ハ市民ノ曾テ集會セシコトナク、又タ遊樂所ト爲セシコトナク從ツテ音モナク香モナク市ノ沿革史中何タル痕跡タモ留メサリシナリ、而シテ具羅斯哈市カ速カニ發達進歩スルニ從ツテ人家次第ニ稠密ヲ加ヘ來リ、開豁ナル地若シクハ綠野等忽チ一變シテ人家櫛比往來織ルカ如キ有様トナリ、茲ニ初メテ市民モ一驚ヲ吃スルニ至リシト雖モ、天然ノ勝地美景等ノ事ニ關シテハ尙ホ未タ何等ノ觀念モアラサリシナリ、而シテ一千八百五十二年ニ至リテ初メテ市ノ周邊ニ於ル天然ノ美勝地ヲ保存スヘキ必要ヲ感シ來リシナリ、此ニ於テ乎先ツ市ノ公園地ト爲スノ目的ヲ以テケルケツシグロ

ツハ土地ヲ買收シタリ、是レ市ノ歴史中一紀元ヲ爲セルモノト謂ツヘキナリ、從ツテ市公園取締局ヲ新設スルノ必要起レリ、而シテ此市公園取締局ノ職責行動ハ市民ノ健康、安寧及愉樂等ヲ保護スル上ニ於テ甚ハタ必要ナラスンハアラス

今ヨリ過去五十年間ニ於テ公園及開豁ナル地ノ保護取締上次第ニ善ク行キ届キ、從ツテ其進歩發達大ニ見ルヘキモノアリ、請フ是レヨリ各公園ノ事ヲ叙述スルニ當リテ其内最モ著シキ現象ノミヲ擇ミ採リテ簡單ニ述フル所アラントス

第一、具羅斯哈綠野公園

(百三十六エーカー) (エーカーハ凡ソ我カ一千二百二十四坪餘ニ當ル後皆同シ)

抑モ此公園ハ其地盤割合ニ平坦ナル所多ク、東ハ歷史上有名ナル鹽市場ニ連ナリ、其前面ハクリード河ノ北岸ニ對シテ其長サ十六哩以上ニ達セリ、地質ハ重モニ砂土ニシテ其下底粘土質ナルカ故ニ甚ハタ肥沃ナリ、一千四百五十年ノ事ナリシガ時ノ國王ゼームス第二世ガ教正ターンボール氏ニ此地ヲ賜ハリタリ然ルニ此教正ハ世人ノ尊崇ヲ受クヘキ價值アル人ニシテ全ク之ヲ私有ト爲スヲ好マス、其内若干ノ部分ヲ割キテ社會公衆用トシテ讓與シタリ、今市ノ公園地ノ中心トナレル部分ハ取リモ直サス此地ナリ、然レトモ本來ノ綠野閑靜ノ地ト云ヘルハ、歷史上僅カニ其名ノミヲ存シテ、今ハ車馬絡繹人烟稠密ノ市街地ト一變セリ、而シテ當今綠野ト云ヘル地ハ一千六百六十二年ヨリ一千七百九十二年ノ間ニ於テ再ヒ市有トナレルモハナリ、以後多年間此地地方ノ公衆用ニ供セラレタリ、即チ鮭捕漁夫ノ網ヲ乾カシ、酒白業、麻布製造業、牛飼場、野球試合場等ニ用ヒラレタリ、然レトモ過ル世紀ノ初頃ヨリ人口大ニ増殖シ從ツテ市民生計上ノ

活動頻繁トナリシヨリ、是等ノ變動ニ適應センカ爲メ、綠野ノ面目ヲモ一新セサルヲ得ス、即チ其舊面目ヲ一洗シテ更ニ一生面ヲ啓カサルヘカラサル必要起レリ、然レトモ此變動タルヤ一時ニ突如トシテ激烈ニ來ルモノニアラス徐々トシテ社會ノ有様進步發達シ來レルモノナリ、而シテ此進步發達ハ一面ニ於テ人ノ耳目ヲ喜ハシムルニ足ルモノナリト雖モ、復タ他ノ方面ヨリ之カ觀察ヲ下セハ、之ニ伴フ所ノ弊害ナクンハアラス、社會ノ有様進步發達スレハ人家稠密トナリ、諸工業ノ隆盛ニ赴クハ最モ見易キ情勢ナリ、然レトモ此人家稠密諸工業隆盛ナルニ從ツテ黑煙天ニ漲リ惡臭鼻ヲ衝クノ弊害生スルモ亦タ是レ免カル、コト能ハサル現象ナラスヤ試ミニ見ヨ從來鬱蒼トシテ閑雅幽邃ナル樹林モ、簇々タル黑煙ノ爲メニ全ク枯死シテ荒涼寂寞トナレルヲ、縱令ヘ植物ヲ培養セントスルモ短縮矮小ニシテ十分ノ生育發達ヲ見ルコト能ハス、又タ此黑煙ノ爲メニ大氣ノ汚穢スルコト最モ甚クシテ云フニ忍ヒサルモノアリ、市内ノ各公園ニ於ル草木等ノ有様如何ヲ見ヨ、一年煙害ヲ受ルコト甚ハタシキヲ加ヘ來ルニアラスヤ

斯クテ市内ニテ最モ古キ公園ノ面目ヲ一變シタルモノ一ニシテ足ラス、今マ其内重モナルモノ數者ヲ左ニ掲クヘシ、一千八百五十年ニ於テネルソンノ紀念碑カ建設セラレタリ、而シテ此紀念碑建設ノ箇所ハ數代ノ間最モ善ク人目ノ注ク所ニシテ政事上若シクハ其他ノ集會所ニ利用セラル、コト、ナレリ、又タ當世紀ノ初メツ頃古來ノ洗濯場ヲ取り拂ツテ、更ニ馬車道及人道ヲ造リタリ、而シテ一千八百六十年ニ至リテ始メテ外氣中ニ一ノ體操場カ設ケラレタリ、是レハ具羅斯哈市民中ノ一ナルフレミング氏ノ建設ニ係ルモノナリ、後一千八百八十一年ニ於テ詩人マクドナルド氏ノ爲メニ一ノ紀念碑設立セラレタリ、但シ此紀念碑ハ

飲用泉ノ形ヲ成セルモノ是レナリ、又タ同年頃ニ「ドールトン泉」カ設ケラレタリ、是レハ一千八百八十八年ニ開設セラレタル「具羅斯哈萬國大博覽會」ニ際シテ建設セラレ、後同氏ヨリ寄贈ニ係レルモノナリ、且ツ此泉ノ意匠設計共ニ新規軸ニ出テタルモノナレハ、充分ニ視察探究ヲ遂クル價値アルヘシ、又タ今マヨリ餘リ遠カラサル以前カレドニアン中心地下鐵道工事ヲ起セル時、其堀リ得タル土ヲフレサース河畔ノ低地ヲ埋メ立テ所謂「彼ノ人民ノ宮殿及冬季的遊園」ヲ建設シ、一千八百九十八年一月二十二日老德ローズベリー公カ主トナリテ開設式舉行セラレタリ、右ハ此公園内ニ行ハレタル重モナル變動ト謂ツヘキナリ

第二、ケルヴ・ングローヴ公園 (八十五「エーカー」)

順序ニ就テ之ヲ云フモ歴史ニ就テ之ヲ云フモ綠野公園ニ次ケルモノハ此ケルヴ・ングローヴ公園是レナリ此公園ハ衆目ノ視ル如ク最モ風光勝景ニ富ミ、市ノ公園中最モ多ク人氣ヲ得タルモノ、一タルハ亦タ疑フヘカラサルナリ、蓋シケルヴ・ングローヴ地方カ歌ニ謠ハレ詩ニ吟セラレテ永遠不究ニ傳ハルハ、亦タ云フヘカラサル野外ノ勝景ニ富ミタレハナリ、而シテ此地カ市ノ有ニ歸セシ以來人ヲシ魂飛ヒ神迷ヒ殆ント爲ス所ヲ知ラサシムル程ノ天然ノ美觀モ滅殺セラレタル所アリト雖モ、尙ホ舊様ヲ存シテ全ク俗了スルニ至ラサリシハ幸福ト云ハサルヘカラス、尙ホ之ヲ換言スレハ、社會ノ有様進步發達スルニ從ツテ諸工場及人家等大ニ増加シ、天然ノ勝區モ之カ爲メニ蠶食セラレテ俗了スルハ、蓋シ數ノ免カレサル所ナリ、此地方モ亦タ是レ斯ル弊害ヲ免カレス、然レトモ此弊害タルヤ餘リニ甚ハタシキニ至ラス、畢竟スルニ是レ智慮アリ先見ノ明アル市ノ良民カ、右等ノ潮勢ニ反抗シテ天然ノ勝區保存ノ事ニ盡力スル所アリタレハナリ、

吾人ハ此等ノ良民ニ對シテ大ニ感謝スル所ナクンハアルヘカラス、又タ此地ハ一種格段ナル形勢アリ、殊ニ平坦ナル廣キ箇所ナキヲ以テ、蹴鞠ノ如キ遊戯ヲ爲スニハ適セサルナリ、然レトモ市ノ中央部ニ在リテ幼童等カ各方面ニ於テ諸種ノ遊戯ヲ爲スニハ大ニ餘裕アリト云ツヘキナリ、且此地ノ地勢上ヨリ之ヲ觀察スルニ公衆一般ノ遊樂場ト爲サンヨリ、寧ロ花園的公園ニ爲サンコト一層適當ナルヘシ

今マ其レ花園的公園ニ爲サントスルノ說ニ就テハ、縱令ヘ反對スルモノ多カルヘシト雖モ、斯ク爲シタラシニハ教育上尠ナカラサル利益アルヘシ、又タ彼ノ公園旗ノ翻ヘリ居ル所ハ一層突出シタル所ニシテ公園來遊者カ此邊ニ先ツ佇立シテ公園ヲ瞰下シタランニハ、一種云フヘカラサル爽快ヲ喚起セサルハナシ、ケルグンノ谷ノ左邊ニ當リテ一大壯觀アルハ、是レ『美術展覽所及博物館』ナリ、正面ノ高地ニ聳ユルハ『大學』ナリ、此二者ノ中央ニシテ公園ノ極端ニアルモノハ『西部病院』ナリ、而シテ手近ナル前面ニハ牝獅子カ其子ヲ乳育シ居ルノ彫刻物立派ニ飾ラレタリ、又是ヨリ少シク離レテステウハート泉アリ、是レハ市ノ給水事業ニ就テ大功勞アル老徳プロヴキスト、ステウハート氏ノ紀念ノ爲メニ建設セラレタルモノナリ、尙ホ少シク隔リタル彼方ニ當リテ舊博物館アリ、其建築萬端左マテ美ナラスト雖モ、具羅斯哈市カ此方面ニ向ツテ進ミ來リシ道スカラノ一哩塚トモ謂ツヘキモノナリ、昔ノ偲ハレテ何トナク一種ノ感ニ打タレサルヲ得ス、商工業盛ンニシテ喧嘩雜沓極マリナキ市ノ真中央ニ綠草芊々トシテ甍ヲ敷クカ如ク樹木蒼鬱トシテ綾羅ヲ織ルニ異ナラス、其間流水ノ涓々タルカ如キ一仙境アリ、嗚呼亦タ趣味深カラスヤ

此公園内ニ於テ前後二回ノ萬國大博覽會カ開設セラレタリ、即チ前者ハ一千八百八十八年ニ後者ハ一千九

百一年ニ開設セラレタルモノナリ、此等ノ博覽會アリ且ツ彼ノ美術展覽所ノ建設等アリタルカ爲メ、此公園ノ南西部ハ數年間變遷一ニシテ足ラサルナリ、又タ彼ノ美術展覽所ノ東部ニ直接シタル綠野ニ目今二箇所ノ公開投球戲場設置ノ事ニ著手シ居レリ

第三、クインス公園 (百四十六、エーカー)

河ノ西部ニ於テケルグンングローヴ公園カ右ノ如ク成功シタルヨリ、之ニ次テ其南部ニモ亦タ一ノ公園ヲ開設セントノ說ヲ立ルモノアリ、忽チニシテ多數ノ市民此說ニ對シテ贊同ノ意ヲ表シ、從ツテ其公園ノ敷地トシテバックスヘッドノ耕地ヲ買収セントノ議起レリ、然ルニ此公園開設ノ事ニ就テ反對說ヲ抱ケル者アリ、其要ニ曰ク今公園ノ敷地トシテ買収セントスル箇所ハ稍ヤ遠キニ過キテ、市民ノ來遊スルニ不便ナルヘシ、故ニ此公園開設ノ議ニ就テハ反對セサルヲ得スト、斯クテ此公園開設ノ事ヲ議題ト爲シテ市會ヲ開キシニ、此開設ヲ可トスル者ト否トスル者トカ恰カモ正半數ニ分カレ、僅カニ議長老徳、プロヴオスト氏一人ノ決選ニ依リテ可決セラレタルノミ、乃一千八百五十七年ニ於テ公園敷地トシテ右バックスヘッドノ地カ買収セラレタリ、現今ノクインス公園ノ東部ニ當レル箇所是レナリ、又手斯ク買収サレテ後其實地ヲ視察スルニ、公園地トシテ最モ適當シタル箇所ナリシ、凡ソ公園敷地トシテ買収サレタル地所中、恐ラクハ之ヨリ以上ノ好位置ハアラサルヘシ、此地元是レ純然タル耕作地ナルカ故ニ、諸植物培栽ノ事ニ至リテ更ニ手數ヲ要セスシテ好結果ヲ得ヘキナリ、又タ元ノ持主等ヨリ何等ノ苦情モ起ルコトナク、公園トシテノ構造計畫等ニ至リテハ建築技師及市ノ意見ニ從ツテ、夫々遺憾ナクシテ著手スルコト、ナレリ

斯クテ此公園ノ設立後三十年間以上ハ此公園ヲ以テ市ノ限界トナシ、且ツ之ニ隣接シテ小規模ノ市府發達シ來タリ、此公園維持ニ就テハ僅カニ一錢ヲモ費ヤサスシテ、翻ツテ之ヨリ便益ヲ得ルコト少ナカラサルナリ、而シテ一千八百九十一年ニ至リテ市區擴張條例ナルモノ發布セラレタルヨリ、此公園ニ隣接セル小市府ノ本市ニ組ミ込マレタルハ云フマテモナク、其他ノ地所ヲ合併セテ公園地ト爲シタリ、即チ一千八百九十四年ニ於テカムプヒルノ地ヲ買收シタリ、抑モ此カムプヒルノ地ト云ヘルハ此公園ノ西部ノ小丘ニシテ固ヨリ公園内ニ組ミ入レラルヘキ地勢ナリシナリ、而シテ此カムプヒルノ買收ヨリ得タル面積ハ五十六「エーカー」ニシテ、公園ノ天然ノ風光茲ニ完キヲ得タリト謂フヘキナリ、即チカムプヒルノ小丘ノ樹木鬱蒼トシテ生々繁茂セルヨリ、舊時ノ具羅斯哈ヲ茲ニ再現セシメタルノ觀ナクンハアラス、此公園斯ク膨脹セリト雖モ其周邊ニ於ル多數ノ人民來遊スルコトナレハ廣キニ失スルノ憂ヒ之レナキナリ、而シテ市内景色最モ佳絶ナル箇所ノ一ニシテ、其四邊眺望ノ如キハ決シテ凡ナラサルナリ

此公園ハ地勢上喧囂粉雜ノ市街地ト餘程懸ケ隔タリ居ルカ故ニ、彼ノ煙害ヲ蒙ルコト甚ハタ少ナシ、即チ市内ニ於ル他ノ公園ト異ナリテ樹木等甚ハタ鮮麗ニシテ善ク繁茂シ居レリ、此公園ニ來遊スル者ハ實地此言ノ虛ナラサルヲ目撃スルナラン、又タ彼ノカムプヒルノ花園ノ古雅閑靜ナルコトハ雜沓セル市府ノ近傍ニ於テハ殆ント見ルコト能ハサルナリ

斯クテ一千八百九十六年ニ於テ植物培養所ノ一群團ヲ建設セラレタリ、是ハ新タニ開設セラレ、公園ノ需用ニ應スルカ爲メニハテ植物培養所ノ本部中心點ト謂フヘキモノナリ、而シテ此植物培養所ノ一部分ハ汎

ク一般ノ公衆ノ觀覽ニ供セラル、モノナリ、且此培養所ハ非常ニ好評ヲ博シ來リテ、獨リ觀覽人多キヲ加ヘ來ルノミナラス、珍ラシキ草木モ從ツテ多ク培養セラル、コト、ナレリ、此ニ於テ乎更ニ増築ノ必要ヲ感スルニ至レリ

此培養所開設ノ當初ハ尙ホ其培養法ニ不熟練ナル所アリテ充分ノ好成绩ヲ收ムルコト能ハサリシカ、兎ニ角一箇年間ヲ通シテ如何ナル季節タリトモ、何等カノ花ヲ開カセテ衆人ニ見セントノ目的ニ出テタルモノナリ、而シテ其種類ノ種々様々ナルハ得テ數フヘカラス、其美觀想像スヘキノミ

此公園ハ右ニ掲ケタルカ如ク人目ヲ喜ハシムヘキ天然ノ景色及各種ノ植物等アリ、尙ホ此外「クリケット」蹴鞠等各種ノ活潑ナル遊戲ヲモ爲シ得ヘキ設備一トシテ之レナキハナシ、尙ホ本年中ニハ公開スヘキ二箇所ノ投球戲場設立セラル、豫定ナリシ

第四、アレキサンドラ公園 (百四「エーカー」)

次ニ吾人ノ注意ヲ要スヘキモノハ市ノ北東ニ當レル公園是レナリ、然レトモ「市改良委員會」ナルモノカ活動シテ適當ナル敷地ヲ得ルノ機會ニ遭遇シテ始メテ茲ニ此公園ノ基礎カ定メラレタルモノナリ、請フ左ニ其事實ヲ敘述スル所アラントス、一千八百六十六年ニ於テ「市改良委員會」ハ「ハツグヒル」ノ地七十九「エーカー」ヲ買收シテ茲ニ公園ノ基礎ヲ定メ後「公園取締委員會」ノ手ニ渡シタリ、而シテ此公園敷地ニ隣接シタル地ノ所有者ニシテデンニストーント云ヘル人アリ、此人ハ隣地ニ斯ク公園ノ設ケラレタランニハ自家ノ宅地ニモ好影響ヲ及ホスヘキモノナレハ、此際之ヲ贊成スルノ實ヲ舉ケントノ趣意ニテ五「エーカー」ノ

地ヲ市ニ寄附シタリ、而シテ此寄附ハ公園ノ入口ヲ一層便利ナラシメタルモノニシテ、具羅斯哈市内ニ於テ公園ヲ設置スルノ場合、斯ル寄附ノアリタル嚆矢ヲ始ナリシナリ

此公園ノ位置ハタウンヘツド方面ニ取リテハ至リテ便利ニシテ、且ツ速カニデンニストーソン氏ノ所有ニ係ル隣地ノ方ニ向テ其地域ヲ擴メントスルノ有様ナルカ、茲ニ一ノ大困難事起リ來レリ、开ハ他ニアラス、地味荒蕪ニシテ風ノ甚ハタシク吹キ荒ル、所ニシテ、草木等ヲ植ヘ付ルノ困難ナルコト是レナリ、深ク耕耘スレハ稍ヤ良土トナリ得ヘキ望ミナキニアラサレトモ、如何セン其近傍ニ化學的工場及其他ノ製造所アリテ、有毒ナル汚物流レ來ルカ故ニ殆ント總テノ草木生々發達スルコト能ハス

其質ノ極メテ強健頑固ナル植物ノミ僅カニ其生ヲ保ツニ過キス、此種類ノ草木ニテモ製造所等ニ接近シタル所ニテハ生育スルコト能ハサルナリ、此公園單ニ風景ノ一方面ヨリ觀察ヲ下セハ斯塔ノ如ク殺風景ナリト雖モ、復タ他ノ一方ニ於テハ大ニ採ル所ナクンハアラス、球打遊戯蹴鞠等ヲ爲スニハ最モ適當セル好位置ト云ハサルヘカラス、又タ池中ニ小舟ヲ行ル杯ノ遊戯ヲモ爲シ得ヘキナリ、然レトモ此公園ノ近傍ニ於テ人口甚ハタシク増加シ來遊者極メテ多クナレルヨリ、彼ノ玉打遊戯ノ如キハ終ニ實行スルコト能ハサルニ至レリ、此ニ於テ乎「公園取締局」ハ止ヲ得ス市ヨリ他ノ方面ヲ賃借シテ、此遊戯専用地ト爲スニ至レリ、斯クテ一千八百九十一年ニ至リテイスター、ゲンニーヒルノ土地ノ一部分ヲ買收シテ此公園ノ地域ヲ一層擴張シ、從ツテ又タ人ノ娛樂ニ供セラルヘキ各種ノ計畫ヲモ決シテ怠ラサリシナリ

第五、キヤスキン、ブレース公園 (四十九「エーカー」)

此公園ハ一千八百八十年故ゼームス、ジック氏ノ寄附セラレタルモノナリ、其寄附セラレタル言ニ曰ク、『今般具羅斯哈市民ノ娛樂場トシテ此地ヲ永久ニ寄附スルモノナリ、願ハクハ此地天然ノ勝景ヲ出來得ヘキ丈ケ永遠ニ保存維持セラレンコトヲ』ト、同氏ハ其名ヲ廣ク世ニ知ラレ知行合一他ヨリ、尊敬セラルヘキ人ナルカ、殊ニ此公園地寄附ノ事ニ對シテハ市民タル者深ク感謝スル所ナクンハアルヘカラス、而シテ斯ク寄附セラレタル當時ノ言ハ永ク忘却セサランカ爲メニ、之ヲ書面ニ認メテ其筋ノ手ニ保存セラル、コトナレリ、此公園其後一年ト改良シ來リ市民益々愉快ヲ感スルノ度合ヲ増セリ、即チ大祭日等ニハ無數ノ市民來遊シ、從ツテ之ヲ改良發達セシムルニ就テハ種々ノ意見見ヲ提出スル人サヘ或ハ之レアリ、其内取ルヘキハ取リ捨ツヘキハ捨テ、斟酌折衷其宜シキニ從ツテ、益々完全ノ域ニ進マシメタリ、然レトモ寄附者ノ所謂天然ノ勝景ニ至リテハ、曾テ寸毫モ害スル所アラサリシナリ

此公園ハロヤール、エキスチヤンデヨリ六哩隔タレリト雖モ、クリード河沿岸ノ地方ヲ瞰下スルヲ得ヘク且ツ市街ノ近傍ヨリ一面ニ見渡サレテ絶ヘテ眼界ニ遮キルモノナシ、之ニ加フルニ目今ハ往來交通甚ハタ便利ナルヨリ、從來此公園ニ來遊セシコトナキ者マテ續々歩ヲ向ケルコト、ナレリ

此公園寄附ノ趣意ハ右ニ述ヘタルカ如クニシテ、其後二十五年間ハ何レノ公園モ其地域ノ廣マリシコト會テ之レアラサリシナリ、然ルニ一千八百九十一年ニ至リテ市擴張條例ナルモノ發布セラレテ、從來市外ニ屬シタル小市府等ノ本市ニ合併セラレタルモノ少ナカラサリシナリ、而シテ此條例ノ結果ニ依リ各所ノ公園地ノ擴張セラレタルモノモ亦少ナカラス、是レ公園ノ歴史中一ノ新紀元ヲ啓キタルモノト謂ツヘシ

キヤスキ、ブレース公園モ亦タ此範圍ニ屬シ居タリシモノト知ルヘシ

第六、植物園 (四十三「エーカー」半)

今マ具羅斯哈植物園ノ歴史ニ就テ詳言センハ却ツテ不必要ナリ、僅カニ左ノ事實ヲ叙述スレハ足ランノミ、曰ク其創設當時ニ在リテハ何レモ皆ナ熱心銳意以テ其進歩發達ヲ計リタルヲ以テ、大ニ視ルヘキ好成績擧リタリシナリ、然レトモ其晩年ニ至リテハ其性質公有ニアラスシテ私有ノ姿トナレリ、此ニ於テ乎之ヲ維持スルコト極メテ困難事トナレリ、是レマテ維持シ來レル此植物園ヲ空シク廢滅ニ歸セシメンハ、實ニ忍ヒサル所ナリトテ時間ト金錢トヲ費シテ以テ之カ救護策ニ苦心セリ、然ルニ此植物園ニ關スル負債等ノ義務ハ皆ナ是レ此等ノ人々ノ頭上ニ落チ來ラサルヲ得ス、其困難ナルコト得テ想像スヘキノミ、是レ當ニ此等ノ人々ノ不幸ナルノミナラス具羅斯哈市ノ不幸ト謂ハサルカラス

事既ニ此ニ至リタルヲ以テ一千八百八十七年ニ於テ終ニ市有ニ歸セシメ、市自カラ其難局ニ當リテ其急ヲ救フコトナレリ、然レトモ茲ニ法律上ノ制裁アリテ公衆ニ對シテ自由ニ開園スルコト能ハサリシカ、一千八百九十一年ニ至リテ彼ノ市擴張條例發布サレシヲ以テ、茲ニ初メテ公然開園スルコトヲ許サレタリ、且斯ク開園セラレタルヨリ之ニ對スル人氣非常ニ引キ立チ來レリ、即チ人ノ娛樂場ナリトテ來園スル者甚ハタ多ク、年一年其數ヲ増加セリ、以テ其人氣ヲ得タルヲ證スルニ足ルヘキナリ、蓋シ此植物園ノ教育上ニ裨益ヲ與フルコト幾許ナルヤ測リ知ルヘカラス、是レ市自カラ誇ルニ足ルヘキ所ナリ、此植物園カ市有トナリシ當初ハ其面積僅カニ二十一「エーカー」半ニ過キサリシナリ、然ルニ一千八百九十

二年ヨリ同シク九十六年ニ至ルノ間ニ於テ、ケルヴン河ノ北岸ノ地ヲ買收シタリ、即チクイン、マーガレット、ブリッジヨリマーローヒル、レールウエー、ブリッジニ至ルマテ斜面形ヲ爲セル林地是レナリ、次ニ一千九百年ニ至リテカークリー河ノ南岸ノ地ヲ買收シタリ、此ニ於テ乎此園ノ總面積四十三「エーカー」半トナレリ、而シテ右二回ノ買收中最後ノ分ハ純粹ナル植物園トシテ利用センハ容易ナラスト雖モ、他ノ方面ニ於テ大ニ利用スル所ナクンハアラス、即チ開闢ニシテ廣キ場ナルガ故ニ、勇拔爽快ナル各種ノ遊戯場ト爲スニ足レルコト是レナリ

此公園地ハ元來寒氣甚ハタ強ク且ツ市内ノ彼ノ煙害ヲ蒙フルコト少ナカラサルカ故ニ、草木中培養育養スルコト能ハサル種類ノモ甚ハタ多キナリ、然レトモ草木愛翫者ノ目ヲ喜ハシムヘキノモ亦少ナカラサルナリ、且ツ最モ多ク遊覽者ノ注意ヲ惹クモノハ植物培養所是レナリ、此培養所ニハ主トシテ珍ラシキ外國産ノ草木カ育養セラレハナリ、夏季ニ際シテ雲雨多ク青天ヲ見ルコト稀レナル此市内ニ於テハ彼ノ天候佳良ナル所ヨリモ斯ル培養所ノ一層必要ナルコト知ルヘキノミ、之ニ加フルニ冬季花園モ亦タ是レ具羅斯哈ニ取リテハ最モ必要ナリト云ハサルヘカラス、キップル、ブレースニ於テハ此種ニ屬スル有名ナル花園アリ、來遊者ハ著名ナル草木ヲ見ルヘク、殊ニ中央培養所ニテハ美麗ナル蕨屬ノ一團ヲ視テ其目ヲ喜ハシムルナラン

第七、マックスウエル公園 (二十一「エーカー」)

此公園ハボーロックノジアン、スタアーリング、マックスウエル氏ノ寄附ニ係ルモノナリ、是レ其名ノ因テ起

ル所以ナリ、而シテ此公園カ市ノ管轄トナリシハ、一千八百九十一年ノ土地添付條例發布以後ナリシナリ、此公園内ニハ模範舟行池、運動場等夫々整頓シ居リテ、左マテ廣大ナラサルモ其地方人民ノ娛樂場ニ最モ能ク適當シタルモノナリ、其周邊ノ景色佳絶ニ其草木ノ清鮮秀麗ナルヨリ、市ノ花園的公園ト呼ハル、コト往々ニシテ之レアリ、此綽名夏季ニ於テ最モ能ク適當セリ

第八、スプリングバイン公園 (六十七「エーカー」)

此公園ハ市ノ極北東ノ地方内ニ在リテ、其地盤、海面ヲ抜クコト三百呎ノ高サニ及ヘリ、其地盤斯ク高キカ故ニ稍ヤ風ノ吹キ荒ル、恐レアリト雖モ、其眺望ノ區域甚ハダ廣クシテ曾テ眼界ニ遮キルモノナク、來遊者ノ健康上ニ益スルコト極メテ多シ、殊ニ平生繁劇ニシテ人生ニ必要ナル諸工業ニ従事セル勞役者ニ取リテハ、非常ニ有益ナル娛樂場ト謂ツヘキナリ、然レトモ此地ハ公園ノ敷地トシテ一千八百九十二年ニ買收ツレタルモノニシテ、其買收當時ノ有様如何ナリシヤト云フニ、空シク荒蕪セル耕地ニシテ其一隅ニハ尙ホ鐵礦ノ碎片カ碌々トシテ横ハリ居リ、他ノ一隅ニハ古礦物ノ片々トシテ散在シ居タリシナリ、然レトモ既ニ公園ノ敷地トナリタル以上ハ其地均シ地固メヲ爲スニ就テ毫モ猶豫セサリシナリ、此際ハイドバクタ機關車製造所ノ持主ゼームス、リード氏ヨリ地均シ工事ノ好材料ヲ寄附セラレタルカ故ニ此工事非常ニ早ク抄カ取リタリ、斯クテ必要ナル事務所、休息所等ノ建築、模範舟行池ノ開掘其他樹木ノ培植等皆ナレ同時ニ著手シタリシカ、此等諸工事ノ抄カ取り方速カニシテ彼ノ敷地買收以來三箇年ヲ出テサルニ、早既ニ見事ニ完成ヲ告ケタリシナリ、而シテ次ニ臨時ノ或ル設備ニ取り掛リタリ、是レハリード嬢ヨリ冬季花

園ノ構造設備ノ爲メニトテ、金一萬封度ヲ寄贈セラレタルヲ以テ其工事ニ著手シタルモノナリ、斯クテ落成開園サレタルハ、一千九百年ニシテ今ハ春夏秋冬何レノ季節ト雖モ、此冬季園ニ曾テ花ノ絶ヘタルコトナク、幾千萬ト限リナキ公衆一般ノ目ヲ喜ハシメ心ヲ樂マシムル所トナレリ

尙ホ二千九百年ニ隣地ヲ買收シタルカ故ニ此公園一層廣クナリ、又タ之ニ加フルニ同年モ一セフフィールドノ地所及家屋ヲモ此公園ニ併セ來レリ、是レヒウ、リード氏カ他ヨリ買受ケテ市ニ寄附シタルモノナリ、茲ニゼームス、リードト云ヘル人アリ、既ニ故人ニナラレタルカ同氏ハ其生前ニ於テ具羅斯哈市ニ功勞最モ著大ナル人ナリ、殊ニスプリングバイン公園ノ今日アルハ多ク氏ノニ依ラスンハアラス、現ニ彼ノ冬季花園ノ寄附者リード嬢ハ取りモ直サス氏ノ令嬢ナリ、此ニ於テ乎同地方ノ人民等相謀リテ此公園内ニ氏ノ紀念碑ヲ建設スルコトニ決シタリ、而シテ此紀念碑ト云ヘルハ其形其大サ全ク生前ニ於ル同氏ト同一ナル立像ニシテ、公園内最高ノ箇所ニ安置シタリ、尙ホ此紀念碑ノ傍ニ公衆ニ快樂ヲ與ヘキ設備ヲモ加ヘタリ

然ルニ偶然ノ出來事ノ爲メニ此公園内ニ一生面ヲ啓クコト、ナレリ、今マ其顛末ヲ左ニ記載セン、去秋諸職業甚ハタシキ不景氣ヲ呈シタル結果、職業ニ離レ生計極メテ困難ナル勞働者甚ハタ多クシテ何トカ之カ救護策ヲ講セサルヘカラサル有様トナレリ、此ニ於テ乎此公園内ニ一工事ヲ起シテ右無職ノ勞働者ヲ此方ニ使用スルコト、ナレリ、乃チ此公園内ノ北東部ヲ開鑿シテ草木ヲ植ヘ付ケ、水禽放養ノ池ヲ造リタリ、而シテ尙ホ二箇所ニ植物培養所ヲ設ケンテ目今其工事中ナリ、此等ノ工事ニシテ愈ヨ落成シタランニハ

公園ニ一生面ヲ啓キテ公衆ニ娛樂ヲ與フルコト得テ知ルヘキノミ

第九、ラックヒル公園 (五十二「エーカー」)

此公園地ハ一千八百九十二年ニ買收サレタルモノナリ、蓋シカウカッデンス及ニウ、シチー、ロードノ北方ニ於ル地方ノ人口甚ハタ稠密ヲ加ヘ來リシト、其他コーリーヒルノ人口速カニ増加シタルヨリ、必要ニ迫ラレテ斯ク公園ヲ設置スルニ至リシナリ、而シテ此公園ノ開設セラレシヨリ此近傍大ニ其面目ヲ改ムルニ至レリ、此公園ニ隣接シテ彼ノラックヒル病院アリ、善ク世人ノ知ル所ナリ、此公園開ケテヨリ更ニ立派ナル新道路啓カレタリ、名ケテビルスランド、トライヴト云フ、此新開道ハスプリングバーン、ボツシルバーク及マリーリーヒル地方ヲ聯絡セシムルノ便ヲ與ヘタルモノナリ

此公園地ハ元來不毛ノ耕地ニシテ且ツ汚穢不潔物等堆積シ、一見以テ公園杯ニハ到底望ミナキモノ、如シ、故ニ之ヲシテ相當ノ公園地トナサンニ、莫大ノ勞力ト金錢トヲ費ヤサルヘカラス、又タ其近傍ニハ數箇所ノ製造所アリテ、之ヨリ流出スルモノハ甚ハタ有害ナルモノニシテ、樹木中其性質濇メテ頑強ナルモノニアラスンハ生育スルコト能ハス、此ニ於テ平廣ク公衆ノ遊樂ニ供スヘキ公園ナカルヘカラス、

此公園敷地ノ有様既ニ斯クノ如クナルカ故ニ、公園ニ必要ナル各種ノ設備ノ如キモ他ノ公園ノ如クナルコト能ハス、然レトモ此公園ニシテ尙ホ且ツ一種獨得ノ好所ナンクハアラス、他盤高クシテ市内其他ノ地方ヲ一望ノ中ニ收メ得ルコト是レナリ、此眺望ノ佳絶ナルコトクインス公園モ恐ク、モ肩ヲ比スルコト能ハサルヘシ、此公園ノ他ニ優レル所ハ草木ノ美ナルニアラス、只タ此眺望アルノミ、試ミニクインス公園ト比

較センカ、彼レハ市ノ南部ヲ望ミ得ヘク、此レハ其北部ヲ眺メ得ヘキナリ、蓋シ二者共ニ眺望ヲ以テ他ニ優レリ

第十、マリーリーヒル公園 (五「エーカー」半)

此小公園地ハ前ノ公園ト均シク一千八百九十二年ニ買收サレタルモノニシテ、市ノ極北端ニアリ、閑靜幽邃ニシテ老幼ノ遊樂場ニハ最モ善ク適セリ

第十一、ゴヴハンヒル休養場 (四「エーカー」)

具羅斯哈市ハ市擴張條例ノ明文ニ從ツテ一千八百九十四年ニ於テ此地ヲ買收セシカ、後幾干モナクシテ幼童ノ休養場ト爲シタリ、之ヲ幼童ノ休養場ト爲シタルハ最モ其當ヲ得タルモノニシテ、頗フル好結果ヲ得タルヲ以テ、平生幼童休養ノ事ニ意ヲ注キタル人カ來遊シタランニハ、趣味自カラ深カルヘシ、而シテ此地勢ハ殆ント方形ヲ爲セルカ故ニ之ヲ二部ニ大別セリ、乃チ其一ハ地面ニ灰類ヲ敷キタルモノニシテ、十二歳未満ノ幼童カ蹴鞠及其他ノ遊戯ヲ試ミルノ場所ト定メ、他ノ一ハ其レヨリ以下ノ幼童ノ遊樂スル所ニシテ其地面ニ草生ヒ茂レルモノ是レナリ、且ツ此部分ニ小形ノ體操器械備ヘ付ケアリテ、年稍ヤ長シタル幼童カ之ヲ保管シ居レリ、而シテ此場ノ中央部ニ休息所等アリテ男女兩性ニ併用セラル、又タ場ノ周邊ニハ樹木等ヲ植ヘ付ケテ以テ限界トナシ、其他人道ニハ小石ヲ敷キ列ネタルアリ、其ノ然ルヘキ箇所箇所ニ腰掛臺備ヘ付ケアリ、嬰兒ヲ携ヘタル慈母達之ニ其身ヲ寄せタランニハ、遊戯ヨリ生スル危險モナク又タ年稍ヤ長シタル幼童ノ馳驅奔跳ヨリ起ル危險モナカルヘキナリ

第十二、バンハウス遊戯場 (六「エーカー」半)

此地ハ一千八百九十五年ニ買收サレタルモノニシテ、其近邊ノ少年ノ爲メニ純然タル蹴鞠場及其他地上遊戯ノ箇所ニ充テラレタルモノナリ、而シテ此場所一千九百一年ニ於テ具羅斯哈萬國大博覽會開設ニ際シテハ、同博覽會ノ器械館トシテ利用セラレタリシカ、今ハ恰モ平常ノ遊戯場ニ復シタリ、此地ヲシテ理想的遊戯場ニ爲サント欲セハ之ニ相當スヘキ設備ヲ爲サンコトヲ要ス、然レトモ結局之ヲ如何ニ利用スヘキカノ問題先ツ解決セララル、ニアラスンハ、如何ナル事ニモ著手スルコト能ハサルナリ、若シ此場ニシテ市内ノ生々發達ノ氣方ニ熾シナル年少子弟ノ爲メニ、純然タル遊戯場ト爲スコト能ハサルノ不幸アリトセン乎、是レ長歎息スルノ外ナキナリ

第十三、ベラハウス公園 (百八十五「エーカー」)

此公園地ハ一千八百九十五年ノ買收ニ係ルモノナルカ、之ヲシテ愈ヨ公園ト爲サンニハ尙ホ是レヨリ以後種々ノ設備ヲ爲サルヘカラス、此地ハ市ノ南西端ニ在リテ市鐵道擴張條例發布以前ハ、具羅斯哈市ノ所轄ト云ハンヨリ、寧ロゴロヴハン及キンニング、パークノ所屬トモ謂ツヘキモノナリシ、然レトモ具羅斯哈市ハ事實斯クノ如クナルニモ拘ラス、其少年子弟ノ爲メニハ諸種ノ設備ヲ爲スニ吝ナラサルナリ、但シ此公園敷地内ニ於テ公衆ニ利便ヲ與フヘキ小工事ノ外、尙ホ未タ何タル計畫ヲモ爲サルナリ、然レトモ近キ將來ニ於テ市民ノ娛樂休養ニ供セラルヘキ設備アランハ亦タ疑フヘカラサルナリ、現在ノ所ニテ人ヲ慰マシムヘキ設備ハ僅カニ球打遊戯場ノ一アルノミ、而シテ此公園地ノ特色ニシテ市民ノ人氣ヲ得ヘキ點ハ

果シテ何所ニアリヤト云フニ、一ハ塲所ノ廣濶ナルト一ハ中央部ノ丘阜ヨリ四邊ヲ見渡ス眺望ノ佳絶ナルモノ是レナリ、斯クテ一千九百一年ニ於テジョン、ステマーリンク、マツキスウエル氏ヨリタムブレーキノ地「エーカー」半ヲ買收シ、尙ホ一千九百三年ニ於テイブロッツキスヘルノ地ヲモ買收シタリ、此地ハ天然ノ樹林繁茂シテ公園ニ一景色ヲ添ヘ來リ、且ツ市民ノ來遊スルニ一層ノ便利ヲ與ヘタルモノナリ、又タ管ニ此公園ニ爽快娛樂ノ量ヲ加ヘシメタルノミナラス、概シテ此邊一帶ノ地ヲシテ然カセシメタルモノト謂ツヘキナリ

第十四、トルクロツス公園 (八十二「エーカー」半)

具羅斯哈市ノ東部地方ハ人口大ニ繁殖シタルヨリ、茲ニ一ノ公園ヲ開設スルノ必要ヲ感シ、其敷地ト爲スニ足ルヘキ適當ノ箇所ヲ搜シ索ムレトモ容易ニ之ヲ見出スコト能ハス、其搜索方ニ甚ハタ困難シ居タリシカ、終ニ善ク世人ニ知ラレ且ツ衆人ノ尊敬ヲ受クヘキ一良民某氏ノ盡力ニ依リテ一千八百九十七年ニ一ノ地所ヲ公園ノ敷地トシテ買收シタリ、則チトルクロツス、ハウスノ家作及其周邊ノ立派ナル屋敷地是レナリ、此家屋敷ハ久シク故ゼームス、ダンロツプ氏ノ所有ニ屬シ居リテ、同氏カ諸種ノ草木培養ノ事ニ就テ大ニ心志ヲ竭サレタルヲ以テ、今ハ樹林善ク繁茂シ均シク同種類ノ樹木ニテモ大小長短各々均シカラス、是レ其生ヘ出テシ以來ノ年數ニ差異アルヲ證スルニ足ルヘシ、而シテ此等ノ樹木ノ林ヲ爲セル中間ヲ潺々タル小流ノ曲リノテ流レ行クアリ、以テ一段ノ清趣ヲ添ヘ來レリ、而シテ故マクドナルド氏カ其所有ナル煖室ヲ數多ノ植物ト共ニ寄附セラレタルニ依リ、更ニ之ニ建増ヲ爲シ其規模ヲ擴張シ、以テ今日ノ完全

ナル暖室ノ一群ノ中心點トナレリ、又タ舊來ノ養鶏園カ一變シテ植物培養所トナレリ、斯クノ如クシテ樹木灌木等年一年ト増加シ、時ニ或ハ尋常一樣ナラサル草木ノ蒐集サレタルコト一ニシテ足ラサルナリ

第十五、リッチモンド公園 (四十四「エーカー」)

ゴルバルス、クロッス以東ウルマジー及ハッチエソタウンノ南東部ニ擴張セル地方ニ於テ人口ノ増加スルコト極メテ速カナリシナリ、此ニ於テ乎リッチモンド河ノ南側ニ於テ廣濶ナル地所ヲ得テ以テ、此等ノ人ノ娛樂休養スル所ト爲スノ必要起レリ、具羅斯哈市カ既ニ此點ニ注意スルコト決シテ一朝一夕ノ故ニアラサリシカ、終ニ種々ノ困難アリテ後一千八百九十七年ニ於テ、此公園ノ敷地トナルヘキ地所ヲ買收シタリ、而シテ此公園開設工事ノ第一着手トシテ、直チニ從來ノ粗造不體裁ナル家屋取拂ニ取リ掛レリ、又タ工事ノ抄取方徐々ナルコトニ就テ之ヲ云ヘハ、幽鬱ナル沼地ノ埋立工事はレナリ、斯クテ各種ノ部面カ完成ヲ告ルト共ニ公開セラレタルナリ、先ツ第一ノ部面カ公開セラレタルハ一千八百九十九年ニシテ、其當時老徳、プロヴオスト、ワー、ダビデ、リッチモンド氏カ主トナリテ公開セラレシカ、同氏ハ此公園開設ノ爲メ又タ市ノ爲メ其功勞最モ著大ナルカ故ニ、市民カ其功勞ヲ永ク忘レサル紀念トシテ氏ノ名ニ因ミテ此公園ヲリッチモンド公園ト命名シタリ、而シテ此公園開設セラレタルヨリルーザーグレン街道ヲ改良スルノ必要起レリ、此街道改良セラレシヨリ世人爲メニ便利ヲ得ルコト尠ナカラサルナリ、且ツクリード河ニ一小橋ヲ架シ對岸ノホルマジー、ロードヨリグラスゴー、グリーンヘ通スルノ新道路開ケ、舊來ノ舟渡シニ比シテ一層ノ便利トナレリ、又タ市内ノ公園中ニテ最モ大ナル池カ開鑿中ナルモ最早ヤ落成ニ近ツキ

居レリ、又タ公園ノ事務所ヲモ目今建築ノ計劃中ナリ而シテ公園ノ東部ノ大半ハ來秋早々公開セラル、豫定ナリ、然レトモ其他ノ部分ノ落成期ハ翌年ナルヘシ、此公園ニシテ全ク落成シタランニハ、市内ノ公園中ニテ最モ顯著ナルモノトナルヘシ

右ニ掲ケ來レル諸公園ノ外尙ホ公園取締局ノ管轄ニ屬スル小規模ノモノアリ、曰ク廣サ「エーカー」ノ四分ノ一ヨリ「エーカー」マテノ分二十箇所、又タ同シク「エーカー」ノ四分ノ一ヨリ半「エーカー」マテノ分六箇所アル是レナリ、

凡ソ公園中ニハ概シテ活潑ナル遊戯場ノ設備アラサルハナシ、アレキサンドラ、ブラックヒル、ペラハウストン等ノ公園ニ於ル蹴鞠、球打、遊戯ノ如キ是レナリ、而シテ又タ體操場ノ設備アル公園如何ト云フニ、グラスゴー、グリーンニ於テハ成年者ノ分一箇所、幼年者ノ分二箇所アリ、ゴウハンヒル、グラウンドニ於テハ幼年者ノ分一箇所之レアリ、且ツ昨年グラスゴー、グリーンニ於テ二箇所ノ玉投場ヲ開設セシニ共ニ好成績ヲ舉タルヨリ、左ノ箇所ニ於テハ各々二箇所ツ、ノ玉投場ヲ開設スルコト、セリ即チ、クルヴキングローヴ、クインス、及ヒスプリングバーンノ三箇所ニシテ本年中ニハ何レモ落成ノ豫定ナリト云フ何レノ公園ニテモ數年前ヨリ夏月ノ間音樂ノ設備アラサルハナシ、且ツグラスゴウ、グリーン及ヒスプリングバーン公園ノ冬季花園ニテハ冬季ノ間ト雖モ尙ホ且ツ音樂ノ設備ハリ居レリ、而シテ此等ノ公園ニ於テ本年中ニ演奏サレタル音樂會ノ回数ハ其計二百八十五回ニシテ、其費用ノ總計ハ二千五百封度ノ金額ニ上レリト云フ

昨、年、中、此、等、ノ、音、樂、會、ニ、備、ハ、レ、タ、ル、樂、人、ノ、平、均、數、ハ、二、百、八、十、名、ニ、シ、テ、之、ニ、支、拂、ヒ、タ、ル、給、料、ハ、總、計、一、萬、九、千、封、度、ナ、リ、シ、

總、テ、公、園、ノ、形、勢、有、様、等、ハ、種、々、様、々、ニ、シ、テ、一、定、セ、ル、モ、ノ、ニ、ア、ラ、ス、然、レ、ト、モ、公、園、設、置、ノ、事、ニ、關、シ、テ、市、ノ、設、計、ス、ル、所、如、何、ヲ、視、察、ス、ル、ニ、公、園、ノ、各、所、在、地、市、ノ、周、邊、ニ、順、序、善、ク、配、置、セ、ラ、レ、居、ル、ヲ、見、ル、ニ、足、ル、ヘ、シ、尙、ホ、其、他、市、民、ニ、取、リ、テ、公、園、ニ、就、テ、便、利、ナ、ル、コ、ト、ア、リ、何、レ、ノ、公、園、ニ、テ、モ、鐵、道、便、ニ、テ、行、キ、得、ラ、ル、コ、ト、是、レ、ナ、リ、

貝、羅、斯、哈、市、カ、過、去、十、數、年、間、ニ、於、テ、公、園、設、置、ノ、爲、メ、ニ、力、ヲ、盡、シ、タ、ル、コ、ト、ハ、實、ニ、莫、大、ナ、リ、ト、云、ハ、サ、ル、ヘ、カ、ラ、ス、然、レ、ト、モ、其、人、口、ノ、甚、ハ、タ、增、加、シ、行、ク、點、ヨ、リ、之、ヲ、云、ハ、公、園、ノ、多、キ、ハ、決、シ、テ、厭、フ、ヘ、キ、ニ、ア、ラ、ス、否、ナ、最、モ、必、要、ナ、リ、ト、云、ハ、サ、ル、ヘ、カ、ラ、ス、現、時、國、會、議、員、ノ、一、人、ナ、ル、カ、メ、ロ、ン、コ、ウ、ベ、ッ、ト、氏、ハ、其、所、有、地、ナ、ル、ソ、ル、ン、レ、ー、バ、ン、ク、ノ、或、ル、地、區、ヲ、公、園、ノ、敷、地、ト、シ、テ、市、ニ、寄、附、セ、ン、コ、ト、ヲ、申、シ、出、テ、タ、リ、是、レ、他、ノ、紳、士、ヲ、シ、テ、斯、ル、美、舉、ニ、倣、ハ、シ、ム、ル、効、力、ア、ル、ノ、ミ、ナ、ラ、ス、市、ニ、モ、亦、タ、市、内、適、當、ノ、位、置、ニ、公、園、ヲ、設、置、セ、シ、ム、ヘ、キ、警、告、ヲ、與、フ、ル、モ、ノ、ト、謂、フ、ヘ、キ、ナ、リ、

文 庫

具、羅、斯、哈、市、ノ、所、轄、ニ、屬、ス、ル、公、開、文、庫、ハ、左、ノ、如、シ、

第一、ミ、チ、エ、ル、文、庫

第二、市、内、各、所、ノ、文、庫

尙、ホ、右、ノ、外、市、ニ、於、テ、ス、チ、ア、ー、リ、ン、グ、文、庫、及、ヒ、ベ、ー、リ、ー、文、庫、ノ、事、務、ヲ、モ、取、リ、扱、ヒ、居、レ、リ、而、シ、テ、老、德、ブ、ロ、グ、ー、ス、ト、氏、カ、ス、チ、ア、ー、リ、ン、グ、文、庫、長、ヲ、兼、ネ、其、ノ、他、市、ノ、吏、員、三、名、カ、其、支、配、人、ト、ナ、リ、又、タ、市、ノ、一、吏、員、カ、ベ、

ー、リ、ー、文、庫、ノ、支、配、人、ト、ナ、レ、リ、

抑、モ、ミ、チ、エ、ル、文、庫、ノ、由、來、ヲ、尋、ス、ル、ニ、故、ス、テ、フ、ン、ミ、チ、エ、ル、氏、カ、其、遺、物、ト、シ、テ、寄、贈、セ、ラ、レ、タ、ル、モ、ノ、是、レ、ナ、リ、目、今、具、羅、斯、哈、市、中、ニ、於、ル、公、開、文、庫、中、ニ、テ、モ、此、ミ、チ、エ、ル、文、庫、ハ、甚、ハ、タ、顯、著、ナ、ル、モ、ノ、ナ、ル、カ、畢、竟、ス、ル、ニ、ミ、チ、エ、ル、氏、ノ、寄、附、カ、其、基、礎、中、心、ト、ナ、リ、テ、其、後、他、ノ、寄、附、等、ニ、テ、漸、次、盛、大、ト、ナ、リ、タ、ル、モ、ノ、ニ、外、ナ、ラ、サ、ル、ナ、リ、

ミ、チ、エ、ル、氏、ハ、元、ト、是、レ、リ、ン、リ、ス、ゴ、ウ、ノ、産、ニ、シ、テ、其、家、ハ、一、千、七、百、二、十、三、年、以、來、煙、草、製、造、業、ヲ、營、ミ、居、タ、リ、氏、ハ、一、千、七、百、八、十、九、年、九、月、十、九、日、ニ、生、レ、一、千、八、百、九、年、ヨ、リ、其、家、業、ニ、從、事、ス、ル、コ、ト、ナ、リ、一、千、八、百、二、十、年、ニ、至、リ、テ、其、ノ、家、業、ノ、全、權、ヲ、握、リ、一、千、八、百、五、十、九、年、ニ、於、テ、廢、業、シ、一、千、八、百、七、十、四、年、四、月、二、十、一、日、急、病、ニ、羅、リ、テ、逝、去、ス、氏、カ、尙、ホ、煙、草、製、造、業、ヲ、營、ミ、居、ル、内、一、千、八、百、二、十、五、年、ニ、其、生、地、リ、ン、リ、ス、ゴ、ー、ヨ、リ、具、羅、斯、哈、市、ヘ、移、轉、シ、來、リ、テ、尙、ホ、活、潑、ニ、手、廣、ク、商、業、ヲ、營、ナ、ミ、タ、リ、氏、ハ、曾、テ、公、務、ヲ、執、リ、タ、ル、コ、ト、ナ、カ、リ、キ、然、レ、ト、モ、漫、遊、ス、ル、コ、ト、ヲ、好、ミ、普、ネ、ク、群、藉、ヲ、涉、獵、セ、リ、氏、ニ、此、ノ、特、有、性、ア、リ、彼、ノ、莫、大、ナル、寄、附、モ、恐、ラ、ク、ハ、此、特、有、性、ニ、基、キ、タ、ル、モ、ノ、ナ、ラ、ン、

斯、ク、テ、ミ、チ、エ、ル、氏、ノ、後、事、受、托、者、ヨ、リ、氏、ノ、遺、言、ナ、リ、ト、テ、具、羅、斯、哈、市、會、ヘ、寄、附、セ、ラ、レ、タ、ル、金、額、六、萬、六、千、九、百、九、十、八、封、度、十、噓、六、ダ、イ、ム、ナ、リ、而、シ、テ、此、寄、附、金、ニ、就、テ、一、ノ、趣、意、書、ア、リ、左、ノ、如、シ、

- 一 此文庫ハミッチェル文庫ト名クヘキ事
- 一 此寄附金ハ適當ナル所ヘ預金トナシ、七万封度ノ額ニ達スルマテ利殖法ヲ計ルヘキ事、但シ文庫開

設前尙ホ必要アリト認メタランニハ、右金額ヨリ以上マテ利殖法ヲ計ルモ苦シカラス

一 此文庫備付ノ書籍ハ如何ナルモノニテモ妨ケナシ、政事上若シクハ宗教上ニ關スル書籍ニテ今日ノ輿論ニ反スル議論アルモ妨ケナキモノトス

一 此文庫ハ一定ノ規則ヲ設ケタル以上ハ自由ニ公衆ノ閱覽ヲ許スヘキ事

一 金圓若シクハ書籍ヲ此文庫ニ寄附スルモノアラハ之ヲ領收スヘキ事

一 寄贈ノ書籍ニハ成ルヘク其寄贈者ノ名若シクハ他ニ分リ易キ名ヲ附シテ一箇所ニ蒐集シ置クヘキ事
既ニシテ市會ハ右趣意書ニ基キテ該文庫創設委員會ナルモノヲ組織シタリ、此ニ於テ此委員會ハ夫々適當ノ準備ヲ爲シテ、一千八百七十七年十一月イングラム街ノ東端ニ於ル一時假設ノ箇所ニテ公衆ニ對シテ開庫シタリ而シテ此文庫備付ノ書籍選擇ノ主意ハ概ネ左ノ如シ

一 此文庫備付ノ書籍ハ凡ソ人類ノ各思想ニ適セシメントコトヲ要シ、又タ各種ノ議論學說ヲ有セシムヘキモノトス

一 此文庫備付ノ重モナル書籍ハ其價值永久不變ニシテ人ヲシテ根本的利益ヲ得セシムヘキモノトス

一 近代當今ノ書籍ニシテ價值アリ有益ト認ムルモノハ時々蒐集スヘキ事

一 世ニ珍書ト稱セラレ極メテ高價ニシテ一個人タル讀書家學生ノ容易ニ得難キモノハ出來得ヘキ丈ケ蒐集センコトヲ勤ムヘキ事

一 此文庫組織ノ主意ハ他ヘ貸出サンヨリ寧ロ來觀者ノ閱覽參考ニ供スルニアリ

而シテ此文庫ノ公開サレタルハ一千八百七十七年十一月五日ニテ、其當時ノ書籍現在總數ハ一萬四千卷ナリシナリ、而シテ其開庫初日ニ閱覽者ニ貸シ出シタル書籍ノ冊數ハ百八十六冊ナリシカ、以來此文庫非常ノ速力ヲ以テ進歩發達シ、且ツ文庫歴史中ノ特有性トシテ有益有用ノ書籍多ク、從ツテ公衆ノ人氣自カラ集中シ來レリ、斯クテ一千八百八十年ノ終末ニ於テハ此文庫ノ書籍現在數三萬三千卷ニ達シタリ、後五年目々々々ノ書籍現在總數ヲ舉クレハ左ノ如シ、曰ク一千八百八十五年ニハ六萬二千卷、一千八百九十年ニハ八萬七千卷、一千八百九十五年ニハ十二萬卷、一千九百年ニハ十四萬二千卷、一千九百四年ノ半ハニ至リテハ十六萬卷以上ニ上レリ、今マ其廣サ諸種ノ書籍ノ多キコト、及文庫タルノ眞價アル所ヨリ之ヲ見レハ、此王國中文庫ノ首位ヲ占ムルモノト謂ツヘキナリ、斯クテ餘程ノ年月間ハ閱覽者ノ増加シ來レル割合書籍數ノ増加シ來レル割合ニ均シカリシナリ、然ルニ書籍餘リニ多ク蒐集サレタルヨリ反ツテ取扱上不便不都合ヲ感スルニ至レリ、即チ一千八百八十三年以後數年間ハ書籍ノ蒐集多キニ失シタルヨリ、文庫ノ取扱上獨リ不便ヲ感スルノミナラス、閱覽者ヲシテ不快ノ感シヲ起サシムルコトサヘアリ、事既ニ此ニ至レハ閱覽者ノ數ヲ減少シ來レルハ亦免カルヘカラサル結果ナリ、此文庫ノ當初建設地ニ在リテ書籍ノ大多數ニ達シタルハ、一千八百八十五年ニシテ其總數四十六萬八千五百六十六卷ナリシナリ、尙ホ此文庫本來ノ建設地ナルイングラム街ニアルコト五箇年ナリシカ、此年月間閱覽者ノ數ハ稍ヤ減少シタリ、是レ蒐集書籍ノ多キニ過キタルヨリ其取扱上不便ナルニ基カスンハアラス

文庫委員會ナルモノカ一層適當ナル文庫ヲ建設セサルヘカラサル必要ヲ感シ、之カ爲メニ苦心焦慮スルコ

ト一朝一夕ノ故ニアラスト雖モ、曾テ之ヲ建設スルノ機會ヲ得シテ空シク此ニ多年ヲ經過セシメタリシカ、遂ニ其時期到來シテ之ヲ建設スルノ運ヒトハナレリ、今マ其顛末ヲ左ニ述ヘント欲ス、曰クゼゾーチスカイアーニ於テ既ニ建築中ナリシ市役所カ全ク落成シタルヨリ茲ニ初メテ多年ノ宿望ナル彼ノ文庫建設ヲ愈ヨ實行スルノ機會到著シタリシナリ、即チ瓦斯水取締事務局カ新築ノ市役所内ニ移轉シタルヨリ從來ノ同事務局カ不用トナレリ、此ニ於テカ市會ノ議決ヲ以テミルラー街ニアル同事務局ノ跡ヲ將來ノミツチエル文庫建設地ト爲セリ、然レトモ之ヲシテ文庫用タラシメンニハ甚ハタ大ナル模様替ヲ爲サルヘカラス、即チ其敷地ノ後部ニ於テ便利ニシテ適麗ナル讀書室ヲ建設スルカ如キモ、亦タ是レ其模様替ノ一タリ、斯クテ此等ノ工事ヨリ無數ノ書物箱ヲ備付ケル事、公衆用ノ設備、其他事務所建築工事等ニ至ルマテ全ク落成シタルハ、一千八百九十一年ノ秋ニシテ同年十月七日茲ニ再ヒ開庫セラレタリ、此開庫式ハブート侯爵カ主トナリテ舉行セラレタリ

斯クテ後數年間此文庫ノ歴史上或ル二三ノ事實ニ就テ之ヲ云ハンニ、以前ノ歴史ヲ繰リ返シタルニ過キサリシナリ、然レトモ閱覽者ノ便利上從來ニ比シテ一層改良サレタル點少ナカラス、是レ閱覽者ノ數大ニ増加スル所以ナリ、而シテ一千八百九十四年ニ於テ閱覽者再ヒ殆ント溢レントスルニ至レリ、即テ同年中閱覽者ニ貸シ出シタル書籍ノ總數五十一萬九千九百九十六卷ニシテ平均一日間ノ閱覽者一千七百三十一人ニ當レリ、然レトモ是レ畢竟スルニ閱覽者ノ最モ多カリシ年ニ過キサリシナリ、其後數年間ノ閱覽者ハ其數一層減少シ來レルナリ、今貸與書籍ニ就テ之ヲ云ハンニ一千八百九十二年ニ於テハ五十一萬三千四百五十九卷ニシ

テ、其後年々ノ貸與書籍數ハ左ノ如キ順序トナレリ、曰ク四十七萬四千十三卷、四十八萬六千五百七十八卷、四十五萬一千六百三十四卷、四十二萬六千六百六十五卷、四十五萬四千八百九十五卷、四十六萬七千九百七十三卷ナリシカ、一千九百二年ニ至リテハ著シク其數ヲ増シテ四十九萬四千二百七十三卷トナレリ、而シテ一千九百三年ニ於テハ、尙一層改良ヲ加ヘタル結果トシテ、其數大ニ増加シテ五十二萬七千四百十卷トナレリ、是レ當文庫ノ歴史中一箇年間ニ貸與書籍ノ最多數ト謂ツヘキモノナリ、此文庫ノ公開セラレシ以來閱覽者ニ貸與セラレタル書籍ノ總數ハ殆ト一千一百萬卷ニ及ヒシナリ、又タ雜誌類展覽室ニハ定期刊行ノ諸雜誌凡ソ五百種アリ、皆ナ閱覽ニ便ナラシムル様排置セラレサルハナシ、而シテ此等ノ雜誌ハ概シ寄贈ニ係ルモノニシテ、購買セララル、モノハ極メテ少ナキナリ

紙數限リアル此冊子ニアリテハ此文庫ノ内容如何ヲ詳述スルノ餘地アラサルナリ、故ニ今マ吾人ノ記述スル所ハ僅カニ其概要ニ過キササルナリ、今マ其蒐集サレタル書籍ニ就テ之ヲ云ハンニ、文學ニ關スル諸科ノ書籍ノ如キハ其科々々ノ代表者トモ謂ツヘキモノカ集メラレ居レリ、但シ散文體ノ小説ハ此限ニアラス、其他具羅斯哈市ノ利害ニ關スル書籍類、蘇格蘭ノ詩學文學ニ關スル書籍ハ最モ注意シテ蒐集サレタルモノト見受ケラル、且ツ此文庫創業當時ノ政略上諸學科中ノ傑作雄篇ハ大抵網羅セサルハナシ、殊ニ美術工藝品ノ如キ實用科學ニ關スルモノ、如キ、其他斯ル大規模ノ文庫ナラテハ決シテ普通ノ學者讀書人ノ手ニ入リ難キ大著述若シクハ珍書ノ如キ、皆ナ是レ備ハリ居ラサルハナシ、又タミツチエル文庫ハ此國主要部ノ重モノナル公開文庫ナルカ故ニ、彼ノ一時限リノ日刊新聞ノ如キモ概ネ之ヲ永久ニ保存スルノ方針ヲ取レリ、

規模ノ最モ大ナル文庫ニシテ若シ斯ル方針ヲ取ラサルトセン乎、斯ル日刊新聞ノ如キモノハ永ク保存セラ
ルヘキモノニアラス、抑モ日刊新聞ナルモノハ他日歴史若シクハ社會學研究ノ好材料ナレハ、之ヲ永ク保
存シ置クノ必要アルハ、今更云フヲ要セサルナリ、彼ノ日刊新聞及定期刊行ノ雜誌ノ如キ積ンテ嵩高トナ
ルヘキモノナレハ一個人トシテハ永ク之ヲ保存シ置クコト甚ハタ困難ナルカ故ニ、サテコンスル文庫ニ於
テ永ク保存スルコト、ハナセリ

又タミ^フチ^ル氏ヨリ寄附金ヲ爲セル條項中ニ曰ク何人ニ限ラス此文庫ニ寄附セントスルモノアラハ之ヲ領
收スヘキモノトス、此條項アルカ故ニ世ノ慈善家篤志家ノ寄附セラル、コト甚ハタ多キナリ、文庫備付品
ノ大半及最モ貴重ナル書籍類多クハ斯ル寄附ヨリ成レルモノト知ルヘシ、尙ホ精密ニ之ヲ云ヘハ文庫ノ現
在書籍ノ三分ノ一ハ此種ノ寄附ニ係レルモノナリ、故ベ^ーリ^ー、ゼ^ーム^ス、モ^キル^氏ハ其遺物トシテ最モ
大ナル寄附者ノ一人ナリシナリ、氏ハ文庫委員會ノ一人ニシテ此文庫ニ就テハ大ニ心志ヲ竭サレタル人ナ
リ、又タ此文庫ノ益々隆盛ニ赴クヲ見テ以テ大ニ喜ヒタル人ナリ、氏ハ嘗ニ其藏書三千五百卷ヲ寄附セラ
レタルノミナラス、別ニ書籍買入費トシテ一萬一千五百封度ヲ寄附シタリ、而シテ今ハ此文庫内ニテモイ
ル氏ノ寄附ニ係レル書籍ノ總數二萬一千卷アリシカ、右書籍買入資金ハ左マテ減少セサリシナリ、尙ホ其
他遺產トシテ寄附セラレタルモノ數者ヲ舉ケンニ、同シク文庫委員會ノ一員タルロガン氏ヨリ五百封度、
ルキ、カムチベル氏ヨリ四千封度、ゼ^ーム^ス、ヘルソン氏ヨリ五百封度、アレキサンダー、ドウナルド氏
ヨリ一百封度ヲ寄附サレタリ

近コロニシテ最モ著大ナル寄附ハロバート、ゼツフレ^ー氏ノ寄附ニ係ルモノ是レナリ、氏ハ其所有ニ係ル
ゼツフレ^ー、レヘレンスト云ヘル文庫ヲ其家屋ト共ニ遺產トシテ寄附シタルナリ、而シテ其寄附ノ宛名ハ
老^ド、プロヴオスト氏、市吏員、具羅斯哈市會ミ^ッチ^ル文庫ノ事務員等是レナリ、但シ其寄附セラレタル
要點ハ、之ヲ永ク保存シ置キテ汎ク公衆ヲ利スルニアリ、サテ此寄附ニ係ル文庫ノ書籍總數ハ四千卷アリ
其内ニハ價甚ハタ高貴ニ且ツ珍書モ少ナカラス、博物學ノ各科ニ屬スル書籍殊ニ飛禽學ニ關スル書籍、埃
及、希臘、羅馬及其他ノ國ノ古代ニ關スル書籍、美術ノ各科ニ關スル書籍等備ハリ居レリ、又タ其寄附ニ
係ル建物ノ如キハ二萬封度以上ト評價セラル、然レトモ此ゼツフレ^ー、レヘレンス文庫ヲミルラー街ニ於
ル目下ノミ^ッチ^ル文庫内ニ移サンコトハ、勢ヒ決シテ出來得ヘカラサルナリ、故ニ一時假リニケルヴ^ッキン
クローヴ公園内ナル舊博物館ニ移シタルナリ、而シテ此所ニテ公開シ又一定ノ規則ヲ設ケテ閱覽券ヲモ發
賣スルコト、セリ

此文庫ヘ書籍ヲ寄贈シタルモノハ甚ハタ少ナカラス、今マ其内ノ重モナルモノ、ミヲ左ニ掲ケン、曰ク具
羅斯哈大學校員、リチャード、カーマ^ス、アレキサンデルガ^ージ^子、老^ド、プロヴオスト、ゼ^ーム^ス、
ベル、ベルハウストンノ受^ト者、ブリツチス博物館ノ受^ト者、印度局、合衆國政府、故ゼンキンス、故ス
メリ^ー氏等是レナリ

ミルラー街ニ於ル現在ノ建物ニテハ通常ノ文庫事業ヲ取リ扱ハントスルニ、甚ハタ不充分ナルヲ感スルニ
至レリ、又タ彼ノゼツフレ^ー、レヘレンス文庫モ一時假設ノモノニアラスシテ、永久ニ繼續スヘキモノ、

必要ヲ感スルニ至レリ、此ニ於テ乎市ハ全ク新規ニ建設シテ此等ノ必要ニ應セント決議スルニ至レリ、乃チ斯ル決議ノ結果トシテ市ハ聖、アンドロウ、ハウルストノース、ストリートトノ中間ノ一地區ヲ文庫建設ノ敷地トシテ文庫委員會ノ手ニ譲リ渡シタリ、抑モ此一地區ト云ヘルハ殆ント方形ノ地ニシテ堅横共ニ百八十七呎アリ、而シテ其面積ハ三千八百八十方「ヤード」アリ、斯ル地區ハ差シ當リ現在ノ文庫建設地トシテハ、其必要ヨリ一層廣キカ故ニ、其建坪ハ二千方「ヤード」トナシ、自餘ノ地面ハ他日ノ擴張用ニ充テントスル見込ニテ其儘ニ爲シ置ケリ、而シテ此新築ニ要スル總費額ハ三萬七千五百封度ノ豫算ナリ、既ニシテ此新築落成シタレハ、之ト同時ニミツチル文庫ノ整理及之ト關聯セル蒐集ノ書籍モ此ニ至リテ満足スヘキ基礎確乎トナリ、斯ル雄大ナル文庫カ常ニ公開セラル、コト、ナレハ、是レヨリ以後從來ニ比シテ一層好成績ノ擧カランハ期シテ待ツヘシ

地方文庫ノ事

一千八百九十八年六月ニ開カレタル具羅斯哈市會ニ於テ左ノ如キ事項カ議決セラレタリ、曰ク市ノ管轄ニ屬スヘキ文庫支部即チ地方文庫ヲ設置スルコトヲ議決シタルコト是レナリ、此時市會ノ議長ハ市ノ前會計官ニシテ文庫委員會ノ現任會長タルアレキサンダー、ムーレー氏ナリシカ、而シテ市會議員ノ一人ナルベ、ーリ氏カ右決議ニ關シテ一ノ動議ヲ起シテ曰ク、具羅斯哈市中ノ各所ニ文庫ヲ設立セシムヘキ權能ヲ市ニ與ヘラルヘキ議案ヲ國會ニ提出セント欲スト、此動議大多數ヲ以テ可決セラレタリ、斯クテ其翌年公開文庫ト關係セル鐵道布設ノ議案國會ニ於テ可決セラレ、又々文庫開設ノ議案モ同シク異議ナク可決セラレタリ

斯クテ國會ノ議決ヲ經テ市ニ與ヘラレタル權能ハ、公開文庫條例ニ基キテ與ヘラレタルモノト毫モ異ナル所ナキナリ、即チ土地ヲ買收シ屋舎ヲ建築シ、且ツ此等ノ文庫維持費ニ充テシカ爲メニ、家屋稅ヲ徵收シ得ヘキ權能是レナリ、但シ其稅率ハ家賃一封度ニ就キ「ペンニー」ニ踰ユルヲ許サス、而シテ此稅ハ半ハ家主ヨリ半ハ居住者ヨリ徵收スルモノトス

然レトモ市ハ斯ル權能ヲ實行スルニ先シテ爲スヘキ必要ノ事アルヲ認メタリ、市中一般ニ行キ渡ルヘキ文庫制度ヲ設クルノ必要アル事實ヲ擧ケテ一ノ報告書ヲ調製スルコト是レナリ、既ニシテ此報告書ナルモノ編製サレ之ヲ討議ニ附セシニ異議ナク可決セラレタリ

此報告書中ニ記載スル所ヲ以テスレハ地方文庫ヲ八箇所ニ設置スルノ計畫ナリ、而シテ各文庫ノ設計如何ト云フニ庫外貸出部、庫内閱覽部、一般ノ閱覽室、新聞閱覽室、婦人閱覽室、幼年男生、并幼年女生ノ閱覽室其他必要ナル部局及事務所等ノ設備是レナリ

然ルニドクトル、カーネギー氏ヨリ老德プロウヴスト氏ノ許ヘ左ノ如キ書面ヲ差シ越シタルヲ以テ右ノ如キ計畫モ大ニ變更セサルヲ得ス、其書面ニ曰ク

「今回予ハ文庫支部設置費トシテ十萬封度ヲ寄附致シ候、是レ人民一般ノ大利益ナルヘシト確信罷在候、首ヲ回セハ小生ノ兩親カ二人ノ幼キ男兒ヲ携ヘテ、八百噸積ノ「ウ」スキヤット號ニ乘リ込ミブルミールウヨリ紐育ヘ向テ出帆セシ以來、本年カ恰カモ五十二年ニ相當セリ、今マ此等ノ紀念ノ爲メ前記ノ金額貴君ノ御手元マデ寄附致シ候

具羅斯哈市ノ善ク發達進步致シ候事ハ他ノ市府ノ好模範トモ相成ルヘキ程ニ御座候、斯ル市ノ事業ノ幾分ニテモ助長セシメ得ンコト、小生ノ幸福ト存セラレ申候世界到ル所ニ散在ル蘇格蘭人、具羅斯哈市ノ益々隆益ナランヲ願ハサルモノナシ

一千九百一年五月七日

アントリウ、カーチギ

老德^{ポルト}プロヴオスト君

附言、小生ノ銀行管理人ハ本文寄附金ノ内如何程ニテモ御指圖次第直チニ御送金可申手筈ニ致シ置候間此段爲念申添候也

右ノ如キ莫大ナル寄附金ノ申込アリタルヲ以テ、地方文庫設置ノ事ニ關シテ既ニ是認サレタル設計モ從テ變更セサルヘカラス、乃チ從來ノ設計ヲ一變シテ文庫設立ノ箇所ヲ増加シテ十四箇所トナシ、書籍閱讀所ヲ三箇所ト爲シ此等ノ變更條項ヲ原案トシテ會議ニ附セシニ多數ヲ以テ可決セラレタリ

今マ新規ニ計畫シタル所ニ據レハ、設置スヘキ文庫ノ等級ヲ分チテ三等ト爲セリ、内最モ大ナルモノハ人口最モ稠密ナル箇所ニ設立スルコト、シ、以下二等ハ之ニ準據スルモノトス、今マ其設置スヘキ箇所ニ就テ之ヲ云ハンニ、第一等ノ文庫ヲ設置スヘキ箇所ハブリッチトン。タウンヘッド。ウードサイド。アンデルストン。及ゴーハルスノ五箇所、同シク第二等ノ箇所ハパークヘッド。デンニストン。スプリングバイン。メーリーヒル。キングストン及ゴーヴハンヒルノ六箇所、同シク第三等ノ箇所ハヒルヘッド。クロツスマイルーフ及ハッチェンタウン三箇所是レナリ、但シ此内最後ノハッチェンタウン其後ノ市會

ニ於テ第二等ノ分ヘ上スコトニ決シタリ

又タ書籍閱讀所ハボッシルバリー及イースト、ボーロック、シールズニ設置スルコト、爲シ、尙ホ之ニランキン書籍閱讀所ヲ加フ、此ランキン書籍閱讀所ト云ヘルハ元トホワイトヴール浴場ニシテランキン氏ノ所有ナリシカ、氏ノ遺物トシテ寄附セラレ之ヲ書籍閱讀所ト爲シタルヲ以テ、其名ニ因ミテランキン書籍閱讀所ト唱ヘ出セルナリ、而シテ此書籍閱讀所ハ一千九百二年一月ヨリ公開セラレタリ、斯クテ世間ノ氣受甚ハタ善クシテ日々ノ閱讀者四百人乃至五百人アリ、今ハ大ニ發達進步シタルヲ以テイートス、ホウロツクシールズ地方ニ於テ第三等ノ文庫ト爲スコトニ決シタリ

斯クテ市カ地方文庫設置條例ヲ愈ヨ實行スルノ第一着手トシテ爲シタル事ハ左ノ如シ、曰ク市廳ノ前面ニ於ル建物ノ最大室及第二階ト第三階トヲ以テ地方文庫ノ一ニ充ルコト、爲シ、而シテ之ヲゴアールズノメイン街ニ於ル浴場ト聯繫セシメタリ、而シテ清潔ニシテ夫々善ク整頓シタレハ、其閱覽室ノ方ヲ一千九百一年一月ニ公開シ其貸出文庫ノ方ヲ一千九百二年八月ニ公開シタリ、而シテ其公開以來二者共ニ一般ノ人氣ニ能ク投合シタリ即チ閱覽室ノ方ニハ日々一千人以上ノ閱覽者アリ、他ノ貸出文庫ノ方ニハ其貸出書籍數日四百冊以上ニ及ヘリト云フ

右ノ如キ有様ニテ地方文庫ノ設計ヲ畫シ次第々々ニ其歩ヲ進メ來リ、終ニ最後ノ二者ヲ除クノ外設計ノナラサルモノナキニ至レリ、今マ其設計サレタルモノヲ舉レハ左ノ如シ

キングストン文庫 是レハボーロック街ノ向側ナルベースレー、ロードニアリ、市ノ建築技師エム、

ドウナルド氏ノ設計ニ係ル

アンダーソン文庫 是レハエム、インタイル街ニアリ、建築師ステワート氏及ハタートン氏等ノ設計ニ係ル

ウードサイド文庫 是レハセント、ゼーチ、ロードニアリ、建築師レインド氏ノ設計ニ係ル

スプリングバーン文庫 是レハエール街トヴハルカン街トノ一隅ニアリ、而シテ此敷地ハレード會社ノ寄附ニ係レルモノナリ、建築師ホイチャー氏ノ設計ニ係ル

メイリーヒル文庫 是レハウ、ロード街ニアリ、建築師レインド氏ノ設計ニ係ル

ゴウグハンヒル及クロッスヒル文庫 是レハロングサイド、ロード及カルダー街ノ一隅ニアリ、建築

師レインド氏ノ設計ニ係ル

デンニストーン文庫 是レハクレグバーク街ノ麓ニアリ、建築師レインド氏ノ設計ニ係ル

ブリッチトン文庫 是レハランドレッセー街ニアリ、建築師レインド氏ノ設計ニ係ル

バークヘッド文庫 是レハグレート、イースタートン、ロードトヘレンズエル街トノ一隅ニアリ、建築

師レインド氏ノ設計ニ係ル

ハッチェストタウン文庫 是レハエム、ネール街ニアリ、建築師レインド氏ノ設計ニ係ル

タウンスヘッド文庫 是レハケンチデー街ノ向側ナルカツスル街ニアリ

ポロックシルズ、イースト文庫 是レハケンムアー街トレスレー街トノ一隅ニアリ

右ニ叙列シタル諸文庫中キングストン文庫ヲ除クノ外他ハ皆ナ其建築設計公然建築技師ノ競争入札ニ附セラレタリ

諸文庫ノ構造設計皆ナ同一ノモノニアラス、其間何等カノ異同ナクンハアラス、然レトモ各文庫皆ナ其豫定ノ設計ニ善ク適合セサルハナク、其地方々々ノ良民ノ興味怡樂ヲ一層深カラシムルコトヲ得タリ、而シテ此等ノ文庫中キングストン。アンダーストン。ウードイサノ三文庫ハ本年中ニ公開セラルヘク、又タスプリングバーン。ゴウグハンヒル。メイリーヒル。デンニストーン。ブリッチトンノ如キハ一千九百五年早々公開セラルヘシ

第一等、文庫 八千五百封度

第二等、文庫 七千封度

第三等、文庫 五千封度

各文庫ノ書籍備付數ハ其開庫ノ當時六千卷乃至一萬卷ニシテ之ニ加フルニ各新聞雜誌類モ亦タ多ク蒐集セラレタルナリ

市區改正事業

茲ニ市區改正事務局ナルモノアリ、一千八百六十六年ノ發布ニ係ル具羅斯哈市改正條例ノ規定スル所ニ從

ツテ組織セラレタルモノ是レナリ、抑モ此市區改正事務局ノ起リタル所以及此事務局ノ成シ遂クヘキ事業如何等ハ具羅斯哈市改正條例ノ趣旨ヲ見レハ自カラ明瞭ナルヘシ、今其趣旨ノ大要ヲ摘記スレハ左ノ如シ

「熟ラ具羅斯哈市今日ノ有様如何ヲ見ルニ、市内到ル所家屋鱗次櫛比シ人口稠密殆ント餘地ナキカ如シ是レ一方ニ於テハ土地繁榮ノ徵證ニシテ喜フヘキ現象ナリト雖モ、復タ他ノ方面ヨリ之ヲ見レハ之ニ伴フ所ノ弊害ナクンハアラス、蓋シ其弊害トハ何ソヤ、斯ク人煙稠密ニシテ市街ノ道路狹隘彎曲シテ交通ノ不便少ナカラス、之カ爲メニ住民ノ精神肉體兩ツナカラ危害ヲ蒙ルノ類是レナリ、今マ現ニ斯ル危害ヲ蒙リ居ルコト甚ハタシキカ故ニ早ク之カ救護策ヲ講セスンハ、殆ント名狀スヘカラサル悲境ニ陥キランハ亦タ疑フベカラサルナリ、此ニ於テ乎市區改正ノ必要起ラサルヲ得ス、而シテ此市區改正ノ事タルヤ決シテ單純無造作ノモノニアラス、甚ハタ複雑シタルモノト云ハサルヘカラス、今其大要ヲ掲クレハ左ノ如シ、曰ク道幅ヲ取り廣ケ或ハ舊來ノ家屋ヲ取り毀テ更ニ新街路ヲ造クル箇所アリ、或ハ從來ノ街區ノ模様替ヲ爲スヘキ箇所アリ、或ハ市區改正ノ結果トシテ勞働社會ノ住居ノ取り拂ハル、モノモ少ナカラサルヘシ、此等ノ爲メニハ須ラク救護策ヲ講セサルヘカラス、是レ亦市區改正事業中ノ一タリ」

均シク具羅斯哈市中ニテモ人口最モ甚ハタシク充溢セル箇所ハ「舊具羅斯哈」ト稱セラル、部分ニ最モ密ニ隣接シタル地方ナリ、ガローゲート。ハイ、ストリート。トロンゲート。サルマーケット。マイン、ストリート界限ハ皆ナ此内ニ屬スルモノト知ルヘシ

市區改正條例ニ規定セル事柄ヲ夫々實行スル任務ハ果シテ何人ノ手ニ歸スルヤ、老德ブローグスト氏、市吏員、市會及此等ノ公吏ノ繼續者是レナリ

市内ニテ改正ヲ要スヘキ地區ノ總坪數ハ殆ント九十「エーカー」ナリシナリ、而シテ市區改正條例ノ規定スル所ニ從ツテ市區改正事務局ヘ與ヘラレタル權能ノ重モノヲ舉クレハ左ノ如シ

第一、新タニ三十九街ヲ造リ、又タ現在ノ十六街ノ模様替ヲ爲シ或ハ之ヲ取り廣ケ或ハ其他ノ改良ヲ加フル事

第二、市會ノ協賛ヲ經テ改正ニ必要ナル土地ヲ買收スル事

第三、改正上必要ト認メタランニハ或ル家屋ノ全部ヲ取り毀シ、或ハ其幾分カラ取り毀シ而シテ後其土地ハ自分達カ最モ然ルヘシト思惟スル方法ニ從ツテ處分スル事、又タ斯クノ如シテ得タル土地若シクハ家屋ヲ他ニ賣却シ或ハ之ヲ貸貸スル事、但シ此等ノ土地若シクハ家屋ヲ夫々處分センニハ固ヨリ改正條例ノ規定ニ從ハサルヘカラス

第四、諸種ノ職工、勞働者其他貧民社會ノ住居ニ適スヘキ家屋ヲ建設スルノ必要アリト認メタル場合ニハ隨時之ヲ建設シテ或ハ之ヲ貸與シ或ハ之ヲ賣却スル事、但シ之ヲ貸貸スルノ場合、其家賃ヲ一週間毎ニ仕拂ハシムルカ其他ノ方法ニ從ハシムル等ノ事ハ自カラ適當ト思惟スル方法ニ從ツテ之ヲ取り計フヘキ事

第五、市會ノ協賛ヲ經テ市ノ北東部ニ當リテ適當ノ土地ヲトシテ公園ヲ設置スヘキ事、但シ其總費額四

萬封度ヲ踰ユルヲ許サス

而シテ市區改正事務局カ其事業ヲ遂行スル費用ニ充テシカ爲メ何等カノ擔保ヲ以テ百二十五萬封度ノ公債ヲ募集スル事ヲ許サル、然レトモ一千八百八十年ニ至リテ具羅斯哈市改正條例ノ改正セラレタル結果トシテ、此公債募集金額増加シテ一百五十萬封度トナレリ、又タ全ク此市區改正費ノミニ充ルノ目的ヲ以テ家屋稅ヲ徵收スルコトヲ許サル、而シテ其稅率ハ最初五箇年間ハ家屋賃賃借ノ價格每一封度ニ就キ六「ダイム」以下トシ其後ノ十箇年間ハ同シク每一封度ニ就キ三「ダイム」ト定ム、然ルニ一千八百八十年發布ノ條例ニ基キテ此稅率年限全ク廢止セラレ、更ニ其稅率ノ最高額ヲ每一封度ニ就キ二「ダイム」ト定メテ無期限ト爲セリ、

一千八百六十六年ノ發布ニ係ル市區改正條例ノ規定スル所ニ據レハ、此改正費ニ充ル爲メ家屋稅取立方ハ全ク現住者ノミニ係レリ、然ルニ其後此取立方ハ甚ハタ不都合ナリトノ說ヲ立ル者起レリ、其主意ニ曰ク抑モ此市區改正ノ事業タルヤ、家室ノ所有主モ現住者モ均シク之ヨリ生スル利益ヲ享ケサルハナシ、然ルニ其現住者ノミニ賦課シテ其所有者ニ關セサルハ不公平ナリト云ハサルヘカラスト、由リテ一千八百九十二年ニ至リテ一千八百六十六年發布ノ此不都合ナル條例ヲ廢止シタリ、然レトモ國會ニ於テ否決シタリ、一千八百六十六年發布ノ市區改正條例ノ規定スル所ニ據レハ、改正豫定地域強制的買收期限ハ向フ五箇年間ナリシカ、然ルニ此期限内ニテハ全部買收スルコト能ハサルヨリ、一千八百七十一年發布ノ改正條例ヲ以テ尙ホ向フ五箇年間延長シタリ、

市區改正事務局ハ右ニ述ヘタルカ如キ廣大ナル權能ヲ與ヘラレタルヲ以テ、出來得ヘキ丈ケ速カニ改正豫定地域内ニ於ル土地若シクハ家屋等、強制的若シクハ合意的買收ヲ勤メタリ、且同事務局ハ右ノ如クシテ買收シタル土地家屋ノ外更ニ合意的買收ニ依リテ(第一)ケンニーヒルノ土地ヲ得タリ、土地ハ市ノ北東部ニアリテ其面積ハ八十九「エーカー」アリ、而シテ其買收費ハ四萬封度ナリシ、又タ(第二)市ノ西部ニアルオヴハーニウトンノ土地ヲ三萬五千四百三十三封度十二噓四「ダイム」ニテ買收シ、又タクリード河ノ南岸ニシテ市ノ東部ニアルヲートランドノ土地ヲ二萬三千九百五十封度ニテ買收シタリ、然レトモ此等ノ代價ハ單ニ買收シタル丈ケニ止マルモノニシテ、此等ノ土地ニ關スル其後ノ費用ハ無論含ミ居ラサルモノト知ルヘシ、即チオヴハーニウトン及ヲートランドニ市街及水道ヲ作り、又タ借家等ヲ建設スルニ就テノ費用ノ如キハ決シテ右ノ代價ノ内ニ含ミ居ラサルナリ、而シテ右買收セル土地ノ中ケンニーヒルノ土地八十九「エーカー」ノ中六十三「エーカー」ヲ割キテ公園ヲ設ケタリ、現在ノアレキサンドラ公園ナルモノ即チ是レナリ、此公園全ク落成ノ後市區改正事務局ヨリ公園取締事務局ヘ引キ渡シタリ是レハ一千八百七十二年ノ事ニシテ、之ト同時ニケンニーヒルノ土地ノ殘部ヲモ併セテ屋舎建設用トシテ公園取締事務局ノ方ヘ移シタリ

一千八百六十六年ノ發布ニ係ル市區改正條例ノ規定スル所ニ據レハ、市區改正事務局ナル者ハ其買收シタル土地ニ屋舎ヲ建設シ得ヘキ權能ヲ與ヘラレタルモノト見ヘタリ、然レトモ此ノ事務局ハ一千八百八十九年マテ實際此權能ヲ行フタルコトアラサリシナリ、是レヨリ以前ニ此事務局カ屋舎ヲ建設シタルハ僅カニ

左ノ數者ニ過キサルナリ、ドライゲートニ建設シタル模範借家二棟及ドライゲート。グリーンタイク街。ポリチユガル街。クライド街。ノース、ウードサイド、ロード。ハイドパーク街。イースト、ラッセル街等ニ建設シタル模範寄宿所是レナリ

既ニシテ市區改正事務局ハ改正豫定地域内ニ於テ殆ント破壊セル且ツ不衛生ナル家屋ノ立テ列ナリタル地所ヲ強制的ニ買收シテ、此等ノ家屋ヲ取り毀シ充分清潔ニ爲シタル後左ノ事業ニ取り掛リタリ、即チ更ニ新市街ヲ造リ或ハ從來ノ街ヲ取り廣ケルカ模様替ヲ爲スカ、其他ノ改良ヲ加ヘテ兎ニ角其面目ヲ一新セシメタルコト是レナリ、斯クテ此事務局ハ以爲ラク斯克ノ如ク準備セラレタル地所ハ彼ノヲ、ヅハーニウトン及オースラントノ賃貸借ニ係ル地所ノ如ク個人々々ノ需用ニ應スルコトヲ得ヘシト、而シテ此等ノ豫望ハ事實トナリ現ハレ來リシナリ、即チ個人トシテ此等ノ地所ヲ借り受ケ、近世風ノ家屋ヲ建設シテ各種ノ業務ヲ營メルモノ尠ナカラス、蓋シ其有様オヴハーニウトン、及ヲースランドニ異ナラサルナリ、之ヲ言ヒ換フレハ此方面ニ於ル市區改正ノ結果良好ノ徵候ヲ示シ來レルモノ是レナリ然ルニ一千八百七十八年ニ至リテ突然商業上ノ大驚慌ヲ起シ從ツテ彼ノ株式市場ノ如キハ一大暴落ヲ來シ、具羅斯哈市ニ就テ之ヲ云ハンカ、具羅斯哈市銀行ノ如キハ之カ爲メニ大失敗ヲ取リタリ、而シテ此大變動ノ影響トシテ市區改正上ノ進路大ニ沮碍セラレタリ、即チ右ノ大驚慌ノ後市區改正事務局ノ手ニ尙殘リ居ル地所ヲ買ヒ取り若シクハ借り受ケテ家屋ヲ建築スルコトヲ中止シタルモノ甚ハタ少ナカラス市區改正事務局ハ此際一時ノ救護策トシテ其所有ノ地所ヲ表面ノ價額ヨリ一層引キ下ケテ賣却スルコトヲ新聞紙等ニテ廣告セリト雖モ尙ホ且

ツ願リミル者ナキニ至レリ、且ツ此時ニ際シテ市區改正事務局カ取毀シニスル目的ヲ以テ既ニ買收シタル從來ノ舊家屋等ニシテ尙ホ未タ取り毀サス依然トシテ元ノ儘ナルモノ甚ハタ巨多ナリ、之ニ加フルニ市區改正條例ノ規定スル所ニ從ツテ賦課スル家屋稅ハ既ニ制限セラレテ今ハ價格每一封度ニ就テ三「ダィム」トナリ居レリ、事既ニ斯ル有様ナルカ故ニ市區改正事務局ハ止ヲ得ス、其所有ノ家屋ニ模様替ヲ爲シ或ハ之ニ相當ノ修繕ヲ加ヘテ以テ他ニ貸與シ、其歲入ノ幾分カラ増サンコトヲ計ルニ至レリ、此等ノ事實ハ取りモ直サス市區改正條例實行ノ進路ヲ一時ニ妨碍シタルモノト云ハサルヘカラス、彼ノ七棟ノ模範寄宿所ノ建設セラレタルコトハ既ニ前述シルタ所ナルカ内一棟ハ女子ヲ收容スル所ト定メ自餘ノ六棟ヲ男子收容所ト爲スコト、定メ既ニ何レモ皆ナ公開セラレタリ、抑モ一千八百六十六年ニ於テ市區改正條例ノ發布セラレタル當時、此改正ニ附セラルヘキ箇所豫定セラレ居タリシナリ、而シテ所謂此改正豫定地内ニ一個人ノ設計ニ係ル通常ノ寄宿所アリシカ、其寄宿所ノ有様如何ナリシヤト云フニ殆ント云フニ忍ヒサルモノアリシナリ、今マ其概要ヲ左ニ記述セン、曰ク此寄宿所内ニハ男女無差別ニ雜居シ而シテ其居室ノ如キハ陰鬱ニシテ空氣流通ノ便ナク人ノ健康上如何抔ト云フヘキモノニアラス、人ノ適當ニ住居スヘキ設備ハ一トシテ之レアルナシ、斯ル住居ハ當ニ人ノ不善不徳ヲ培養スヘキ温室ナルノミナラス各種ノ疾病傳播ノ中心ト云ハサルヘカラス、蓋シ斯ル寄宿所ニ數々來リ投スル者ハ或ハ止ムヲ得サルニ出ルカ或ハ自カラ擇ンテ來レルカ、何レニシテモ良民ノ名ヲ冠ラシムヘキモノニアラス、今マ其レ斯ル不衛生ナル斯ル不始末ナル家屋ヲ除却セント欲セハ此等ノ下層ノ人民ノ爲メニ從來ヨリ一層善良ナル家屋内

ニ住居セシメサルヘカラス、然ルニ斯ル家屋ノ設備ヲモ爲サテ、只タ漫然トシテ斯ル不衛生斯ル不始末ノ家屋ヲ除却セント欲センカ是レ決シテ其目的ヲ達スヘキモノニアラス、却ツテ其不善ヲ助長セシムルノ媒タランノミ、然レトモ市區改正事務局ハ早ク此ニ見ル所アリ、彼ノ一千八百六十六年ノ市區改正條例發布ト共ニ七棟ノ模範寄宿所ヲ建設シタリ、而シテ其建設タルヤ最モ速カニシテ最モ都合善ク出来上リ、以テ今日ニ至ルマテ尙ホ且ツ此事務局ノ所轄ニ屬シ、如何ニモ好結果ヲ奏シ居レリ、會計上ヨリ之カ觀察ヲ下スモ矢張り好結果ヲ得タルモノト謂ツヘキナリ、而シテ此寄宿所内ノ設備如何ト云フニ、共同ノ食堂アリ、諸器具ノ備ハリタル臺所アリ、又タ一日ノ中如何ナル時間ニテモ食物ヲ調理シ得ヘキ火備ハリ居レリ、其他大ナル娛樂室、洗濯場、浴場等ノ設ケ一トシテ備ハリ居ラサルハナシ、又タ各寄宿人ニ別個ノ寢室、夜具、枕、「シート」「ケット」等備ハリ居レリ、其他一棟毎ニ日用品ノ販賣店アリ、調理セサル食物ノ販賣店一箇所アリ、其物價ハ所外ノ世間並ニ異ナラス、而シテ一人一夜ノ宿料ハ三「ダイム」半ヨリ六「ダイム」マデナリ、又タ各寄宿所ニハ監督及支配人アリテ萬事ヲ處理シ、二週間目ニ一回ツ、改正委員會ノ事務員カ視察トシテ巡回シ來レリ、斯クテ此七棟ノ寄宿所ニ毎夜宿泊セシムヘキ定員ハ共計二千四百三十人ナリシカ、實際此定員ヨリ宿泊者ノ減少スルコト百分ノ三以上ニ上ルコトハ殆ント稀レナリ、以テ其人氣ヲ得タルコト得テ想像スヘキノミ、此七棟建築費ノ總額ハ(敷地代及内部ノ諸ロノ設備費モ含ミ居レリ)十萬九千三百四十三封度ナリシナリ、而シテ此模範寄宿所ノ結果極メテ好カリシコトハ左ノ一事ニテモト知スルニ足ルヘキナリ、曰ク此模範寄宿所ノ建設セラレタル箇所ト全ク同一ナル市府中ニ於テ、一個人トシテ同

一ノ寄宿所ヲ建設シタルコト是レナリ、蓋シ此模範寄宿所ニシテ左マテノ好結果ヲ得サリシナランニハ一個人トシテ之ニ模倣スルコトナカルヘケレハナリ、又タ倫敦ニ於テ曾テ故老徳、ロウトン氏ノ盡力ニ依リテ模範寄宿所ノ建設セラレタルコトアリ、氏ハ其之ヲ建設スルニ先ンシテ自カラ具羅斯哈市ニ來リ彼ノ市區改正事務局ノ建設ニ係ル七棟ノ模範寄宿所ノ設計構造等ヲ親シク視察シタル人ナリ、故ニ倫敦ニ於テ氏ノ盡力ニ依リテ建設セラレタル模範寄宿所ハ右具羅斯哈市ノ模範寄宿所ニ則トリタルモノナリ

又タ市區改正事務局ハ「遺族救濟所」ナルモノヲ設立シタリ、今マ此事務局ノ成シタル事業ヲ叙述スルニ臨ンテ、若シ此「遺族救濟所」ノ事ニ及フ所ナシトセン乎、其記述スル所ハ甚ハタ不完全ナリト云ハサルヘカラス、是レ其成績最モ顯著ニシテ其記事ニ重キヲ置ク所以ナリ、抑モ此「遺族救濟所」ト云ヘルハサルトマ一ケットノ近傍セント、アンドリウ街ニ建設セラレタルモノニシテ、一千八百九十六年三月十四日ヲ以テ公開セラレタリ、而シテ此救濟所ノ建築其他ノ諸設備ニ費ヤサレタル總金額ハ一萬七千六百九封度ナリシ而シテ其重モナル目的トスル所如何ト云フニ、勞働社會ニ屬スル鰥夫寡婦ニシテ其性行正シク一ノ非難スル所ナキモ、一子若シクハ數子アリテ他ニ頼ルヘキナク生計甚ハタ困難ナルモノヲ救助スルニアリ、斯クテ後數年間ノ經驗ニ據ルニ斯ル不幸薄命者及其家族等カ之カ爲メニ利便ヲ得ルコト最モ多カリシカ故ニ全ク此等ノ救助ノミニ從事スルコト、ナレリ

此遺族救濟所ニハ寢室ノ設ケ都合百六十アリテ何レモ清潔ナラサルハナシ、而シテ各寢室ニハ大人一人幼童三人ヲ容ル、コトヲ得ヘシ、其他共同ノ食堂并臺所アリ、臺所ニハ瓦斯ノ火アリ蒸氣ノ調理罐アリテ如何

ナル食物ニテモ殆ント調理セラレサルコトナシ、之ニ加フルニ幼童保育所、娛樂堂、浴場、洗濯所等アリ、屋内到ル所ニ電氣燈アリ、又タ熱湯ノ通スル管アリテ暖ヲ取ルコトヲ得ヘシ、而シテ寢室料ハ一週間ニ就キ五噠六「ダイム」ノ定メナリ、然レトモ幼童ノ數カ三人以上ナリトセン乎、斯ル場合ニ於テハ其三人ヨリ超過シタル分丈ケヲ他ノ寢室ヘ入ラシメンコトヲ要ス、而シテ其料金ハ一人ニ付キ一週間八「ダイム」ナリトス、此救濟所ニ收容セラレタル者ニハ一定ノ食物ヲ調理シテ出來得ヘキ丈ケ廉價ニテ給與スルモノトス而シテ幼童ノ食料ハ平均每一週間ニ一噠七「ダイム」トス

此救濟所ニハ監督一人支配人、一人母及召使等數多アリテ夫々ノ業務ヲ取り居レリ、又タ幼童ニシテ其年齡學齡未滿ノ者ハ晝間其親タル者カ何等カノ業務ニ就ケル間ハ保母カ其看護ヲ爲スモノトス、學齡以上ノ幼童ハ學校ヘ通學セシム、而シテ此救濟所カ公開セラレシ以來毎年輸出入平均セス、幾分カ損失ヲ來サ、ルハナシ、但シ其損失額ハ收容者ノ數増加スルニ從ツテ稍ヤ減少スルヲ常トス

斯クテ一千八百七十八年以後十年間ハ市區改正事務局カ尙ホ其所有ニ屬セル空地及舊家屋等ニ關スル事業委靡トシテ振ハサリシナリ、是レ他ナシ此等ノ事業ヲ活潑ニ進捗セシメントスレハ納稅者ヲシテ市區改正費ノ負擔ヲ一層重カラシムルノ恐レアレハナリ、事既ニ此ノ如キ有様ナルヲ以テ舊家屋等ニ對スル必要ナル修繕スルモ止ヲ得ス出來得ヘキ丈ケ延期スルコト、ナレリ、好シ又タ修繕ヲ加フルトスルモ僅カニ一小部分ニ止マレリ、斯ク市區改正事業ノ不振ナル時期ヲ經テ後、尙ホ市區改正事務局ノ所有トナリ居タルモノハ、市内ニテ恐クハ最モ粗惡ニシテ最モ不衛生ノ場所ナリシナルヘシ

然レトモ右ノ有様ニテ永ク留リ居ルヘキモノニアラス、一千八百八十八年ニ至リテハ市區改正事務局カ最モ活潑ナル行動ヲ取リシナリ、即チ尙ホ其所有ニ屬シ居タル彼ノ舊家屋等ヲ取り毀シテ更ニ其跡ヘ新規ニシテ改良セル家屋ヲ建設シタルコト是レナリ、而シテ斯ク新築シタル家屋ノ最初ノ二群團ハサルテコーケ^ツトノ東側ニアリテ其家屋ノ種類ハ商店及住宅ニ適スヘキ貸屋立ナリ、然レトモ市區改正事務局ハ斯ル新^ツ政略ニ就テ反對ノ意見ヲ抱キ居タリシト雖モ、愈ヨ實行シタル時ニ於テハ甚ハタ好結果ヲ得タリシナリ、即チ舊來ノ不衛生ナル家屋ヲ取り毀シテ、更ニ其跡ヘ新築シタルハ其構造一切當世風ニシテ頗フル人氣ニ投シタルナリ、然レトモ例外ト謂ツヘキモノナキニアラス、即チ舊家屋ヲ其儘ニシテ稍ヤ改良ヲ加ヘタルモノニシテ模範舊家屋ト謂ツヘク尙ホ爾來數年間ハ其儘ニ存シ置ク見込ナリト云フ、但シ斯ル種類ハ僅カニ二三ニ過キササルモノト知ルヘシ

市區改正事務局ハ出來得ヘキ丈ケ納稅者ヲシテ損失ヲ受ケサラシメンコトニ注意シ、彼ノ市街中ニテ最モ優等ナル箇所へ家屋ヲ新築スル場合ニ於テハ左ノ如キ方針ヲ取リシナリ、曰ノ二階立家屋ノ最下層ハ各種ノ商業ヲ營ミ得ヘキ構造トナシ其レヨリ以上ニハ勞働社會ノ住居スヘキ構造ト爲スカ如キ是レナリ、然レトモ市街中ニテ左マテ善カラサル箇所へ家屋ヲ新築スル場合ニ於テハ專ラ勞働社會ノ居住ニ適スヘキ借家ヲ建設スルコト、セリ

斯クテ市區改正事務局カ改正豫定地域ニ新築シタル家屋ノ群團ヲ成セルモノ共計二十七箇所ニ及ヘリ、而シテ此等ノ家屋中ニ商店ニ充ツヘキモノ二百戸、住居トスヘキモノ一千三百六十二戸ナリシ、又タ一千八

百九十七年發布ノ市區改正條例ニ基キテ家屋ノ群團ヲ成セルモノ八箇所ニ新築セラレタリ、内商店若シクハ何等カノ營業ニ充ツヘキモノ九十七戸、人ノ住居ニ充ツヘキモノ三百六十戸ナリシ、然レトモ土地ノ買收價格甚ハタ高ク、且其買收シタル土地ニ於ル舊來ノ家屋ヲ取り毀シタル箇所カ商業ノ中心部ニ當リ、又一千八百六十六年ノ市區改正條例ニ基キテ買收シタル地ニ接近シ居ルノ故ヲ以テ人ノ住居ニ充ツヘキ家屋ヲ新築スルハ得策ニアラス、故ニ専ラ營業ノミニ適スヘキ家屋ノ二群團ヲ建築シタリ、又タ既ニ前段ニ於テ述ヘタル如ク早ク發布セラレタル市區改正條例ニ基キテ買收セラレタル舊家屋中之ヲ取り毀サス其儘ニ保存シ只タ其内部ノミ改造シタルモノ一二之レアリシナリ、此等ノ家屋内ニ於ル居室ハ通常ノ家賃ヨリ一層廉價ナル家賃ニシテ貸與セラル、ヨリ數家族ノ居住スル所トナレリ、今マ左ニ掲クル所ノ表ハ市區改正事務局ノ所有セル家屋ノ數ヲ示セルモノナリ

一室ヲ有 スル家屋	二室ヲ有 スル家屋	三室ヲ有 スル家屋	前數者ヨリ一 層大ナル家屋	共 計
一、三六二	八三七	一五二	一一	一、三六二
一一二	二〇五	四五	……	三六二
九四	九二	八二	……	二六八
五六八	一、三四	二七九	一一	一、九九二

市區改正事務局ノ建設ニ係ル右等ノ家屋、七棟ノ模範寄宿所及遺族救濟所ニ收容サレタル總人員ハ一萬一千五百人ナリシナリ、而シテ一室ヲ有スル家屋ニ就テ家賃ノ最低價格ハ年ニ四封度十疋、二室ヲ有スル家

屋ノ家賃ハ年ニ六封度十六疋、三室ヲ有スルモノハ同シク十二封度九疋ナリ、此等ハ皆ナ是レ其家賃ノ最低價額ヲ示シタルモノニ外ナラス、今マ此等ノ家賃ノ最高價額如何ト云フニ、年ニ八封度十五疋、同シク十四封度、其次ハ同シク二十一封度ニ及ヘルモノ是レナリ

今マ茲ニ市區改正事業ト最トモ親密ナル關係ヲ有スル二種ノ格段ナル事柄ノアルアリ、請フ簡單ニ述ル所アラントス、一千八百七十六年ニ於テ市會議員ノ一人ナル老徳、エム、ラーレン氏ハ市區改正事務局ニ向ツテ一ノ意見ヲ提出シテ曰ク、「其種類ノ何タルヲ問ハス、凡ソ人ヲ醉ハシムヘキ飲料ヲ販賣スルノ目的ヲ以テ家屋ヲ建設セント欲スルモノアラン乎、市區改正事務局ナル者ハ斯ルモノニ對シテ其所有ノ地所ヲ貸與スヘカラス、斯ル事柄ハ地所貸與手續中ニ豫テ加ヘ置カンコトヲ要ス、之ヲ換言スレハ凡ソ酒類ヲ販賣スルモノニハ地所ヲ貸スヘカラスト」ノ主意ニ外ナラス、然レトモ市會ノ意見ハ全然之ニ賛同スルモノニアラス、彼ノ市區改正事務局ナルモノガ一千八百六十六年發布ノ市區改正條例ニ基キテ買收シタル土地ノ全般ヲ通シテラーレン氏ノ說ヲ實行スルコトカ果シテ至當ナルヤ否ナ疑ヒナキ能ハス、然レトモ或ル格段ナル地域ヲ限リテ試ミニ斯ル制限法ヲ施行センハ敢テ妨ケナカルヘシ、是レ市會多數ノ意見ナリ、此ニ於テ市區改正事務局ハ市會多數ノ意見ニ基キテ所謂「カルトン地方」ヲ擇ンテラーレン氏ノ制限法ヲ實行シタリシカ、其結果トシテ此地域内ニハ酒舖ハ勿論料理店タニ一モ建設セラレサリシナリ

右ノ如キ事實ハ社會改良策ノ一手段ト謂ツヘキモノナリ、市區改正事務局ハ一千八百九十年ニ於テ尙ホ之ニ次クヘキ社會改良策ノ一トシテ左ノ如キ動議ヲ採用シタリ、曰ク「現在市區改正事務局所有ノ地所内ニ

アル料理店等ハ其地所ノ貸借期限ノ盡クルト共ニ立退ヲ命スル事、又タ料理店等新築ノ見込ヲ以テ更ニ地所ヲ借り受ケン事ヲ申シ込ム者アルモ許可スヘカラサル事ト、而シテ此意見實行ノ結果トシテ凡ソ市區改正事務局ノ所有ニ係ル地所内ニハ僅カニ一戸ノ料理店タニモ見ルコト能ハサルニ至レリ

又タ市區改正事務局カ改正豫定地内ニ從來ノ家屋等ヲ買收シタル場合ニ於テハ、毎ニ派出吏員ヲシテ之ヲ管理セシム、而シテ此派出吏員ノ司トルヘキ事務如何ト云フニ、斯ク買收サレタル家屋ノ取り毀サル、マテ必要ナル修繕ヲ加ヘテ之ヲ保護シ、之ヲ他ニ貸與シタル場合ニハ其家賃ヲ取り立テ一定ノ時期ニ於テ之ヲ市區改正事務局ノ會計掛ニ納付スル等はレ其司トルヘキ事務ト謂フヘキナリ、市區改正事務局ノ事業斯クノ如キ有様ニテ左マテノ變動ナク殆ント二十六年間繼續シ來リシナリ、而シテ此二十六年間ノ終末ニ至リテハ市區改正事務局ノ所有ニ歸シタル新舊兩様ノ家屋地所等極メテ多クナリタルカ故ニ之ヲ管理スル所ノ派出吏員モ從ツテ多數ナラサルヘカラス、是レ自カラ情勢ノ然ラシムル所ナリ、然ルニ一千八百九十二年ニ至リテ一種ノ新事實コン顯ハレタレ、他ニアラス從來ノ派出吏員制度ヲ廢シテ新規ニ市區改正事務局ニ理事長ヲ置クコトニ定メタル事はレナリ、而シテウヰリアム、シー、シンゲース氏カ此理事長ニ任命セラレタリ、此理事長ノ職責タルヤ市區改正事務局ノ財産全部(彼ノ模範寄宿所及遺族救濟所等ヲモ含ムモノト知ルヘシ)ノ監督ヲ爲シ、其所有家屋ノ貸料其他受ケ取ルヘキ歳入ヲ取り立テ、必要ナル家屋ノ修繕等カ適當ニ成サレ居ルヤ否ナ等ヲ視察スルニアリ、復タ此理事長ノ部下ニ數多ノ視察員ナルモノアリ、而シテ各視察員ハ夫々受持ノ方面アリテ其視察スヘキ家屋等ノ員數モ概ネ定マリ居レリ、但シ其受持内ノ一

家屋ニ其居ヲ定ムヘキ規定ナリシ、此新制度ハ頗フル好結果ヲ奏シタリ、即チ會計上利便ヲ得ルコト少ナカラス、又タ其所有ノ地所貸家等以前ヨリ尙ホ一層直接ニ事務局ノ管理スル所トナリタルカ如キ是レナリ

一千八百九十七年發布ノ條例ニ依リテ具羅斯哈市ニ尙ホ一層多クノ權能力與ヘラレタリ、此權能ノ事ヲ叙スルニ先ンシテ、一千八百六十六年發布ノ條例ニ依リテ定メラレタル改正費賦課法ノ事ニ就テ聊カ述フル所アラントス、納稅者ニ對シテ此改正費ヲ賦課スルノ最高額及最低額其他之ヲ賦課スルノ年限等ハ概ネ前記シタル所ナルカ、其最高額ト云ヘルハ每一封度ニ就キ六「ダィム」ノ稅率ナルモ之ヲ賦課シタルハ僅カニ最初ノ一箇年間ニ過キス、其翌年即チ二年目ニ至リテ其稅率ヲ每一封度ニ就キ四「ダィム」ト定メタリシカ此稅率ヲ以テ一千八百七十一年五月三十一日マテ繼續シ來レリ、而シ其時ヨリ以後漸次ニ其稅率ヲ低減シ來レリ、即チ左ノ如シ、曰ク夫レヨリ以後二箇年間ハ每一封度ニ就キ三「ダィム」トナリ、之ニ次ケル十一箇年間ニ每一封度ニ就キ二「ダィム」、其後三箇年間ハ同シク一「ダィム」半、後五箇年間ハ同シク一「ダィム」次テ三箇年間ハ同シク半「ダィム」、而シテ一千八百九十五年ヨリ同九十六年マテハ尙ホ減シテ每一封度ニ就キ一「ダィム」ノ四分ノ一トナレリ、中ニ就テ右ニ記載シタル最後ノ年ノ如キハ市區改正事務局ノ會計上充分ノ餘裕ヲ生シ、從ツテ一千八百六十六年發布ノ條例中ニ規定サレタル稅率ノ一ヲモ賦課スルノ必要ヲ見サルニ至レリ

一千八百六十六年ヨリ一千八百九十七年ニ至ルマテ
納稅者ヨリ徵收シタル總額

五九七、〇〇三封度 〇一一

一千九百三年五月三十一日ノ計算ニ據レハ債權ノ債
務ヨリ超過セル金額

二八、六一六^{封度} 一七二〇

故ニ此事業ノ初期ヨリ末期ニ至ルマテ一千八百六十
六年ノ條例ニ基キテ其計畫ニ費シタル總金額

五六八、三八六^{封度} 三二一

右ノ費用ヲ以テ成功セシメタルモノヲ舉レハ左ノ如シ

(第一) アレキサンドラ公園

(第二) 新市街三十箇所創設ニ充テタル面積九萬八千九百二十九方「カード」、及從來ノ市街ヲ改良シタルモノ二十六箇所ニシテ其面積三萬四千二百五十九方「カード」アリ、但シ是レハ本來ノ計畫以上ニ
踰ヘタルモノト知ルヘシ

(第三) 市街、下水其他公衆事業ノ改良進歩シタルカ爲メ衛生上及社會上ノ快樂ヲ増シタルコト極メテ
多ク之ニ要シタル費用ハ一〇六、二七九封度零陸六「ダィム」ナリシ、彼ノ一千八百六十六年ノ制定ニ
係ル條例中ニハ公債ニ對スル償却資金ノ制更ニ之レナカリシナリ、然レトモ一千八百八十年ニ於テ改正條
例ナルモノ制定セラレ其第六章ニ左ノ如ク規定セラレタリ、「曰ク市區改正委員會ナルモノハ彼ノ一千八百
六十六年ノ制定ニ係ル條例ニ基キラ委任サレタル事業ヲ既ニ完成セシメ、且ツ其己レニ收得シタル數種ノ
所有物ヲ買却シテ實收入ヲ得タル以上ハ一千八百六十六年及一千八百八十年ノ條例ニ基キテ納稅者ヨリ徵
收シ得ヘキ金額ハ專ラ其事業ヲ實行シ且ツ公債償却資金ニ充テントトヲ要ス、而シテ其償却法ハ積立金ノ
内ヨリ年四分ノ利子ヲ付シテ償却シ、現ニ委員會ノ所有セル金額ノ全部ヲ向フ二十箇年間ニ拂ヒ盡スヘキ

モノトス

具羅斯哈市ハ又タ一千八百九十六年ニ於テ、乘合馬車取締條例ヲ議案トシテ國會ヘ提出シタリ、抑モ此議
案ノ重モナル目的ハ市區改正條例ヲ實行スルニアリ、今マ其細目ヲ舉クレハ左ノ如シ、(第一) クリード
河ノ北岸ニ六箇所同南岸ニ一箇所共ニ是レ人口甚ハタシク充溢シ、其居住セル家屋ノ如キハ古クシテ衛生
上ニ害アルモノナリ、故ニ此等ノ家屋ヲ取り拂フテ更ニ適當ナル家屋ヲ建設シ得ヘキ強制的權能ヲ市區改
正委員會ヘ與フル事、(第二) ネルソン街ヲ擴張スル事、即チトロンゲートヨリベル街ニ至ルマテ擴張ス
ルモノニシテ、是レハ既ニ一千八百六十六年ノ制定ニ係ル條例ニ依リテ擴張シ得ヘキ權能ヲ市ニ與ヘラレ
タル所ナリシモ、尙ホ未タ之ヲ實行スル運ヒニ至ラザリシヲ以テ、今回更ニ此權能ヲ與フヘキ事、(第三)
貧民社會ノ住スヘキ家屋建造ノ目的ヲ以テ市内カ若シクハ市ノ境界線ヲ距ルコト半哩以内ノ所ニ於テ總
坪數二十五「エーカー」ニ超ヘサル地所ヲ買收スル事、(第四) 此事業ヲ遂行スヘキ費用トシテ地主及借家人
ニ均シク新稅ヲ賦課スヘキ事等是レナリ、而シテ斯ル課稅等ノ事ニ關スル議案ノ條項ニ對シテ反對論ヲ唱
フルモノアリ、中ニ就テ反對論ノ最モ激烈ナリシハ具羅斯哈地主協會及酒ビール營業者協會等是レナリ、
然レトモ斯ル反對アリシニモ拘ラス此議案ハ難ナク國會ヲ通過シタリ、而シテ一千八百九十七年八月六日
國王ノ裁可ヲ經テ公布セラレタリ、即チ一千八百九十六年具羅斯哈市區改正條例ナルモノ是レナリ
市區改正ニ係ル右ノ條例及其他前述シタル條例ニ基キテ、市區改正委員會ノ徵集シ得ヘキ金額ハ五十五萬
封度ナリシガ、内十萬封度ハ專ラ左ノ如キ事業ニ支出セラル、モノナリ、曰ク彼ノ市區改正條例中第十二

章ノ規定スル所ニ從ツテ二十五「エーカー」ノ土地ヲ買收シテ貧民社會ノ居住スヘキ家屋建設費ニ充ルモノ是レナリ、然レトモ此第十二章ハ一千九百二年ノ條例ニ依リテ改正セラレタリ、而シテ此改正ハ從來十萬封度ヲ支出シ得ヘキ權能ヲ與ヘラレタルニ尙ホ五萬封度ヲ加ヘ、都合十五萬封度ヲ支出シ得ヘキ權能ヲ市ニ與ヘラレタルモノ是レナリ

而シテ一千八百九十八年及一千九百二年ノ制定ニ係ル條例ノ規定スル所ニ從ツテ新稅ヲ賦課スルコト、ナリタルカ、其稅率ハ一封度ニ就キ「ダイム」ト「ダイム」ノ四分ノ一ニ制限セラレタルナリ、且ツ一千八百六十六年ノ條例ニテハ單ニ現住者ノミニ課稅セラレタルカ、今回ノ條例ニテハ地主借家人共ニ均シク課稅セラル、コト、ナレリ、又タ償却資金ナルモノモ亦タ備ヘ置カル、コト、ナレリ、而シテ其償却法ハ六十年ヲ出テサル期間内ニ全ク借入元金ヲ償却スル豫定ナリト云フ

一千八百九十七年ノ條例ニ基キテ人口充溢セル不衛生ノ場所都合七箇所ヲ改正スル豫定ナルカ、其七箇所ノ總面積殆ト六「エーカー」ナリシナリ、而シテ此等ノ箇所内ニ於ル家屋等ヲ買收スルノ手續ハ或ハ協議上ニ成リ立ツアリ或ハ強制的處分ヲ爲セルモノアリシカ、條例中ニハ三箇年間ノ猶豫ヲ與フルコト、ナリ居タリシモ、三箇年ヲ出テスシテ既ニ買收シ了リタリ、而シテ此等ノ買收費及ネルン市街擴張ノ爲メ家屋等ヲ買收シタル費用其他ノ雜費等ニ要シタル總金額三十萬封度ノ多キニ上レリト云フ

一千八百九十七年ノ發布ニ基キテ改正セラレヘキ箇所中ニハ、其家屋等ノ既ニ再築セラレタルモノアリ、或ハ其再築ニ着手中ノモノモアリ、而シテ此着手中ノ分ハ來年落成ヲ告ルニ至ルヘシ、今マ各所ニ於ル改

正ノ抄取方如何ヲ舉レハ左ノ如シ

第一地方。ゼオーヂ街ノ北、ハイ街ノ西側ニアリテ屋舎此地方全部ニ建設セラレタリ、而シテ此等ノ屋舎ト云ヘルハ人ノ住宅商店及後地ニ建設セラレタル三群團ノ工場ヨリ成レルモノナリ、此等ノ屋舎ノ建設費ハ三萬六千五百封度ナリシ

第二地方。ハイ街ノ東側ニアリテ第一地方ト全ク相對シ居レリ、今殆ト落成ニ垂ントスル新築屋舎ハ第一地方ト均シク住宅商店及後地ノ工場等ヨリ成レルモノナリ、斯ク第一、第二ノ地方カ共ニ是レ立派ニ再築セラレタルハ、畢竟スルニハイ街改正ノ結果ニ外ナラス、ハイ街ノ道幅ハ從來ヨリ大ニ増シテ六十呎トナレリ、又タ此第二地方ノ屋舎築費ノ豫定ハ二萬三千二百封度ナリシ

第三地方。此地方ノ改良ハ一千八百六十六年ノ制定ニ係ル條例ニ從ツテ計畫サレタルチルソン街ノ改正事業ニ屬スルモノナリ、且ツチルソン街ノ改正事業ハ管ニ右ノ條例ノミニ止マラス、一千八百九十七年ノ發布ニ係ル條例モ亦タ是レ與カリテ力アルモノナリ、即チ此條例ニ基キテ從來ノ道幅ヲ取り廣ケルコト、ナレリ、尙ホ此ヲ詳言スレハ人道ノミニ充ル所ヲ二十二呎ト爲シ其他一般ノ道路ノ幅ヲ五十呎トナセリ、而シテ街路ノ東側ニ於ル屋舎ハ既ニ落成ヲ告ケシモ、トロン、ケートトネルン街ト相接近セル一隅ノ建物ハ今マ尙ホ建築最中ニシテ一千九百五年ノ春期ニ落成スル豫定ナリト云フ、此外ベル街トチルソン街トノ南西隅ニ於ル建物ハ既ニ其建設ニ取り掛リ居レルカ、此建物ニシテ落成シタラシニハ、此第三地方ノ再建工事ハ全ク其功ヲ竣ルモノト謂ツヘキナリ、而シテ此等ノ建物ノ全體ノ上

ヨリ之カ觀察ヲ下サンニ、其中央點ヨリ果物市場及勸工場等ニ相接近シテ各種ノ商店等相列ナレリ、此等ノ建築ノ總費額ハ八萬八千封度ノ豫算ナリト云フ

第四地方。此地方トロンゲートノ南側ニ在リ、而シテ其界ヲトロンゲート街、キング街、オスボルン街及ニウ、ウインドニ接ス、抑モ此第四地方ノ地タルヤ最モ商業ヲ營ムニ便利多キ所ニシテ彼ノチルソン街ニ於ル地方ト均シク、其全地ヲ蔽フタル家屋ハ皆ナ是レ何等カノ商店ナラサルハナシ、斯ル商業地ニシテ金融ノ豊カナルヨリ、市區改正ニ要スル重稅ヲ納稅者ニ課スルモ左マデ痛苦ヲ感セス、且ツ市カ之ヲ課スルハ一千八百九十七年ノ制定ニ係ル條例ノ許ス所タリ、而シテ此改正ノ結果トシテパーニ一街カ此地方ノ中央部ヨリ西部ニ移サレ、且ツ之ヲ兩分シテ北群團ト南群團トニ爲セリ、而シテ其内北群團ノ方ハ既ニ二箇年前ニ落成ヲ告ケシカ、其費用ハ二萬五千封度ナリシナリ、又タ南群團ノ方ハ本年中ニ完成スル見込ニテ其費用ハ二萬四千封度ノ豫定ナリ

右ニ掲ケタル四地方改造ノ設計ハ善ク世間ニ知ラレタル適當ノ技倆アル建築技師ノ競争設計ニ付シ、而シテ改正委員會カ其理事者及其道ニ熟達セルモノ、助言ヲモ納レテ其内ヨリ選定シタルモノナリ

第五地方。サルトマーケットノ西側ニアリ、而シテ其界ヲサルトマーケット街、セント、マーガレット、ブレース、及ブリッヂゲートニ接ス、此地方ノ市街ノ平家造ノ屋舎ハ多ク商店ニ充テラレ、且ツ到ル所概シテ貸家ナラサルハナシ、又タ此等ノ貸家ノ内ニテモブリッヂゲート及セント、マーガレット、ブレースニ面シタル部分ハ其家賃一層低廉ニシテ最モ甚ハタシキ貧民ノ住居ニ充テラル、モノナリ、

而シテ此等ノ建設費ハ凡ツ一萬七千五百五十封度ナリシナリ、又タブリッヂゲート及セント、マーガレット、ブレースヲ擴張センカ爲メ、此地方中一千八十方「ヤード」ノ地所ヲ充ル手筈ナリ、而シテ此地方ノ再造工事ハ本年(一千九百四年)ノ初メヨリ着手セラレタリ

第六地方。此地方ノ一群團ハ其界ヲストックウエル街、ブリッヂゲート、エアード、ラン及グースタック、ブスニ接ス、而シテ其再建セラルヘキ屋舎ハ右ニ掲ケタル第五地方ノモノト同一ナリ、其費用ハ一萬八千封度ノ豫定ナリ、現時此地方ニ於ル舊家屋取拂ニ着手シ居レリ

南岸地方。クリード河ノ南岸ニシテセント、ニニアン街トムキアーヘッド街トノ中間ニアリ、今マ屋舎ヲ建設シテ此地方再造工事ニ取リ掛リ居レリ、而シテ其建物ノ設計等ハ既ニ記載シタル第五第六ノ地方ノ設計ト全ク同一ナリト知ルヘシ、而シテ此等ノ建物ハ本年ノ暮ニ落成シテ住居シ得ヘキモノトナラン見込ナリ、其費用ハ一萬二千五百十封度ノ豫定ナリ、以上三地方再造ノ設計ハ皆ナ是レ改正委員會事務局ノ計畫ニ係レリ、而シテ其屋舎ハ市ノ工學士ノ監督ノ下ニ建設最中ナリ

斯クテ市區改正委員會ハ一千八百九十七年ノ制定ニ係ル條例中第十二章ノ規定スル所ニ從ツテ、與ヘラレタル權能ヲ實行シテ左ノ如キ地所ヲ買收シタリ、曰ク此條例發布後二箇年内ニ最モ甚ハタシキ貧民ノ住居ニ充ツヘキ家屋ヲ建設スルノ見込ヲ以テ餘リニ高カラサル代價ニテ殆ト二十五「エーカー」ノ空地ヲ買收シタルコト是レナリ、此等ノ地ヲ餘リニ高カラサル代價ニテ買收シ得タルハ、畢竟スルニ市ノ他局ノ所有ニ屬スル不用地ヲ買ヒ入レタレハナリ、而シテ此買收地ノ位置タルヤ其大半ハ市ノ北方ナルアレキサンドラ

公園及スプリングバイン公園ニ接シ、其他ノ部分ハ市ノ東方ナルバルチック街及ハッグヒルニ接シ居レリ
 中ニ就テハッグヒル及バルチック街ニ接シタル方面ニ建設サレタル家屋ハ市外ノ建築技師ノ設計ニ係ルモ
 ノニシテ一千九百二年ノ春落成シタリ、蓋シ此等ノ家屋ハ皆ナ是レ最モ甚ハタシキ貧民ノ住居ニ充ツヘキ
 モノニシテ、四階立ノ貸屋ニ群團ヲ爲シ二者共ニ其設計殆ト同一ナリ、尙ホ之ヲ細別スレハ一室ヨリ成レ
 ル家屋百十二戸、二室ヨリ成レル家屋百四十五戸アリ、而シテ此等ノ貸家ノ家賃如何ト云フニ一室ノ家屋
 ハ平均年五封度、二室ノ家屋ハ年八封度ナリ、但シ税金ハ此限ニアラス、而シテ此等ノ貸家ノ需用者甚ハ
 タ多キナリ、然レトモ之ヲ借り受ケントスル者ニ制限アリテ何人ニモ貸與セシムルモノニアラス、例之ヘ
 ハ一室ヨリ成レル家室ハ一週間ニ平均二十二噓以上ノ収入アル者ニハ貸與セシメス、又タ二室ヨリ成レル
 家屋ハ一週間ニ平均二十六噓以上ノ収入アルモノニハ貸與セシメサルカ如キ是レナリ、然レトモ其間或ル
 除外例ナクンハアラス、即チ家族中ニ三人以上ノ子供ヲ有スルモノハ、此等ノ家族ヲ維持スルカ爲メニ一
 層大ナル費用ヲ要スルカ故ニ右ノ制限外ト雖モ評議ノ上許可スルコトアルカ如キ是レナリ、又タ此等ノ貸
 家ノ各群團ニ一人宛ノ監守住居シテ借家人ノ秩序安寧ヲ保チ、且ツ人ノ充溢セサル様常ニ取締ヲ爲スヘキ
 モノトス、而シテ此等ノ二群團ニ費シタル金額ヲ舉レハ左ノ如シ

敷地買上費	一、五〇三、一二〇
家屋建設費	一五、七五八、二四
ハッグヒルノ貸家	

小計	一七、三〇一、一四四
バルチック街ノ貸家	
敷地買上費	一、〇四四、 ^計 二六
家屋建設費	一〇、四六五、八一
小計	一一、五〇九、一〇七
總計	二八、八一、四一一

●公衆衛生

(イ) 衛生醫官

病院及健康者離隔所

具羅斯哈市ニ於テ衛生行政ノ進歩發達セシコトハ統計的區分ヲ立テ、以テ記載サレタルコトアリ、即チ滿
 三十年間市行政ノ一部分トシ公衆衛生事業ヲ取り扱ヒ來リシカ故ニ、其事業發達ノ顯著ナリシコトハ亦タ
 蔽フヘカラサル事實ナリ、今マ衛生上ノ設備ト死亡比例ト最モ親密ナル關係アルコトヲ述ヘテ以テ衛生事
 業ノ發達セシ事實ヲ示サント欲ス

數時期ニ於ル一般ノ死亡比例ハ左ノ如シ

自一千八百八十一年
至一千八百九十年

自一千八百六十一年
至一千九百零年

一千九百三年

一般ノ死亡比例	二四・二	二一・五	一八・五
重モナル傳染病	三・六	三・三	二・五
癩	二・七	二・一	一・六
呼吸器病	五・九	五・〇	三・九
幼者ノ死亡比例	一四七	一四九	一四二

試ミニ右ノ表ヲ見ヨ、死亡比例次第ニ減少セシニアラスヤ、斯ク死亡比例ノ減少シ來リシハ果シテ何ニ原因スルヤト云フニ、市ノ經營トシテ傳染病豫防救治ニ關スル病院ノ設備次第ニ擴張サレタルニ歸セスンハアラス、ベルヴ[#]デア[#]ー及バク[#]ヒルニ於ル病院ノ如キハ即チ是レナリ、尙ホ之ニ加フルニ幾干ナラスシテロブ[#]ロイストンニ方テ痘瘡病院ノ設置セラルヘキアリ、今マ現ニベルヴ[#]デア[#]ー地方ニ於テ痘瘡病院ノアルアリ、是レハ熱病病院トハ管理上全ク異ナリ居レリ、委シキコトハ後段ニ於テ述ル所アラン、尙ホ此外バアリアメンダリーロード病院ナルモノアリ、此病院ハ本來市ノ熱病々院ニシテ同病院ニ於テ利用シ得ヘキ寢臺二百臺アリ是レ右ノ病院ノ補助タルヘキモノナリ、今マ現在存立シ居ル常設病院ヲ舉クレハ左ノ如シ

ベルヴ [#] デア [#] ー熱病々院	寢臺 三百九十臺
痘瘡病院	同 百五十臺
同	同 八十五臺
木造假病院五棟	同

バク[#]ヒル熱病々院

計 六百二十五臺
寢臺 四百四十臺
共計 一千六十五臺

右ノ寢臺數ヲ每一千人ノ入口ニ割リ充ツレハ一臺三トナリ、尙ホ前述セル補助寢臺ヲ之ニ加フレハ每一千人ニ就キ一臺六ノ比例ナリシナリ
又一千八百六十五年以來數期間ニ於ル人口每一千人ニ就テ、傳染病患者ニ利用セラルヘキ寢臺ノ比例ヲ舉レハ左ノ如シ

年	教		區		具羅斯 哈病院	地方		寢臺數 ノ總計	一人ノ人口 ノ單位	人口一千 人ニ就キ 寢臺數
	市	巴 羅	ゴ ハン	パ リア ベル グ [#] 熱 病 院		ベ チ グ [#] 熱 病 院	ラ ツ ク ル			
一八六五	一〇〇	一一〇	五四	二〇〇	一三六	...	六一〇	四二八	一・四	
一八六六	一〇〇	一一〇	五四	一七五	一三六	...	五八五	四三八	一・三	
一八六七	五四	一三五	一三六	...	四一〇	四四六	〇・九	
一八六九	五四	一〇〇	一三六	...	四四五	四六四	一・〇	
一八七〇	五四	一〇〇	七七四	四七一	一・七	
一八七二	二五〇	七二〇	四九五	一・四	
一八七五	二五〇	六〇〇	五〇〇	一・二	
一八七六	二五〇	五〇〇	五〇二	一・〇	

一九〇三

八四・九

九二・三

斯クテ一千八百九十一年ニ於テヒルヘッド及マリーヒルノ二府カ具羅斯哈市ニ合併サレタルヨリ、具羅斯哈市ハ之カ爲メニ更ニ一病院ヲ利用スルコトヲ得ルニ至レリ、即チ從來右二府ノ所轄ニ屬スルナイックードト云ヘル聯合病院モ共ニ具羅斯哈市ニ合併シタルカ故ニ市ニ其利澤ヲ受クルニ至レルコト是レナリ、然レドモ一千九百四年ニ至リテ双方ノ協議整ヒ、元ノ聯合地ニシテ市ニ合併セスシテ後ニ留マリ居タルパーチック府ニ交付スルコト、セリ、但シパーチック府ハ之カ爲メニ代價トシテ八千八百八十一封度十六噓八「ダイヤモンド」ヲ拂ヒ込ミタルナリ、且ツ右二府ノ合併以來各年具羅斯哈市ノ患者ニシテ、彼ノナイックード病院ニ收容サレテ治療ヲ受ケタルモノ少ナカラス、今マ其各年ニ於ル患者數ヲ舉レハ左ノ如シ

年	患者數	年	患者數
一九〇二	八三	一九〇一	二二四
一九〇三	一三七	一九〇〇	一一一
一九〇四	一〇八	一九九七	一〇八
一九〇八	一三〇	一九〇一	二五三
一九〇九	二八二	一九〇二	二七四
一九〇〇	三七二	一九〇三	……

ベルグ・デア・病院

此病院ノ敷地ハ三十二「エーカー」アリ、其買收價格ハ一萬七千封度ナリシカ、今ハ年ニ六百八十封度ノ收入アル土地ト一變シタリ

此地ノ初メテ病院ノ所用地トセラレタルハ傳染病流行シタルヨリ止ヲ得ス利用スルニ至リタルモノ是レナリ、一千八百七十年ニ於テ具羅斯哈市ニ回歸熱流行シ來リ、當時パーリアメンタリー、ロード病院ノ存スルアリテ此等ノ患者ヲ收容シタリシカ忽チニシテ其用ヲ爲サ、ルニ至レリ、蓋シ此病院タルヤ窒布斯熱ノ甚ハタシク流行スルノ際建設セラレタルモノニシテ一千八百六十五年ニ公開セラレタルナリ

而シテ此パーリアメンタリー、ロード病院ノ建設セラレタル當時ニ在リテハ其寢臺ノ數一百三十六臺ナリシカ一千八百六十九年ニ至リテ窒布斯熱患者増加セルヨリ必要ニ迫ラレテ寢臺ノ數ヲ増シテ二百五十臺ト爲シタリ、然レトモ一千八百七十年ニ至リテ其用ヲ爲サ、ルニ際シテベルグ・デア・病院ヲ買收シタリ斯クテ此買收後三ヶ月以内ニ夫々營繕モ完成ヲ告ケ臨時ノ假屋舎ヲモ建設シ寢臺總計三百六十六臺ヲ備ヘ付ルニ至レリ

右ニ述ヘタル諸建物ノ内木造ノ假屋舎ト云ヘルハ、其ノ後建テ直シテ煉瓦造リト爲セリ、然レトモ其落成ヲ告ケシハ一千八百八十七年ナリシナリ、而シテ此ベルグ・デア・熱病々院建設ノ總費額ハ九萬封度ナリシナリ、然レトモ其大部分ハ當時一時假設ノ建設費ニ充テラレタリシナリ、而シテ其一時假設ノモノハ其後取り毀サレテ今ヤ則チ亡シ

此病院敷地内ニ於テ初メテ永久ニ繼續スヘキ屋舎ノ建設セラレタルモノハ、痘瘡患者治療所トシテ他ノケ

所ト全ク離隔サレタルナリ、而シテ此痘瘡患者治療所ト云ヘルハ五棟ヨリ成レルモノニシテ、寢臺一百五十臺ノ備ヘ付ケアリ、其建築工事ハ一千八百七十四年ニ起リ一千八百七十七年ニ竣レリ、此痘瘡患者治療所ハ同一ノ敷地内ニアリト雖モ、他ノ熱病々院トハ總テノ取扱上ニ於テ全ク離隔サレ居レリ、此外別ニ事務所、臺所、洗濯所等ノ設備之レアリシ

又タ患者ヲ收容スル所ノ各屋舎ノ大サ如何ト云フニ、其外部ノ長サ此一端ヨリ他ノ一端マテ一百六十八呎其外部ノ幅二十六呎、其高サハ地ノ平準面ヨリ屋根ノ上部ニ至ルマテ三十二呎ナリシナリ、此外玄關入口廊下、便所、看護婦室、浴場等一トシテ之レナキハナシ

此等ノ屋舎ノ内部ヲシテ温暖ナラシメン爲メニ、常ニ熱湯ノ流通シ居ル管カ各室内ニ導カレ居レリ、而シテ此熱湯ハ蒸氣力ヲ以テ沸ス仕掛ニシテ、其仕掛甚ハタ大ナル本部ニ設置セラレテ各所ニ分配セラ、モノナリ、又タ各屋舎ニ數多ノ窓扉アリテ空氣流通ノ便ヲ計リ、又屋根裏ニモ風通シ之レアルカ故ニ冬期ニ際シテ之ヲ温暖ナラシメンハ甚ハタ困難ナル所アリト云ハサルヘカラス、然ルニバ、アリアメントリ、ロード病院ノ經驗シタル所ニ據レハ、室内ノ障壁等ニ用フル硝子ヲ二重ニ爲シタランニハ、熱ノ發散スルコトヲ防止シ得ヘシト云フ、而シテ斯ク硝子ヲ二重ニ爲サンニハ其硝子ト硝子トノ中間ヲ、一吋ノ四分ノ三程隔タラシメンコトヲ要ス、ベルヴヰデアー病院ニ於テハ最モ甚ハタシキ寒天ニ際シテ、其室内ノ溫度ヲ五十五度乃至六十度位ニ保タシムルト云フ

斯クテ室内ノ空氣ヲ流通セシメンニハ如何ナル手段ヲ取ルヤト云フニ窓ノ下部ヲ開キテ之ヲ流通セシム、

其窓ノ下部ト云ヘルハ恰カモ彼ノ熱湯管ノ通シ居ル上部ニ當レルモノ是レナリ、而シテ其窓ヲ開クノ度合ハ稍ヤ多カラシムルモ少ナカラシムルモ全ク隨意ニナルヘキ設備ニナリ居レリ、但シ此窓ヲ開クノ度合如何ハ全ク看護婦ノ手加減一ツニアリテ、其他何人ト雖モ之ニ關係スルコトヲ許サス、其他明リ取リカ屋根ノ一方或ハ煙突ノ傍ニ設ケアリテ之カ便ヲ取レリ

ラックヒル病院

ラックヒルノ地タルヤ具羅斯哈ノ十字街ノ北西殆ント三哩ノ所ニアリ、此地曾テ具羅斯哈ノ大教正ノ所領ニ屬シ、此大教正ノ歳入帳簿ニ據レハ此土地ヨリ上ル所ノ租稅等ハ大教正ノ收入ノ一部分トナリタルモノト思ハル

一千八百九十一年ニ於テ具羅斯哈市ノ幅員擴張セラ、際シラックヒルノ地九十一「エーカー」ヲ市ニテ買收シタリ、而シテ内五十三「エーカー」ハ公園ノ敷地ニ充テ三十六「エーカー」四分ノ一ハ病院ノ敷地ト爲シ、自餘ノ一「エーカー」四分ノ三ハ洗濯所及消毒所ノ敷地ト定メタリ

斯クテ此病院ノ建築工事ニ著手シタルハ實ニ一千八百九十五年四月十六日ナリシナリ、即チ此病院ノ事務局ノ基礎ト爲サンカ爲メニ先ツ地上ノ雜草剪除ヨリ取リ掛リタリ、既ニシテ一千八百九十五年八月廿九日老德、プロヴオスト氏ノ令夫人ノ手ニ依リテ、此病院新築工事ノ定礎式カ舉行セラレタリ、而シテクリスチアン妃殿下ノ名ヲ以テ此病院公開ノ事ヲ普ネク布告セラレタルハ一千九百年六月十三日ナリシナリ

斯クテ此病院ニ實際患者ヲ收容シタリシハ一千九百年九月十日ヲ以テ其始メナリトス、抑モ此病院ノ敷地

ト云ヘルハ地勢斜面形ヲ成セルモノナリ、中ニ就テ其傾斜ノ度合最トモ甚ハタシキハ北東ノ部分はレナリ然レトモ屋舎ヲ建設スヘキ地盤ハ平坦ナラサルヲ得ス、故ニ屋舎ヲ建設センニハ斜面中ニテ若干ノ平坦ナル地ヲ求ムルカ。更ニ地均シヲ爲シテ平坦ナラシメサルヘカラス、既ニ斯ル有様ナレハ其建設セラレタル屋舎ノ構造外形ニ至リテモ、區々ニシテ一定セサルハ亦タ止ムヲ得サルノ次第ナリト謂ツヘシ而シテ此病院ニ到ルノ道ハ僅カニ一方口アルノミ、即チビルスランド、ドラヰヰノ天然ノ關門ヲ通過スルノ一路アルノミ

今マ總建物ノ有様如何ヲ述ヘ來レハ概ネ左ノ如シ、曰ク西方ニ面シテ此敷地中ノ最高點ニ建設セラレタルモノハ事務局是レナリ、而シテ此事務局ノ後面ヨリ東方ニ延長シタル所ハ大ナル街路トナリ居レリ、又タ此後面ヨリ街路ニ至ルノ道スカラハ、其兩側ニ種々ノ建物列ナリ居レリ

右事務局ノ後面ヨリ彼ノ大街路ニ至ルノ中途南側ニ一ノ噴水塔アリ、其高サ一百六十五呎ニ及ヘリ一方ヨリ之ヲ見レハ斯ル高位置ニ建置セラレタル病院ニ取リテハ、噴水塔ノ設置ノ如キハ必要ナリト云ハサルヘカラス、又タ他方ヨリ之ヲ見レハ人工ヲ以テ斯ル計畫ニ及ヘルハ此地ノ景色ニ一段ノ趣味ヲ加ヘタルモノト謂ツヘシ、尙ホ此噴水塔ノ周邊ニハ種々ノ屋舎建設セラル、筈ナリト云フ、又タ此噴水塔ノ北部、大街路ト相對セルケ所ニ庖厨アリ食堂アリ藥局アリ、書記局、看護婦室等夫々備ハリ居レリ、又タ噴水塔ノ南部ニ當リテ晝間ノ労働者掃除人足等ノ住居スヘキ屋舎アリ、此内寢室ノミニテモ七十八室ノ多キニ及ヘリ

却說事務局ノ構造ハ三階立ニシテ其前面ノ長サハ二百四十呎アリ、之ニ加フルニ其左翼及右翼ニ突出シタル建物アリ、其長サ各々百八十九呎ニ及ヘリ、而シテ此等ノ建物ニハ數多ノ事務員ト二百名ノ看護婦トヲ容ル、ニ足ルヘキナリ、又タ患者ヲ收容スル所ノ屋舎ハ都合十六棟アリテ、其屋舎ト屋舎トノ中間ノ距離ハ七十呎アリ、而シテ十六棟皆ナ是レ二病室ヨリ成レルモノトス、其内四棟丈ケハ他ノモノヨリハ一層小形ナルモノナリ、是レハ傳染病患者ノ離隔用ニ充ツヘキモノナリ、而シテ他ノ屋舎ノ大サ如何ト云フニ、其長サ二百三十一呎一時ニシテ其幅ハ二十五呎七吋ナリ、又タ各病室ハ之ヲ二部ニ分チ其一部ハ純然タル患者ヲ收容スル所トナシ、他ノ一部ハ全癒シタル患者ノ收容所トス、而シテ前者ハ其長サ六十六呎ニシテ其幅二十二呎アリ、後者ハ其長サ三十三呎ニシテ其幅二十二呎アリ、且ツ患者毎一人ニ要スル所ノ座床ノ平方呎ハ一百四十五個ナリシナリ、病室周邊ノ壁ノ高サハ十三呎ニシテ天井ハ弓形ヲ爲セルカ故ニ其中央ノ最高點ハ十八呎ニ及ヘリ、但シ此等ハ皆ナ一層大ナル屋舎ノ方ニ屬スルモノト知ルヘシ

右ノ屋舎ヨリ一層小形ナル屋舎ノ方ハ其外部ノ長サ百六十五呎アリ、總テ内部ノ構造等ハ前者ト異ナル所ナキナリ、僅カニ其前者ト異ナル所ハ純然タル患者ノ病室ト、全癒シタル患者ノ病室ト其大サヲ全ク同フシタルノ一事是レナリ、此等ノ病室ニハ各々五名ノ患者ヲ容ル、ニ足ルヘシ

此等ノ病室ノ内部ノ設備ニ至リテハ、前述シタルベルグ・デアー病院ノ病室ニ比シテ稍ヤ異ナル所アリト謂ツヘキナリ、殊ニ看護婦室及食品戸棚ノ位置ニ至リテハ、最モ其異ナレルノ甚ハタシキモノナリ、即チ此等ノ所在地ハ純然タル患者ノ病室ト全癒シタル患者ノ病室トノ中間ニアルモノ是レナリ、而シテ洗濯場

浴場及看護婦ト患者トノ便所ノ如キハ互ニ相隣接シ居レリ
 冬季ニ際シテ病室ヲ溫暖ナラシムルノ方法ハ、熱湯ノ流通シ居ル管ヲ室内ニ導クニアリ、尙ホ之ヲ細言ス
 レハ蒸氣力ノ作用ヲ以テ湯ヲ沸シ、此湯ヲシテ管ヲ通シ夫々病室ノ周邊ニ至ラシムルモノ是レナリ
 病室夜間ノ燈火ハ皆ナ是レ電氣燈ナラサルハナシ、之ニ加フルニ寢臺ト寢臺トノ中間ナル障壁ニ沿フテ自
 由ニ動カシ得ヘキ手「ラムブ」ノ備ヘ付ケアルナリ
 又タ空氣流通ノ模様如何ト云フニ、窓ノ下邊カ若シクハ窓ト窓トノ中間ニ長サ十四吋幅八吋ノ孔隙ヲ穿チ
 テ之レヨリ新鮮ノ空氣ヲ進入セシムルノ仕掛ケ是レナリ、復タ一旦腐敗シタル空氣ヲ屋根裏若シクハ窓ヨ
 リ逸出セシムル仕掛ケナリ

既ニ全癒セル患者ヲシテ日光ニ曝ラサシメンカ爲メニ南受ノ屋上ニ遊歩シ得ヘキ場所ヲ特ニ設備セリ
 又タ三棟ノ特殊ナル建物アリ、門ノ入口ト臺所トノ中間ニアルモノ是レナリ、而シテ其一ハ患者ノ朋友ノ
 扣室、中央ニアルモノハ患者ノ氏名等ヲ調査スル事務所、今一ハ猩紅熱患者ノ清潔法ヲ行フ所、洗濯所、
 患者中ノ死者ヲ取扱フ所ナリ、内洗濯所ハ八角形ニシテ死者取扱所ノ北側ニアリ、其構造設計等病理學及
 細菌學等ノ實地應用ニ適シタルモノナリ
 此病院ニ於テ用フル所ノ敷蒲團ノ類ハ其内容糞ヲ用ヒスシテ毛髮ヲ用ヒ、又消毒裝置ノ如キモ蒸氣消毒法
 ニ改メタリ、故ニ此等ニ對スルノ費用ハ從來ヨリ著シク減少シテ且ツ久シキニ耐ヘ得ヘキナリ

ロブロンストン痘瘡病院

ロブロンストンノ地タルヤ具羅斯哈市ノ北東ニ位シ市ノ中央點ト相距ルコト四哩ノ所ニアリ、而シテ病院
 ノ敷地トシテ限ラレタル地域ハ百五十三「エーカー」半ナリ、其地界ニ就テ之ヲ云ハシテ、北西ハ昔時ノ
 ヒレンド及ロブロンストン、マインヨリレンチーニ至ルノ道路ヲ以テ之カ界トナシ、南ハ或ル地點ヨリ東
 向シテロブロンストン、コツテ「デ」ノ南方ニ通スル或ル教區ノ道路ヲ之カ限リトナシ、東ハ右ノ道路ト聯
 絡シテ「ライ」チンクレツキバームハウスヲ通過スル道路ヲ以テ其界トセルナリ

此敷地全般ノ周圍ニハ他ヨリ侵入スルヲ防クニ足ルヘキ程ノ障壁ノ設ケナク、僅カニ其境界ヲ示スニ足ル
 丈ケノ籬アルノミ、然レトモ總テ病院ノ建物ニ屬スル部分ノ周邊ニハ最モ密ナル外柵立テ列ネラレタリ、
 其柵ノ高サハ少ナクモ六呎半アリ、而シテ其内部ノ廣サハ五十七「エーカー」アリ、尙ホ此外柵ノ内部ニ今
 一ツノ柵立テ列ネラレタリ而シテ前ノ外柵ト此内柵トノ中間ニシテ最モ多ク隔タリタル箇所ハ七十呎ニ及
 ヘリ、且ツ此内柵ノ内部ニアルモノハ患者ノ治療所タル病室アルノミ、而シテ其廣サハ十八「エーカー」半
 ナリシ、此等ノ病室ト外柵トノ距離ハ最モ近キ所ニテモ百二十呎ナカルヘカラス、但シ傳染病患者ノ離隔
 所若シクハ誤診サレタル患者ノ收容所ハ此限ニアラス

此等ノ病室ト外部ノ公道トノ距離ハ最モ近キ部分ニテモ七百五十呎ナランコトヲ要ス

又タ患者ノ死體ヲ取り扱フ箇所ハ前者ノ距離ニ加ヘテ尙ホ三百八十呎隔リ居ラサルヘカラス

(イ) 位置ノ東向、今マ現ニ建設セラルヘキ病室ノ數ハ十個ニシテ、大人百九十人ヲ收容スルニ足ルヘク、
 而シテ一患者ニ充ツヘキ立方呎ハ二千呎ナリ、此等屋舎ノノ重モナル方位ハ南西ナリ、然ルニ建築技

師ハ其方法ヲ東向ニセント申し出シタリ、即チ地方政務局ヨリ發セラレタル第五年報中ニ、病院ノ屋舎ヲ建設センニハ其方位ヲ東向ニセントヲ要ス云々ト記載セラレタルアリ、技師ハ此說ニ從ツテ建設セントノ意見ヲ申し出テタリ、然レトモ此建設地ノ地均シ等最モ速カニ出來シ、且ツ其他止ムナキ事情アリテ遂ニ豫定ノ方位ニ從ツテ建設スルコト、ナレリ、即チ其方位ハ正確ナル南西ニアラスシテ幾干カ西ノ方ニ多ク向ヒ居レリ

此病院建築ノ設計ニ據レハ各々五病室ヨリ成レル二列ノ屋舎ヲ建設スルモノニシテ、此屋舎ト彼ノ屋舎トノ距離百呎アリ、然レトモ其破風ト破風トノ最モ接近セル箇所ハ五十呎ニ過キス、而シテ各病室ニハ純然タル患者ト全癒シタル患者トヲ收容スル所アリ、之ニ要スル寢臺ノ割合ハ前者ニ十臺後者ニ八臺ニ當レルナリ

離隔所、前述セル建物ノ外向ホ一棟アリ、離隔所是レナリ、此離隔所ニハ寢臺十二臺ノ備ヘ付ケアリ、而シテ之ヲ二部ニ分チ其一部ハ各々二室ヨリ成レルモノニシテ、其内一室ニハ寢臺四臺、他ノ一室ニハ同二臺備ヘ付ケラレタリ、斯クテ此病院全般ニ備ヘ付ケラレタル寢臺ノ總數ハ三百七十二臺ナリ、此病院敷地全部ノ廣サニ割リ當ツレハ、平均一「エーカー」ニ就キ二臺四ニ當レリ、然レトモ之ヲ彼ノ外柵以内ノ廣サニ比例スレハ、平均一「エーカー」ニ就キ六臺五ニ當レルモノト知ルヘシ

(ロ) 内部諸構造ノ寸尺、右ニ述ヘタル屋舎ノ内部諸構造ノ寸尺ヲ舉レハ左ノ如シ
純然タル患者ノ病室

長	サ	七	十	呎
幅		二	十六	呎
天井ノ高さ		十	四	呎
屋根ノ高さ		二	十二	呎
窓ノ數		十	箇	所
壁ノ上部迄延長スル窓ノ大サ		幅	四	呎長サ十
窓全數ニ就テノ廣サ		四	百	方呎
床全體ニ就テノ廣サ		一	千八百	二十方呎
一寢臺ニ就テノ立方呎		二	千五百	立方呎
窓ノ廣サト床ノ廣サトノ比例		窓	一	呎ニ對シ床四
窓ノ廣サト立方呎トノ比例		窓	一	呎ニ對シ六十三
一寢臺ニ就テノ床ノ廣サ		百	八十二	方呎
平癒シタル患者ノ病室				
一寢臺ニ就テノ立方呎、窓ト床及立方呎ニ就テノ比例ハ前者ト異ナル所ナシ				

(ハ) 病室ノ構造及空氣流通ノ事、病室ノ構造ハ二階立ニシテ其上層ノ方ハ木造若シクハ一時的材料ヲ用フルモノトス、又タ床ノ平準面ヨリ地上マテノ距離ハ平均四呎ニシテ、其間空氣ノ流通自由ナランコ

トヲ要ス、又タベルグ[#]デアーニ於ル痘瘡病院ニテハ木造ノ病室ニシテ、其屋根裏ニ空氣拔ヲ設ケタルシカ、頗ル好結果ヲ得タリシト云フ

(ニ) 室内温暖ノ事、室内ヲ温暖ナラシムルノ方法ハ「レッキ」式ヲ採用スルコトニ決シ、竈ニハ煉化石製ノ煙突ヲ付シテ各病室ニ備ヘ付ケルコト、セリ

看護婦ノ清潔室、看護婦カ其當日ノ職務ヲ終ヘテ私ノ身ニ歸ラントスル場合ニハ、相當ノ消毒法ヲ行ハサルヘカラス、而シテ此消毒法ノ事ニ關シテ此レマテ種々工風サレタリシカ、從來ノ經驗ニ據レハ看護婦ニ取リテ甚ハタ不便利ナルコトアリ、他ニアラス看護婦タル者ハ病院内ニ在リテ用フル衣服ト病院外ニ出ル時ノ衣服トヲ要スル次第ニテ、甚ハタ狭キ一小室ニ之ヲ取リ置カサルヘカラサルコト是レナリ、然レトモ今日ニ至リテ、看護婦ノ爲メニ設ケラレタル清潔室ナルモノアリテ、斯ル不便之レナキニ至レリ此清潔室ナルモノハ門ノ近傍ニ設ケラレタリ、且ツ其清潔法ノ一トシテ建物ノ中央部ニ浴場ノ設ケモ之レアリ、乃チ浴場ニテ其身ヲ洗ヒ衣服ヲモ着換ヘルコト、ナレリ

而シテ此浴場ハ都合八箇所アリ、又タ衣服ヲ着換ヘル所ハ總計十一ヶ所アリ、復タ此一ヶ所毎ニ六個ノ衣服ヲ入ル、抽斗^{ヒキダシ}アリ、看護婦ハ此所ニ來リテ其執務中着シ居タル所謂ル看護衣ナルモノヲ脱キテ此等ノ抽斗ニ入レ、更ニ浴衣ヲ着テ浴場ニ赴クモノナリ、即チ此衣服着換所ハ病毒ノ感染シ居ルモノト認メラル、衣服ヲ脱キ替ヘル所是レナリ、斯クテ看護婦ハ浴後更ニ他ノ衣服着換所十一ヶ所ノ一ニ赴キテ、所謂ル病院以外ニ着スヘキ衣服ヲ其身ニ纏フヲ常トス、此衣服着換所ノ構造ハ前者ト毫モ異ナル所ナキナリ、只タ其間病毒ノ感染シ居ル衣服ヲ取り扱フ所ト、否ラサルモノヲ取り扱フ所トノ別アルノミ

事務所ノ一團、事務所ハ總テ二階立ナリ、今マ其重モナルモノヲ舉レハ左ノ如シ

(第一) 常住醫師ノ事務所、是レハ居室、事務室、寢室及洗濯所等ヨリ成ル、(第二) 看護婦長ノ事務所是レハ寢室、居室、事務室及洗濯所等ヨリ成ル、(第三) 看護婦ノ控室、是レハ看護婦ヲ臥サシムヘキ寢臺五十八臺(各看護婦ニ一臺ツ)、居室二、娛樂室一箇所ヨリ成ル、但シ斯ル看護婦ノ一團ハ僅カニ十病室ヲ管理スルニ過キス、場合ニ依リテハ此數ノ病室ヲ管理スルニ此等ノ看護婦ノ數ヲ二倍ニスルコトアリ、又タ便所六ヶ所アリ凡ソ十人ニ就キ一ヶ所ノ割合ニ當レリ、浴室ノ數モ亦タ之ニ同シ

掃除人ノ一團、是レ亦二階立ニシテ其重モナル建物ハ、(イ) 掃除人ノ寢室三十六室、娛樂室一、食器ノ置場所一箇所、(ロ) 料理人ノ寢室二、居室一、洗濯所一箇所ヨリ成ル此外便所及浴室ノ數ハ看護婦ノ場合ト異ル所ナシ

男子労働者ノ一團、是レハ十寢室ト一居室トヨリ成ル、其他洗濯所ノ設備アリ、一ノ洗濯所、浴場及便所ヨリ成ル、又タ斯ル家屋ノ管理人ノ爲メニ設ケラレタル居室一、寢室一及洗濯所一之レアリ

臺所及倉庫ノ一團、此一團ハ各病室等ヘ食ヲ分配スル便利ヲ得ンカ爲メニ設ケラレタルモノニシテ其周邊ニハ柵ヲ回ラセリ、又タ此一團中ニハ食品ヲ貯ヘ衣服ヲ藏ムヘキ倉庫アリ、看護人及掃除人ノ食堂アリ、而シテ此一團ノ建築構造タルヤ、完全ナル病院ノ需用ニ應スルニ足ルヘキナリ

死亡者取扱所ノ一團、是レハ死亡者ヲ取り扱フ所ト洗濯所トヨリ成ル、而シテ前者ハ横二十七呎ニシテ長サ四十八呎、後者ハ横二十五呎長サ二十呎ノ大サナリ

洗濯所ノ一團、此一團ノ各病室ノ北方ニシテ此病室トロブロキストン、ロードトノ中間ニアリ、蓋シ此病院中全部煉化石ヨリ建設セラレタルモノハ只タ此一アルノミ、絶テ其他ニ類ヲ見ス、大ナル熱力ヲ生スル設備等此一團中ニアリ、而シテ此一團ヲ大別シテ二部ト爲ス、之ヲ概言スレハ左ノ如シ、曰ク

(第一) 衛生的洗濯、是レハイ此病院ニ收容サレタル患者ノ着用シタル衣服ヲ洗濯シ(一般ノ洗濯及病毒感染ノ恐れアル屋舎ヨリ出テタル衣服類ヲ消毒洗濯スル箇所ナリ)

(第二) 病院用ノ洗濯所、是レハ各病室ヨリ來ルモノ及付屬セル部局ノ用ニ應スヘキモノナリ、是レ亦タ此病院ノ計畫完成シタル場合ニ於テ、其需用ニ應スル丈ケノ規模ナランコトヲ要ス、然レトモ現在ノ所ニテハ其仕組大ナラサルカ故ニ、病院完成シタランニハ、其需用ノ半ハ以上ニ應スルコト能ハサルヘシ、又タ此洗濯所ニ隣接シタル地所ニ於テ別ニ蒸氣消毒所ノ設備アリ、其建物ハ横十呎乃至十二呎ニシテ長サ十二呎ナリシナリ

患者ノ清潔所、此清潔所ニハ三ヶ所ノ浴場アリテ、又タ其兩側ニハ患者ノ衣服ヲ脱キ替ヘル所アリ、尙ホ之ニ隣接シテ一ノ倉庫アリ、此倉庫ハ患者入院ノ際着用シ居タル衣服ヲ蓄ヘ置ク所タリ

門衛所、是レハ二階立ニシテ三室ヨリ成レル屋舎ナリ、尙ホ此区域内ニ醫師取締役ノ事務所アリ、其樓上ニハ寢室二、居室一、洗濯所一箇所ノ設備アリ、是レハ主トシテ書記用ニ屬スルモノナリ

下水取扱法、此病院ノ下水疏通法如何ト云フニ、病院ノ北方ニ當リテ大ナル下水溜ヲ設ケ、同所ニ於テ下水中ノ細菌撲滅法ヲ行ヒ、其レヨリ一ノ小川ニ流レ込ミ東流シテロブロキストン、ロードノ北部ニ出テ結局ケルヴン河ニ落チ込ムモノナリ、今マ此下水疏通ニ就テ技師ノ設計スル所ヲ見ルニ、大下水溜二箇所(容量各々四萬五千「ガロン」ナリトス)ヲ設ケ、尙ホ其下水ノ滲過地八ヶ所ヲ設ケ、以テ細菌撲滅法ヲ行フ仕組ナリ、而シテ右下水溜ノ容量及滲過地ノ設計ハ何ヲ目安トシテ計算シタリシカトノ疑問起ランカ、之ニ答フルハ眞ニ易々タルノミ、曰ク此病院ノ總人員ヲ一千人トシ一日一人ニ就キ六十「ガロン」ノ下水ヲ排出スルモノト見積リテ起算シタルモノ是レナリ、但シ此内ニ降雨量ヲモ見込ミタルモノト知ルヘシ

又タ彼ノ下水溜ヨリ尙ホ未タ充溢セサル以前、下水ノ最大量如何ト云フニ、彼ノ一人ニ就キ六十「ガロン」ト云ヘルニ三倍スヘシ、即チ十八萬「ガロン」トナル是レナリ、之ヲ一時間ニ割リ當レハ七千五百「ガロン」トナルヘシ

看護婦養成ノ事

ベルヴンデアー及ラックヒル共ニ是レ看護婦ヲ養成スルノ設備アリ、即チ經驗ニ富メル看護婦カ監督トナリテ看護婦志願者ヲ教養スル仕組ニシテ、先ツ患者ヲ看護スル方法手段ヲ講習セシメ、次ニ實地患者ヲ取り扱ハシメテ以テ漸次習熟セシムルモノトス、而シテ其講習科目ノ重モナルモノハ生理學解剖學、醫療的看護ノ學說等ニシテ、醫師監督及病院在住ノ老練ナル助手醫之カ教授ノ任ニ當リ、又タ實地看護上ノ練習ハ

看護婦長ノ指導ノ下ニアルモノトス

離隔所ノ事

傳染病ト何等カノ密接ナル關係ヲ有シタル者ヲ一時收容スル箇所アリ、之ヲ名ケテ離隔所ト云フ、其重要ナルコト傳染病患者ヲ收容スル病院ト比シテ些カノ差アルノミ、彼レト云ヒ是レト云フモ其傳染病ノ蔓延ヲ豫防スルノ目的ニ至リテハ、全ク同一ナリト云ハサルヘカラス、故ニ斯ル離隔所ノ事ハ決シテ輕視スヘキモノニアラス

今マ茲ニ傳染病患者ト同居シタルモノアランカ、知ラス識ラスノ間ニ觸接シテ感染シ居ルヤモ測ルヘカラス、好シ俄カニ發病セサルモ、内部ニ潜伏シ居ルヤモ知ルヘカラス、或ハ其病毒カ身邊何レノ部分ニカ付着シ居リテ、自カラハ左マテ感セサルモ他ニ傳播スル媒介者トナルモ亦タ知ルヘカラス、此ニ於テカスル者ヲ一時離隔所ニ收容スルハ、傳染病ノ蔓延ヲ豫防スル上ニ於テ最モ必要ナリト云ハサルヘカラス抑モ斯ル離隔所カ一時限リノモノニアラスシテ初メテ永久的設備トナリシハ一千八百七十二年ナリシナリ斯クテ一千八百九十年ニ至リテ地方條例ナルモノ制定セラレテ此離隔所ヲ強制的ニ持久設備トナシタリ、然ルニ公衆衛生條例(蘇格蘭ニ於ル)ハ或ル地方廳ヲシテ右ト同一ナル設計ヲ爲サシムルニ至レリ、又タ傳染病ノ中ニテ餘リニ病毒ノ激烈ナラサルモノ、例之ヘハ痘瘡ノ如キモノハ一般ニ流行スルニ際シテ、醫師ノ診察ヲ受ケルモノ少ナク、又タ此病ノ性質如何ヲ知ラサルモノ多シ、故ニ痘瘡ノ事ニ關シテハ人民ヲシテ充分ニ警戒ヲ加ヘシムヘキ方針ヲ取レリ

抑モ最初此離隔所ナルモノヲ創設シタルハ、一千八百七十二年ニシテウヰヰハー街ナル人民ノ私有家屋ヲ買収シテ以テ其場所ニ充テタルモノ是レナリ、又タ後一千八百九十一年ニ至リテソース、ヨークニ於ル同シク人民ノ私有家屋ヲ買収シテ離隔所用トナシタリ、但シ現在ノ儘ニテハ其用ヲ爲サス、其敷地ノ一部分ヘ新築シテ離隔所ト爲シタリシナリ、現今ノハアリアメンタリー、ロード病院ニ在ル所即チ是レナリ今マ過去四箇年ニ於テ此等ノ離隔所ニ收容シタル患者數及病名等ヲ舉レハ左ノ如シ

室 扶 斯 熱	ウヰヰハー街	ソース、ヨーク街	ケンネデー街
痘 瘡	一、二、三、六人	二、八、四、八人	七、一、三、三人
其 他	二人	一七人	一人

パールー街及ブラック街ノ一隅ニ於ル或ル篤志家ノ寄附ニ係ル離隔所

離隔所ノ敷地ト爲スヘキ條件ノ下ニ或ル篤志家ヨリ寄附セラレタル此地所ハ、現今ノハアリアメンタリー、ロード病院敷地ノ北東隅ニ當ルモノ是レナリ、而シテ此敷地ノ總地坪ハ一千八百五十方「ヤード」ニシテ内屋舎ヲ建設スヘキ箇所ハ八百五十方「ヤード」ニ過キス、其他ハ皆ナ是レ運動場ニ充テラル、モノナリ而シテ此離隔所ノ設備ハ事務所ヲ除キテ大人百八十九名ヲ收容スルニ足ルヘク、寢室ニ於テ大人毎一人ニ要スル所ノ立方呎ヲ四百個ト定メタリ

此離隔所ノ設計ニ據ルニ全部ヲ二種ニ大別ス、即チ其一ヲ總寢所(譯者曰ク此内ニハ數多ノ寢室ヲモ容ルヘキモノニシテ甚ハタ廣キモノヲ云フ)ト云ヒ、他ノ一ヲ個々別々ナル寢室ト云フ

右ノ内總寢所ト云ヘルハ概シテ個々別々ナル寢室トハ其屋宇ヲ異ニセルモノナリ、而シテ其位置ハ寢室ノ南部若シクハ重モナル建物ノ後部ニアルモノ多シ、尙ホ便利ノ爲メニ婦人及幼童ヲ彼ノ寢室ノ方ヘ、男子及男ノ兒ヲ總寢所ノ方ヘト區別スルコトアリ、今マ其場所ト寢臺數等ヲ舉レハ左ノ如シ

男子部

前面ノ屋舎内、第一層及第二層ノ床ニ備付ノ寢臺數各二一、 小計 四二

同前面ノ屋舎内、最上層ノ床ニ備付ノ寢臺數二三、 小計 二三

共計 六五

女子部

前面ノ屋舎内、第一層及第二層ノ床ニ備付ノ寢臺數各二二、 小計 四四

後面ノ屋舎内、最上層ノ床ニ備付ノ寢臺數二〇、 小計 二〇

共計 六四

右 總計 一二九

又タ第一層ト第二層ノ床ニハ各々寢室十室ツ、アリ、一室ニ大人三人宛ヲ收容スル比例ナルカ故ニ、其寢臺數共計六十臺トナレリ、之ヲ前ノ寢臺總數ニ合算スレハ左ノ如シ

寢臺 總計

百八十九臺

浴場ノ一團、此一團ハ敷地ノ南端ニアリ、他ノ建物トハ全ク離隔サレタリ、ブラック街ノ方ヨリ別ニ入口ニアリテ人ノ入り來ルニ便ス、且此浴場ニハ入浴順番ヲ待チ合ス室アリ、衣服ヲ脱キ復タ再ヒ之ヲ其身ニ纏フモ皆ナ此室ニ於テス、但シ男女ハ總テ之ヲ別々ニ爲サシム又タ此室ヨリ氣ヲ散シ心ヲ慰ムヘキ小庭ニ出ルコトヲ得ヘキナリ

便所及洗濯所ノ設備、此離隔所内ニテ總寢所ニ屬スル部分ニ於テハ、各床ニ便所ヲ設クル比例ハ、二十名毎ニ一箇所ノ設ケアルモノトス、又タ左右ノ翼舎ノ下層ノ床ニ於テ一箇所ノ浴室設ケラレ、洗濯所ハ各床ニ之レナキハナシ、又タ寢室ノ部分ニ於テハ最上層ヲ除クノ外、各床ニ一箇所ノ浴室アリ、五室毎ニ一箇所ノ便所アリ、即チ一室ニ就キ三名ノ割合ナルカ故ニ、十五名毎ニ一箇所ノ便所アル比例ナリト知ルヘシ換氣法ノ事、各部到ル所ノ換氣法ハ電氣任掛ノ煽風機作用ニ基キテ行ハル、モノナリ、抑モ此電氣的煽風機ノ設備ハ中央部ノ樓上ニ在リテ各室ヘ傳達セラル、モノナリ、尙ホ之ヲ細言スレハ各部各室皆ナ共ニ銘々中央部ト聯絡シテ換氣法ノ行ハル、モノ是レナリ、各室ノ腐敗セル空氣ハ天井ノ方面ヨリ外部ヘ脱出シ、新鮮ナル空氣ハ彼ノ熱湯管ノ後部ヨリ進入シ來レル仕組トナリ居レリ

所内ノ臺所ニ行カンニハブラック街ノ門ノ側ナル戸口ヨリ入ランコトヲ要ス、此所ヨリ器械仕掛ニテ下層ノ一端ヘ汚レタル麻布類ハ中央部ノ樓上ノ或ル箇所ヘ持チ行カンコトヲ要ス、此所ヨリ器械仕掛ニテ下層ノ一端ヘ送致セラレ、而シテ夫々洗濯場ヘ運ハル、モノトス

事務所ハ下層ノ床ニアリ、其掛員ハ看護婦取締一人、料理人一人、臺所ノ召使女一人、掃除人十一名、男子ノ召使二人ニシテ總十六名ナリシナリ

幼兒用ノ牛乳製造所

此幼兒用牛乳製造所ハヲスボルン街六十八號地ニアリ、通常ノ牛乳カ此製造所ニ持チ込マル、ト均シク器械仕掛ニテ之ヲ純清ニシ他物ヲ混和シテ、全ク害ナキモノナラシム
牛乳分解器、此器械ハキング街ニ於ル戸口ノ所ニ据付ケアリテ牛乳ヲ純清ナラシムルノ用ヲ爲スモノナリ
斯クシテ純清ニナリタル牛乳ハ之ヲ錫製ノ運搬器ニ容レテ一ノ桶ニ移シ、他物ト混和セシム其他物ト混和セシムル加減ハ幼童ノ年齢ニ從ツテ差異アルモノト知ルヘシ、而シテ後續詰器械ノ方ニ回シテ之ヲ罐ニ詰メ込ムモノナリ

又タ此製造所ノ床ニハ種々ノ大サナル桶様ノモノ數多アリ、皆ナ之ニ水ヲ湛ヘテ得意先ヨリ歸リ來レル空罐ヲ洗フノ用ニ供ス

近コロ空罐ヲ洗フニハ最モ簡便ナル方法アリ、具羅斯哈市ノ乾酪製造技師ナルマックスウエル氏ノ工風ニ成レルモノナリ、此器械ハ噴水仕掛ニテ僅カニ空罐ノ口ヲ擬ヘハ其水力ヲ以テ忽チ洗ヒ清ムルコトヲ得ヘク、一々彼ノ刷毛様ノモノヲ以テ洗フヨリ、其簡便ナルコト得テ想像スヘキノミ、此製造所ニモ之ヲ用ヒ居レリ
此外最モ大仕掛ノ清毒法等ヲ行フノ箇所アリ、總テ此製造所ニ於テ用ヒラル、ノ所ノ器械ハ概チ蒸氣力ニ依ラサルモノナシ、而シテ其蒸氣機關ノ力ハ五馬力ナリトス、又所内ニ空氣流通ヲ善クセンカ爲メニ彼ノ

煽風器ノ備付アリ、又タ夜間ハ電氣燈ヲ點スルコトヲセリ

此製造所ヨリ發賣スル所ノ牛乳ノ價ヲ舉レハ左ノ如シ

生後三箇月未滿ノ幼兒ニ適スヘキ牛乳(牛乳一分ニ水二分ヲ混和シタルモノ)

九 罐 二「ダイム」

生後三箇月以上六箇月未滿ノ幼兒ニ適スヘキ牛乳(牛乳一分ニ一水分ヲ混和シタルモノ)

九 罐 二「ダイム」半

生後六箇月以上八ヶ月未滿ノ幼兒ニ適スヘキ牛乳(牛乳二分ニ水一分ヲ混和シタルモノ)

九 罐 三「ダイム」半

又タ一時ニ多量ノ乾酪ヲ購買スルモノニハ百分ノ十五ノ割引ヲ爲スト云フ

(ロ) 衛生視察官ノ事

衛生局ノ組織セラレシ以來既ニ滿三十四年ヲ經過シタリ、此衛生局創設ノ際局務ニ從事スル者ヲ左ノ如ク定メタリ、曰ク醫官一名、地方醫官助手五名、衛生視察長官一名、地方視察官五名、下宿營業視察官五名、傳染病視察官七名、衛生上妨害事件視察官十八名、婦人視察官五名、戸内視察官一名、書記二名、使童一名、掃除人一名、各合計五十二名ナリ、現時ノ衛生局ハモントロース街トコチラン街トノ一隅ニアリ、セラレザ、スカイアーナル市廳ノ東部ニ在リテ相距ル遠カラス、此衛生局ノ開設セラレタルハ今マヨリ七箇年前ニシテ、其建設費用(地代及内部ノ粧飾費ヲ包メリ)ハ殆ト三萬封度ナリシ、而シテ此局内ニハ醫官、衛生視

察長官及細菌學擔任者ノ爲メニ特ニ其場所カ設ケラレタリ、近キ頃マテ市ノ化學擔任者ノ部局モ亦此衛生局内ニ在リシカ、目今ハ彼レノ爲メニジョン街トコチラン街トノ一隅ニ其事務所カ新設セラレタリ

此衛生局ニテハ各室ニ温氣ヲ取ランカ爲メニ、蒸氣機關ノ据付アリ、但シ其蒸氣力ハ左マテニ強カラサルナリ、又タ大切ナル帳簿書類其他彫刻物等ハ、火災豫防法ノ備リタル室内ヘ備ヘ置クコト、セリ、此外灰汁洗、消毒法、煙除ケ等ノ方法モ亦タ備ハリ居レリ

今マ下層ノ床ニアル所ノ部局ヲ舉レハ左ノ如シ、曰ク衛生視察長官、及之ニ附屬セル書記、寫字生ノ事務室、中央地方部ノ視察官、其助手等ノ事務室、種痘室、公開試験所、醫官若シクハ其助手ノ外來疑似患者ヲ診察スル室等是レナリ

次ニ第一層ノ床ニ於ル事務室ヲ舉レハ左ノ如シ、曰ク醫官及其助手等ノ事務室、醫官書記ノ事務室、傳染病試験室、傳染病視察官ノ事務室、東部、北部、南部、西部ニ於ル地方視察官及其助手等ノ事務室、醫官ノ文庫、細菌學擔任者ノ私室等是レナリ

第二層ノ床ニ於ル事務所ハ左ノ如シ、曰ク食物、乾酪、酒、煙草、魚類等視察官ノ事務室、婦人視察官ノ事務室、郊外地方視察官ノ書記ノ事務室、細菌學擔任者ノ事務室等是レナリ

而シテ最上層ノ床ニハ電氣仕掛ノ煽風機ノ備付アリ、是レハ局内各所ニ於ル腐敗セル空氣ヲ除却スルノ用ヲ爲スモノナリ

又タ庭園内ニハ動物小屋アリ、此等ノ動物ハ皆ナ是レ細菌學擔任者ノ實地試験用ニ供セラル、モノナリ

本局ノ執務時間ハ午前九時ヨリ午後五時迄(土曜日ハ午後一時迄)ト定ム然レトモ日曜日ヲ除クノ外年中毎日午前七時ヨリ午後七時迄ハ、何時タリトモ局務取扱上ニハ毫モ差支ヘナカルヘキナリ、是レ他ナシ視察官ノ内巡番ヲ立テ當直スルモノアレハナリ、但シ其當直ト云ヘルハ一ハ午前七時ヨリ同九時迄、他ハ午後五時ヨリ同七時迄勤務スルモノ是レナリ、且ツ日曜日ト雖モ全ク其事務ヲ取ラサルニアラス、只タ其執務時間幾干カ短縮セルノミ、即チ午前ハ九時ヨリ十一時迄、午後ハ四時ヨリ六時迄ト定ム、然レトモ一千九百一年ノ如キ痘瘡及「ベスト」病流行スル時ニ際シテハ、晝夜共ニ時間ニ制限ナク事務ヲ執リシナリ、又タ平時總テノ視察官カ局ニ在リテ實際事務ヲ執ルハ毎朝九時ヨリ十時迄、午後四時半ヨリ五時迄トス、但シ其他ノ時間ハ受持々々ノ視察ニ從事スルモノト知ルヘシ、又視察官助手ニハ局ヨリ一樣ナル制服制帽ヲ給與セラル、モノトス

局員ノ大半ハ夏季ニ際シテ二週間ノ休暇ヲ賜ハルモノトス、但其休暇ハ局員替ル々々タランコトヲ要ス且ツ本年ノ夏季中最終ノ二週間ノ休暇ヲ得タランモノハ來年ノ夏季休暇ハ最初二週間ニ相當スル様毎年順次ニ夏季休暇ヲ得テ其休暇時日一定セサル仕組トナリ居レリ、而シテ此等ノ休暇ノ間ト雖モ又タ病氣欠勤ノ間ト雖モ其給料ハ平常ト異ナルコトナシ、但病氣欠勤ノ場合ニ於テハ醫師ノ診斷書ヲ差シ出サンコトヲ要ス凡ソ局務ニ從事スル者ハ何人ヲ問ハス必ラス再種痘ヲ爲サルヘカラス、否ラサレハ局ノ種痘醫ヨリ痘瘡感染ノ虞ナシトノ證明書ナカルヘカラス

本局ニハ從來養老退隱ノ事ニ關シテハ何等ノ規定モナカリシカ、近キ頃ニ至リテ衛生委員會ノ決議ニ依リ

テ老若者若シクハ疾病ノ爲メ其職ニ堪ヘサル者ニ一ノ扶助料ヲ給與スルコト、ナレリ、而シテ其扶助料ナルモノハ市ノ適當ト思惟スル範圍内ニテ給與スルコト、シ、概ネ平常ノ給料ノ半額ニ過キサルモノトス、衛生上ノ妨害事件、工場及下水疏通等ヲ視察スルニ便センカ爲メニ、全市ヲ分割シテ七區ト爲シ一區毎ニ視察官ヲ置キ復タ其視察官ノ下ニ數人ノ助手アリテ夫々視察ニ従事セシム、所謂ル其七區トハ中央區、北區、東區、南區、西區、北西區、南小區是レナリ、中ニ就テ北西區ト南小區トニハ各々地方支局ヲ設置ス而シテ其支局ノ一ハヒルヘッドニアリ、他ノ一ハクロッスヒルニアリテ夫々視察官之ヲ管理ス、而シテ一ノ使丁アリテ中央局ト此等ノ支局トノ交通聯絡ノ用ヲ爲ス、即チ此使丁ハ毎朝毎夕關係書類若シクハ通信報告若シクハ中央局ノ訓令指揮等ヲ携ヘテ本支局ノ間ヲ往來スルモノナリ、且ツ本支局ノ間ニハ電話ノ交通機關モ備ハリ居レリ、又タ此等ノ支局ニハ各々書記ノ下役ナルモノヲ使用セリ

今マ地方視察官ノ職責トスル所ヲ舉レハ概ネ左ノ如シ、曰ク月々視察長官ト稟議シ或ハ其指揮ヲ仰キ或ハ自カラ報告ヲ爲ス事、殊ニ其關係事件ニシテ其處分方困難ナル場合ニ於テハ其長官ト謀議スヘキ事、其助手ノ關係帳簿ヲ調査シ不都合ニシテ中止セシムヘキ必要アリト認メタランニハ之ヲ中止セシムヘキ事、下水疏通上若シクハ換氣法ニシテ缺點アリト認メタランニハ之カ救護策ヲ講究スヘキ事、衛生上妨害ノ甚ハタシキモノ、或ハ差シ當リ實施上困難ナル場合ニ於テハ其身親シク臨檢スヘキ事、地主ト借地人トノ中間ニ立チテ双方ノ調停ヲ計ルヘキ事、衛生上妨害トナル事ヲ企タル者ト之ニ對シテ苦情ヲ唱フル者トノ中間ニ立チテ公平ナル觀察ヲ下スヘキ事、婦人視察官ヲ監督スヘキ事、事業擴張或ハ建物ノ模様替等ノ事ニ關

シテ地主又ハ家主ト協議ヲ遂クヘキ事、訴訟事件ニ關シ證人トナリテ警察署又ハ裁判所ヘ出頭スヘキ事等是レナリ

又タ視察長官付ノ書記ノ司トル所如何ト云フニ概ネ左ノ如シ、曰ク視察長官宛ニテ來レル諸ロノ通信ハ書記限リニテ開封シテ苦シカラス、然レトモ特ニ「私信」ト記サレタル場合ハ此限ニアラス、各地方部ヨリ來レル通常ノ書類ハ書記限リニテ處分シテ妨ケナシ、但シ「日々取扱件名簿」ニ夫々記載シテ毎日午前九時局中其掛々ノ視察官ヘ夫々差シ廻スヘキ事、各地方視察官カ本局ヘ出頭シテ視察長官ト會見シテ、前日ノ事件口上若シクハ書面ニテ報告スルノ際、前日受付ケタル書類ヲ長官ノ前ニ出シテ認印ヲ取ルヘキ事等是レナリ

全市ヲ二十五部ニ區分シ衛生上妨害事件視察官助手ハ各々其一部ヲ自分ノ受持區ト定ム、但シ市ノ中央部ノミハ此限ニアラス、即チ此中央部ハ之ヲ四部ニ小分シ二名ノ視察官之ヲ管理セリ、今マ衛生上妨害事件視察官助手ノ職責ヲ舉レハ概ネ左ノ如シ、曰ク日々衛生上妨害トナルヘキ地方ヲ視察スル事、衛生上妨害アリト苦情ヲ唱フル者ノアル場合、其實地ヲ仔細ニ調査スル事、總テノ家屋借家等ヲ視察スル事、警官ノ爲メニ麵麩屋ヲ視察スル事、不潔ナル家屋、衣服或ハ其周圍ノ地所等ヲ視察スル事、衛生上注意スヘキ事柄ヲ記載シタル紙片ヲ各種ノ借家人ニ交付スル事等是レナリ

又タ視察官ノ内ニテモ水夫若シクハ移住民ヲ收容スヘキ下宿屋及寄宿所ノミヲ視察スルコトニ其全力ヲ注クモノアリ、而シテ此等ノ視察ハ其實効ヲ奏シタルモノト謂ツヘキナリ、近キ數年ノ間ニ通常ノ下宿屋徐

ロニ其數ヲ減少シ來レリ、然レトモ斯ク減少セルト同時ニ其建設セラレタルモノハ、從前ヨリ一層廣大ニシテ且ツ改良セラレタルナリ、一千八百八十七年ニ於テハ家數一百一戸ニシテ下宿人六千二百七十三人ヲ容ルヘキモノナリシモ、一千九百三年ニ至リテハ家數僅カニ六十二戸ニシテ九千五百五十八名ノ下宿人ヲ容ル、ニ足ルヘキモノトナレリ、此等ノ通常ノ下宿屋ノ内七戸ハ市有ニ歸セリト云フ、此等ノ下宿屋ハ理財上ヨリ見ルモ成功シタルモノト謂ツヘキナリ、之ト同時ニ市ノ本來ノ目的ニモ亦タ能ク適シタルモノナリ、乃チ市ノ本來ノ目的ハ模範下宿屋ナルモノヲ作りテ、一個人ヲシテ相競フテ之ニ倣ハシメントスルニアリシカ、果シテ其目的ノ如クナリシナリ、一千九百三年ニ於テ水夫及ヒ移住民ヲ收容スヘキ寄宿所ノ數ハ三十六戸ニシテ、之ニ寄宿セシムヘキ人員ハ共計六百六十一人ナリシナリ、而シテ此寄宿所取締規則モ亦タ是レ下宿屋取締規則ト全ク同一ナリトス

茲ニ年中夜間ノミ行動スル六名ノ視察官アリ、此等ノ六名ノ視察官ノ職責如何ト云フニ、市中ニテ甚ハタ狭小ナル家屋内ニ充溢スル程人ノ居住スルヲ禁止スルモノ是レナリ、而シテ此等ノ視察官ハ二人宛二人宛一組トナリテ常ニ行動スルモノトス、是レ蘇格蘭ノ法律ニ從ヘルモノニシテ二者互ニ戮力同心シテ事ニ從ヘルナリ、彼ノ警察裁判所ノ警吏ノ前ニ訴訟ヲ提起スル場合ノ如キハ殊ニ然リトナス、彼ハ狭小ナル家屋内ニ實際人ノ充溢スルコトアリトスルモ、畢竟スルニ初犯ニシテ其充溢スルノ度合餘リニ甚ハタシカラストセン乎、斯ル場合ニ於テハ其家長ニ警告スルマテニシテ、法律上ノ制裁ヲ加ヘサルヲ常トス、然レトモ其他ノ場合ニ於テハ警察裁判所ヨリ斯ル借家人ニ對シテ召喚狀ヲ發シテ、二噓六「ダイム」以上十噓以内ノ

罰金ニ處セララル、モノトス、然レトモ斯ク警察裁判所へ召喚シタル場合ト雖モ、尙ホ且ツ警官ノ説諭ニ止マリテ法律ニ問ハサルコト少ナカラサルナリ

市中戸口ニ目標ヲ付セラレタル小家屋ノ數殆ント一萬九百三十五戸アリ、而シテ此目標ニハ其家ノ立方呎室數及居住者ノ定員ヲ示セルモノナリ、從前ハ此目標錫製ナリシカ、此數年來ハ鑄鐵製ニ變更セラレテ、戸口ニ螺旋釘ヲ以テ確カト打チ付ケラレタリ

右ノ如ク目標ヲ付セラレタル家屋ヲ取り締ルヘキ權能ハ、具羅斯哈警察條例中ニ制定セラレタリ、而シテ斯ク目標ヲ付セラレタル家屋ニ於ル立方呎ノ最低度ハ二千呎ト定メラル、然レトモ尙ホ其後發セラレタル條例ヲ以テ、其立方呎ノ最低度ヲ増シテ二千六百呎ト定メラレタリ

斯クテ一千八百七十年以降此等ノ小家屋ヲ一定ノ規程ニ從ツテ常ニ視察スルコト、ナリタルヨリ、著シキ好結果ヲ奏シ來レリ即チ從來ハ此等ノ小家屋内ニ窒扶斯熱大ニ流行セシカ、一タヒ此視察法設ケラレテヨリ終ニ市内ニテ窒扶斯熱ニ罹リタルモノ殆ント之レナキニ至レリ

六名ノ婦人視察官カ晝間下等社會ノ居住所ヲ視察スルノ任務ヲ帶ヘリ、今マ此等ノ婦人視察官ノ職責ヲ舉レハ左ノ如シ、曰ク一家ヲ保テル婦人ニ對シテ家内ヲ清潔ニシ衛生上ニ適セシムヘキ方法如何ヲ懇ロニ教ヘ諭スコト是レナリ、此等ノ視察官ハ一定ノ制服ヲ着セス、僅カニ三年目毎ニ一回一ノ雨衣ヲ給與セラル、ノミ、又タ男視察官ト均シク視察長官ノ手ヨリ衛生上ノ注意書ヲ交付セラル、或ハ婦人視察官ニシテ衛生上ノ妨碍事件若シクハ傳染病患者アルコトヲ見出シタル場合アリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ直チニ其

掛官へ報告センコトヲ要ス、此等ノ婦人視察官ノ給料ハ一週間ニ就キ二十疋乃至三十疋トス、又タ此婦人視察官ハ男視察官ト均シク、蘇格蘭衛生協會ノ認可證カ、若シクハ大不列顛衛生協會ノ認可證ヲ見スルニアラスンハ其資格ナキモノトス

此王國中婦人視察官ヲ採用スルニ至リタルハ具羅斯哈市ヲ以テ其嚆矢トナス、其始メテ婦人視察官ヲ任命シタルハ實ハ千八百七十年ノ事ナリキ

下水疏通事業タルヤ衛生局ノ事業中重要ナルモノ、一タリ、故ニ視察官數人カ日々此ノ疏通事業ニ關シテ注意ヲ怠タラサルナリ、今マ茲ニ新タニ一ノ家屋カ建設セラレタリトセンカ、具羅斯哈市家屋建築取締條例ノ規定スル所ニ從ツテ、衛生視察官カ先ツ其家屋内ニ於ル下水疏通狀態カ果シテ適法ナルヤ否ナヲ視察シテ後其認許證ヲ與フルモノトス否ラサレハ其家屋内ニ居住スルヲ許サス、或ハ從來ノ家屋ノ模様替ヲ爲シ若シクハ増築ヲ爲ス場合モ亦タ然リ、又タ現在人ノ居住スル所ニ腸胃熱患者若クハ實扶埕里亞患者發生シタリトセン乎、斯ル場合ニ於テハ衛生局カ其居住所ニ於ル下水疏通ノ有様如何ヲ調査センコトヲ要ス、而シテ其下水疏通上ニ不都合ナル箇所アル事ヲ見出シタランニハ、直チニ其家主等ニ警告シテ之カ救治策ヲ取ラシメサルヘカラス、一千九百三年中ニ下水疏通ノ良否ヲ試驗シタルモノ、實ニ四千九百五箇所ノ多キニ達セリ、此内下水疏通ノ新開ニ係ルモノ一千五百二十六箇所アリ、又タ管道ノ阻害セラレタルモノ及他ト聯絡ノ途良カラサルモノ一千九百一十一箇所アリタリ、具羅斯哈市ノ下水工事ノ善ク行キ届キテ亦タ間然スル所ナキハ、恐ラク他ノ大都會ト比較シテ第一位ヲ占ムルナラン、他ヨリ具羅斯哈市ニ來遊スル人アリ

テ朝九時三十分頃衛生局ニ到リ、市ノ下水工事ヲ一覽センコトヲ乞ヒ、或ル視察官ニ誘ハレテ其實況ヲ目撃シタランニハ、嘆稱スルノ價値アルヘシト信ス

衛生上妨害事件視察官ノ最重要ナル職責ハ左ノ如シ、曰諸工場ノ衛生上ノ有様カ果シテ善ク工場取締條例ノ規定スル所ニ適シタルヤ否ナヲ視察スルコト是レナリ、目今此種ノ視察官六名アリ、特別ニ其注意スル所ヲ細別センニ、職工ノ人名簿、光線、換氣法、洗濯場ノ設備、給水法、灰汁洗、職工ノ充溢スル度合等はレナリ、如何ナル工場ニテモ衛生局ヨリ交付サレタル「カード」ヲ備ヘ置カサルヘカラス、其「カード」ノ表面ニハ晝間使用スル職工ノ員數、及一定ノ時間外ニ使用シ得ヘキ時間等ヲ記載スルモノトス、又タ工場外ニ於テ使用セラル、職工ノ住所姓名等ヲ記載シタル報告書ヲ六箇月目ニ一回其筋ヘ差シ出サンコトヲ要ス、而シテ此等ノ工場以外ノ職工ノ居住カ市内ナランニハ、其受持區ノ視察官カ時々之ヲ視察スヘキモノトス、又タ其職工ノ居住カ市外地ナランニハ其所轄ノ地方廳ニ依頼シテ視察セシムヘキモノトス、今マ普通ノ家屋内ノ竈ヨリ生スル煙ニアラスシテ他ノ煙突ヨリ非常ニ過度ノ煙ヲ放出スルモノアランカ、一千八百九十二年ノ制定ニ係ル具羅斯哈警察條例第三十一章ニ依リテ、此等ノ煙害ヲ取り締ルヘキ權能カ警官ノ手ニ與ヘラレタリシカ、一千八百九十九年三月三十一日ヲ以テ此權能カ衛生視察官ノ手ニ移サレタリ、而シテ此等ノ視察官ノ事務ヲ補助センカ爲メニ特ニ資格アル助手二名カ任命セラレタリ、煙害視察官カ實際其害ノ有無ヲ視察スルノ時間ハ通常二十分間乃至六十分間トス、但シ其時間ノ長短ハ煙突ヨリ放出スル煙ノ分量及竈ノ構造如何ニ準據スルモノト知ルヘシ、而シテ之ヲ視察スルノ方法順序ハ大體ニ於テ一

定シ居レリト雖モ、其細末ノ事ニ至リテハ各視察官ノ手加減ニテ、其間多少ノ差ナクンハアラス視察官カ一旦其視察ヲ結了シタル後尙ホ煙ノ過度ニ放出シタルヲ認メタル場合アリトセン乎、斯ル場合ニ於テハ再ヒ其工場ニ赴キテ、理事者若シクハ其他責任アル者ニ面會ヲ遂ケ、斯クノノ時間ニ於テ當工場内ノ爾カノ煙突ヨリ、過度ノ煙放出シタル由ヲ警告シ、且ツ其竈等ヲ檢視センコトヲ要ス、視察官カ此等ノ竈ヲ視察センニハ、其竈ノ大體ノ有様其竈ハ何々式ニ據リテ造ラレタルカ、空氣流通ノ度合、燃料ノ性質、每一時間ニ鐵架上一方呎ニ就テ燒盡セル燃料ノ分量、且煙害豫防上特別ノ方法實行サレ居ルヤ否ナ等精密ニ視察センコトヲ要ス

斯クテ視察官ハ其視察用紙ニ其視察シタル實況ヲ詳細ニ記入シテ、之ヲ視察長官ノ手許ヘ差シ出サンコトヲ要ス、而シテ視察長官ハ一々之ヲ精調審査シテ、警察裁判所ヘ提起スルノ必要アルヤ否ナヲ判定スヘキモノトス、但シ此際豫カシメ此煙害視察ニ關スル工場ハ、既ニ公認セラレタルモノナルヤ否ナヲ確カメ置カサルヘカラス

凡ソ煙害視察官タルモノハ豫テ左ノ如キ事ヲ心得居ラサルヘカラス、曰ク煙害豫防上ニ必要ナル事柄ハ云フマテモナク、改良竈ノ製造法之ヲ据ヘ付ケテ實地使用スルノ方法衛生局一方ノミノ意志ニ偏スルコトナク公平ナル意見ヲ持シテ、自カラ經驗シタルコトハ、之ヲ工場ノ煙關係者等ニ知ラシメテ、爲メニ利便ヲ得セシムルカ如キ事等レナリ

又タ此外食物藥物、「マルガリン」販賣取締條例ノ規定スル所ニ從ツテ行動スル視察官四名アリ、此等ノ視察官ハ實地此等ノ物品ノ見本ヲ取りテ仔細ニ之ヲ検査スルノ必要アルモノナリ、而シテ視察官カ營業者ヨリ此等ノ見本ヲ徵收スルニ際シテハ、二名宛合同シテ事ニ從フコトアリ、又當ニ商店ヨリ此等ノ見本ヲ徵收スルノミナラス、毎朝鐵道停車場ニ出張シテ地方ヨリ送り來レル牛乳ノ見本ヲ取りテ其良否ヲ試験センコトヲ要ス、又タ此等ノ視察官ハ市内ニ於ル牛乳販賣店及牛乳搾取所ヲモ視察スヘキモノトス、中ニ就テ此搾取所ノ方ニ關シテ、牛小屋ノ光線、清潔、立方呎等果シテ適法ナルヤ否ナヲ視察セサルヘカラス、又タ何人ト雖モ牛乳販賣店及牛乳搾取所ト密接シタル室内ニ於テハ寢ニ就クコトヲ許サス、彼ノ地方警察條例ナルモノ出テシヨリ以來今日ニ於テハ「アイス、クリーム」販賣店モ亦タ是レ牛乳販賣店ト同一ナル取締法ノ下ニ置カル、モノトス

此等ノ視察官ハ日用ノ飲食品中衛生上有害ナリト認ムヘキモノヲモ取締ルヘキ職責ヲ有ス、又タ此視察官中ノ一名ハ毎日公開セル果物市場及青物市場ヲ視察センコトヲ要ス、而シテ一千九百年マテ屠畜場モ亦タ是レ衛生視察官ノ管理内ニ屬シ居タリシカ、同年以降ハ其取締方ヲムール街市場付獸醫ノ手ニ移シタリ而シテ今日ニ至リテハ既ニ獸醫局ナルモノ設ケラレテ其管理ニ屬セリ

又タ衛生視察長官ノ指揮ノ下ニ一ノ視察官アリテ其ノ全力ヲ魚類視察ノ一方ニノミ向ケルアリ、此種ノ視察官ハ日々魚市場ニ臨ンテ其現況ヲ視察スルハ云フマテモナク、而シテ毎日此市場視察ヲ終ヘタル後ハ其受持區ノ魚商及魚行商ノ有様ヲ視察スヘキモノトス

更ニ一種特別ノ視察官ナルモノ任命サレタリ、此視察ノ重モナル任務トスル所ハ左ノ如シ、曰ク一千八百

九十二年ヨリ一千八百九十五年ノ間ニ制定セラレタル商店雇人使用時間取締條例及一千八百九十九年ノ制定ニ係ル商店助手居室取締條例カ實際皆ナ善ク施行サレ居ルヤ否ナヲ視察スルコト是レナリ、而シテ尙ホ之ヲ詳説センニ、此等ノ視察官カ巡回視察ノ際必要ト認メタランニハ、此等ノ條例ノ要領ヲ摘記シタル「カ」ド」ヲ示シテ之カ注意ヲ促カスコトアリ、今マ其一例ヲ擧ケンカ「即チ十八歳未満ノ少年ハ一週間ニ就キ七十四時間以上商店ニ於テ使用スルコトヲ許サ、ルカ如キ是レナリ、又タ一千八百九十九年ノ制定ニ係ル商店助手居室取締條例ハ愈ヨ一千九百年一月一日ヨリ實施セラル、コト、ナリタリルカ、其重モナル條項ニ曰ク、小賣商店ニ於テ助手トシテ婦人ヲ使用スル場合ニハ、毎三人ニ少ナクモ一室ヲ與ヘサルヘカラス、而シテ此條例ハ善ク遵奉セラレタルカ故ニ、之カ爲メニ訴訟ヲ提起スルノ必要ナカリシト云フ

斯クテ一千九百三年十月一日地方港口取締局ナルモノ設置セラレタリ、是レハグリーノックヨリ具羅斯哈市ニ交通スルノ便アルクリード河ニ關係スルモノニシテ、衛生視察官カ其港口視察ノ任ニ當ルコト、ナレリ、乃チ地方港口取締局ハグリーノックノブリンセス、ヒアーニ置カレ一ノ視察官之ヲ管理ス、而シテクリード河ヲ航行スル船舶ハ必ラス同所ニ一時碇泊シテ之カ檢閲ヲ受ケサルヘカラス、視察官ハ其檢閲シタル結果ヲ一々具羅斯哈ナル視察長官ニ報告センコトヲ要ス、今マ此視察官ノ視察スヘキ重モナル條項ヲ擧レハ左ノ如シ、曰ク前甲板ハ不潔ナラサルカ、其空氣流通ハ惡シカラサルカ、甲板上ニ塵埃堆積シ居ラサルカ、光線ノ射入不充分ナラサルカ、便所ノ不潔ナラサルカ等是レナリ、此外具羅斯哈市ノ方ニモ亦タ助手視察官ナルモノアリテ、尙一層嚴重ニ船舶ヲ視察シテ不都合ナル箇所ヲ見出シタランニハ、其船長若シク

ハ船主ニ之ヲ警告シ併セテ之カ救護策ヲ示教スヘキモノトス

又タ衛生局ノ手ニテ毎年夏季ニ際シテ市内ノ芥溜及濕潤セル灰棄場等ニ石灰水ヲ振り蒔キテ清潔法ヲ行ヒ來リシコト久シカリシナリ、是レ虎列拉豫防法ノ一ト認メラレタレハナリ、而シテ衛生局カ之カ爲メニ年々費シタル總金額ハ殆ント百二十封度ナリシト云フ、過去二箇年間衛生局ノ吏員ハ市内ニ於テ公許サレタル營業者ノ家屋ニ就テ、衛生上ノ有様如何ヲ視察シ來リシナリ、其公許營業者トハ旅宿屋、料理店、鐵道停車場内ノ休養所、芝居場、飲食店、雜貨店等是レナリ、而シテ其視察スヘキ重モナル事柄ハ光線ノ射入換氣法、清潔法、其他洗濯所等ノ設備如何是レナリ、其視察スヘキ箇所ハ共計一千七百戸ノ多キニ及ヘリ而シテ此等ノ營業者ノ屋舎ニシテ衛生上ニ適セサル箇所アリテ、衛生視察官ノ是認スル程ニ模様替ヲ爲シタルモノ甚ハタ多ク、爲メニ其持主若シクハ借家人等カ多額ノ出費ヲ要シタリト云フ

彼ノ傳染病患者ノ發生シタル家屋内ニ同棲シタルモノハ、十七日間之ヲ離隔所ニ留メ置クノ定メナルカ此離隔所ハ元ト是レ衛生視察官ノ管理スル所ナリシモ、今日ニ至リテハ衛生醫官ノ手ニ屬スルコト、ナレリ市内ニ於テ牧牛ヲ業トスルモノハ必ラス警察官ノ許可ヲ受ケサルヘカラス、而シテ市内ノ牧牛場ハ漸次減少シ來リ、目今ニテハ僅カニ九十一箇所ニ過キス、而シテ此等ノ牧場ハ衛生視察官ノ管理ニ屬シ該視察官ハ時々其現況ヲ其筋ヘ報告センコトヲ要ス

養豚營業者及其仲買人モ亦タ是レ警察官ノ許可ヲ受ケンコトヲ要ス、而シテ其許可證下付願ノ手續ハ牧牛者ノ場合ト同一ナリトス

一千八百九十七年ノ制定ニ係ル公衆衛生條例(蘇格蘭國)ノ範圍内ニ於テ、所謂ル衛生上ニ害アル職業ノ數都合五十九種アリ、今マ其職業中ノ重モナルモノヲ舉レハ左ノ如シ、曰ノ血液煮沸者、骨類煮沸者、膠製造者、動物ノ臟器取扱人、肥料製造者、柔皮匠、石鹼製造者、脂肪溶解者、屠馬者等是レナリ、而シテ此等ノ内何レカノ業ヲ營マント欲スル者ハ、先ツ警察署ノ書記ノ許ヘ營業許可證下付願ヲ書面ニ認メテ差シ出サンコトヲ要ス、但シ其書面ニハ其家屋構造ノ模様及其營業ノ性質等一々詳記セサルヘカラサルヘカラス、斯クテ此願書ハ衛生委員會ノ手ニ移リ、復衛生醫官視察長官ノ手ニ渡リ而シテ實地調査ノ上夫々復命セシムヘキモノトス、尙ホ此外此公衆衛生條例中ノ明文ニ據レハ、右ノ如キ願書カ提出サレタル場合ニ於テハ之ヲ具羅斯哈ノ新聞紙上ニ廣告セサルヘカラス、蓋シ其營業ニ付テハ如何ナル邊ヨリ反對スル異論ノ生スルヤモ知ルヘカラサレハナリ、斯クテ之ニ對シテ何等ノ苦情故障モ起ラス、又々實地ヲ調査シタル二名ノ視察官ノ復命書ニモ更ニ不都合ナル點之レナシトセン乎、斯ル場合ニ於テハ常ニ許可スヘキモノトス而シテ尙ホ此等ノ營業場所ヲ取締ルニ就テノ附則ナルモノ設ケラレタリ、曰ク(第一)營業ノ實況如何ヲ視察スヘキ事、(第二)其家屋ノ構造カ果シテ其近邊ニ害ヲ與ヘス又々惡感情ヲ生セシメサルニ足ルヘキヤ否ナヲ視察スヘキ事、(第三)其營業實際ノ有様カ果シテ當初差シ出シタル營業願書ニ違犯シ居ルコトナキヤ否ナヲ視察スルコト是レナリ、而シテ此等ノ附則ニ違犯スル所ナキヤ否ナヲ視察スルハ、衛生視察官ノ任務ナリトス

シコトヲ要ス、蓋シ是レ廢棄物ヲ除却セシメンカ爲メナリ、而シテ此視察ノ任務ハ衛生視察官ノ手ニ屬スルモノトス

衛生局ハ一千九百二年中ニ於テ公衆衛生條例ニ基キテ、何人モ引取手ノナキ五百四十五人ノ死體ヲ埋葬シタリ、内公衛ヨリ引キ渡サレシ死體二百九十二個ニシテ、一私人ノ家屋ヨリ連レ來リシ死體二百五十三人アリシナリ、而シテ之ニ要シタル總費額ハ四百十三封度十三昧六「ダイム」ナリシカ、内五十三封度四昧十一「ダイム」ハ死者ノ朋友若シクハ公衛ヨリ償却セラレタリ又々衛生局ニ於テ埋葬出願者ヲ拒絕シタルモノ十七件アリシナリ

茲ニ一ノ報告アリ以テ人ヲシテ一種ノ感動ヲ惹キ起サシムルニ足ルヘシ、曰ク一千八百九十年ノ制定ニ係ル具羅斯哈警察條例(改正ノ分)第三十二章ノ規定スル所ニ從ツテ、人ノ居住所トシテ不適當ナリトテ閉鎖セシメタル家屋ノ報告ニ係ルモノ是レナリ、而シテ其期間ハ一千八百九十一年(本條例實施)ノ時ヨリ一千九百四年四月十八日ニ至ルマテト知ルヘシ、乃チ此期間ニ閉鎖スヘキ宣告ヲ受ケタル家屋八百五十九戸ナリシカ、内二百十三戸ハ尙ホ閉鎖サレタル儘ナリ、百八十六戸ハ改造セラレテ營業家屋トナリ、五十六戸ハ模様替ヲ爲シテ再ヒ人ノ住居トナリ、四戸ハ便所トナリ、一戸ハ洗濯場トナリ、三百八十二戸ハ引キ倒サレ、其内百二十七戸ハ再建シテ人ノ住居トナリ、五十七戸ハ營業家屋トナリ、十二戸ハ現ニ再建中百八十六戸再建ノ運ヒニ至ラハ、十七戸ハ今日取毀シニ取り掛リ居レリ

右ニ述ヘタル人ノ住居ニ適セスト宣言シ得ヘキ權能ヲ與ヘラル、具羅斯哈警察條例第三十二章ヲ舉レハ左

ノ如シ

「凡ソ衛生醫官、衛生視察官、及市ノ工事監督等カ、實證ヲ舉ケテ或ル事件ヲ警察委員會ヘ申告シタリトセン乎、警察委員會ハ之ニ就テ相當ノ處分ヲ爲サ、ルヘカラス、其申告事件トハ左ノ如キ事柄ヲ云フ、曰ク或ル家屋若シクハ其他ノ建物又ハ或ル家屋ノ一部分若シクハ其他ノ建物ノ一部分カ人ノ居住スルニ不適當ナリト云フカ如キ是レナリ、而シテ警察委員會ハ成規ニ從ツテ左ノ如ク公布センコトヲ要ス、曰ク爾カ々々ノ家屋若シクハ建物ハ人ノ居住スルニ不適當ナルモノナリ、故ニ自今以後何人トモ雖モ之ニ住居スルヲ許サス、若シ此發令以後此等ノ家屋若シクハ建物或ハ其家屋ノ一部分若シクハ其建物ノ一部分ニ自カラ住居スルカ、又ハ他ニ賃シテ住居セシメタランモノハ、何人ニ限ラス五封度以内ノ罰金ニ處スルカ、或ハ四十疔以内ノ日課罰金ニ處スルモノトス、然レトモ警察委員會ハ斯ル命令ヲ發布スルニ先ンシテ左ノ如キ處置ヲ取ランコトヲ要ス、曰ク斯ル家屋ノ所有者タル者ハ、委員會カ相當ト思惟スル期間内ニ於テ、其被告事件ニ對シテ反證ヲ舉ケテ辨論スルヲ得ヘク、出頭シタランニハ其立證陳述スル所ヲ聽取スヘキ旨ヲ其家屋ノ所有者ニ通知センコトヲ要ス、又此命令發布セラレタル後斯ル家屋若シクハ建物、或ハ其家屋ノ一部分若シクハ建物ノ一部分カ、改修セラレテ人ノ住居スルニ適スルモノトナリタリトセンカ、斯ル場合ニ於テハ警察委員會ハ其前令ヲ取り消シテ更ニ其効力ナカラシムルカ、或ハ其命令ノ趣旨ニ變更ヲ加ヘテ前者ト異ナラシムル所アルカ、二者其一ニ居ラサルヘカラス、警察委員會カ本條例ヲ實行スルニ就テ、全委員ノ合議一致スルヲ要セスト雖モ、定員

五名以下ニテハ之ヲ實行スルヲ許サス」

「此三十二章ニ規定スル所ニ從ツテ發セラレタル命令ヲ受ケタル者カ、此命令ヲ不當ナリト思惟シタル場合アリトセン乎、斯ル場合ニ於テハ其命令ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ裁判所ヘ上告スルコトヲ得ヘキモノトス、而シテ裁判所ハ斯ル上告ニ就テ相當ノ調査ヲ遂ケ、出來得ヘクンハ上告セシ日ヨリ七日以内ニ之ヲ裁決センコトヲ要ス、但シ之ニ要スル所ノ費用ハ或ハ之ヲ徴收スルコトアリ或ハ否ラサルコトアリ、然レトモ此裁判所ノ判決ハ所謂ル最終ノ判決ナルカ故ニ、此後ハ如何トモスルコト能ハス其判決通りニ從ハサルヲ得ス、然レトモ警察委員會カ一旦人ノ住居トスルニ不適當ナリト命令ヲ下シタル家屋若シクハ建物、或ハ其ノ家屋ノ一部分若シクハ建物ノ一部分ニシテ、改修セラレタル場合ニ於テ或ハ其以前ノ命令ヲ取り消ス場合アリ、或ハ其命令ノ趣旨ニ變更ヲ加フル場合アリ、裁判所ハ斯ル場合ニ於テハ其ノ間ニ聊カタリトモ異論ヲ介ムコトヲ得ス」

彼ノベルヅキデアー病院及ラックヒル病院ニ隣接シテ二箇所ノ洗濯所ト消毒所トノ設備アリ、而シテ一千九百三年ノ僅カ一箇年間ニ於テ、此等ノ洗濯所等ニテ取り扱ハレタル物品ノ總數如何ト云フニ、ベルヅキデアーノ方ニ於テ二十六萬五千六百九十一點、ラックヒルノ方ニ於テ二十一萬六千三百十九點ナリシナリ實ニ驚クヘキ大數ナラスヤ、而シテ兩所トモニ蒸氣仕掛ノ洗濯器械、洗濯物乾燥「ストーヴ」蒸氣消毒器等ノ備付アリ、彼ノ傳染病患者ノ發生シタル家ヨリ回送サレタル被服類ハ消毒器ノ一方ヨリ之ヲ送り込ミタランニハ、他方ヨリ消毒セラレテ送り出サル、仕組トナリ居レリ、又タ此兩洗濯所ニ於ル諸種ノ掛員ヲ舉

レハ左ノ如シ、曰ク監督、技師、火夫、器械掛、厩夫、被服集配人、洗濯婦及書記等はレナリ、而シテ此等ノ被服寝具等ノ洗濯消毒ヨリ傳染病發生ノ家屋消毒ニ至ルマテ、其費用ハ總テ衛生局ノ負擔ナリトス而シテ消毒法實施ノ手續ハ概ネ左ノ如シ、曰ク傳染病ニ關係シ衛生醫官ノ指揮ヲ受ケテ行動スル所ノ視察官ヨリ發セラレタル命令カ、毎夕各洗濯所ノ事務員ノ手ニ渡サレ、夫レヨリ其命令ノ趣意カ衛生局附屬ノ物品收集所ノ方ヘ通知セラル、斯クテ物品收集掛ハ傳染病ノ發シタル家ニ臨ミテ其患者ノ用ニ供シタル寝具及被服等ヲ收集シ其他家具ノ内消毒ニ附スヘキモノアレハ之ヲモ併セテ收集スヘキモノトス、而シテ此等ノ物品ハ消毒洗濯セシムヘキ爲メ洗濯所ノ方ヘ回サンコトヲ要ス、其内洗濯ニ附スヘキモノハ通常ノ方法ニ從ツテ之ヲ洗濯シ又タ上着類ノ如キハ硫酸蒸蒸若シクハ「ホルマリン、ラムブル」ノ消毒法ヲ行フモノトス又タ傳染病ノ發生シタル家ニハ硫黃蒸蒸ノ消毒法ヲ行ハンコトヲ要ス、但シ其硫黃ノ量ハ每一千立方呎ニ就キ二封度ノ割合ニテ可ナリ

市内ニ於テ幼童ノ運動場都合十一箇所アリ、各運動場ニハ一々管理者アリ、斯ル運動場及管理者共ニ衛生視察官ノ統御内ニアルモノトス

而シテ此等ノ幼童運動場ノ一年間ノ經費ハ殆ント一千二百封度ノ金額ニ上レリ、但シ此等ノ運動場關係者ノ給料ハ此内ニ含マレ居ルモノト知ルヘシ、此等ノ運動場ニハ鞦韆、支持棒、其他各種ノ體操器械等夫々備付ケアリテ、日曜日ヲ除ク外毎日午前九時ヨリ日没後三十分マテ毎日公開セリ、中ニ就テ最モ廣クシテ最モ立派ナルモノハ「フキニックス」運動場トテ市ノ北部人口稠密ナル地區ニ在ルモノ是レナリ、又タ市

ハ近キ頃同地方ニ於テ一ノ地所ヲ買收シテ更ニ一ノ運動場ヲ造ラントテ目今頻リニ計畫シ居レリ

又タ此程市ノ學務局カ市費ヲ以テ學務局附屬ノ學校運動場ヲ設クルノ計畫成レリ、此運動場ハ三箇所ニ設ケテ夫々體操器械等ヲモ備ヘ付ケル手筈ナリ、蓋シ此等ノ運動場ヲ設クルノ目的ハ其地方々々ノ幼童ヲシテ學校修學時間ノ後來リテ運動セシムルニ在リ、又タ此等ノ運動場ノ番人ハ學校ノ門番ニ兼務セシメ、其給料ノ如キハ衛生局ヨリ仕拂フヘキモノトス

衛生局ハ一千八百八十三年ニ於テキール協會ノ助言ヲ納レテ、市内到ル所ニ市休養所ヲ設ケタリ、當初ハ其休養所ノ數百九十二箇所ナリシカ、其後次第ニ増加シテ今日ニテハ二百八十八箇所ノ多キニ達シタリ、而シテ此等ノ休養所ノ創設費及維持費ハ總テ衛生局ノ負擔ナリトス、又タ其所在地ハ全市ヲ通シテ方形ヲ爲セル廣小路ノ如キ所カ、或ハ街路ノ側ニテ適當ナル箇所ニシテ、衛生視察官ノ管理ニ屬スルモノトス今マ左ニ掲クル所ノ簡短ナル表ハ一千九百二十三年ノ事實ニ係ルモノニシテ、一種ノ趣味アリ以テ一讀スルノ價アルヘシ

市ノ幅員

一萬二千六百八十八「エーカー」

毎「エーカー」ニ就テノ人口

六十一人・六四

住家ノ全數

十六萬二千四百四十三戶

一千九百一十年ト比較シテ住家ノ増加數

七千三十九戶

運動場ノ名	大地サノ	ノ買年收	地代	費造等設	維持費	備考
一 プライド街	四一七	一八八九	……	一二八	八九	一ヶ年二十五封度ノ借地料 ニテ三ヶ年契約ニテゴッス マン氏ヨリ借り受ク
二 ゴアーバルス	六〇〇	一八九二	五九五	三〇六	七五	市區改正委員會ヨリ買收ス
三 フホーニツクス	一一、八〇二	一八九三	二〇、二〇五	五、二一九	三三三	「フホーニツクス」フンホドリ 「I」會社ヨリ買收ス
四 キヤツツラン、バンク	四、一七〇	一八九四	……	一、一三〇	八〇	一ヶ年廿喙ノ借地料ニテ市 區改正委員會ヨリ借り受ク
五 バルチツク街	一、九六〇	一八九六	……	六一〇	一〇五	一ヶ年三十封度ノ借地料ニ テ清潔取締局ヨリ借り受ク
六 グレト、イースタン、ロード	四二〇	一八九六	……	二九九	六三	スタチウト、レイホアー委 員會ヨリ寄附
七 バターソン街	一、〇二〇	一八九八	二、七六三	六九〇	八二	「グラスゴー」婦人衛生病院ヨ リ買收ス
八 クインズパーク	二、四〇〇	一八九八	……	七〇六	八〇	公園取締局ノ所屬
九 ナーグハーニワトン	一、八六〇	一八九九	……	九四二	八五	公園取締局ヨリ寄附
十 ガーンカツド、ロード	七六六五	一八九九	二、九〇八	一、二四七	七九	「エドワード、ランナント」氏 ヨリ買收ス
十一 モーレン、スカイアー	一、三〇〇	一八九九	……	一九七	一三二	市區改正委員會ヨリ寄附
合計	三三、〇〇〇		二六、四七一		一、一九三	

夜間視察ノ標札ヲ附セラレタル家屋
人口 概算數 (團體及船舶ニ屬スル一、九〇、四〇〇)

一九、一三五
七八二、一一〇

(參考) 市ノ人口ハ二年間ニ一、九四六ヲ増シ、團體及船舶ニ屬スル人口ハ同年間ニ一、五四八ヲ減ス)

一千九百一一年ノ戶籍調査ニ係ル人口ハ左ノ如シ

- 一室ノ居宅ニ住スル者 一四・〇
- 二室 同上 四七・〇
- 三室 同上 二〇・五
- 其他總テノ居住者 一八・五
- 一千九百三年ノ調査ニ係ル衛生上ニ害アル家屋 四五・三〇八
- 右ノ家屋ヲ「エーカー」ニ比例スレハ 三・七五
- 又之ヲ每百戸ニ比例スレハ 二六・九四
- 其筋ノ帳簿ニ登載サレタル工場數 四・〇二七
- 毎百工場ニ就テ衛生上ニ害アルモノ、乾酪製造所 三八・二八
- 衛生上ニ害アル職業 八九
- (ハ) 細菌學ノ事 五九

細菌學作業局ノ創設ハ一千八百九十五年ニ係ルモノナリ、此年ハ恰カモ是レ衛生局新設ノ計畫アリシ際ナ

リ今此細菌學作業局ノ創設セラレタル顛末ヲ左ニ略叙セント欲ス、曰ク一千八百九十六年一月六日衛生委員會ナルモノ開催セラレタルガ當時其委員會ノ會長ハロバート、クラウフホルド氏ニシテ、公衆衛生的行政事務ヲ幫助スルノ目的ヲ以テ、新建築物ノ内ニ細菌學作業局ヲ設置セントノ議案ヲ提出セシモノアリシカ、其議案ハ直チニ可決セラレタリ、是レヨリ先キ僅カニ十數日即チ一千八百九十五年十二月十六日市會ニ於テ滿場一致ヲ以テ此議案ヲ可決シタリシナリ、蓋シ此議案ハ當時尙ホ少年ナリシ衛生醫官ドクトル、チャールマース氏ノ發議ニ係ルモノニシテ、其議決ノ日ハ最モ人ノ記憶内ニ存シ置クヘキノ日ナリ、斯クテ細菌學ノ進歩發達ハ最モ著シキモノト謂ツヘキナリ、即チ斯學ノ進歩發達ハ疾病ノ診察ヲシテ最モ容易ナラシムルノ効力アルモノナリ、殊ニ傳染病ノ初期ヲ診察スルニ際シテ其効力最モ著明ナルヲ證スルニ足ルヘキナリ、尙ホ之ヲ詳述センカ、細菌學ノ理論ヲ實地ニ應用シタランニハ、傳染病ノ疑ハシキ場合モ直チニ之ヲ判決セシムルコトヲ得ヘク、從ツテ濫リニ疑ハシキ患者ヲ永ク病院ニ隔離シ置クノ弊ナク、又タ危險ナル傳染病患者ヲ漫ニ放任シ置クノ恐れモ之レナキニ至リシナリ、細菌學ノ進歩發達ニ依ルニ非ラスンハ、焉ンソ善ク斯クノ如クナルヲ得ン、細菌學ノ効用豈ニ偉大ナラスヤ

細菌學作業局ノ事業大ニ進歩發達シテ、公衆衛生的行政上ニ著大ナル効用アルコトハ既ニ右ニ述ヘタルカ如シ、然ルニ是レヨリ先キ即チ一千八百八十一年四月二十三日ノ發布ニ係ル政略モ、亦タ是レ衛生上ニ著シキ好結果ヲ奏シタリシナリ、此政略トハ何ソヤ、市内ニ發生スル總テノ傳染病患者ノ隔離法、及其治療等全ク之ヲ市ノ事業トシタルコト是レナリ

斯クテ新築衛生局ハ一千八百九十七年五月ヨリ開設セラレテ事務ヲ取ルコト、ナリ、其作業局ノ設備ノ如キハ衛生醫官ノ計畫ニ成レルモノナリ

細菌學的解剖分析ノ社會ニ取リテ必要ナルコト、及細菌學ノ社會ニ影響スルノ範圍甚ハタ廣キ點ヨリ、一ノ細菌學専門家ヲシテ其全力ヲ舉ケテ細菌學作業局ノ業務ニ當ラシムルノ必要ヲ感スルニ至レリ、此ニ於テ乎市ハ一千八百九十九年九月十八日愈ヨ之ヲ實行シタリ、即チ一ノ細菌學者ヲ任命シテ其術ニ當ラシムルコト、シタリ

又タ其翌年市ハ生理學的試驗ヲ實行スル設備ヲ爲セリ、今マ其設備ノ概略ヲ舉レハ左ノ如シ、曰ク生理學的試驗ヲ爲スニ適當ナル建物ヲ新衛生局ノ庭内ニ建設セリ、而シテ其建物ハ下層ト上層トヨリ成リ、其上層ノ方ハ各技師ノ作業場ニ充テ、其下層ノ方ハ主トシテ試驗ニ付スヘキ動物ノ飼育所ニ充ルモノナリ、中ニ就テ此動物飼育所ハ清潔、溫度、換氣法及飼養法等最モ注意ヲ密ニシテ適度ナラシメンコトヲ要ス、是レ他ナシ大切ナル試験用ニ供スヘキ動物ヲ飼養スル所ナレハナリ、又タ均シク是レ動物飼養所ナレトモ其内一室ハ健康體ノ動物ヲ入ル、所ト爲シ、他ノ三室ハ各種ノ細菌ヲ接種シタル動物ノ收容所ト爲セルモノ是レナリ、此外此建物内ニ各種ノ參考品ヲ陳列セル博物館及顯微鏡的寫眞撮影ノ用ニ供スヘキ暗室ノ設備モ備ハリ居レリ

斯クテ一千九百年一月一日衛生醫官ヨリ市内ノ各開業醫ニ宛テ一ノ案内狀ヲ發シタリ、其案内狀ノ趣意ニ曰ク、傳染病患者ノ疑ハシキ症狀、殊ニ實扶埜里亞、腸胃熱結核等ニ關スル細菌的診察ニ供スヘキ材料ハ

當作業局ニ備へ付ケ之レアリ候間、御一覽相成リ候得者裨益スル所少ナカラスト存シ候云々、又タ之ト同時ニ細菌的試験ニ附スヘキ見本ヲ此作業局へ送致スヘキ適當ナル設備ヲ爲セリ、但シ之ヲ送致センニハ郵便ニ付スルトモ使ヲ走ラストモ共ニ是レ危険ナキ様注意センコトヲ要ス、斯クテ此等ノ細菌的試験成績ノ報告ハ其見本ヲ受ケタル即日カ若シクハ其翌朝ナスヘキモノトス、而シテ此等ノ報告ノ叮嚀親切ナリシ事ハ、左ニ掲クル所ノ過去四箇年間ノ表ニ依リテ證スルヲ得ヘキナリ、即チ(第一表)受領シタル見本ノ數、(第二表)試験成績、(第三表)見本ヲ送付シタル開業醫ノ數、中ニ就テ第三表ヲ觀察スルニ前年中ニ此作業局ノ設備ヨリ利益ヲ得タル開業醫ノ數三百六十名アリシナリ、即チ此數ハ市内一般ノ開業醫ノ全數ノ百分ノ七十九ニ相當スルモノ是レナリ、之カ爲メニ益ヲ得ルノ醫師多キコト知ルヘキノミ

第一表 是レハ一千九百年、一千九百一年、一千九百二年、一千九百三年ノ間ニ、實扶埤里亞腸胃熱、結核病ニ關スル細菌的試験ノ爲メ、市内ノ開業醫ヨリ送付シタル見本ノ數ヲ示セルモノナリ

年	見本				總計
	實扶埤里亞	腸胃	熱結	核病	
一九〇〇	三五三	五四三	三五一	一、二四七	
一九〇一	四三八	一、〇四八	五六五	二、〇五一	
一九〇二	七一二	八〇七	八四七	二、三六六	
一九〇三	九九七	一、〇一四	九三二	二、九四三	

第二表 是レハ試驗成績ノ百分比例ヲ示スモノナリ

年	實扶埤里亞				平均數
	腸胃	熱結	核病	平均數	
一九〇〇	三八・三	五一・八	四三・六	四二・八	
一九〇一	三〇・〇	四九・〇	三六・〇	四一・五	
一九〇二	三五・五	三八・三	三五・〇	三六・三	
一九〇三	三四・八	四六・八	三二・七	三八・三	

第三表 是レハ右ニ掲ケタル見本ヲ送付シ來レル開業醫ノ數及開業醫ニ就テノ見本ノ平均數

年	開業醫	各開業醫ニ就テノ見本ノ平均數	
		腸胃	熱結
一九〇〇	一	二四六	五・〇七
一九〇一	二	二八三	七・二五
一九〇二	三	三〇四	七・七八
一九〇三	三	三六〇	八・一七

既ニ右ニ掲ケタル數種ノ疾病ニ就テ爲セル細菌的試験ノ外、更ニ虎列拉、「ベスト」インフルエエンザ、肺病及恐水病等ノ疑似症ニ就テ細菌的試験ヲ依頼シ來レルモノ少ナカラサリシナリ、彼ノ一千九百年及一千九百一年ニ於テ市内ニ「ベスト」病ノ發生シタル時ニ際シテハ一々該患者ニ就テ細菌的試験ヲ實行スル設備ヲ爲セリ、且ツ其他衛生局創設當時ノ主意トハ相反スル試験マテヲモ實行スルニ至レリ

又々細菌學作業局ハ新設海港衛生事務局内ニモ設置セラレタリ、彼ノ虎列拉、「ベスト」ノ如キ傳染病カ船
 舶ヨリ齎ラシ來ルコトアルヲ以テ、此海港衛生事務局ニ於テハ此事ニ關シテ最モ嚴重ニ取り締ラサルヘカ
 ラス、細菌的試験ハ此取締法中最モ重要ナル部分ヲ占メ居レリ

「ベスト」病蔓延ノ際其病毒ノ有無試験ノ爲メ此細菌學作業局ヘ多數ノ鼠カ持ち來サレタリ、但シ此等ノ鼠
 ハ市内ノ各所ヨリ持ち來サレタリ、例之ヘハ海港或ハ「ベスト」流行地ナル海港ヨリ入港セル船舶等ヨリ送
 リ來レルカ如キ是レナリ、而シテ過去四年間ニ試験サレタル鼠一萬一千二百三十六頭ニシテ、内有菌鼠百
 五十四頭アリシナリ、(第四表ヲ參照セヨ)

第四表

年	作業局ニ於テ「ベスト」菌ノ有 無ヲ試験シタル鼠ノ頭數	有菌鼠ノ數
一九〇〇	九〇〇	三二六
一九〇一	九〇〇	一、六四一
一九〇二	九〇〇	六、四九二
一九〇三	九〇〇	二、七七七
計	三、六〇〇	一、一五四

具羅斯哈市ニ供給サル、牛乳ニ就テ細菌的試験ヲ爲スコト、是レ亦々細菌學作業局事業ノ一部分トナレリ
 傳染病流行ノ原動力ヲ牛乳中ニ見出スハ珍ラシカラサルカ故ニ、此方面ニ向ツテモ深ク注意ヲ拂フコト、

ナレリ、食物殊ニ幾時月間カ貯ヘラレタル食品肉類及介類ハ或ル期間々々ニ試験ニ付スルコト、セリ

細菌學作業局ノ事業ハ其他ノ市ノ事業ニモ關係スルコト、ナレリ、例之ヘハ市ノ給水ノ試験及下水ノ試験
 ニ關係スルカ如キ是レナリ、一千九百年ノ始メツ方ヨリ水道ノ水ヲ試験シテ細菌ノ有無ヲ確メルコト、ナ
 レリ、此水道ハロック、カプトリン河ノ水ヲ引ケルモノニシテ、之ヲ試験センニハ注管ヨリ取りテ試験スル
 モノナリ、蓋シ此等ノ水中ニハ疾病ヲ醸成スヘキ有機物ヲ含メルノ實證往々ニシテ之レアルカ故ニ、給水
 ハ一定ノ規程ノ下常ニ觀察ヲ怠ルヘカラス、左ニ掲クル第五表ハ右河水ノ試験成績ヲ示シタルモノナリ

第五表 是レハロック、カプトリン河ヨリ供給サレタル水道ノ水力、使用者ノ手ニ入ルノ際試験サレタル
 成績ニ係ルモノナリ即チ過去四ケ年間ニ亘リテ其水中ニ發見サレタル細菌ノ月々ノ平均數ヲ擧ケタル
 モノナリ

月	一九〇〇年	一九〇一年	一九〇二年	一九〇三年
一	五二・五	四四・〇	五一・〇	一四八・〇
二	八六・〇	三一・〇	三九・〇	一八二・〇
三	四九・五	三九・〇	五〇・五	七九・〇
四	三〇・〇	三四・〇	二八・〇	五八・〇
五	四一・〇	三二・五	二四・五	三五・〇
六	四四・〇	四一・五	四一・〇	三五・五
七	六八・五	二二・六	四三・五	七五・〇

八月	六五・三	一六八・〇	七〇・五	七四・五
九月	六九・五	一〇四・〇	七一・〇	六三・五
十月	一一五・〇	九五・五	……	五四・〇
十一月	一〇四・〇	八四・〇	八一・〇	四一・〇
十二月	五一・〇	六四・〇	九六・五	六三・〇
各月ノ平均數	六四・〇	八〇・〇	五四・〇	七五・〇

而シテ此細菌學作業局ト云フハ衛生局ノ第二層目ノ一室ニアリ、其大サハ長サ二十六呎ニシテ堅十四呎ナリ、然レトモ其業務次第膨大複雑ヲ來セシヨリ、從來ノ建物ニテハ狹隘ナルヲ感スルニ至リ從ツテ増築ノ議起リシカ市會ニ於テモ直チニ之ヲ可決シテ現ニ其設備ニ取リ掛リ居レリ

現時此作業局ニハ細菌學士一名、同助手二名、小使二名ニテ其事務ヲ執リ居レリ

(二) 化學研究所

市立化學研究所ハ主トシテバイリー、デー、エム、ステヴェンソン氏ノ斡旋盡力ニ依リテ設置セラレタルモノナリ、而シテ此研究所ニ附屬セル一ノ作業局ナルモノ設ケラレタリ、此作業局ト云ヘルハ種々ノ物品ヲ分析解剖スルニ必要ナル設備整ヒ居レリ

抑モ此化學研究所カ實際業務ニ取リ掛リ初メシハ一千九百年三月ノ事ナリシ、而シテ化學士カ其作業局ニ於テ分析解剖シタル結果ハ、月々市立化學研究所委員會ヘ報告スヘキモノトス

此化學研究所ノ事務員ノ給料額ハ概ネ市ノ他ノ部局ノ給料額ニ比例スヘキモノトス、若シ又タ試ミニ彼ノ

化學士ヨリ委員會ヘ差シ出セル報告書ヲ一見セン乎、市立化學研究所ノ事業ノ何モノタルヤハ自カラ明カナラン

今マ其レ具羅斯哈市ノ人口ハ次第ニ繁殖シ來レルカ故ニ、之ニ供給セラル、食品ニ就テハ最モ注意ヲ密ニセスンハアルヘカラス、此ニ於テ乎此化學研究所ノ作業局ニ於テハ、具羅斯哈市ニ供給セラル、食品ノ化學的試験ヲ行フテ以テ其良否ヲ検査スルコト、ナレリ、而シテ其試験ノ結果トシテ其食品ノ不良品タルコトカ、見出サレタリトセン乎、斯ル場合ニ於テハ其旨衛生局ヘ通告センコトヲ要ス、此通告ヲ受ケタル衛生局ハ斯ル不良ノ食品ヲ販賣シタル者ニ對シテ成規ニ從ツテ相當ノ處分ヲ爲スヘキモノトス、前年中食品飲料、藥材等ニ就テ純良品タルノ證狀ヲ得ンカ爲メニ、此化學研究所ヘ試験願ヲ差シ出シタルモノ、殆ト七百品ノ多キニ達シタリ

具羅斯哈市ニ供給セラル、食品良否ノ問題ハ、金錢上ノ市民ノ損得ハ姑ラク擱キテ、公衆衛生上ノ見地ヨリシテ最モ重要ナルモノト云ハサルヘカラス、此ニ於テ乎食品良否ノ試験ハ市立化學研究所ノ最モ重要ナル事業トナレリ

此化學研究所ハ下水取扱事業ニ就テモ亦タ是レ重要ナル化學的ノ行動ヲ爲スモノナリ、市中到ル所ノ各下水取扱事務所ニハ、化學作業局ノ設ケ之レナキハナク、且ツ化學士ノ助手ナルモノ永久的ニ其事務所々々々ニ之レナキハナシ、而シテ此等ノ化學的業務ハ皆ナ是レ市立化學研究所ノ管轄ニ屬スルモノナリ、乃チ此等ノ化學的作業局ニテハ日々下水ヲ分析解剖シテ、其結果ヲ或ル期間内ニ下水取締委員會ニ報告センコトヲ

要ス、下水ニ就テ化學的試驗ヲ爲スノ必要ナルコトハ今更贅スルノ要ナキナリ
市立化學研究所カ下水取締委員會ノ爲メニ下水ヲ試驗シタルコト一ニシテ足ラス、今マ中ニ就テ最モ有名
ナルモノ二三ヲ左ニ掲ケン、曰ク下水中細菌有無ノ試驗、下水ノ流レヲ商業上ニ利用シ得ヘキカ又タ之ヲ
清化セシメタル効力如何、下水ヲ沈澱セシメタルノ効用如何等はレナリ

此化學研究所カ尙ホ此外爲スヘキ重要ノ事柄アリ、曰ク市ノ各部局ニ於テ買入レタル種々様々ノ物品ノ性
質如何ヲ検査スルコト是レナリ、既ニ市ニ於テハ特別委員會ナルモノアリテ、市ノ各部局ニ於テ使用スル
所ノ顔料及油類ノ如キモノ、夫々品質等ヲ定メテ其買入先ト特約ヲ結ンテ買入ル、コトナシ、而シテ時々
之ヲ化學的分析ニ付シテ検査セシムルコト、セリ、是レ市カ不良品買入ノ豫防法ト云ツヘキナリ、尙ホ此
外化學研究所ノ成シ途タヘキ事柄ヲ擧ケンニ、水ノ試験、學校、工場、地下ノ麵麩製造所等ニ於ル空氣ノ
試験、石鹼、消毒劑及一般ノ商品ノ分析、銅、鋼鐵、合金類ノ如キ礦物試験其他有害物ト認定サレタルモノ
、分析等はレナリ

今日ニテハ市中ノ空氣カ煙ノ爲メニ不潔トナリ、從ツテ衛生上ニ害アルコト少ナカラス、是レ忽諸ニ付ス
ヘカラサル重要ナル問題ナルカ故ニ、化學研究所ハ衛生視察長官ト妥協一致シテ此等ノ妨害ヲ除却スルノ
方法ヲ講スルニ至レリ、而シテ此等ノ妨害ヲ除却スルノ一方法トシテ瓦斯體及固體ノ不潔物カ空氣中ニ及
ホス影響如何ヲ確カメ得ヘキ試験ヲ爲スコト、ナレリ、尙ホ之ニ加フルニ各種ノ工場及人家ノ煙突ヨリ生
スル煙ノ性質等ヲ調査シ、又々種々溶解所及竈等ヨリ生スル煙ヲモ取り調フルコト、ナレリ、是レ則ハチ

空氣ノ衛生上ニ及ホス影響如何ヲ科學上ニ基キテ研究スルモノナルガ故ニ、其好結果アルコト豫期スヘキ
ノミ

斯クテ此化學研究所ノ事業ノ爲メニ利益ヲ得ルモノ、管ニ市ノ一部局ノミニ止マラス、各部局ヲ通シテ其
分析の事業及化學的助言ノ爲メニ、實益アルコトヲ認メサルモノナカリキ

此化學研究所ノ設置以來四箇年間ヲ經過スル間ニ、其業務大ニ擴張サレ從ツテ本來ノ設備ニテハ狹隘不足
ヲ感スルニ至レリ、此ニ於テ乎今日ニ至リテハ二十六區ナルジョン街ニ一層廣大ナル作業局ヲ建設シテ其
業務ヲ執ルコト、ナレリ

(ホ) 獸 醫 科

一千九百年六月一日以前ハ具羅斯哈市ニ於ル肉類ノ視察調査ハ、衛生視察官及巡查部長ノ權内ニ屬シ居タ
リ、乃チ此等ノ官吏ハ各種ノ屠畜者ノ店舗及腸詰肉製造所ニ在ル所ノ肉類ヲ視察スルノ職責アリ、又々通
常ノ道路、鐵道及河川等ノ便ニ依リテ市中ヘ入り込ミ來ル肉類ノ試験ヲ行フモノトス、然ルニ四箇所ノ公
開屠畜場ニ於テ屠殺サレタル畜類ノ死體肉類ヲ調査スルハ巡查ノ職責ナリトス、此等ノ二官吏ノ支配ノ下
ニ都合九名ノ視察官アリテ、市中ニ供給セラル、一切ノ肉類ヲ視察スルモノトス、然レトモ市廳ノ意見ナ
リト云フヲ聞クニ、若シ此九名ノ視察官ヲシテ二官吏ノ支配ニ屬セシメス、一官吏ノミノ支配監督ノ下ニ
アラシメンカ、其視察ノ結果一層良好ナルヘシ、而シテ斯ル官職ニ選定サレタルモノハ市ノ警察局附ノ獸
醫是レナリ、此獸醫ノ支配下ニ九名ノ視察官之レアルモ、若シ其視察ヲ充分精密ニ實行スルトセンカ、尙

ホ其人員ノ不足ナルヲ感スルナラン、此ニ於テ乎市ハ尙ホ八名ノ視察官ヲ増加セシムルコトニ議決シタリ而シテ今日ニ於テ此等ノ視察ニ從事スルモノ、人員如何ト云フニ獸醫長一名、獸醫助手二名、肉類視察官十四名是レナリ、中ニ就テ此十四名ノ視察官ハ屠畜者ニシテ、其視察官ニ任命セラレサル以前ハ、國立結核病調査委員會ノ主意ニ從ツテ試驗シ居タリシモノナリ

一千八百四十五年ノ制定ニ係ル具羅斯哈市場取締條例ニ基キテ私設屠畜場ハ全ク廢止セラレ、而シテ今日ニ於テ人ノ食料トナルヘキ動物ハ皆ナ是レ公開屠畜場ノ甲カ又ハ乙ニ於テ屠殺セラルヘキモノトス、而シテ具羅斯哈市内ニ於テ屠畜場ハ總計四箇所アリ、中ニ就テ三箇所ハ内國ノ家畜屠殺用ニ供シ、他ノ一箇所ハ外國ノ家畜屠殺用ニ供セラル

一千九百二年中ニ屠殺セラレタルモノヲ舉レハ左ノ如シ

内國ノ分		外國ノ分	
牛	七〇、三三九	牛	二、四三三
犢	二、四三三	犢	二八五、四〇一
羊	二八五、四〇一	羊	四七、九六七
豚	一五	豚	四〇六、〇五五
山羊	一	山羊	一
計	四一、二四〇	計	二八、四三九

斯クテ各屠畜場ノ組織ハ所謂ル白耳義式是レナリ、此等ノ屠畜場ニ於テ屠役セラレタル動物ノ死體及肉類

ハ通常ノ視察官之ヲ検査シ、其検査ノ際其死體ノ疾病ニ罹リ居タリシヲ見出シタランニハ、「検査不合格」ノ記號ヲ付シテ特ニ病的肉類ヲ收容スヘキ大ナル病室ニ送ランコトヲ要ス、但シ斯ク送付セサル以前視察官ハ其動物ノ頭部ノ淋巴腺、肺臟、肝臟、膈等ヲ視察シ、此等ノ臟器中ノ一若クハ二三カ、結核ニ罹リ居ルカ或ハ其他ノ局所病ニ罹リ居ルコトヲ見出シタランニハ、右ノ病的肉類ヲ收容スヘキ室内ヘ送ルヲ要セス、直チニ焼却セラルヘキ室ヘ送ランコトヲ要ス、然レトモ此際其動物ノ所有者ハ獸醫長ノ診斷ヲ乞ハンカ爲メニ、此等ノ臟器ノ一若シクハ各臟器ヲ右ノ收容室ヘ送ランコトヲ主張スルモ決シテ妨ケナキナリ、斯ク收容室ヘ送ラレタル死體若シクハ臟器ハ、二名ノ視察官ニテ之ヲ検査シ、其疾病ニ付テハ綿密ニ之ヲ視察シテ之ヲ書面ニ認メ殊ニ其死體カ結核病ニ罹リ居タランニハ夫々正規ノ手續ヲ爲サンコトヲ要ス今マ其結核病ニ就テ之ヲ云ハンニ、其診察ノ程度ハ人ノ食料ニ適スルヤ否ナヲ視レハ足ランノミ、而シテ其之ヲ検査スルノ方法ハ一千八百九十八年ニ於テ結核病調査委員會ヨリ報告シタル方法ニ據ランコトヲ要ス、但シ豚ノミハ此限ニアラス、即チ此調査委員會ノ豚ニ關スル意見ニ曰ク、豚ニ結核病ノ或ル症狀アリテ其症狀カ遺傳性ノモノナリトセンカ、其全體若シクハ臟器ヲ沒收センコトヲ要ス然レトモ多クノ場合ニ就テハ豚ノ結核症ニ罹レルハ、咽喉部ノ淋巴腺ノミニ限ラレタルモノナリ、故ニ検査ノ結果トシテ其頭部ノミヲ沒收スルコト多キニ居レリ今マ左ニ掲クル所ノ表ハ一千九百二年中ニ於テ疾病ノ爲メ、死體ノ全部若シクハ一部分ヲ滅却シタルモノニ係ル

家畜ノ部

牡牛	牡畜	牝牛	幼牝牛	犢	計
一五七	九二	二、四三七	三四	七	二、七二七
豚	羊	山羊		計	
一二三	三二二	一			四三六

共計 三、一六三

右ハ死體ノ全部ノ滅却ニ係ルモノニシテ、此外其一部分宛ノモノヲ舉レハ左ノ如シ

肺臟	心臟	腸	胃	肝臟	脾臟	腎臟	乳房	頭
九、〇四〇	二八	二、四六四	四九三	六、一四九	二六三	八四	一五二	四、二一一

又タヨークヒルニ外國産ノ動物ヲ上陸セシムヘキ波止場アリ、而シテ斯ク外國ヨリ輸入シ來タル動物ト内國産ノ動物トヲ比較センニ、其疾病ニ罹レル動物ノ比例外國産ノ方ニ甚ハタ少ナキハ亦タ奇ト謂ツヘキナリ今マ實證ヲ舉ケテ之ヲ示サンカ、屠殺シタル内國ノ家畜ノ死體ヲ検査シタルニ、其度合如何ニ關セス結核ニ罹リタル症狀アルモノ百分ノ十三ニ相當セリ、然ルニ外國産ノ動物ニ至リテハ斯ル疾病ニ罹レルモノ僅カニ百分ノ〇、四四ニ過キサリシナリ

市外地ニ於テ人ノ食料ニ供セラルヘキ様準備サレタル肉類カ、通常ノ道路、鐵道其他河川ノ便ニ依リテ市内ニ入り込ムコト少ナカラサルコトナルカ、此等ノ肉類カ停車場、波止場、若シクハ毛皮市場等ニ到着ス

ル時、數多ノ視察官アリテ一々之ヲ検査シ、其不良ナルコトヲ見出シタランニハ直チニ之ヲ押收スルモノトス、而シテ一千九百二年中ニ押收サレタルモノ總計五百五十七點アリ、内三百七十一點ハ鐵道停車場ニ於テ、十二點ハ波止場ニ於テ、百六十九點ハ毛皮市場ニ於テ、五點ハ荷車ニ於テ夫々押收セラレタルナリ是レ皆ナ郡部ヨリ送付シ來レルモノニシテ、今マ其點數ヲ郡別ニスレハ左ノ如シ

郡別	點數
ウヰツグタウン	五三五
エア	一六八
アーヂール	三七
ランアーク	三二
ダンフライス	二二
レンフリウ	一三
スチアーリング	一二
ダムバートレ	一
フハキフ	一
ホーリー	一
アンレコーデッド	三〇

計 五五二

アイルランド

五

共 計 五五七

市外地ヨリ市内へ送り來レル肉類ハ尙ホ一層嚴重ナル検査法ヲ設ケ其検査ヲ受ケサル以上ハ決シテ販賣セシメサル様爲サンコトコソ望マシケレ

肉類販賣店、腸詰製造所、其他人ノ食料ニ供スヘキ肉類ヲ賣リ捌ク所ハ、少ナクモ毎二週間ニ一回視察スヘキモノトス、斯ル視察ノ爲メニ三名ノ視察官ナカルヘカラス

又タ此獸醫局ノ官吏ハ市立熱病々院ニ赴キ契約セル肉商ヨリ納メタル肉類ヲ検査スヘキモノトス

一千八百九十七年ノ制定ニ係ル公衆衛生條例(蘇格蘭)ニ基キテ馬肉ヲ人ノ食用ニ供セシメンカ爲メニ私立屠畜場ヲ設置スルコトヲ許可セラレタリ、但シ此屠畜場ニ於テ馬匹ヲ屠殺スルノ員數ハ年々變動ナクンハアラス

一千九百二年中ニ於テ屠殺サレタル馬匹ニシテ、人ノ食用ニ適シタルモノト認定セラレタルモノ六百五十二頭ナリシナリ、此馬匹屠殺場ニ就テハ極メテ嚴重ナル取締法カ設ケラレタリ、而シテ其取締法中ニハ左ノ如キ規定アリ、曰ク屠殺サレタル馬匹ハ皆ナ是レ市ヨリ任命サレタル獸醫ノ検査ヲ受ケサルヘカラス、若シクハ其屠殺セラル、前獸醫助手ノ検査ヲ受ケンコトヲ要ス、屠殺後ノ検査ニシテ其肉カ人ノ食用ニ適スルモノト認定サレタランニハ、檢定済ノ記號ヲ其肉ニ印センコトヲ要ス

市内ニ於テ乳汁搾取用ニ供スル牝牛ヲ飼育スル箇所ハ、少ナクモ毎二週間ニ一回獸醫臨檢センコトヲ要ス尙ホ必要ト認メタル場合ニハ其臨檢度數ヲ増スヘキモノトス

此等ノ牛ノ病臥シタル時ハ充分ニ検査スヘク、又タ其乳房ノ波動ヲ生シタル場合ニハ毎ニ其乳汁ヲ取りテ検査スルカ如キ是レナリ、此等ノ検査ハ顯微鏡的試験ヲ爲スモノニシテ結核ノ症候ノ有無等ヲ視察スルモノナリ

結核ノ有無ヲ検査スルノ一方法トシテ肺臟等粘液質濃汁ヲ取りテ顯微鏡的試験ヲ爲サンコトヲ要ス、又タ必要ノ場合ニハ生理學的試験ヲモ爲スヘキモノトス、斯ル試験ハ其疾病ノ有無ヲ検査スルニ際シテ最モ有益ナルモノト謂ツヘキナリ

熱病々院ニ乳汁ヲ供給スル牝牛ヲ飼育セル箇所ハ、前述セルモノヨリ尙ホ一層數々臨檢センコトヲ要ス、即チ此等ノ病院ト特約ヲ結ンテ納付スル牛乳ノ良否ヲ検査スルコト前述セルモノヨリ數々ナランコトヲ要ス

浴場及洗濯場ノ事

公設浴場及洗濯場建設ノ事ニ就テ始メテ手ヲ下シタルハ一千八百六十九年ナリシナリ、即チ市會ハ同年ニ於テ左ノ如キ動議ヲ是認シタリ、曰ク市内ノ適當ナル場所四箇所ニ於テ其住民ノ便ヲ計ランカ爲メニ、公設浴場及洗濯場ヲ設置センコトヲ、市會ヨリ衛生委員會ノ方ヘ訓諭シタリ、而シテ是レヨリ九年ノ後(一千八百七十八年)始メテ斯ル浴場及洗濯場カ建設セラレタリ、即チ今日行ハレ居ルモノ是レナリ

斯クテ二箇所ノ浴場ヲ建設センカ爲メニ一ノ地所ヲ買收シタリ、而シテ其建物ハ二者共ニ殆ント同一ノ大
サニシテ、此等ノ建設ノ爲メニ衛生局カ一千九百三年マテニ費シタル金額ハ二十三萬二千二百三十二封度
ナリシナリ

一千九百三年五月三十一日ヲ以テ終末トセル會計年度ニ於テ收支決算如何ト云フニ、通常歳出(支出ノ利
子七千十三封度ヲモ含ム)二萬三千封度ニシテ、全歳入ハ一萬五千二百六十八封度ナリシナリ、尙ホ同會
計年度間ニ於ル其他ノ費用ヲ舉レハ左ノ如シ

游泳地費	四〇七、九五六
温浴場費	二三七、二一八
洗濯場費	四三二、一六八
共計	一、〇七七、三四二

今マ左ニ掲クル所ノ表ハ浴場及洗濯場ノ開設年月及其建設費等ヲ示セルモノナリ

開設年	成人及少年ノ游泳地	婦人及少年ノ定日アル游泳地	私設ノ男子浴場數	私設ノ女子浴場數	洗濯場ノ數	建設費
グリオンヘッド	長サ幅 七五、四〇、三五、二五	長サ幅 三五、二五	二八	四	四〇	一七、一九〇
ノース、ウードサイド	七五、四〇、四〇、二四	四〇、二四	二七	七	六七	一八、七五七
クランストンヒル	七五、四〇、二六	五二、二八	三四	六	七三	二四、九一〇

タウソンヘッド	一八八四	七五、四〇、四四、二八	二七	六	七〇	二八、五八五
ゴーバルス	一八八五	七五、三九、三八、二一	二六	六	五四	三四、四〇〇
ハフチェンタウン	一八九七	無	一〇	四	七〇	八、〇一二
スプリングバートン	一八九八	七五、三五	二八	五	三四	二〇、六一四
マリーリーヒル	一八九八	七五、三五	二八	四	三六	一七、〇四八
ケンネデー、ストリート	一八九九	無	無	無	五〇	五、八一五
ストッブクロッス	一八九九	無	無	無	五六	六、四一一
ベーンスカ井アール	一九〇〇	無	無	無	四四	五、四六九
ホワトヴエール	一九〇二	七五、四〇、五〇、二五	四〇	八	六六	三、八〇〇
タルマーノツク	一九〇四	無	無	無	五六	...
合計	八	六	二七〇	五二	七一六	...

清潔法取締局

具羅斯市ノ清潔法ハ十七世紀ニ於テ其端緒ヲ開キタルモノナリ、其當時清潔法ヲ施行セシハ之ヲ施行セサ
ルヘカラサル責任アリテ然ルニアラス、畢竟スルニ人民カ其欲スルカ儘隨意ニ之ヲ行ヒタルニ過キサルナ
リ、然レトモ其實際如何ヲ顧リミレハ恰カモ法律上ノ制裁アリテ然カスルモノ、如シ、尙ホ之ヲ復言セン
ニ具羅斯哈市ニ於テ清潔法トテ別ニ一定ノ方法ナシト雖モ、其清潔法ノ能ク行ヒ届ケルコト、之ヲ王國中
他ノ大都會ト比較センニ恰カモ他ノ模範トモ云フヘキモノナリ、市ノ舊記ヲ見ルニ人民ヲシテ清潔法ヲ行
ハシメンカ爲メニ其筋ニ於テ力ヲ盡シタルコト一ニシテ足ラスト雖モ、毎ニ好結果ヲ見サリシハ亦タ疑フ

ヘカラサルナリ、然レトモ具羅斯哈市ハ何時シカ清潔法ノ善ク行キ届ケルコト他ニ其類ヲ見サル程ナリキ
 一千五百九十九年ニ於テ左ノ如キ法令カ發布セラレタリ、曰ク人家ノ戸口ニ接近シタル街頭ニ動物ノ臟腑
 杯濫リニ棄置クコトヲ許サス、毎ニ之ヲ除却センコトヲ要ス、若シ此法令ニ違反スルモノアル時ハ相當ノ
 罰金ニ處セラル、モノトス、因リテ車夫杯カ此等ノ廢棄物ヲ除却スルコト、ナレリ
 一千六百四十六年ヨリ同四十七年ニ亘リテ、市内ニ「ペスト」病流行セル時、驚馬ヲ買ヒ入レテ市街ヲ清潔
 ニスル方法ヲ實行シタリ

其後清潔法ニ關スル法令ノ出テタルコト一ニシテ足ラスト雖トモ、廢棄物ヲ除却シ市街ヲ清潔ニスルコト
 カ、公務ノ一ト認定セラ、ニ至リシハ、一千八百年ニ於テ警察條例ノ發布セラレタル時ヲ以テ其始メト爲
 ス、即チ此條例中ニハ市内ヲ清潔ニスルコトカ警部長ノ職責中ノ一ニ加ヘラレタルナリ、然レトモ此清潔
 法ヲ施行セシメンカ爲メニ別ニ一部局ナルモノ設ケラレサリシナリ、夜警ノ任ヲ帶ヘルモノ若シクハ巡查
 カ市街ノ萬般ノ事ニ注意スルト均シク市街ヲ清潔ニ爲スヘキ任務ヲ帶フルコト、ナレリ、而シテ其ヲ實行
 スル方法ハ毎週間ニ二回二時間ツ、市街掃除ニ其身ヲ委ヌルコト是レナリ、是レ其條例發布當時ノ實行法
 ナリシナリ、然レトモ今日藍色ノ制服ヲ身ニ纏ヒ人民ノ秩序ヲ保チ安寧ヲ保護スル警官ニシテ、市街ノ掃
 除ヲ爲スニ至リテハ其威嚴ト相副ハサルヲ如何セン

斯クテ一千八百四十年ニ至リテ清潔法實行上更ニ一生面ヲ開キタリ、即チ掃除人夫トシテ十四名任命セラレ
 タルコト是レナリ、然レトモ舊來ノ巡查カ尙ホ是レ半ハ掃除人夫ノ業務ニ從事シ、新任十四名ノ掃除人夫
 モ亦タ是レ半ハ巡查ノ爲スヘキ事務ニ從事スルノ規定ナリシ、斯ル兼務ノ規定カ何時マテ繼續セシヤ明カ
 ナラスト雖モ、清潔法取締局カ一千八百十五年ニ現存シ居タリシコトハ記録ノ徴スヘキモノアリテ亦タ疑
 フヘカラサルナリ、而シテ當時其掃除ニ從事セシモノ都合十六名アリシナリ、但シ其給料ハ一人一週間ニ
 就テ十一噠ノ割合ナリ、内一人ノ給料ハ例外ニ屬セリ、即チ掃除人夫ノ監督ニシテ一週間ニ就テ十五噠ノ
 給料ヲ與ヘラル、モノトス

具羅斯哈市會ハ一千八百四十三年ニ至ルマテハ、市ノ清潔法ニ關係シテ法律上何等ノ權能ヲモ有セザリシ
 ナリ、即チ同年ノ制定ニ係ル新條例ニ依リテ同市會ハ、市街其他ノ道路ニ撒水シ之ヲ掃除シ之ヲ清潔ニス
 ヘキ權能ヲ與ヘラレタリ、是レ疑ヒモナク正當ナル順路ニ向ヒタルモノト謂ツヘキナリ、然レトモ市民カ尙
 ホ舊慣ニ依リテ其塵芥場ノ處分ヲ隨意ニ爲シ得ヘキカ故ニ、此清潔法ナルモノ充分ニ實行セラレサリシナ
 リ斯クテ一千八百六十二年發布ノ條例ニ依リテ、總テノ塵芥ニ關スル取締方ハ警察委員會ノ手ニ委ネラル
 、コト、ナレリ、而シテ此警察委員會ノ規定スル所ニ依レハ、彼ノ動物ノ臟腑類ヲ濫リニ堆積セシムルモ
 ノハ夫々處罰スルコト、ナレリ、又タ此等ノ汚物ヲ掃除スルニ就テハ特約者ヲ利用セリ、乃チ此特約者ニ
 對シテハ管ニ此等ノ汚物ヲ收集除去セシムルニ付テノ報酬ヲ與フルノミナラス、之ヲ利用セシムヘキ權能
 ヲモ與ヘリ

又タ一千八百六十六年ニ於テハ一個人ノ私有ニ屬スル街路及後庭ヲ清潔ニシ、從ツテ之ニ要スル費用ヲ徵
 收スヘキ權能カ警察委員會ニ與ヘラレタリ、但シ其稅率ハ家賃一封度ニ就キ「ペンニー」トス

而シテ彼ノ家々ヨリ生スル汚物塵埃類ヲ收集掃除セシムヘキ特約法ハ一千八百六十八年五月マテ繼續シ來リシカ、此時市内ノ清潔法ノ全部即チ家々ヨリ生スル汚物塵埃類ヲ除却シ、道路ニ水ヲ撒ク等ノ業務全ク警察委員會ノ手ニ歸スルコト、ナレリ、此ニ於テ乎市清潔法取締局ナルモノカ組織セラレ從ツテ清潔視察官モ任命セラレタリ、而シテ此視察官ノ職責ハ法律上左ノ如ク規定セラレタリ、曰ク此視察官ナルモノハ該局全般ノ行動ニ對シテ責任ヲ有シ、且ツ其事務ニ關スル諸帳簿ヲ整理シ、自カラ任命シタル諸役人ノ勤惰等ヲ常ニ視察シ、以テ其局務ノ善ク實行サレンコトヲ勤メントトヲ要ス

過去三十六年間ニ具羅斯哈市ノ膨脹セシコトハ實ニ非常ナルモノニシテ、何人ト雖モ一驚ヲ吃セサルヲ得ス、斯ク市ノ膨脹スルト均シク清潔法取締局ノ事務モ亦タ善ク分科セラレテ大ニ發達進歩セリ、今サ左ニ表ヲ掲ケテ以テ其事實ナルコトヲ示サン

	一八六八年	一八八四年是レ具羅斯哈ニ於テ衛生會議ノアリシ年ナリ	一九〇四年
市ノ幅員	五七、九一	六、一一一	一一、六八八
市ノ延長哩數	一五五	一八五	三三四
住家	九七、〇〇〇	一一三、五九八	一六二、四四三
人口	四五五、〇〇〇	五四五、六七八	七八二、一一〇
借家賃	一、九八六、九一一	三、四〇六、三七二	五、四〇七、一八六
清潔法取締局ニ於テ使用セル人員	七二三	七七一	一、四三八

清潔法ニ使用サレタル馬匹取リ扱ハレタル塵芥量	一一八	一七九	三一九
	一四〇、二四〇	二二八、二七五	三八六、四五六

清潔法施行ヲ便ナラシメンカ爲メニ全市ヲ十四區ニ大別シ、尙ホ其内ノ最モ大ナル區ヲ小分シテ二三區ト爲ス、而シテ各區ニ一人宛ノ掃除監督アリテ掃除人夫ヲ使役シテ、塵芥ヲ除去シ市街ノ掃除ニ從事セリ

市街清潔法ノ事

掃除ノ事、市街ハ重モニ夜間掃除ヲ爲スモノトス、而シテ此掃除ヲ爲スニハ所謂掃除器械ナルモノヲ用フ、此器械ハ大ナル「ブラッシ」様ノモノヲ馬ニ引カセテ道路ノ面ヲ回轉セシムルモノナリ、然レトモ一千八百七十年ヨリ以前ハ全クノ人ノ手ヲ以テ掃除シタルモノナリ、當初ノ器械ハ枯レタル樺ノ木ヲ以テ作りタル器ナリシカ、後一種ノ「ブラッシ」ヲ用ヒシモ、漸次之ヲ廢シテ現今ノ掃除器械ヲ用フルコト、ナレリ從來ハ人ノ手ヲ以テ晝市街ノ掃除ヲ爲シタリシモ、後馬ノ力ヲ借ルコト、ナリシヨリ、夜間通行ノ稀レナル時ニ掃除スルコト、ナレリ、故ニ毎朝諸口ノ職業ノ行ハル、前市街ハ實ニ一點ノ塵ヲ溜メス極メテ清潔ニナリ居レリ、且ツ夜間スク掃除ヲ爲スカ上ニ尙ホ晝間重モナル街路ハ塵芥ノ生スルニ從ツテ、之ヲ掃キ取リ最寄リ々々ノ織製ノ箱ニ入レ置クナリ、此箱ト云ヘルハ一定ノ距離ヲ隔テ道路敷石ノ下ニ埋メアリ、其數凡ソ一千六百八十四個ニ達セリ、而シテ此等ノ箱ニ集メラレタル塵芥ハ夜間之ヲ浚ヘ取リ、彼ノ馬ニ引レタル掃除器械ヲ以テ集メラレタル塵芥ト共ニ他所ニ運ヒサラル、モノトス

市街整正箱ノ事

洗滌ノ事、市街清潔法ニ關聯シタル事柄ハ餘程進歩發達セリト雖モ、尙ホ未タ公衆一般ノ發達セル風致心ヲ満足セシムルニ足ラサルナリ、一千九百年中ノ事ナルカ一且市街ヲ掃除シタル後撒水スルノ器械カ工風セラレタリ、此撒水器械ト云ヘルハ護謨製ノ直徑一吋半ノ水管備ヘ付ケラレタル二輪車ノ車臺ヨリ成レルモノナリ、此水管ノ全長ハ百五十「ヤード」ニシテ筒先モ備ハリ居リテ車ノ回轉スルニ從ツテ自由ニ何レノ方向ヘモ撒水シ得ヘキモノナリ、而シテ此撒水器械ハ充分ノ好結果ヲ奏シ從ツテ市内ノ本道ハ云フマテモナク、市外地迄モ實行サル、ニ至レリ、此器械ヲ人ノ手ニ依レルモノ若シクハ他ノ掃除器ニ比較センニ、大ニ優レル所アリト謂ツヘキナリ、然レトモ此器械ハ如何ナル道路ニモ通シテ適用シ得ヘキモノニアラス道路ノ面カ整成ニシテ平滑ニ且堅固ナラスンハアルヘカラス

市街洗滌ノ事

「マカダム」式道路（是レハ道路ノ表面ヲ堅固ニシテ平滑ナラシメンカ爲メニ無數ノ小石ヲ其面ニ埋メタルモノヲ云フ）ハ晝間之ヲ掃除スルモノナリ、而シテ其表面ヨリ取り集メタル泥土ハ市外地ノ便利ナルケ所ニ貯ヘ置クカ又ハ清潔法取締局ノ所有ナル地方ノ耕地ニ運ヒ去ルモノトス
雪掃除ノ事、凡ソ清潔法取締局ノ費用中雪掃除程莫大ノ費用ヲ要スルモノハアラサルナリ、抑モ此雪掃除ヲ爲スニハ單ニ人夫ノ力ノミニテハ間ニ合ハス數多ノ馬及車等ヲ雇ヒ入レサルヘカラス、而シテ其内塵芥ノ混入シ居ラサル分ハ之ヲクリード河及ケルヴキン河へ各適宜ノ場所ヨリ落シ入ル、モ、其大部分ニ至リテハ市ノ周邊ナル空地へ堆積セシムルモノトス、而シテ其雪ノ融ケタル後殘レル塵芥ヲ集メテ他ニ運フヘ

キモノトス

撒水ノ事、市街中商業ノ最モ頻繁ニ行ハル、ケ所ニ水ヲ撒カンニハ通常ノ桶様ノ撒水車ヲ用フルヲ常トス然レトモ市ノ周邊ニシテ商業餘リニ頻繁ナラサルケ所ニ撒水センニハ、回轉撒水器ヲ使用セリ、此撒水器ヲ用ヒタランニハ一時ニ幅四十呎ノ道路ヲ濕ホスコトヲ得ヘキナリ、而シテ彼ノ商業頻繁ナルケ所ニ用ヒラル、撒水車モ亦タ是レト同様ナル道幅ヲ濕ホスコト知ルヘシ、且ツ天氣ノ乾燥シタル場合ニハ夜間撒水センコトヲ要ス、是レ掃除器械ヲ以テ掃除スルノ際塵埃ヲ生セサラシメンカ爲メナリ

一個人ノ私有ニ屬スル街路及後庭ノ事、一千八百六十六年前ハ一個人ノ私有ニ屬スル後庭及園地ノ掃除ヲ爲スコト其所有者ノ責任ナリシナリ、然レトモ其年以來清潔法取締局ノ手ニテ此等ノケ所ヲ掃除スルコト、ナレリ、但シ之ニ要スル費用ハ特別稅トシテ其所有者ヨリ取り立ルモノトス、而シテ其稅率ハ家賃一封度ニ付キ「ペンニー」ノ比例ナリトス、斯ル有様ニテ此等ノケ所ハ日々掃除サルヘキモノトス、或ハ其間僅カノ例外ナキニアラスト雖モ、多クハ必要ニ應シテ一日間ニ二回若シクハ三回爲スモノナリ、中ニ就テ塵芥多キ後庭杯ハ一定ノ期間内ニ水管洗滌ヲ爲サンコトヲ要ス、水管洗滌カ始メテ行ハル、コト、ナリシ時、市ノ費用ヲ以テ後庭ニ此水管ヲ適用シタルノケ所一千九百五十二ヶ所ノ多キニ及ヘリ、而シテ此等ノ水管ノ大サハ直徑一吋ナリシナリ、斯クテ今ヨリ數年前此水管洗滌法カ改良セラレタリ、即チ市街洗滌ニ使用セラル、撒水車ト同一ナルモノカ後庭洗滌ニ用ヒラル、コト、ナリタル是レナリ、而シテ之ニ要スル所ノ水ハ水道ノ幹線ヨリ引用セラル、モノトス、斯ル新法用ヒラル、コト、ナリシヨリ舊法ノ廢セラレタル

モノ少ナカラサルナリ

斯ル新法ニ從ツテ洗滌スル時ハ其水量モ一層多ク、且ツ其壓力モ一層強キカ故ニ最モ塵芥多キ道路ノ面モ洒然トシテ全ク清潔ニセラルヘキナリ、然レトモ此洗滌法ヲ實行ヒンニハ、其後庭ノ地盤カ極メテ堅固ニシテ更ニ水ノ浸潤シ得サル程ニ小石等ヲ敷キ詰メタルモノニアラスンハ能ハサルナリ

廢棄物ノ收集及移棄

家々ノ廢棄物、既ニ本書ノ序論ニ述ヘタル如ク往時ハ人ノ家々ヨリ生スル廢棄物ノ受容器カ、各家屋ト相對スル公街ニ据ヘ置カレタリ

然ルニ後各家屋ノ後庭ノ方ニ移サレ今マ尙ホ其所ニ据ヘ置カル、モノ少ナカラス

今マヨリ二十年前マテハ彼ノ塵芥箱ノ塵芥ヲ明ク去ルニ一定ノ期間ナルモノアラス、其箱一杯ニ滿ルニアラサレハ之ヲ取り去ラサリシナリ、然レトモ其時以來家屋群團取締規則ナルモノ制定セラレテ清潔法ヲ嚴重ニ實行スルコト、ナリ、其有様一變シ來レリ即チ、市内ヲ七掃除區ニ小分シテ其一區々々ニ夫々掃除掛ナルモノアリテ、彼ノ塵芥箱ノ如キハ毎週必ラス掃除スルコト、ナレリ、此等ノ掃除掛ハ毎夜其受持區内ヲ巡視シテ清潔法ノ實行如何ニ就テ注意ヲ怠タラサルモノナリ

然レトモ市ノ中央區ハ例外トシテ毎週二回此等ノ塵芥箱ヲ掃除スルモノトス

而シテ一千八百九十九年ニ於テ市會ハ從來各所ニ据ヘ付ケアル塵芥箱ヲ廢シテ、更ニ他ニ運ヒ去リ得ヘキ塵芥箱ヲ用ヒシムヘキ事ヲ議決シタリ

此新規ノ塵芥箱ハ家ノ後庭ノ方ニ置キテ假小屋様ノモノ、内ニアランコトヲ要ス、而シテ此等ノ箱ニ溜リタル塵芥ハ一定ノ期間ニ取り去リテ之ヲ蓋ノアル大ナル車臺ニ移シ、以テ他ニ運ヒ去ルヘキモノトス、故ニ家ノ後庭園地及街路等不潔ナルノ憂ヒナク、又其塵芥ノ飛散スルヲ豫防スルコトヲ得ヘキナリ

各種ノ營業所ヨリ生スル廢棄物、市内ニテ各營業ノ最モ頻繁ニ行ハル、中央部ニ於ル營業所、商店、倉庫及其他ノ仕事場(製造所)如キヲ云フニアラス)ヨリ生スル廢棄物ハ『早朝塵埃收集車』ヲ以テ運ヒ去ラル、モノトス、而シテ清潔法取締局ハ此等ノ營業者ノ便ヲ計ランカ爲メニ、『ガルバニ』鍍金ニシテ蓋ノアル模範塵芥箱ヲ實費ニテ拂ヒ下ケルコト、セリ

排泄物及魚類ノ廢棄物、此等ノ廢棄物ハ「ガルバニ」鍍金製ノ手桶様ノモノヲ以テ收集セラル、ナリ、此等ノ受容器ハ一定ノ成規ニ從ツテ模範的ニ造ラレタルモノニシテ、外部ニ空氣ノ洩レサル様造ラレタル蓋カ之ニ添ヒ居レルモノナリ、中ニ就テ魚類ニ屬スル廢棄物ハ近年ニ至ルマテ、他ノ廢棄物ト同様ニ單ニ桶ノ如キ器物ニ收集シテ他ニ移棄セラレシナリ、然レトモ目今ニ至リテハ特ニ斯ル廢棄物ノ受容器トシテ製造サレタルモノアリ、此受容器ハ蓋アリテ其恰好モ醜カラス、又タ惡臭ヲ放ツノ憂ヒナキモノナリ

紙類ノ廢棄物、紙類ノ廢棄物ハ掃除業務ノ内ニテモ特別ニ取扱フコト、ナリ居レリ、公街ニ紙類ノ廢棄物ノ散亂セルハ甚ハタ不潔ニシテ衛生上ニ害アルカ故ニ、最モ注意ヲ密ニシテ收集スルコト、セリ、而シテ斯ル廢棄物ヲ一時入レ置クヘキ一種ノ袋ヲ豫ネテ役所、商店、其他優等ナル住家ヘ配布シ置キ人ノ目ニ付クヘキ一種ノ制服ヲ着シタル少年カ此紙屑袋ヲ取集ニ回ルモノトス、但シ此取集ニハ蓋被ノアル車ヲ用フル

モノナリ、抑モ此紙屑ナルモノハ廢物トシテ全ク打チ棄ツルモノニアラス、市場ノ一商品トシテ取り扱ハル、モノニシテ、之ヲ買却シテ得タル金額ハ清潔法取締局ノ著シキ歳入トナルモノナリ
厩舎ヨリ生スル肥料及營業上ヨリ生スル廢棄物、市内ノ通常ノ廢棄物ノ外清潔法取締局ノ管理ニ屬スル他ノ廢棄物アリ、公許サレタル屠畜場及各種ノ厩舎等ヨリ生スル肥料ノ原料、其他種々ノ營業上ヨリ生スル廢棄物はレナリ

廢棄物ノ處分法、清潔法取締局ノ管理ニ屬スル市内ノ各種ノ廢棄物收集法ハ既ニ前段ニ於テ述ヘタル所ノ如シ、請フ是レヨリ此廢棄物ノ處分法ニ就テ陳述スル所アラントス

一千八百六十八年以降多年間市内ノ廢棄物收集及其取片付等ハ、彼ノ契約者ノ手ヨリ市廳ノ手ニ移リ居タリシカ、其廢棄物取扱方ハ變更スル所アラサリシナリ、即チ其收集サレタル廢棄物ハ或ル廣濶ナル場所ヘ常ニ堆積セラル、コト是レナリ、故ニ此等ノ場所ヘ幾千噸ト限リナキ廢棄物ノ山積セラル、ハ珍ラシカラサリシナリ、一千八百七十四年中夏炎熱ノ時ノ如キハ、此廢棄物ノ堆積セラレタルコト實ニ二萬八千八百六十噸ノ多キニ達シタリ、斯ク非常ニ多ク廢棄物ノ堆積セラレタルヨリ、衛生上ニ及ホス害少ナカラストテ、不平怨嗟ノ聲囂然トシテ起リシハ亦タ怪シムニ足ラサリシナリ、然レトモ衛生學ノ進歩發達スルト共ニ他ノ一層良キ方法カ案出セラレ、現今ニテハ器械力應用ノ方法徐々トシテ實行ヲ見ルニ至レリ
今マ左ニ掲クル所ノ表ハ廢棄物取扱方ニ關スル種々ノ事業ノ起リシ年ヲ示シタルモノニシテ、清潔法ノ發達シタルヲ證スルニ足ルヘシ

一千八百八十一年

セント、ロウロツキス運搬業

一千八百八十四年

クラウフホルドストリート運搬業

一千八百九十年

ケルヴンハウフ運搬業

一千八百九十四年

ダルマーノツク燒却竈

一千八百九十七年

ハッグヒル運搬業

一千九百二年

ラックヒル燒却業

一千九百四年

クラウフホルド、ストリート、エキステンション燒却業

右ニ掲ケタルケ所ノ内ダルマーノツク、ラツクヒル、クラウフホルド、ストリート、エキステンションノ數ケ所ニ於ル廢棄物取扱法ハ只タ之ヲ燒却スルノ一法アルノミ、而シテ此等ノケ所ニハ竈ノ備付アリテ常ニ斷ヘス使用サレ又タ之ニ加フルニ汽鐘ノ備付アリテ、其蒸氣作用ニテ場内ニ電氣燈ヲ點シ、灰ノ塊ヲ成セルヲ壓シ潰シ、又タ風ヲ生セシム

而シテ廢棄物運搬業ノ事トスル所ハ右ニ掲ケタル所ト全ク其趣ヲ異ニスルモノナリ、所謂ル『市設肥料製造業』カ最セ主要ノ業ト謂ツヘキモノナリ

斯ル運搬業ヲ營ム所ノ方法手段ヲ舉レハ左ノ如シ

先ツ甃成ノ街路ヲ掃除シテ得タル柔軟ナル塵埃ハ、之ヲ特別製ノ桶ニ入ル、モノトス、此桶ト云ヘルハ其下底カ篩仕掛ニ成リ居レルカ故ニ、其塵埃中ニ含メル水分ハ之ヨリ漏出シテ跡ニハ固體ノミ殘レルナリ、

斯クテ一兩日間其儘ニ爲シ置キタランニハ、其塵埃ハ稍ヤ固マリテ其取扱上便利ナルヘシ、此ニ於テカ荷車ニ積ンテ他ニ運搬スヘキモノトス、又タ家々ヨリ生スル廢棄物モ亦タ是レ回轉篩ニ掛ケテ以テ其微細ナルモノト否ラサルモノトヲ區別ス、又タ前段ニ於テ述ヘタルカ如キ糞便桶ニ溜リタルモノモ、矢張り下底ヲ篩仕掛ケニシタル桶ニ移シ其跡ヲ熱湯ヲ以テ洗ヒ去リ且消毒法ヲ行ハンコトヲ要ス、而シテ斃成ノ街路ヲ掃除シテ得タル乾燥セル塵埃モ亦タ是レ篩ニ掛ケテ其微細ナルモノト否ラサルモノトヲ區別シテ夫々處分センコトヲ要ス、而シテ斯ク區分シタル塵芥中幾分カノ價值アルモノ、例之ヘハ鐵、肉類罐詰使用後ノ空罐(錫製)、果物類罐詰使用後ノ空罐(同上)硝子、骨類等ハ別々ニ之ヲ選リ分ケテ賣却スヘキモノトス、然レトモ甚他ノ殘物即チ其質輕クシテ全ク不用ナルモノハ之ヲ燒却スヘキモノトス

是等ノ塵芥燒却竈ノ主要ナル構造ハ甚ハタ單純ナルモノナリ、此塵芥燒却場ヨリ生スル不潔ナル空氣ハ強力ナル煽風機ノ作用ニテ他ヘ送り出サル、ナリ、即チ此煽風機ノ力ハ每一分間ニ四萬立方呎ノ空氣ヲ送り出スモノ是レナリ、又タ此燒却場ヨリ生スル煙ハ實ニ僅少ニシテ、薄藍色ヲ呈シツ、高ク空際ニ聳ユル煙突ヨリ放出セラル、モノナリ

右ニ掲ケタルコトヲ概言スレハ、塵芥ヲ大別シテ賣却スヘキ價值アルモノト全ク不用ナルモノトヲ選リ分ケルモノ是レナリ、中ニ就テ其賣却スヘキモノトハ肥料トナルヘキモノニシテ、多クハ農夫ニ賣却サル、ナリ

廢棄物中選リ分ケラレタル物質利用ノ事、既ニ前述セルカ如ク廢棄物中錫、鐵、及骨類ハ之ヲ別ニ選

リ取リテ賣却スルモノナリ、然レトモ廢棄物中清潔法取締局ノ歲入ノ重モナル財源トナルモノハ、廢棄物ノ燒却竈ヨリ生スル灰屑ノ賣却是レナリ、然レトモ一千八百九十六年ヨリ以前ハ、此灰屑一噸ニ就キ僅カニ一噸ノ割合ニテ賣却セラレタリシナリ、然ルニ其年「コンクリート」ノ材料トシテ販路ヲ市場ニ求メンコトヲ勤メタリ、斯クテ最初ノ程ハ單ニ人ノ手ノミニテ此灰屑ヲ粉碎センコトヲ勤メタリシカ、漸次其需要増加スルニ從ツテ器械力ヲ用ヒテ之ヲ粉碎スル方一層利便ナルコトヲ見出シタリ、又タ近年ニ至リテハ此灰屑ヲ篩ヒ分ケル器械カ按出セラレタリ、即チ此器械ノ力ニテ灰屑ヲ五種ノ大サニ分ツコトヲ得ヘキナリ、是レ他ナシ需要者ノ注文中灰屑ノ大サニ斯ク異ナル所アレハナリ、既ニ斯ル次第ナルカ故ニ廢棄物ヲ夫々處分スルニ就テ費用ヲ要セス、却ツテ廢物利用ノ爲メ歲入著シク増加スルニ至レリ、從來ハ彼ノ灰屑ヲ粉碎スルニ多クノ費用ヲ要セシモ、之ヲ粉碎スルノ器械工風サレシ以來其費用著シク減少シ、從ツテ歲入増加スルニ至リシナリ今マ左ニ掲ケル所ノ表ハ此灰屑ヨリノ新歲入次第ニ増加セル事實ヲ示スモノ是レナリ

年	賣却灰屑ノ噸數	實收	入
一八九六ヨリ一八九七マテ	二、一三三	二四二	一一二
一八九七ヨリ一八九八マテ	五、六八二	六一三	一一〇
一八九八ヨリ一八九九マテ	七、二六六	八〇四	六〇
一八九九ヨリ一九〇〇マテ	九、一八四	一、〇八九	一一二
一九〇〇ヨリ一九〇一マテ	九、七五三	一、〇九五	一一〇
一九〇一ヨリ一九〇二マテ	九、三三二	一、〇六三	一九四

一九〇二ヨリ一九〇三マテ
一九〇三ヨリ一九〇四マテ

一一、九三八
一五、〇一八

一、四二二〇九一
一、六四九一〇三

五六二

斯クテ一千九百三年八月ノ事ナリシカ、キルコーノツク、ロードニ於ルニウランスフィールドノ土地若干ヲ買収シタリ、是レ同所ニ廢却物焼印所ヲ設立シテ南部ノ市外地ノ便ヲ計ランカ爲メナリ、然レトモ尙ホ未タ如何ナル屋舎ヲモ建設セサルナリ

前年中右ニ掲ケタルカ如キ廢棄物ヲ賣却シテ得タル總金額ハ三千五百五十二封度八唎五「タイム」ナリシナリ

從來ハ市内ニ廢棄物甚タシク堆積シ居タリシカ、右ニ述タルカ如キ方法設ケラレタルヨリ復タ其事ナキニ至レリ、即チ市内ニ生スル廢棄物ハ夜間收集シテ車ニ積ミ載セ、翌朝十時ニハ之ヲ焼却スルカ若クハ瀛車積ニシテ地方へ送付スルカ故ニ、市内ニハ毫モ廢棄物ノ堆積スルヲ見ザルニ至レリ

廢棄物ノ處分法、市ノ廢棄物ヲ收集シテ之ヲ夫々ニ處分スルハ決シテ容易ノ業ニアラス、試ミニ見ヨ市内ニ於テ日々生スル所ノ廢棄物ノ量極メテ多大ナルコトヲ、即チ日々平均一千二百五十一噸ノ廢棄物ヲ生スト云フ、斯ル莫大ナル廢棄物ヲ夫々ニ處分ス、清潔法取締局ノ業務嗚呼亦タ難カラサヤ、彼ノ廢棄物ノ燒却法行ハル、コト、ナリシヨリ、家々及商店等ヨリ生スル廢棄物ノ量著シク減少シ來レリ、現ニ昨年ノ如キハ其減少セル高百分ノ二十五ナリシナリ、然レトモ鐵道ノ貨車へ積載シテ地方へ送りタル廢棄物ハ尙ホ且ツ三萬六千三百八十七臺ナリシナリ、此内百分ノ四九・二九ハ肥料トシテ農夫ノ手ニ賣却セラレ、残り百

分ノ五〇・七一ハ賣却シ得ヘカラサルモノナルカ故ニ、清潔法取締局ノ所有地ナルリーディング、フルウッドモッス、マリーリーバルフ及ロブロイストンへ送致シタリ

市ノ肥料及廢棄物ヲ地方へ運搬センカ爲メニ市有ニ屬スル鐵道貨車七百臺アリ、斯ク市ノ肥料ヲ地方へ運搬スルノ費用ニ充テンカ爲メニ、國會ニ於テ市民ニ特別稅ヲ賦課スルコトニ定メタリ、又清潔法取締局ハ廢棄物運搬ノ爲メ鐵道會社へ相當ノ賃錢ヲ拂ヒ込ミ、而シテ其拂ヒ込メル金額ハ、其廢棄物賣却ノ代價中ニ組ミ込ムコト、ナセリ

清潔法取締局ノ所屬地

フルウッド、モッス、清潔法取締委員會ハ右ノ如ク莫大ナル廢棄物ヲ夫々處分スヘキ容易ナラサル困難アルヨリ、之ニ就テ何等カノ便法ヲ設ケントノ意見ヲ有シ居タリシカ、遂ニ鐵道便ヲ有スル方面ニ於テ地所ヲ得ルノ必要ナルコトヲ見出セリ、此ニ於テ乎先ツ其手始メトシテ一千八百七十九年ニ於テフルウッド、モッスノ地所九十八「エーカー」ヲ賃借期間向フ三十一年間ノ契約ニテ其所有者ヨリ借り受ケタリ、蓋シ此地所ハハウストンノ近傍ニシテカレドニアシ鐵道アリ、具羅斯哈市ヲ距ルコト十哩ノ所ニアリ、概シテ澤地ニシテ濕氣甚ハタシキ所ナリ、後一千八百八十九年ニ於テ尙ホ其近傍ノ地二十五「エーカー」ヲ加ヘ又タ一千八百九十六年ニ至リテ尙ホ之ニ加フルニ十九「エーカー」ノ地ヲ以テセリ、而シテ此等ノ地所ノ幅員ハ合計百四十二「エーカー」ナリシナリ、此等ノ地所ハ元來概シテ澤地ナルカ故ニ、是レマテノ所有主ハ此等ノ地所ヨリ得ル所毫モ之ナカリシナリ、清潔取締委員會カ此等ノ地所ヲ得シヨリ先ツ第一ニ着手セシハ疏

水工事ニシテ、幾干モナク其地内ニ鐵道ノ通スルコト、ナレリ、而シテ此等ノ疏水及鐵道工事ニ要シタル總金額ノ如キハ餘程ノ多額ナレトモ年々一定ノ償却法ヲ立テ以テ拂ヒ戻スコト、ナシ、此等ノ地所ノ貸借期限ノ盡ルト共ニ全ク償却スルノ豫定ナリ、而シテ數箇年間此等ノ地所ヨリ上ル所ノ重モナル產物ハ馬鈴薯ニシテ、其他種々ノ種物ノ收穫モ幾干カアリテ賣却スルヲ得ヘキナリ、然レトモ近年ニ至リテ其重モナル產物ト云ツヘキモノハ枯草及燕麥ニシテ、此等ノ產物ハ市内ニ於ル清潔法取締局所轄ノ厩舍用ニ供セラレ、モノナリ、即チ目今此等ノ產物ハ最上等ノ農產物ナルカ、只タ遺憾トスル所ハ貸借期限盡キテ舊持主ニ返スノ一事アルノミ、抑モ此等ノ地所ハ管ニ廢棄物ノ測ルヘカラサル多量ヲ受容スルノ便アルノミナラス、之レヨリ上ル產物ノ收穫モ亦タ是レ利益アルモノナリ

リージング、清潔法取締委員會ハ地所ヲ借り入ル、ノ愚策ナル前例ニ鑑ミテ、將來ハ之ヲ買收シテ其所有權ノ已レニ歸スコトヲ計ラサルヘカラスト決意シタリ、故ニ餘レル廢棄物ノ受容地トシテ北英鐵道ノ所在地ニ接シテ一ノ地所ヲ買收セサルヘカラストテ、終ニ「エアー」ドレーニ近キリージングノ地所ヲ買收シタリ即チ一千八百九十一年ノ買收ニ係ルモノニシテ、具羅斯哈市ヲ距ルコト十一哩ナリ、此地元來五箇所ノ耕地ヲ包有セルモノニシテ其總地坪五百六十五「エーカー」アリ、而シテ其買收價格ハ一「エーカー」ニ就キ二十封度五噓四「ダイム」ナリシナリ、後其隣地二箇所モ買收セラレタリ、而シテ其代價ハ一方ハ一「エーカー」ニ就キ二十四封度他方ハ一「エーカー」ニ就キ十九封度十六噓二「ダイム」ナリシナリ、斯クテ此等ノ地所ノ總地坪ハ目下八百二十一「エーカー」トナレリ、而シテ此等ノ地所全體ノ地質如何ト云フニ、所謂粘

土質ニシテ不毛ナルカ故ニ充分ニ改良スル所ナクンハアルヘカラスト、此等ノ地方ハ其表面凹凸甚ハタシクシテ平カナラサルカ故ニ、市ノ廢棄物中賣却スルノ價值ナク又他ニ利用スヘキ途ナキモノヲ運搬シ來リテ之カ地均シ用ニ供センハ最モ善ク適當シタルモノナリ、而シテ此等ノ地所買收後水利ヲ善クシテ土地ヲ乾燥セシメ、其附近ニ鐵道敷カレ又タ適當ナル屋舍モ建設セラル從ツテ土地ノ面目一新セラレタリ又タ土地ヨリ生スル所ノ產物如何ト云フニフルウード、モッスト均シク重モニ枯草、燕麥及蕪菁等ニシテ市内ニ於ル清潔法取締局所轄ノ厩舍用ニ供セラルヘキモノナリ

メークーボルフ、ハ其地坪三十一「エーカー」ノ一小地區ニシテ、グレンボイグトカムバーナールドトノ中間ナルカレドニアン鐵道部内ニアリ、一千八百九十五年一千六十七封度ニテ買收シタリ、其買收ノ目的ハカレドニアンノ北線ノ所ニ堆積サレタル廢棄物ヲ放棄セシムルノ箇所ニ充テシカ爲メナリ

ホールレブ、フーム、ハマリーバルフノ附近ニアリテ其地坪ハ四十五「エーカー」アリ、買入ル、コト能ハサルニ依リテ貸借期限十九箇年ノ契約ニテ、一千八百九十五年ニ借リ入レタルモノナリ、而シテ此地借受ノ目的ハマリーバルフトノ鐵道便ヲ一層充分ニシ、從ツテ其近傍ノ農民ニ市ノ肥料ヲ一層容易ク得セシメント欲スルニアリ

ロブロキヌトン、エステートハ一千九百二年四萬封度ノ代價ヲ以テ買收セラレタルモノナリ、即チ一「エーカー」ノ價六十封度十九噓四「ダイム」ノ割合ニ當レリ此地ノ買入代價ハリージング、エステートノ購買費ヨリ一層高キモノナリ、然レトモ其代價高クハ高キ程他ノ方面ニ於テ利便ナクンハアラス、即チ此地

市ニ最モ近ク接シ居ルノ利便是レナリ、例之ヘハ市ノ境界線ト最トモ接近シ居ル箇所ハ其相距ルコト僅カニ四十呎ニ過キササルナリ、此地ハ五小地域ヲ包括セルモノニシテ其總地坪ハ六百五十六「エーカー」ナリ而シテ右五小區ノ内一區ハ既ニ清潔法取締局ノ所有ニ歸シ、他日ノ三區ハ借入契約期限幾干モナク滿期トナルヘク、残り第五區ハ借入契約期限尙ホ向フ十四箇年アリ

又タ地域内ニ砂石礦アリ煉化石製造所アリ、其ニ是レ借受地内ニ在リテ其業ヲ營ミ居レリ、尙ホ此地域内ニ鐵道ニ接近シタル一ノ箇所アリ、彼ノ賣却スルノ價値ナキ廢棄物ヲ放棄スルノ箇所ト爲シ、且ツ下水清化工事ヨリ生シタル下水の泥土ヲモ放棄スルノ箇所トナセリ

又タ此地域中鐵道線路ニ接近シテ延長シタル廣大ナル澤地アリ、開墾ニ最モ適當シタル地所タリ又タ衛生委員會ハ此地域中高燥ナル箇所百五十四「エーカー」ヲ選擇シテ痘瘡病院建設地ト爲セリ

此等ノ地所ハ一種ノ歴史の趣味ヲ有スルモノナリ、彼ノサー、ウキリアム、ウォーレースカ叛逆ヲ企テタル有名ナル事實ハ取りモ直サス此地ニ起リタルモノニシテ、今ハ公衆ノ義捐金ヨリ成レル紀念碑高ク空際ニ聳ヘテ何トナク昔時ノ事ヲ想ヒ起サシム

目今ニ清潔法取締局カ此方面ニ於テ所有セル地所及借リ受ケ居ル地所ハ合計一千七百一「エーカー」ナリ而シテ昨一箇年間ニ此等ノ地所ヨリ上リタル收穫ハ共計七百六十五封度八「ダイム」ナリシナリ

工場、穀物倉及其他ノ倉庫

工場ノ事、清潔法取締局ノ工場ハセント、ローロックスノチャールズ街ニアリテ彼ノ焼却場ニ接近ス此取締

局ニ於テ使用セラル、諸ロノ車類ハ皆ナ此工場ニテ製造セラレ又タ修繕セラル、モノナリ、鐵道用ノ貨車ノ如キモ亦タ然リ、此工場ニ密接シテ鐵道敷設シアルカ故ニ、修繕ヲ要スル所ノ鐵道貨車ノ如キハ直接ニ此工場ニ送付セラル、コト、ナリ居レリ、且此工場ニ於テ他ノ鐵道會社ノ貨車修繕ヲ引キ受ケル契約ヲ結ヘルモノ三會社アリ、此工場ニ勞力ヲ省減シ得ヘキ最新式ノ器械備付アリ、隣接セル燒却場ヨリ動力來リテ此等ノ器械ヲ運轉ス、而シテ此等ノ工場ノ業務ニ従事スル者如何ト云フニ大工、車匠、貨車製造者、鍛冶師、旋盤工「ベンキ」塗師及鞍匠等はレナリ、此工場ニテ爲サ、ルモノハ只タ僅カニ一事アルノミ、蹄鐵業是レナリ、今マ何カ故ニ此蹄鐵業ノミ此工場ニテ爲サ、ルヤト云フニ、左記ノ如キ事情アレハナリ、曰ク市區ノ擴張セラル、コト極メテ速カニシテ、市ノ周邊ニ於ケル地方ニ厩舎ヲ建設スルノ必要起レリ、然ルニ市ノ中央ナル此工場ニテ厩舎ノ馬ノ蹄鐵ヲ悉皆打替フルコト、センカ、其不便ナルコト亦タ云フヘカラス、寧ロ其厩舎所在地ノ最寄りヘ蹄鐵所ヲ設立シタランニハ、甚ハタ便利ナルヘケレハナリ穀物倉及其他ノ一般ノ倉庫ノ事、此等ノ倉庫ト云ヘルハ皆ナ是レ清潔法取締局ノ所有ニシテグラスゴー、クロッスニ接近セルグレーム街ノ中央部ニアルモノナリ

中ニ就テ穀物倉ノ方ハ四階立ニシテ之ヲ備ヘ付ケアル器械ハ總テ最新式ニシテ最新ノ原則ヲ應用セルモノナリ、尙ホ之ヲ詳言スレハ左ノ如シ、曰ク穀物ヲ上層ノ床ヘ引キ上ケンニハ毎ニ昇降機ニ依頼セサルハナシ、既ニ引キ上ケラレタル時ハ各種ノ穀類カ夫々漏斗ニ移サレ、之ヲ磨碎シ其量ヲ測リ、之ヲ篩ニ掛ケ或ハ之ヲ混和シ、最後ニ囊ニ盛リテ各厩舎ヘ向ケテ送致セラレ得ヘキ様夫々荷造リヲ爲スモノトス、而シテ

此等ノ仕事ハ皆ナ是レ左マテ人手ヲ要セス概シテ器械仕掛ニテ出來上ルモノナリ、彼ノ穀物中ニ混淆シ居ル塵芥ノ如キモ皆ナ器械力ニテ之ヲ排除シ、中ニ就テ釘若シクハ其他鐵類ノ小片ハ磁石力ノ吸引作用ニテ之ヲ除キ去ルモノトス

馬匹ノ飼料タル枯草ノ如キハ清潔法取締局ノ附屬タル耕地ヨリ供給セラル、モノトス、即チ此等ノ枯草ハ其刈リ取リタル地ニテ夫ヲ細荷^{カラケ}トナシ之ヲ鐵道便ニテ市内ニ送り、彼ノ穀物倉ニテ其内ヨリ塵芥ヲ除キ去リテ之ヲ細切スルモノトス、然レトモ清潔法取締局附屬地ヨリ生スル穀類及枯草丈ケニテハ同取締局所屬ノ馬匹等ノ飼料ト爲スニ足ラス、故ニ其不足セル分ハ市中ノ商人ヨリ買入レサルヘカラス、而シテ此等ノ馬匹ノ飼料及寢蓐等ニ要スル所ノ費用ハ、一千九百三年五月三十一日ヲ以テ終末トセル年度ニ於テ一週間一頭ニ就キ十噠^十「^十」^八八ノ割合ニ當レルト云フ

而シテ一般ノ倉庫ニハ清潔法取締局所屬ノ各地方ニ要スル所ノ諸ロノ材料及器械類ヲ貯ヘ置キ、必要ニ應シテ之ヲ出シ與フルモノトス、其種類ノ如キハ極メテ多ク年々特約ヲ結ンデ夫々物品ヲ納付スル商人三十四名ナリシ

世襲財産ノ事

清潔法取締局創設ノ年ナル一千八百六十八年ニ於テ世襲スヘキ動産ノ現在高ハ一萬九千六百六十二封度ナリシカ、一千八百八十四年ニ至リテ増加シテ七萬四千四百六十九封度トナレリ、而シテ目今ハ尙ホ増シテ三十五萬四千五百六十六封度トナレリ、右ハ皆ナ是レ世襲スヘキ動産ノ高ニ過キス然レトモ其所有財産ノ全

額ヲ舉レハ之レヨリ一層多額ナルヘキナリ、即チ一千八百六十八年ニ於ル財産全額ハ五萬五千九百二十四封度、一千八百八十四年ニ於テハ同十一萬三千九百八十四封度、而シテ一千九百四年五月三十一日ヲ以テ終末トセル一箇年間ニ於テハ十八萬九千八百七十二封度ナリシナリ

清潔費ノ事

市内ヲ清潔ナラシムル事ニ就テハ常ニ最少額ノ費用ヲ以テ最良ノ結果ヲ收メンコトヲ勤メサルハナカリキ然レトモ具羅斯哈市ノ如ク諸種ノ工業盛ニ行ハレ、煤煙熾ニ立チ昇リ、往來交通頻繁ナル都會ヲ清潔ニ爲サンハ更ニ工業等ノ行ハレサル都市ヨリ一層困難ナルコト勿論ナリト知ルヘシ
一千九百四年中ニ於テ市中一般ノ清潔費ニ要シタル總金額ハ十三萬一千百十四封度ニシテ、肥料ノ賣却及其他ノ財源ヨリ得タル歲入ハ三萬五千八百九十九封度ナリシナリ、而シテ差引不足額九萬六千二十五封度ハ一般ニ賦課シタル税金ヲ以テ補フタルモノナリ

瓦斯局

具羅斯哈市ニ始メテ瓦斯ヲ供給シタルハ具羅斯哈瓦斯燈會社ニシテ、實ニ是レ一千八百十八年ナリシナリ然レトモ一千八百二十七年マテ其製造サレタル瓦斯ノ量果シテ幾千アリシヤ更ニ判明セサリシナリ、即チ一千八百二十七年ニ於テ初メテ「メートル」ナルモノ出來シテ使用シタル瓦斯ノ量ヲ測知スルコト、ナレリ、乃チ同年ニ於テ製造サレタル瓦斯ノ量殆ント八千萬立方呎ナリシナリ、而シテ千八百四十三年ニ於テハ尙ホ増加シテ二億一千七百萬立方呎トナレリ、然ルニ同年更ニ一ノ瓦斯會社設立セラレテ互ニ競争スル

コト、ナレリ、市内及市外瓦斯會社はレナリ、而シテ此兩會社トモニ一千八百六十九年マテハ、繼續シテ同一ノ地所ニ瓦斯ヲ供給スルコトニ就テ互ニ競争シ居タリシナリ、然ルニ同年國會ノ議決ヲ經テ兩會社トモニ市有ニ歸スルコト、ナレリ、今マ左ニ掲クル所ノ表ハ瓦斯製造業ノ進歩發達セル狀況ヲ示スモノナリ

年	製造瓦斯ノ立方呎	每一千立方呎ノ代價	歳入ノ共計(瓦斯「コーク」及其他殘物)ヲモ含ム
一八六〇	一六九、二四一、〇〇〇	五噓	一五三、五八五封度
一八七〇	一、二九五、八六三、〇〇〇	四噓	二三五、七〇〇封度
一八八〇	一、八五九、五八二、〇〇〇	三噓一〇「ダイム」	三四一、二七四封度
一八九〇	三、〇五八、二七七、〇〇〇	二噓	四一七、五八九封度
一九〇〇	五、九六九、一一一、〇〇〇	二噓	七七〇、〇〇二封度
一九〇四	六、六四一、八九一、〇〇〇	二噓	八八五、四一三封度(一九〇三年分)

今日瓦斯ヲ供給セラレタル區域ハ其長サノ最モ長キ部分十六哩アリ、其横ノ最モ廣キ部分十二哩アリ、此内瓦斯ヲ使用セル人民ノ數二十一萬九千五百四十八人ナリシナリ、而シテ其瓦斯ノ使用料ハ「メートル」ニ準シテ支拂フヲ要セサルナリ、而シテ此全區域中ニ瓦斯製造所都合四箇所アリ其一ヲ「ダルマーノック」瓦斯製所(元ト是レ市内及市外瓦斯會社ノ瓦斯製造所ナリシ)ト云ヒ市ノ東端ニアリテ日々殆ド七百萬立ノ瓦斯ヲ製造シ得ヘキナリ、次ヲ「トレーズトン」瓦斯製造所(元ト是レ具羅斯哈瓦斯燈會社ノ瓦斯製造所ナリシ)ト云ヒトレーズトン河ノ南岸ニ在リ、一千八百三十八年ノ創設ニ係ル、斯クテ此等ノ製造所ニ於テ瓦斯ヲ製造スル高如何ト云フニ、一千八百六十九年ニテハ一日ニ五百五十萬立方呎ヲ製出シ居タリシカ、一千

八百八十八年ニ至リテ大ニ増加シテ一日ニ四百五十萬立呎ヲ製スルニ至レリ、然レトモ斯ク四箇所ノ瓦斯製造所ヨリ瓦斯ヲ供給サレタル地方ノ區域カ極メテ速カニ擴張シ來リタルニ依リ、從來製出シ居レル瓦斯ノ量ニテハ不足ヲ告ルニ至レリ、此ニ於テカ是マテノ製造所ヲ再築擴張シテ瓦斯ノ製出高ヲ一層増加セサルヘカラサルコト、ナレリ、斯ク其規模ヲ擴張センカ爲メニ先ツ其敷地トシテ他ノ地所ヲ買收セサルヘカラス、即チ其地所買收ノ結果トシテ從來ノ二製造所ヲ聯結一致セシムルコト、ナレリ、其二箇所ヲ一致聯結セシメタルハ、カレドニアン鐵道會社ノ本線ヲ橫斷シテ數個ノ橋ヲ架シタルコト是レナリ、而シテ此再建擴張ノ結果トシテトレーズトン製造所ノ製出高カ増加シテ一千萬立方呎トナレリ

斯クテ一千八百七十一年ニ於テハ、ダウシヨルム瓦斯製造所カ建設セラレタリ、其建設當時ノ製出高ハ一日ニ三百萬立方呎ナリシカ、一千八百八十三年ニ至リテハ増加シテ一日ニ八百萬立方呎ノ製出高トナレリ後一千八百九十一年ニ於テ右ノ製造所ニ隣接シタルバーチック、ヒルヘッド、マークーヒル瓦斯會社等カ皆ナ市ノ有トナレリ、此等ノ諸製造所トダウシヨルム製造所トハ其中間ニホールズ及クリード溝渠アルノミ、故ニ此溝渠ノ下底ニ一ノ隧道ヲ穿チテ兩者ノ間ヲ聯絡セシムルコト、セリ、即チ此隧道ニ瓦斯ノ幹線ヲ通シ、又タ瀝車道及人道ヲモ設ケラレタリ、斯クテダウシヨルム製造所ニテハ目今一千九百萬立方呎ノ瓦斯ヲ製出スルコト、ナレリ

現ニ建設セラレタル瓦斯製造所ハ既ニ其敷地ヲ充分ニ利用シタルカ故ニ、最早ヤ此上擴張シ得ラル、ノ餘地寸毫モ之レアラサリシナリ、然ルニ瓦斯ノ需用ハ斷ヘス増加シ來レルカ故ニ、更ニ瓦斯製造所ヲ新築セ

サルヲ得サルノ必要ニ迫レリ此ニ於テ平先ツ第一ニ重要ナル問題ハ其敷地選擇ノ一事是レナリ、斯クテ一
 千八百九十八年ニ於テプロヴハンノ地カ其敷地ト改定セラレタリ、蓋シ此地ハ市ノ東境ニ在リテ、全體ノ
 上ヨリ之カ觀察ヲ下サンニ、瓦斯製造所ノ敷地トシテハ最モ適當ナルモノト謂ツヘキナリ、越ヘテ一千八
 百九十九年ニ至リテ國會ノ議決ヲ以テ、此方面ヲ包含セラレタル諸ロノ地所ヲ買收シテ更ニ瓦斯製造所ヲ
 新築シ得ヘキ權能ヲ市ニ與ヘタリ、此敷地ノ總地坪ハ百三十一「エーカー」ナリシ而シテ此地方ニハ鐵道ア
 リ溝渠アリ交通運輸ノ便ニ乏シカラサルナリ、又タ此地方ノ地盤ハ高低アリテ平カナラスト雖モ、之ヲ利
 用スル場合ナキニアラス、即チ其高キ部分ニハ石炭及石灰等ヲ貯ヘ置キ其低キ部分ニハ石炭屑ノ如キモノ
 ヲ放棄スル場所ニ充ルカ如キ是レナリ、斯クテ新築工事愈ヨ落成シタル時、其全部ヲ大別シテ四部ト爲シ
 各部トモニ夫々獨立ノ行動ヲ取り居レリ而シテ其製出スル瓦斯ノ量ハ四千八百萬立呎ナリト云フ、又タ此
 製造所内到ル所ニ鐵道敷設シアリテ諸物品運輸ノ便ヲ計レリ、即チ此等ノ鐵道ハ日々四千噸ノ材料ヲ輸送
 シ得ヘキナリ、斯ク製造所内縱横ニ敷設シアル鐵道ノ延長ハ合計殆ント八哩アリ、尙ホ此外幅三呎六吋ノ
 鐵軌敷設シアリテ、石炭屑及其他ノ廢棄物ヲ送り出スノ用ニ供ス、其延長殆ト五哩ニ及ヘリ
 今マ左ニ掲クル所ノ統計表ハ昨會計年度即チ一千九百二年ヨリ一千九百三年ニ跨カレル會計年度ニ於テ瓦
 斯局カ取り扱フタル收支決算ニ係ルモノ是レナリ、曰ク消費シタル石炭七十萬七千三百九十二噸、賣却シ
 タル石炭屑二十八萬一千四百七十一噸、松脂及安母尼亞的液體ノ賣却ヨリ得タル歲入十五萬九千五百十六
 封度、中各瓦斯作業ノ爲メ使用サレタル人ノ最多數二千六百八十八人、工場ニ於テ使用サレタル者七百三

十八、此合計三千四百十八人ナリキ

而シテ此等ノ瓦斯製造事業ノ資金ニ充テンカ爲メニ甲乙二種ノ市公債カ發セラレタリ、即チ甲種ニ對シテ
 八年最多額ニテ百分ノ十ヲ支拂ヒ、乙種ニ對シテ同シク百分ノ七半ヲ支拂フヘキモノス、然レトモ市條例
 發布ノ結果トシテ甲種ニ對シテ八年百分ノ九ヲ支拂ヒ、乙種ニ對シテハ同シク百分ノ六個四分ノ三ヲ支拂
 フコト、ナレリ、而シテ年々斯ク支拂フヘキ歩合ニ對スル擔保ハ、瓦斯製造所ノ歲入及具羅斯哈市民ニ賦
 課スル家屋稅是レナリ、但家屋稅ノ稅率ハ家賃一封度ニ就キ六「ダイム」ノ割合ナリト知ルヘシ
 去ル五月三十一日ノ調査ニ係ル償却スヘキ市公債ノ總額ハ四十六萬三千八百九十五封度十三「ダイム」
 ナリシ

而シテ具羅斯哈市瓦斯製造所ノ事業ニ費シタル金額ヲ舉レハ左ノ如シ（一千九百三年五月三十一日ノ調査
 ニ係ル）

第一、ダルマーノック瓦斯製造所

總 費 額	二十五萬七千七百八封度	一一二〇
實 收 入 高	一萬五千五百九十九封度	一〇六
差 引 殘 額	二十四萬二千百九封度	一六

第二、トレーズトン瓦斯製造所

總 資 額	三十三萬七千九百六十三封度	八四
-------	---------------	----

實收入高

七千六百六十八封度

五七四

七・二

差引 殘額

三十三萬七千九百九十五封度

一・二

第二、ダウシヨルム瓦斯製造所(一千八百九十一年市ノ有ニ歸シタル)テムブル及オールド、キルバトリ

ツク瓦斯製造所モ此内ニ包含ス)

總費額

八十萬二千三百一十一封度

一六

一

實收入高

一萬九千七百三十三封度

八一

差引 殘額

七十八萬三千二百四十八封度

八〇

第四、ブロッグハン瓦斯製造所

總費額

四十八萬二千九百二十四封度

〇二

殘額

四十八萬八千九百二十四封度

〇二

第五、工場及其他ノ屋舎

總費額

十三萬三千三十三封度

六四

實收入高

一萬八千七百七十四封度

四六

差引 殘額

十一萬二千五百五十九封度

一〇

第六、瓦斯管「メートル」「ストロヴ」等

總費額

百二十五萬一千六百八十八封度

〇七

實收入高

一萬九千三百三十六封度

一〇八

差引 殘額

百二十三萬二千二百八十一封度

九二

● 下水ノ事

三百十九萬三千五百七十七封度

二七

東區ノ工事

市街ヨリ來ル所ノ本溝渠ハ直徑七呎六吋ニシテスワントン市街ノ中央ヲ下リテ沈澱槽ノ北西隅ヲ占メタル容積十七呎、深サ十六呎一時ナル首室ニ入ル、乃チ下水ハ途ヲ此室ヨリ沈澱槽ノ下ニ埋メタル四呎ニ四呎ノ反轉溝三本ニ依リテ收容室ノ西側ニ取リ、此ニ於テ棒ヲ各々八分ノ五吋ツ、隔離シタル二箇ノ二重直立屏門ヲ通過シ、夫ヨリ收容室ノ西側ニアル五呎ノ給養溝ニ流ル、但シ此溝ノ平準面ハ床線以下十八呎六吋トナリ

下水ハ五呎ノ溝渠ヲ過シテ二箇ノ收容室ニ入ル、各々長サ四十七呎十吋、幅二十呎、深サ十呎トス、昇降槽ニ於ケル收容室ノ下底ハ床線下二十八呎六吋ニシテ、南北兩端ノ壁ニ昇リ柔軟物ヲシテ徐ロニ昇降槽ノ方ニ前進セシム、但シ昇降槽ノ下底ハ床線下三十三呎六吋トス、而シテ固形物ハ昇降桶ヲ以テ床線上ノ鐵道貨車ニ搬フ、但シ兩收容室ハ各別ノ必要ニ應シテ使用スルモノナリ、重量アル物質ヲ除却シタル下水ハ收容室ヲ出テ東側ノ十呎溝ヲ通過シテ唧筒井ニ入ル、其深サハ床線下三十一呎一時ナリ
遠心唧筒ノ吸接管ハ底部ヨリ十五吋以内ニ下行シ、水ハ之ヲ通シテ唧筒室ノ南壁ニ對シテ据付ケタル三呎

九吋ノ鑄鐵管ニ昇リテ藥品ヲ投入シタル混合窖ニ流入ス、而シテ現今使用スル所ノ沈澱藥ハ硫酸礬土ト石灰ニシテ、礬土二分ニ付石灰一分ノ比例ナリ、其使用量ノ如キハ下水ノ性質如何ニ依リテ之ヲ定ムルモノナルカ故ニ一定シ居ラス

唧筒ハ二十四吋一個、十八吋二個、十二吋二個ニシテ總計五百三十馬力、一時間ニ二百萬瓦倫ヲ昇揚スルヲ得ヘシ、又タ唧筒室ノ東側ニアル六吋ノ滑車唧筒二個ハ、下水ヲ渣滓槽ノ上ニアル石灰混合器ニ排泄シ此水ヲ以テ石灰乳ヲ造リ、又ハ硫酸礬土ヲ溶解スルニ使用スルモノナリ

此唧筒ハ機關ヨリ動作スル所ノ「シャフト」ノ本線ヲ以テ運轉ス、機關室ニハ各々百二十馬力復合濃縮機關二對ヲ備フ、而シテ此機關ハ悉皆「シャフト」ヲ運轉セシメ、此室ニハ百十「ヴォルト」ニ於ケル百三十「アムペール」ヲ發スル「ダイナモ」一個アリ、又タ唧筒室ニハ百十「ヴォルト」ニ於ケル三百五十「アムペール」ヲ與フル「カムバウンド、ダイチモ」一個ヲ備ヘ、此兩「ダイナモ」ヲ以テ工場全部ニ光ヲ供給シ、各々五「アムペール」ノ「アーク燈」三十五個、三十二及十六燭光ノ白熾燈百六十個ヲ點ス

混合窖ハ十呎、十呎、八呎ニシテ底ヨリ三呎六吋以内マテ下行セル中央突板ヲ有ス、而シテ此所ニ在ル下水ハ藥品ト混和シタル後、此突板下ヲ通過シテ沈澱槽ノ給養溝ニ達スル八呎ニ三呎六吋ノ流出溝ニ出ルモノナリ

混合窖ハ本床ノ東南隅ニ當リテ收容槽ノ上ニ位ス

渣滓ハ沈澱槽ヨリ工場ニ來レルモノニシテ其途次如何ト云フニ硫酸礬土室ノ西壁ヨリ發スル深サ十七呎四

吋ノ所ニアル六呎六吋ノ本溝渠ヲ通過スルモノトス、此溝渠ハ沈澱槽ノ西區劃ノ前ニ達スルマテ百呎ニ就キ三吋ノ勾配ヲ有ス沈澱槽ノ各區劃ニ於テ幅三呎三吋ノ渣滓溝アリ、本溝渠マテ百呎ニ就キ三吋ノ勾配アルカ故ニ渣滓ハ自然其重力ニ依リテ之ヲ通過シ走リテ硫酸礬土室ノ下ニアル渣滓槽ニ入ル此槽ハ床下線ニアリテ四十呎、四十六呎、二十一呎ナリ、流動渣滓ハ六吋ノ遠心唧筒ニ依リテ此槽ヨリ三個ノ沈澱槽ニ昇リテ沈澱ス、水五十「ベルセント」ヲ唧筒井ニ注入シタル後、此槽ヨリ渣滓ヲ引テ石灰混合室ノ下ニ當リテ床線下ニアル四十六呎四十呎二十三呎ノ一槽ニ移ス又タ北東隅ニ當リテ床線下ニ二十九呎ノ低壓渣滓自動揚水機ナルモノアリ、千八百瓦倫ヲ容ルヘシ渣滓ハ之ヲ通過シテ壓搾大氣ノ力ニ依リテ石灰室ノ東壁ニアル二個ノ渣滓混合器ニ昇ル此所ニ於テ渣滓ニ熱石灰ヲ加ヘテ以テ壓搾ヲ容易ナラシム

渣滓收容室ノ下床ニ四個ノ高壓自動揚水機アリ、各々九百瓦倫ヲ容ル、ニ足ル、渣滓ハ自然其重力ニ依リテ六吋ノ鑄鐵管ヲ通過シテ、混合器ヨリ此揚水機ニ走リ、夫ヨリ毎平方吋ニ就キ百封度ノ壓搾大氣ニ依リテ渣滓壓搾器ニ昇ル、此大氣ヲ以テ高壓水機ヨリ來レル滓渣ヲ吹キタル後、之ヲ渣滓槽ノ東北隅ニアアル巨大ナル低壓揚水機ニ移ス、之ニ依リテ高壓揚水機ヲ再度使用スルニ足ルヘキ十分ナル渣滓ヲ混合機ニ昇スヲ以テ、少ナクモ八十「ベルセント」ノ壓搾大氣ヲ節約スルヲ得ル高壓揚水機ニ一倍ノ力ヲ添フル爲メ横行二重唧筒アリ、十一吋ノ「シリシター」七時半ノ唧筒、十吋ノ「ストローク」ヲ備ヘ、百封度ノ壓力ニ對シテ、每一時間ニ粗製渣滓五十噸ヲ排泄スルヲ得ヘシ此唧筒ハ直接ニ渣滓井或ハ渣滓混合器ヨリモ引クヲ得ヘシ、二個ノ高壓機關ハ揚水機ノ北方ニ壓搾大氣ヲ作り、其揚水機ノ附近ニハ又タ二重蒸氣唧筒アリテ水

ヲ瀝罐ニ給養セリ、揚水機ノ南方ニハ浴室アリテ備員ノ使用ニ供ス
 二階ノ壓搾室ニハ十二個ノ渣滓壓搾器アリ、其内七個ハ各々二十五「ハンドレット」、ウエート「」ヲ容ルヘ
 レット、ウエート」ハ我十三貫五百四十八匁ニ當ル」五個ハ各々三十二「ハンドレット」ヲ容ルヘ
 シ、若シ之ニ滿積スルトセハ壓搾器ノ一順毎ニ壓搾渣滓總計十六噸十五「ハンドレット」ヲ作ル得ヘ
 シ、而シテ此渣滓塊ヲ床上ノ樋管ニ通シテ其直下ニアル鐵道貨車ニ投下ス、又タ此壓搾シタル渣滓塊ヲ特許
 ヲ得タル乾燥器械ヲ通過セシムレハ、水分ヲ減少シテ十五「ベルセント」トナルナリ、而シテ底部ニ穿孔ヲ
 有スル七呎ノ磨機ヲ通過セシメ、然ル後囊ニ包裝シ或ハ直チニ昇降器ヲ以テ鐵道上ノ貨車ニ積載ス、此産
 物ヲ稱シテ地球豐潤下水肥料 (Globe Fertilizer Cenage Manure) トス

渣滓收容室ノ北ニアル瀝罐小舎ニハ二十八呎、七呎ノランカシカ「瀝罐六個ヲ備ヘ、工作壓力ヲ每平方吋
 ニ就キ百封度トシ、骸炭及廢棄物ヲ以テ燃料トナセリ、又タ瀝罐小舎ノ南端ニ當リテロウ氏ノ特許ニ係ル
 給養水熱器ナルモノアリ、之ニ廢瀝ヲ排泄シテ給養水ヲ温メ、而シテ三百二十ノ鑄鐵管ヨリ成レルイグ
 リーン、エンド、ソーン氏特許ノ節儉器ニ移ス、斯クテ水ハ此節儉器ヨリ華氏二百五十度ノ温度ヲ保チテ罐
 ニ入ル、此瀝罐室ノ北ニハ一工場アリ、以テ諸器械ノ修繕ヲ爲ス所トス
 回顧スレハ下水ハ元是レ給養管ヨリ沈澱槽ニ入りタルモノナルカ、今ハ東側或ハ西側ノ給養管ヨリ貯槽ニ
 進行スルコト、ナリ、貯槽ハ都合四個アリ、表面下續流式ニ動作シ、之ヲ合スレハ一萬五千六百二方「ヤ
 ード」ノ面積ト、約五百萬瓦倫ノ容積トナル、蓋シ貯槽ノ容積毎百萬瓦倫ニ就キ五百萬瓦倫ヲ沈澱セシメテ

亦タ遺憾ナキコトヲ發見セリ、流出水ハ通風床ニ排泄セラレ、此ニ又タ十八個ノ間歇沈澱槽アリ、各々百
 呎、五十呎ニシテ三萬四千二百瓦倫ノ貯藏積アリ、是レ亦タ地下續流式ニ動作シ、清澄ナル流出水ハ排水
 管ヲ以テ之ヲ引き出シ、渣滓ハ十二吋ノ回旋辨ヲ以テ貯槽ヨリ三呎三吋ノ地下溝渠ニ引き入レ、夫ヨリ既
 記ノ如ク渣滓槽ニ流入ス

沈澱槽ヨリ送ル水ハ十七呎十吋ノ溝渠ヲ以テスワントン街ノ西側ニ設ケタル濾過池ニ至ル、此水市街ヲ横
 斷スル前ニグレンフィールド、エンド、ケネデー氏ノ水量計ヲ通過セシム、蓋シ此水量計ト云ヘルハ瓦倫
 數ヲ每二十四時間ニ三萬マテ計算シ得ヘキモノナリ、而シテ水ハ街下ヲ通シタル三本ノ鑄鐵管ヲ以テ吸
 ヒ上ケラレ、二十呎ノ本溝ヲ昇リ夫レヨリ五呎ノ溝渠四本ヲ通シテ濾過池ニ分布ス、各々四十呎、十呎三
 呎六吋ノ灰ノ機關濾過器二十個ト、各々四十呎、三十八呎、二呎三吋ノ砂ノ濾過池四十個アリ、而シテ此
 濾過池ノ砂ニシテ表在ノモノ汚穢トナル時ハ、自然重力ニ依リテ洗砂器ニ流入スル沈澱下水ヲ以テ洗滌シ
 爾後再三其洗砂ヲ使用ス、上記ノ濾過器ニ加フルニ面積「」エーカー」ノ土地濾過池アリ、必要ニ應シテ之ニ
 流出水ヲ注クコトアリ、然ル後水ハ二十呎ノ溝渠ヲ過キ五個ノ翼瓣ヲ通リテ外部ニ出テ夫ヨリ終ニクラキ
 下河ニ落ツルモノナリ、現今成立スル所ノ作業ハ毎日千六百萬瓦倫ノ下水、即チ全市ノ下水ノ約四分ノ
 一ヲ處理スルモノナリ、然レトモ尙ホ此工事ハ此下水量ノ倍數ヲ處理スルマテ擴張スルヲ得ヘシ、此工場
 ニ於テ排水ヲ受ル所ノ面積ハ三千七百九十六「エーカー」ニシテ、現住民二十七萬六千人トス、又タ此ノ工
 事ニ使用シタル面積ハ建物、鐵道側線、槽窖及濾過池等ノ敷地ニシテ二十八「エーカー」ナリ、内十九「エ

「カー」ハ買收地ニ屬スルモノナリ、其地價三萬五千四百六十二封度ニシテ、之ニ建物槽窖及器械等ノ諸費ヲ加フレハ合計十三萬六千七百九十九封度ニ達セルナリ

固形物ヲ濾過壓搾シタル後之ヲ處分スル現行ノ方法如何ト云フニ、直チニ鐵道貨車ニ積載シテ全國ノ農家ニ宛テ發送スルモノ是レナリ、而シテ去ル六箇年間ニ此方法ニ從ツテ處分シタル高ハ七萬六千四百七十八噸ニシテ、内一萬七千二百五十二噸ハ地球豐潤用ニ製造シタルモノ是レナリ、壓搾渣滓ノ水分含有ノ比例ハ六十「ベルセント」ニシテ、地球豐潤用ノ水分含有ノ比例ハ十六「ベルセント」ナリ、蓋シ播種收納ノ兩季節間ニハ此類ノ肥料需用ナキヲ以テ、彼ノ壓搾シタル塊肥料ヲ貯藏シ置クカ、或ル組合農作場ニ送ルモノトス

西區ノ工事

ダルミュール下水清淨工事ノ落成式ハ具羅斯哈市下水經營ノ大部完成ヲ告ケタルモノニシテ、實ニ倫敦府會ノ事業ニ亞イテ世界中下水工事ノ最大ナルモノナリ

前記シタル下水ノ三工事ニ於テ排水シ得ヘキ下水ト降雨トノ量如何ト云フニ、此等ノ地方ノ將來充分發達シタル場合ニ於テハ、毎日二億五千四百萬瓦倫ニ達スヘキナリ

ダルミュールノ新工事ハダルマーノックノ既設工事ト相待チテ、此合流ノ半數以上ヲ收容處理スルヲ得ヘキナリ

ダルマーノックニ於ル下水處分法ハ疑ヒモナク成功シタルモノナルカダルミュールノ下水工事モ亦タ其成功シタルコト好シ前者ノ右ニ出テサルマテモ、少ナクモ同一ノ成功ト云フヲ得ヘキナリ、即チ河流ノ有様

ノ改良サレタルハ亦タ疑フヘカラサル事實ニシテ、今日ハ現ニ新工事利用サレツ、アルナリ

具羅斯哈及之ニ接續セル町村ニ於ル下水ノ採收及處分ニ就テノ排水大計畫ハ、千八百九十一年、千八百九十六年、千八百九十八年、千九百一年及千九百三年ノ特別條例ヲ以テ認可セラレタルモノナリ、而シテ此等ノ地方ハクリード河ノ兩岸ニ沿フテ殆ント十五哩間ノ方面ヲ包括シ、其排水面積ハ三十九方哩ニ及ヘルナリ、尙ホ之ニ隣接セル地方ヲモ併合スル都合ナルヲ以テ、其排水面積ハ一層増加スヘキナリ

斯クテ排水方面ヲ分チテ三區トシ、其各區共ニ別々ニ下水處分法ヲ行フモノトス
其内第一區ノ下水處分ニ關スル工場ハダルコーノックニ在リ、此區内ノ下水ハカレドニア^ン鐵道會社ノ經費ヲ以テ築造シタル暗渠ニ據リテ採收送致スルモノトス

地圖中黃色ヲ附シアル部分ハ即チ第二區是レナリ、此下水工事ハ千八百九十六年ニ認可サレタルモノニシテ、河ノ北岸ニ於ル市部バーチック及クリードバンク、レンフリウ及ダムバートン兩郡ノ中間部等ヲ包括シ、總面積ハ十四方哩ニ及ヘリ

此方面ヨリ來レル下水ヲ處分スル工場ハ、ダルミュールノ河岸ニ在リテ、具羅斯哈ヲ下ルコト殆ント七哩ナリ

第三區ハ地圖ニ於テ赤色ヲ附シタル箇所ニシテ、一千八百九十八年ノ認可ニ係ルモノ是レナリ、而シテ此地域ハ河ノ南岸ナル市部ノ全般ルーザークレン、ポーロックショウス、キンニング、パーク、ゴージン及レンフリウ、ラナーク兩郡ノ居宅地及田舎地方ヲ包括シ、其總面積ハ十四方哩之レアリ

此方面ニ於ル下水ヲ處分スル工場ハ、レンフリウノ東方約一哩ナルグレーヘッドノ河岸ニ設置スル計畫ナリシカ、此箇所ハクラキド航行受托ノ爲メニ不便利ナルヨリ終ニ模様替ヲスルコト、ナレリ、即チ此工場ヲ更ニシールトホールニ建設スルコト、ナシ、國會ヘ向ツテ場所變更認可願ヲ差シ出シタリ

千八百九十一年、千八百九十六年及千八百九十八年ノ制定ニ係ル條例ニ據リテ認可サレタル諸工事ハ合シテ一個ノ事業ト認定セラレ

ダルマールノ工場ト連續セル採收遮斷ノ兩溝渠ハ既ニ落成ヲ告ケテ、千八百九十四年五月以降作業シテ好結果ヲ得タリ

而シテ日々此所ニ於テ處分スル下水量ハ、目今晴天ノ時ニ際シテ千六百萬瓦倫ナルカ、結局二千萬瓦倫ニ増加スヘキ見込ナリ

ダルミュールニ於テ晴天ノ時日々處分セラレヘキ下水量ハ結局四千九百萬瓦倫トナルヘク又タシルドホールニ於テハ同シク四千八百萬瓦倫ナルヘシ

右ノ如ク區分サレタル地方内ニ於テ九千七百萬瓦倫ノ下水ヲ蒐集處分センニハ、長サ三十哩ノ暗渠ヲ築造センコトヲ要ス、而シテ其暗渠ノ大サハ到ル所一定シ居ルモノニアラス、直徑二呎六吋ヨリ同シク十呎マテノ差アルモノト知ルヘシ、晴天ノ下水量右ノ如クナルカ上ニ尙ホ雨量加ハルヘキナリ、但シ雨量ハ毎日一時ノ四分ノ一ニ當ルヘキモノニシテ、此等ヲ合算スレハ總計二億一千四百萬瓦倫トナルヘシ

西部ノ下水計畫ノ主眼トスル所ヲ舉レハ概ネ左ノ如シ、曰ク具羅斯哈及バーチックノ高地ニ於ケル下水ヲ

ダルミュールノ工場ニ送致スヘキ下水口ノ築造、市街低地ノ下水ヲ蒐集スル遮斷暗渠ノ築造、バーチックパロノ低地ニ於ケル下水ヲ蒐集スル遮斷暗渠ノ築造、及クラキドバンク、パロノ下水ヲダルミュールノ工場ニ送致スヘキ第三遮斷暗渠ノ築造等是レナリ

バーチック及クラキドバンクノ遮斷暗渠ノ水平ハ具羅斯哈及バーチックノ西方、クラキドバンクノ東方ニ當レルレンフリウノアイアノ高地ニ於ケル下水ヲ通過セシムルニ足ルヘキ低地ナリ、故ニ下水條例ノ規定スル所ニ從ツテ此地方ヲ下水經營本部ノ内ニ編入セシメントテ目今協商中ナリ

具羅斯哈及バーチックノ遮斷暗渠ハバーチック橋ノ下水口ニ吸揚シ、其揚程ヲ三十七呎トス、唧筒機關ハ三個アリテ三重膨脹反轉船用式ニシテ圓場唧子ヲ有シ、各々每一分時間ニ一萬一千二百五十五瓦倫、即チ毎日千六百萬瓦倫ヲ吸揚スルニ適ス、而シテ此機關ニ供給スル蒸氣ハ四個ノ汽罐ヲ以テシ、每方吋ニ就キ百六十封度ノ壓力ヲ以テ動作ス

クラドバンクノ遮斷暗渠ヨリ來レル下水ハダルミュールニ於テ吸揚シ、其揚程ヲ二十一呎トス、而シテダルミュールノ小機關ハ遠心式ニシテ、下水ヲ處分スヘキ工用什器ニ傳フル原動力ハ電氣ヲ以テセリ

西部下水經營ノ範圍内ニ於ケル下水全部ノ大半ハ之ヲ吸揚セスシテ、ダルミュールノ工場ニ送致シ、此所ニ於テ下水口ノ全内容物ヲ潮水ノ平準面以上ニアル沈澱槽ニ排出ス、本下水口ヨリ送リタル下水中廢棄物或ハ浮游物ノ如キモノハ、沈澱槽ヲ經過セスメスシテ處分スルヲ得ヘキモノヲ遮斷スル所ノ屏門ヲ通過シテ直チニ收容窖ニ落ルナリ、又タクラキドバンクヨリ來レル下水モ亦タ是レ收容窖ニ吸揚スルニ先タチテ

屏門ヲ通過セシム、而シテ此等ノ下水ハ長サ百五十六呎、幅二十四呎、深サ十八呎ノ收容窖ニ於テ移動浚泥機ニ依リテ振盪セラレ、給養溝ヲ通過シテ沈澱槽ニ入ル前ニ化學的處置ヲ加フルモノトス、此沈澱槽ノ數六個アリ、尙ホ將來二個ヲ増加スヘキ準備ヲ爲シ居レリ、其長サ平均約七百五十呎アリ、附録ノ圖ニ示スカ如シ、乃チ表面下續流式ノ原理ニ基キテ順次ニ動作ス、沈澱槽ニ排泄スル清淨流出水ハ其重力ノ作用ニテ排泄堰ヲ越ヘテ河ニ入り、沈澱シタル渣滓ハ圖ニ示シタル如ク貯槽ニ吸揚シ、豫定ノ時間ニ於テ特設ノ解舟ニ移シテ海ニ入ラシム

ダルミュール下水工場ノ概況ヲ知ラント欲セハ、添付シタル圖面及寫真圖ヲ參考スヘシ

河ノ南側ニ築造セントスル暗渠ノ路筋ハ、大概市街道路ノ線ニ附隨シキンニング公園ニ一ノ唧筒工場ヲ設ケ此所ニ於テ低地ノ下水ヲ十九呎ノ高サニ引キ上ケ之ヲシテ落口ニ行カシメンカ爲メニ尙ホ十七呎ノ高サマテ吸揚セシム、第二ノ唧筒工場ヲ要スル箇所ハシルドホールニシテ其揚程ヲ二十一呎トス南方ノ下水ヲ處分スヘキシルドホールノ工場ハ、ダルミュール工場ト均シク其前面ニ河ヲ控ヘ居ルカ故ニ水利ノ便アリテ、材料ノ集散ニハ頗ル好都合ノ箇所タリ

現今ダルマーノツクニ於テ採用スル所ノ下水處分法如何ト云フニ、表面下續流式ニ據リタル化學的沈澱法是レナリ、而シテ此工場ニ收受シタル下水ハ混淆複雑シタルモノニシテ、殊ニ難治ノ性質ヲ帶ヒ居レリ、即チ此工場ニ收受セル下水ハ主トシテ工業場ノ廢棄物ヨリ成レルモノニシテ、其内ニ含有スル所ノ浮游物ノ如キハ每一瓦倫ニ就キ二十乃至一千「グレイン」ノ差アリ、斯ル下水ノ處分法ハ非常ナル困難事ニシテ之

ニ要スル化學藥ノ如キハ一日間ニ數回變更セサルヘカラス、從ツテ化學藥ノ使用量モ自カラ多カラサルヲ得ス

下水調査委員及同顧問等ハ緻密ナル考慮ヲ費シ叮嚀ナル調査ヲ遂ケタル後ダルマーノツクノ下水處分法ヲ移シテ以テダルミュール及シルドホールニ採用スルコトニ議決シタリ、即チダルマーノツクニ於ル下水處分法ハ過ル七ケ年間好成绩ヲ得タルヲ以テ、之ヲ他ニ採用シタランニハ均シク好成绩アルヘシト思惟シタレハナリ、但シダルニーノツクノ工場ニ於テハ地勢上止ヲ得ス渣滓壓搾ノ事ヲ行ヒタリシモ、ダルミュール及シルドホールニ於テハ然カスルノ必要ナク、流動渣滓ノ如キハ既記ノ如ク海中ニ投スルコト、セリ

彼ノ下水調査委員會ノ計畫シタル下水沈澱處分法ハ最モ確實ニシテ最モ有効ナルモノナリ、其他ノ官衙ニ於テモ下水處分法ニ就テ最モ力ヲ盡シテ研究調査スル所アリタレトモ、右下水調査委員會ノ計畫ヨリ優レルモノ一モ之アラサリシナリ

ダルマーノツクニ於テ細菌學の下水處分法ニ關スル試験ヲ實行シタリシニ満足スヘキ好結果ヲ得タリ、然レトモ下水調査委員會ノ豫想セシ如ク此下水處分法ハ不相當ナル經費ヲ要スルモノナリ

ダルマーノツク工場ニ於テ日々實行シ居ル下水處分法ハ、下水中ノ浮游物ヲ滅盡シテ復タ其痕跡タモ留メシメス、即チ攝氏二十七度ノ熱ヲ以テ吸收シタル酸素ヲ基礎トシテ計算シタルニ、實ニ三十七「ベルセン」ト「化學的清化法」ヲ營ミタリ、蓋シ此等ノ結果ハ満足シ得ヘキモノニアラス、尙ホ不充分ノ感ナキ能ハ

ス、然レトモ經濟上ニ制限アルヲ以テ此方面ノ工事ヲ完成シ能ハサルコトヲ讀者ノ心中ニ存シ置カサルヘカラス、而シテ目今ダルマーノックニ於テ處分スル所ノ下水量ハ前述シタル如ク約一千六百萬瓦倫ニシテ之ヲ五十倍容積ノ潮流ニ放泄ス

今マ其レ下水ヲ流水中ニ放泄スルニ當リテ、之ヲシテ安全ナラシメンニハ其之ヲ飽和セシムルノ程度如何シテ可ナルヤトノ疑問起ラン乎、斯ル疑問ヲ解決スルニ足ルヘキ學說上ノ定論未タ曾テ之レアラサルナリ然レトモ此場合ニ於テ各異論ヲ禦クニ足ルヘキ何等カノ定論ナクンハアラサルナリ、尙ホ此河ヲ下リ行キテシールドホール及ダルミールニ於テハ、清化下水九千七百萬瓦倫カ潮水三十億瓦倫ト觸接スルコト、ナレリ、故ニ流出水ノ最後清化法及酸化ハ自然ノ作用ニ任セテ安全ナリトス、況ンヤ河ノ斯ル下流ニ於テ處分スル所ノ下水ハ、彼ノダルマーノックニ於テ處分セラル、下水ニ比スレハ、其性質頗フル單純ニシテ一層良好ノ流出水ヲ生スヘキニ於テヲヤ

右ノ如キ好結果アルヘシト豫期シ得ヘキ理由ノアルアリ、他ナシダルミール及シールドホールニ於ケル沈澱用什器ノ形狀ト面積トハ、ダルニーノックニ在ル原物ヨリ遙カニ優ル所アレハナリ

ダルマーノックノ工場ハ故アルシング氏ノ設計ニ成レルモノ是レナリ、而シテ其設計ノ當時同氏ハ實驗上及學術上ノ研究ニ於ル最近ノ結果ヲ併セ得テ以テ其建築ニ著手シタルモノナリ、蓋シ此工場ハ間歇沈澱ヲ裝置シテ骸炭濾過池ト連續シ流出水ノ河ニ出ルノ途中ニ於テ之ヲ通過スルモノナリ

ダルマーノックノ工場ハ最近ニ及ンテ之カ擴張變更ヲ加ヘンコトヲ希望セリ、現今此地ノ沈澱槽ハ表面下

績流式ノ原理ニ基キテ動作シ、濾過池ヲ使用スルコトヲ廢止シタリ、是レ他ナシ濾過池ハ流出水ヲ改良セシテ、却ツテ一層不良ナラシムルコトヲ見出シタレハナリ

ダルミールニ於ケル沈澱槽ハ表面下績流式ニ基キテ動作スヘキモノニシテ、其位置ハダルマーノックニアルモノヨリ遙カニ利益アルモノナリ、既記ノ如ク各々長サ七百五十呎アルカ故ニダルマーノック工場ノ短槽ニ於ルヨリモ完全ナル沈澱ヲ爲スノ餘裕アリ、延イテ之ニ要スル所ノ化學藥ノ用量ヲモ節約シテ減少セシムルコトヲ得ヘキナリ

一千八百九十六年及一千八百九十八年ノ制定ニ係ル條例ニ基キテ認可ヲ受ケタル工事ハ左ノ如シ、曰ク下水ノ落口、遮斷ノ兩暗渠三十哩ノ敷設、吸揚工場四箇所并ニ收容シタル下水ヲ處分スヘキ下水工場二箇所是レナリ、即チ一ハダルミールニ設クヘキモノ、他ノ一ハブレールヘッドト置クヘキ豫定ナリシカ、今ハ之ヲ更メテシールドホールニ設クルコト、シタルモノ是レナリ

此書ニ添付シタル地圖ヲ見ヨ、工事ノ既ニ落成シタル區域ハ黒線ヲ以テ之ヲ示シ未成ノ部分ハ赤線ヲ以テ之ヲ區別セリ

一千八百九十八年ニ於テ認可ヲ受ケタル暗渠ノ一線路ヲ他ノ方向ニ轉換スルコト、南部揚水場ノ位置ヲ變更スルコト、及借地權ヲ擴張スルコトニ就テ前會期間ニ於テ國會ヘ其認可願ヲ差シ出スノ必要ナルコトヲ見出シタリ、之ニ對シテ若干名ノ異論者アリシニモ拘ハラズ、調査委員會ハ實地調査ノ未、條例ノ緒言ニ些少ノ修正ヲ加ヘテ認可スルコト、ナシ、一千九百三年八月十一日終ニ勅許ヲ得タリ

右ノ如クシテ得タル權能ヲ實行スル爲メ、諸暗渠ニ就テノ細目ヲ編成シ、又タ南部本下水經營ノ内ニ編入サレタル重要ナル諸工事ヲ遂行スルニ必要ナル設備等ヲ爲シタリシカ、既ニ述ヘタル如ク下水工場ノ位置ヲブレールヘッドヨリシールダポールニ變更スル認可願ノ結果カ、尙ホ未タ判然セサルヨリ工事全體ノ著手一時見合セ居レリ

バーチック揚水場ハケルグン河ニ架シタルダムバートン、ロード橋ニ在リテ、下水ヲ低地ノ暗渠ヨリ取リテ落口本部ニ揚水シ、夫レヨリ重力ノ作用ニ依リテダルミールノ清化工場ニ入ラシム
斯クテ下水ハ低地ノ暗渠ヨリ此ノ工場ノ南側ニ入り水樋内ニ流入スルモノナリ、又タ此所ニ設ケタル粗大ノ屏門ハ浮遊物ノ大ナルモノヲ阻止シ、屏門室ヲ越ヘテ又タ細小ノ屏門アリ、連續セル刮削器ヲ備ヘテ唧筒ノ動作ヲ阻害スルノ恐レアル小浮遊物ヲ除去ス、而シテ下水ハ屏門室ヨリ數個ノ唧筒井ノ分布スルモノナリ

唧筒室ニハ四個ノ同一ナル吸揚機關ヲ備ヘ付ケルノ準備既ニ成リ、其内三個ハ現ニ動作シ居レリ、而シテ各單位ハ直立三重複合三曲柄表面濃縮直働圓嚙子吸揚機關ヨリ成リ、每一分時間ニ普通ノ回轉速度二十回ノ割合ヲ以テ走ル時ハ二十四時間ハ一千六百二十萬瓦倫ノ下水ヲ平均揚程三十六呎ニ引キ上クルコトヲ得ヘシ

本唧筒ノ足底ハ市街ノ水平下四十二呎ニシテ、機關床ハ市街ノ水平下十呎トス
唧筒室ニハ三個ノ本唧筒ニ加フルニ補助小唧筒アリテ唧筒井ノ排水ニ使用ス

中間ノ床ニハ本唧筒ノ排泄管アリテ表面ノ濃縮ヲ整理シ、以テ吸揚シタル下水ノ循環水ニ利用ス、濃縮大氣唧筒其他附屬ノ唧筒ハ皆ナ此床ニ在ルモノト知ルヘシ

別ニ示ス所ノ圖ハ受負者ノ店頭ニ於テ組ミ立テラレタル機關ヲ示シタルモノニシテ、吸揚單位ノ全部ヲ見ルコト能ハスト雖モ、機關ノ機關床上ニ在ル模様如何ヲ見ルニ足ルヘシ

屏門室ノ西部ニ當レル汽罐室ニハ六個ノ汽罐ヲ据ヘ付クルニ足ルヘキ場所ヲ用意シアレトモ、現時ハ「ガロウユー」汽罐四個ヲ据ケアルノミ、而シテ此等ノ汽罐ハ各々長サ二十六呎、直徑七呎ニシテ、每方吋ノ工壓百六十封度ナリ、其外ニ二百四十管ノグリーン氏燃料節約器アリ、火夫器ハ各汽罐皆ナ之ヲ有セサルハナク、之ニ要スル石炭ハ頭上ニアル貯藏所ヨリ之ヲ受ルコト、ナリ居レリ

唧筒室ノ西部ニ當リ中央床ノ水平面ニ補助機關アリ、二個ノ小直立三重複合三曲柄表面濃縮機關アリ、皆ナ是レ「シャフト」、屏門、昇降器、節約器ノ刮削器、火焚用器、唧筒室ノ移動曲柄、細工場ノ諸器具ヲ運轉シ、其他總テ「シャフト」ヨリ移スヘキ動力ヲ供給ス、又スタ此室ニハ汽罐給養、蒐集槽、及給養水濾器ニ要スル所ノウェア 唧筒ノ据付之レアリ

具羅斯哈市ノ給水事業

一千八百五十五年ニ於テ老德^{ホルド}プロヴオスト氏、警察官及具羅斯哈市會ハ、給水委員會ナルモノヲ組織シテ市ノ給水事業ヲ取り扱フコト、ナレリ、既ニ斯ル委員會ヲ組織シタルヨリ、從來「具羅斯哈給水會社」及「ゴーバルス重力給水會社」カ取り扱ヒ居タリシ給水事業ヲ移シテ此委員會ノ管理スルコト、セリ、乃チ此委

員會ハロック、カトリン河ヨリ引キ來リテ、純良ナル水ヲ充分ニ具羅斯哈市及其周邊ノ地方ヘ供給スヘキ新事業ヲ起スコト、ナレリ、而シテ此ロック、カトリン河ハ「バイスサイアー、ハイランズ」ニ在リテ『具羅斯哈橋』マテノ哩程三十四哩半ニ及ヘリ

第一、ロック、カトリン河ノ工事

目今ロック、カトリン河ノ水ヲ引イテ具羅斯哈市ニ供給シ來レルモノ二線アリ、内一線ハ一千八百五十五年ノ制定ニ係ル條例ニ基キテ造設セラレタルモノニシテ其工事ハ市ノ故工學士ホトローブ、ベートマン氏ノ設計ニ成レルモノナリ、又タ他ノ一線ハ一千八百八十五年ノ制定ニ係ル條例ニ基キテ造設セラレタルモノニシテ、其工事ハ市ノ水道局ノ故工學士ゼームス氏ノ設計ニ成レルモノ是レナリ抑モ一千八百五十五年ノ制定ニ係ル條例ニ基キテ、左ノ如キ權能カ給水委員曾ニ與ヘラレタリ、曰ク(一)ロック、カトリン河ノ水ヲ引キ來ランニ、從來ノ夏季水平面ヨリ高クスルコト四呎、又タ同水平面ヨリ低クスルコト三呎ト爲ス事、即チ之ヲ詳言スレハ給水線路ノ深サヲ七呎ニ爲スヘキ事、(二)毎日市内及市外地ヘ供給スル水量五千萬「ガロン」ナルヘキ事、(三)水道線及貯水池ヲ造設スヘキ事、(四)ロックウェンナーチユアー及ドランケーノ水ヲ利用シテテース河ノ償却水ト爲スヘキ事

又タ一千八百八十五年ノ制定ニ係ル條例ニ基キテ給水委員會ヘ與ヘラレタル權能ハ左ノ如シ、曰ク(一)ロック、カトリン河ノ水ヲ引キ來ランニ、其水平面ヲ尙ホ五呎高クスヘキ事、即チ市ニ供給スル水ノ深サヲ都合十二呎ニ爲スヘキ事、(二)毎日市及市内外地ヘ供給スル水量七千萬「ガロン」ナルヘキ事(三)給水ノ線

路ヲ二重ニ爲シ貯水池ヲ造設スヘキ事、(四)ロック、アーカレット河ノ水ヲ現在ノ水平面ヨリ二十五呎高クシ、隧道ヲ經過セシメ以テロック、カトリン河ニ合流セシムヘキ事

水道、ロック、カトリン河ヨリ引カレタル第一ノ水道ハミリンググヱノ貯水池マテ其長サ二十五哩ト一哩ノ四分ノ三アリ、而シテ此水道ノ幅ハ八呎ニシテ高サモ亦タ八呎アリ、其上部ニハ弓形ヲ成セル屋蓋アリ、毎日四千萬「ガロン」ノ水量ヲ流出スルニ足スルヘキナリ、又タ同シクロック、カトリン河ヨリ引カレタル第二ノ水道ハ、其ノ貯水池マテ殆ト其全線ヲ通シテ、第一ノ水道ト并行シ居レリ、其貯水池マテノ長サハ二十三哩半アリ、此水道全長ノ内幅十二呎ニシテ高サ九呎ノ箇所ハ、其内面ニ「コンクリート」ヲ用ヒサリシモ、幅十呎ニシテ高サ九呎ノ箇所ハ「コンクリート」ヲ以テ其内面ヲ蔽ヒ居レリ、而シテ其上部ハ共ニ弓形ノ屋蓋アルモノナリ、此水道ハ毎日七千萬「ガロン」ノ水量ヲ流出スルニ足ルヘキナリ、斯クテ此二水道カ夫々其貯水池マテ毎日流出スル水量ヲ合算スレハ一億一千万「ガロン」トナレリ、但シ其貯水池ハ市ヲ距ルコト殆ト七哩ノ所ニアルモノナリ

貯水池、茲ニ二箇所ノ貯水池アリ、其一ヲマッドック貯水池ト云ヒ、他ノ一ヲクラレー^グマッジー貯水池ト云フ、而シテ前者ノ水面ノ廣サハ六十二「エーカー」ニシテ五億「ガロン」ノ水量ヲ貯ヘ得ヘキナリ、又タ後者ノ水面ノ廣サハ八十八「エーカー」ニシテ七億「ガロン」ノ水量ヲ貯ヘ得ヘキナリ、而シテ此等ノ二貯水池ノ水ヲ合併シタランニハ、毎日五千萬「ガロン」ノ水量ヲ要スルトシテ二十四日分ヲ貯ヘ居ルモノナリ、此等ノ二貯水池ヨリ具羅斯哈ヘ水ヲ供給センニ、水管中幹線ニ屬スルモノ六條アリ即チ、マッドック貯水池ヨ

リ出ルモノ四條ニシテクラマッジー貯水池ヨリ出ルモノ二條是レナリ

抑モロック、カトリン河ヨリ具羅斯哈市へ引キ來レル所ノ水ハ、何タル濾過法ヲモ要セサルナリ、只タ僅カニ張金製ノ細微ナル網アリテ、水管中へ木片木葉等ノ流レ込マサル豫防法アルノミ、又タ市ハ此等ノ水源地ヲ清潔ニ保タシムヘキ手段ヲ廻ラセリ、其手段トハ概ネ左ノ如シ。曰ク凡ソ沿岸ノ地ニ人家アラニハ其河水自カラ不潔汚穢ナラスンハアラス、故ニ此等ノ水道ノ源流タルロック、カトリン河及ロック、アークレット河ノ沿岸ノ地方ニ家屋ヲ建設セシメサル方法ヲ見出セリ、即チ一千八百九十二年ニ於テ此等ノ沿岸ノ地總計二萬六千二百九十五「エーカー」ニ於ル家屋建設權ヲ一萬七千封度ノ價ヲ以テ買收シタリ、此ニ於テ乎此等ノ沿岸ノ地所々有者ハ何レノ部分ニモ、如何ナル家屋如何ナル建物ヲモ建設スルコト能ハサルニ至レリ

第二、ゴバルス地方ノ水道工事

ゴバルス重力給水工事ハ一千八百四十七年ヨリ翌年ニ跨カリテ造設セラレタルモノナリ、即チ此工事ハ「ゴバルス重力給水會社」ノ計畫セシ所ニシテ、ゴバルス地方及ゴバルス河ノ南部地方へ水ヲ供給スルノ目的ニ出テタルモノ是レナリ、當時此等ノ地方ノ人口ハ殆ント五萬人ナリシナリ、而シテ一千八百五十五年ニ至リテ此水道事業ハ具羅斯哈市ノ所屬トナリテ、彼ノ給水委員會ノ管理スル所トナレリ而シテ此水道ノ源流如何ト云フニ、ホワイト、カート河ノ支流ナルブロック、バーン河ヨリ引キ來レルモノ是レナリ、蓋シ此水源地ハ具羅斯哈ノ南六哩ノ所ニアリ、此水道ニハ人造ノ貯水池四ヶ所アリ、内最下

流ニ屬スル水池ニ至ルマテノ流域ノ總坪數二千五百六十七「エーカー」ニ及ヘリ
今マ四ヶ所ノ貯水池ヲ舉レハ左ノ如シ

第一、バルグレー貯水池、此池ニ水ノ滿チタル時其水平面ハ海面ヲ抜クコト三百五十二呎、其水面ノ面積ハ百五十三「エーカー」半ニシテ其水ノ利用セラルヘキ深サハ四十呎ナリ

第二、リアット、リート貯水池、此池滿水ニ於ル水平面ハ海面ヨリ高キコト三百十三呎、其水面ノ面積ハ二十一「エーカー」ニシテ其水ノ利用セラルヘキ深サハ二十七呎九吋ナリ

第三、ウーイルクミル、グレン貯水池、此池、水ノ充滿シタル時其水平面ハ海面ヲ抜クコト二百九十六呎、其水面ノ面積ハ四十七「エーカー」ト一「エーカー」ノ四分ノ三ニシテ、其水ノ利用セラルヘキ深サハ四十九呎三吋ナリ

第四、リッツルトン貯水池、此池ニ水ノ充チタル時其水平面ハ海面ヨリ高キコト二百九十七呎、其水面ノ面積ハ四「エーカー」ニシテ其水ノ利用セラルヘキ深サハ十四呎ナリ而シテ右四ヶ所ノ貯水池ヲ合算スレハ其水面ノ廣サ二百二十六「エーカー」ト一「エーカー」ノ四分ノ一アリ、又タ此等ノ貯水池ニ水ノ充滿シタル場合ニ於テ其全水量幾許アリヤト云フニ、十億「ガロン」アリ、之ヲ日々五百萬「ガロン」宛他ニ供給スルトセンカ、二百十一日間ヲ支フルニ足ルハキナリ

濾過床ノ事

此水道ニハ濾過床二ヶ所アリ、高濾過床低濾過床ナルモノ是レナリ、而シテ低濾過床ノ面積ハ三千八百四